徳島県埋蔵文化財センター調査報告書　第63集

矢野遺跡（Ⅲ）（弥生・古代篇）

―一般国道192号徳島南環状道路改築に伴う埋蔵文化財発掘調査―

《第１分冊》

２００６

徳　島　県　教　育　委　員　会
財団法人　徳島県埋蔵文化財センター
国土交通省　四国地方整備局

徳島県埋蔵文化財センター調査報告書　第63集

矢野遺跡（Ⅲ）（弥生・古代篇）

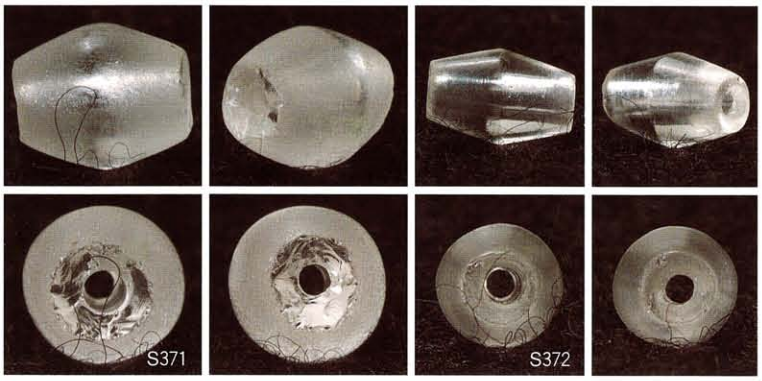
―一般国道192号徳島南環状道路改築に伴う埋蔵文化財発掘調査―

《第１分冊》

２００６

徳　島　県　教　育　委　員　会
財団法人　徳島県埋蔵文化財センター
国土交通省　四国地方整備局

SB 出土遺物



SB2037出土台石・玉類

SK・SR 出土遺物

SX2008出土壺

1442

1669

1715

1469

1510

SX2017出土遺物

序　文

この報告書は、一般国道192号徳島南環状道路改築事業に伴い、平成４年度から平成10年度にかけて７年間にわたって実施した矢野遺跡の発掘調査のうち北半の調査区の成果をまとめたものであります。

矢野遺跡は縄文時代以降中世に至るまで継続して発展する徳島県を代表する複合遺跡であります。特に、弥生時代については平成４年度には集落内部から最新式の銅鐸を埋納状態が確認されるなど、遺跡の名前を全国的なものとしました。本報告書掲載分においても、弥生時代中期から後期に至る住居跡や鉄器鍛冶工房など多数の遺構が検出されました。

また、矢野遺跡は阿波国府推定域の一角を占めており、国府関連遺構の確認にも期待がもたれております。この年代の調査成果としては、奈良時代から平安時代の掘立柱建物などが密集して検出されており、国府周辺の構造や景観復元に良好な資料を提供しました。

このように矢野遺跡の大変貴重な成果は、徳島の古代の歴史を考える上で非常に意義があるといえます。

なお、発掘調査の各工程や報告書の作成にあたっては、関係の機関並びに地元の皆様には多大の御援助・御協力をいただき、さらに関係各位には貴重な御教示を賜りました。ここに深く感謝の意を表します。

そして、この報告書が埋蔵文化財に対する理解を深めるとともに、学術・教育のため広く活用されることを期待します。

平成18年３月

財団法人　徳島県埋蔵文化財センター
理事長　佐　藤　　勉

例　言

1．本書は平成５年度（1993年度）～平成10年度（1998年度）に調査を実施した一般国道192号徳島南環状道路改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書である。

2．本書には矢野遺跡Ⅰ群（徳島県徳島市国府町矢野字せんだんの木・青木　ほか所在）の調査成果のうち、縄文時代を除く弥生時代・古代・中世に関する部分について収録した。縄文時代の成果については、調査報告書第44集に収録。

3．発掘調査は建設省四国地方建設局徳島工事事務所（当時）から徳島県教育委員会が委託を受け、徳島県教育委員会からの再委託により、財団法人徳島県埋蔵文化財センターが実施した。

4．発掘調査及び報告書の作成についての実施期間は次の通りである。

・発掘調査

平成５年（1993年）度	平成５年４月30日～平成６年１月27日
平成６年（1994年）度	平成６年５月17日～平成７年２月20日
平成７年（1995年）度	平成７年４月29日～平成８年３月25日
平成８年（1996年）度	平成８年４月３日～平成９年２月28日
平成９年（1997年）度	平成９年９月１日～平成10年２月27日
平成10年（1998年）度	平成10年４月２日～同年９月30日

・整理業務・報告書作成

平成11年４月１日～平成16年３月31日

5．遺物番号・挿図番号・写真図版番号は通し番号とした。

6．第２図・第５図の地形図は建設省国土地理院登録の１：25,000の地形図「徳島」・「川島」を転載し、加筆したものである。また、第３図の地形図は、徳島市発行の１：2,500都市計画図を転載し、加筆したものである。

7．発掘調査、報告書作成期間を通じて次の機関や方々に御協力、御教示を得た。
文化庁・独立行政法人奈良文化財研究所・徳島県教育委員会・国土交通省四国地方整備局
秋山浩三・東潮・阿部功・石野博信・梅木謙一・大久保徹也、大道和人・蔵本晋司・定森秀夫・柴田昌児・高島芳弘・寺澤薫・寺前直人・中西克弘・中原計・中村豊・橋本達也・橋本輝彦・北條芳隆・村上恭通・森清司・山元敏裕・若林邦彦（敬称略・五十音順）

8．本書の執筆は、発掘調査担当者・整理担当者のなかで、大澤正己・近藤玲・谷川真基・藤川智之・藁科哲夫があたった。なお、分担は、本文目次に示す通りで、全体の編集は、近藤、谷川が行った。

9．写真は遺物については山本和弘が、発掘調査の状況についてはそれぞれの調査担当者が撮影した。

10．本書に収録した遺物および写真などの記録の一切は、徳島県板野郡板野町犬伏字平山86番２に所在する徳島県立埋蔵文化財総合センターに保管している。

凡　　例

1．調査区・遺構名・層位名は、年報などの既報告と異なるものを新たに付加している。調査区名の対応は以下の通り。その他については報文を参照されたい。

調査区名	既報告による調査区	調査区名	既報告による調査区
1区	93年1分割3区	7区	95年1分割1区
2区	94年1分割3区	8区	95年1分割5区
3区	95年1分割2区	9区	94年1分割2区
4区	96年1区	10区	94年1分割1区
5区	97年	11区	95年1分割4区
6区	98年3区	12区	96年2区

2．遺構の表示は、財団法人徳島県埋蔵文化財センターが定めた略記号による。

SA：掘立柱建物　SB：竪穴住居跡　SD：溝状遺構　SH：炉跡　SK：土坑
SP：ピット　SR：自然流路　ST：土壙墓・土器棺墓　SU：集石遺構
SX：性格不明遺構

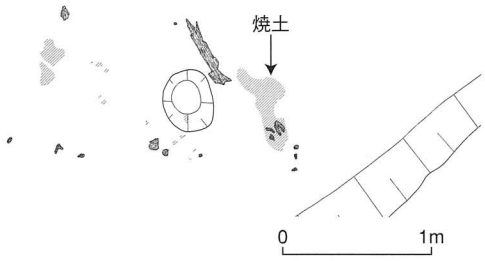
遺構図は基本的に縮尺を下記のように統一した。ただし，大形の遺構に関しては随時縮尺を変更した。

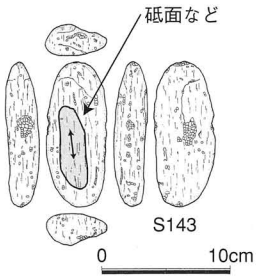
SB・SX：1/50　SK・SH・SP：1/25

3．方位は国土座標軸第Ⅳ系を用い、高さは東京湾標準潮位（T.P.）を表す。

4．本書で用いた土層の色調は、小山正忠・竹原秀雄編著『新版標準土色帳』（日本色研事業株式会社1997年度版）による。

炭化物、焼土の範囲は以下のスクリーントーンで表現している。また、石器などの遺物で砥面、磨面および被熱部分も以下のように表現している。





5．遺物図の縮尺は、原則下記のものに統一した。

土器・土製品：1/4　石器・鉄器：1/1、2/3、1/2、1/3、1/6

本　文　目　次

《第１分冊》

Ⅰ　調査と整理の経緯（藤川）……1
1　調査に至る経緯……3
2　調査の経緯……4
3　発掘調査の方法……4
4　整理作業の方法と経過……8
5　業務の体制……11
6　調査日誌抄……12
7　既出の文献……14

Ⅱ　遺跡の立地と環境（藤川）……15
1　地理的環境……17
2　歴史的環境……17
旧石器時代……17
縄文時代……17
弥生時代……18
古墳時代……18
奈良・平安時代……19
鎌倉・室町時代……19

Ⅲ　調査成果……25
1　基本層序（近藤）……27
2　遺構と遺物……32
(1)　弥生時代中期～後期（近藤）……32
①掘立柱建物跡（SA）……32
②竪穴住居跡（SB）……37
③溝状遺構（SD）……163
④土坑（SK）……197
⑤ピット（SP）……255
⑥自然流路（SR）……270
⑦土壙墓（ST）……292
⑧性格不明遺構（SX）……293

(2)　古代～中世（一部に古墳時代、近世を含む）（谷川）……349
①掘立柱建物跡（SA）……349

②竪穴住居跡（SB）……418
③溝状遺構（SD）……445
④井戸（SE）……480
⑤柵列（SG）……482
⑥土坑（SK）……483
⑦ピット（SP）……510
⑧性格不明遺構（SX）……545
4区第1包含層出土土器……557
5・6区第1包含層出土土器……557
7区第1包含層出土土器……557
10区第1包含層出土土器……557
4区・12区第1包含層出土遺物……557

Ⅳ　自然科学分析……569
1　大澤正己（九州テクノリサーチ）「矢野遺跡出土鉄製品の自然科学分析」……571
2　藁科哲男（京都大学原子炉実験所）「矢野遺跡出土石器、石片の原材産地分析」……614
3　藁科哲男（京都大学原子炉実験所）「矢野遺跡出土の算盤玉、管玉の産地分析」……627

Ⅴ　まとめ（近藤）……645
1　矢野遺跡Ⅰ群における土器編年と遺構の年代について……647
2　矢野遺跡Ⅰ・Ⅱ群における時代別変遷……648

挿図目次

第 1 図　矢野遺跡位置図 …… 3
第 2 図　一般国道192号徳島南環状道路路線図… 5
第 3 図　徳島南環状道路地区割図 …… 6
第 4 図　徳島南環状道路年度別調査地区 …… 7
第 5 図　一般国道192号南環状道路の遺跡とグリットの対応 …… 9
第 6 図　矢野遺跡の各年次の調査区の配置 ……10
第 7 図　矢野遺跡周辺歴史的環境図 ……20
第 8 図　矢野遺跡Ⅰ群周辺調査地点位置図 ……21
第 9 図　基本土層図調査地点 ……28
第10図　基本土層図(1)……29
第11図　基本土層図(2)……30
第12図　矢野遺跡Ⅰ群主要遺構配置図（弥生時代）……33
第13図　SA2001平・断面図……34
第14図　SA2001出土鉄器……34
第15図　SA2002平・断面図……35
第16図　SA2002出土土器(1) ……35
第17図　SA2002出土土器(2) ……36
第18図　SB2001平・断面図……37
第19図　SB2001出土石器(1)……37
第20図　SB2001出土石器(2)……38
第21図　SB2001出土土器……38
第22図　SB2002平・断面図……39
第23図　SB2002遺物出土状況図……40
第24図　SB2002出土土器(1)……40
第25図　SB2002出土石器……40
第26図　SB2002出土土器(2)……41
第27図　SB2002出土土器(3)……42
第28図　SB2003平・断面図……43
第29図　SB2003出土土器(1)……43
第30図　SB2003出土土器(2)……44
第31図　SB2003出土石器……44
第32図　SB2004平・断面図……44
第33図　SB2004出土土器……45
第34図　SB2004出土石器……46
第35図　SB2005平・断面図……47
第36図　SB2005出土土器……47
第37図　SB2005出土石器……48
第38図　SB2006平・断面図……49
第39図　SB2006出土土器……50
第40図　SB2006出土石器……50
第41図　SB2007平・断面図……51
第42図　SB2007出土土器……52
第43図　SB2007出土石器(1)……53
第44図　SB2007出土石器(2)……54
第45図　SB2007出土石器(3)……55
第46図　SB2007出土石器(4)……56
第47図　SB2007出土石器(5)……57
第48図　SB2007出土石器(6)……58
第49図　SB2007出土石器(7)……59
第50図　SB2008a 平・断面図 ……60
第51図　SB2008b 平・断面図 ……61
第52図　SB2008出土土器……62
第53図　SB2008出土石器……63
第54図　SB2009平・断面図……64
第55図　SB2010平・断面図……64
第56図　SB2011平・断面図……66
第57図　SB2011出土石器……66
第58図　SB2012平・断面図……67
第59図　SB2012出土土器……68
第60図　SB2012出土石器(1)……69
第61図　SB2012出土石器(2)……70
第62図　SB2013平・断面図……71
第63図　SB2013出土土器……72
第64図　SB2013出土石器……72
第65図　SB2013出土鉄器……72
第66図　SB2014平・断面図……73
第67図　SB2014出土土器……73
第68図　SB2015平・断面図……74
第69図　SB2015出土土器……75
第70図　SB2016平・断面図……76

第 71 図　SB2016遺物出土状況図 ……77
第 72 図　SB2016出土土器(1)……78
第 73 図　SB2016出土土器(2)……79
第 74 図　SB2016出土石器 ……79
第 75 図　SB2017平・断面図 ……80
第 76 図　SB2017出土土器 ……80
第 77 図　SB2018平・断面図 ……81
第 78 図　SB2018出土石器 ……81
第 79 図　SB2019平・断面図 ……82
第 80 図　SB2019遺物出土状況図 ……83
第 81 図　SB2019出土土器(1)……84
第 82 図　SB2019出土土器(2)……85
第 83 図　SB2019出土石器 ……86
第 84 図　SB2020平・断面図 ……87
第 85 図　SB2021平・断面図 ……88
第 86 図　SB2021出土土器 ……89
第 87 図　SB2021出土石器 ……89
第 88 図　SB2022平・断面図 ……90
第 89 図　SB2022遺物出土状況図 ……91
第 90 図　SB2022出土土器(1)……92
第 91 図　SB2022出土土器(2)……93
第 92 図　SB2022出土土器(3)……94
第 93 図　SB2022出土土器(4)……95
第 94 図　SB2022出土石器 ……96
第 95 図　SB2023平・断面図 ……97
第 96 図　SB2023出土土器 ……98
第 97 図　SB2023出土石器 ……99
第 98 図　SB2024平・断面図 ……100
第 99 図　SB2024出土土器(1) ……101
第100図　SB2024出土土器(2) ……102
第101図　SB2024出土石器 ……103
第102図　SB2025平・断面図 ……104
第103図　SB2026平・断面図 ……105
第104図　SB2026遺物出土状況図 ……106
第105図　SB2026出土土器(1) ……107
第106図　SB2026出土土器(2) ……108
第107図　SB2026出土石器(1) ……109
第108図　SB2026出土石器(2) ……110
第109図　SB2026出土石器(3) ……111
第110図　SB2026出土石器(4) ……112
第111図　SB2027平・断面図 ……113
第112図　SB2028平・断面図 ……113
第113図　SB2029平・断面図 ……113
第114図　SB2029出土土器(1) ……113
第115図　SB2029出土土器(2) ……114
第116図　SB2030平・断面図 ……114
第117図　SB2031平・断面図 ……115
第118図　SB2031出土土器 ……115
第119図　SB2032平・断面図 ……116
第120図　SB2033出土土器(1) ……116
第121図　SB2033平・断面図 ……116
第122図　SB2033出土土器(2) ……117
第123図　SB2033出土土器(3) ……118
第124図　SB2033出土石器 ……119
第125図　SB2034平・断面図 ……120
第126図　SB2034出土土器 ……121
第127図　SB2034出土石器 ……121
第128図　SB2035平・断面図 ……122
第129図　SB2035焼土、炭化材出土状況図 ……123
第130図　SB2035出土土器 ……124
第131図　SB2035出土石器(1) ……124
第132図　SB2035出土石器(2) ……125
第133図　SB2036平・断面図 ……126
第134図　SB2036出土土器 ……127
第135図　SB2037平面図 ……128
第136図　SB2037第 1 次住居平面図 ……129
第137図　SB2037第 2 次住居遺物出土状況図 …130
第138図　SB2037第 3 次住居遺物出土状況図 …131
第139図　SB2037断面図 ……132
第140図　SB2037EH 平・断面図……133
第141図　SB2037出土土器(1) ……134
第142図　SB2037出土土器(2) ……135
第143図　SB2037出土土器(3) ……136
第144図　SB2037出土土器(4) ……137
第145図　SB2037出土石器(1) ……138
第146図　SB2037出土石器(2) ……139

第147図　SB2037出土石器(3) ……140
第148図　SB2037出土石器(4) ……141
第149図　SB2037出土石器(5) ……142
第150図　SB2037出土石器(6) ……143
第151図　SB2037出土石器(7) ……144
第152図　SB2037出土石器(8) ……145
第153図　SB2037出土石器(9) ……146
第154図　SB2037出土石器(10) ……147
第155図　SB2037出土石器(11) ……148
第156図　SB2037出土石器(12) ……149
第157図　SB2037出土土器(5) ……150
第158図　SB2037出土鉄器 ……150
第159図　SB2038平・断面図 ……151
第160図　SB2038出土土器 ……152
第161図　SB2039平・断面図 ……153
第162図　SB2039遺物出土状況図 ……154
第163図　SB2039EP 2 遺物出土状況図 ……154
第164図　SB2039出土土器(1) ……155
第165図　SB2039出土土器(2) ……156
第166図　SB2039出土土器(3) ……157
第167図　SB2039出土石器(1) ……158
第168図　SB2039出土石器(2) ……159
第169図　SB2040平・断面図 ……160
第170図　SB2041平・断面図 ……161
第171図　SB2041出土土器 ……161
第172図　SB2042出土土器 ……161
第173図　SB2042平・断面図 ……162
第174図　SD2001平・断面図 ……163
第175図　SD2001出土土器 ……164
第176図　SD2002、SD2003、SD1001平・断面図…165
第177図　SD2002出土土器 ……165
第178図　SD2002出土石器 ……165
第179図　SD2003出土土器(1) ……166
第180図　SD2003出土土器(2) ……167
第181図　SD2003出土石器 ……168
第182図　SD2004、SD1003平・断面図 ……169
第183図　SD2004出土土器 ……169
第184図　SD2004出土石器 ……169
第185図　SD2005平・断面図 ……171
第186図　SD2005出土土器(1) ……171
第187図　SD2005出土土器(2) ……172
第188図　SD2005出土土器(3) ……173
第189図　SD2005出土土器(4) ……174
第190図　SD2005出土土器(5) ……175
第191図　SD2005出土石器 ……176
第192図　SD2006平・断面図 ……177
第193図　SD2006出土土器 ……178
第194図　SD2006出土石器 ……179
第195図　SD2007平・断面図 ……179
第196図　SD2007出土土器 ……179
第197図　SD2012平・断面図 ……180
第198図　SD2014平・断面図 ……181
第199図　SD2012出土土器 ……181
第200図　SD2012出土鉄器 ……181
第201図　SD2012出土石器 ……181
第202図　SD2014出土石器 ……181
第203図　SD2017平・断面図 ……182
第204図　SD2017出土土器 ……182
第205図　SD2017出土石器 ……182
第206図　SD2019平・断面図 ……183
第207図　SD2019出土石器 ……183
第208図　SD2019出土土器 ……183
第209図　SD2020平・断面図 ……184
第210図　SD2020出土土器 ……184
第211図　SD2022平・断面図 ……185
第212図　SD2022出土石器 ……185
第213図　SD2022出土土器 ……185
第214図　SD2023平・断面図 ……186
第215図　SD2023出土土器 ……187
第216図　SD2023出土石器 ……187
第217図　SD2026平・断面図 ……188
第218図　SD2026出土土器 ……189
第219図　SD2027平・断面図 ……189
第220図　SD2027出土土器 ……190
第221図　SD2027出土石器 ……191
第222図　SD2028平・断面図(1) ……192

第223図　SD2028出土土器(1) ……192
第224図　SD2028平・断面図(2) ……193
第225図　SD2028出土土器(2) ……193
第226図　SD2028出土石器(1) ……194
第227図　SD2028出土石器(2) ……195
第228図　SD2028出土鉄器(1) ……195
第229図　SD2028出土鉄器(2) ……196
第230図　SD2030平・断面図 ……196
第231図　SD2030出土石器 ……196
第232図　SK2001平・断面図 ……197
第233図　SK2001出土土器 ……197
第234図　SK2002平・断面図 ……197
第235図　SK2002出土土器 ……197
第236図　SK2003平・断面図 ……199
第237図　SK2003出土土器 ……199
第238図　SK2008平・断面図 ……199
第239図　SK2008出土土器 ……199
第240図　SK2016平・断面図 ……200
第241図　SK2016出土土器 ……200
第242図　SK2016出土石器 ……200
第243図　SK2017平・断面図 ……200
第244図　SK2017出土土器 ……200
第245図　SK2018平・断面図、遺物出土状況図…201
第246図　SK2018出土土器 ……202
第247図　SK2018出土石器 ……203
第248図　SK2019平・断面図 ……204
第249図　SK2019出土土器 ……205
第250図　SK2020平・断面図、遺物出土状況図…205
第251図　SK2020出土土器 ……206
第252図　SK2021平・断面図 ……206
第253図　SK2021出土石器 ……206
第254図　SK2024平・断面図 ……207
第255図　SK2024遺物出土状況図 ……208
第256図　SK2024出土土器(1) ……209
第257図　SK2024出土土器(2) ……210
第258図　SK2024出土土器(3) ……211
第259図　SK2024出土石器 ……212
第260図　SK2026平・断面図、遺物出土状況図…213
第261図　SK2026出土土器 ……213
第262図　SK2031平・断面図 ……214
第263図　SK2031出土土器 ……214
第264図　SK2032平・断面図 ……215
第265図　SK2032出土土器(1) ……215
第266図　SK2032出土土器(2) ……215
第267図　SK2034平・断面図 ……215
第268図　SK2034出土土器 ……215
第269図　SK2035平・断面図 ……216
第270図　SK2035出土土器 ……216
第271図　SK2042平・断面図 ……217
第272図　SK2042出土土器(1) ……218
第273図　SK2042出土土器(2) ……219
第274図　SK2042出土石器 ……219
第275図　SK2043平・断面図 ……220
第276図　SK2043遺物出土状況図 ……221
第277図　SK2043焼土、炭化材出土状況図 ……222
第278図　SK2043出土土器(1) ……223
第279図　SK2043出土土器(2) ……224
第280図　SK2043出土石器(1) ……224
第281図　SK2043出土石器(2) ……225
第282図　SK2044平・断面図 ……225
第283図　SK2044出土土器 ……225
第284図　SK2047平・断面図、遺物出土状況図…226
第285図　SK2047出土土器 ……226
第286図　SK2048平・断面図 ……227
第287図　SK2048出土土器 ……227
第288図　SK2052平・断面図 ……228
第289図　SK2052出土土器 ……228
第290図　SK2054平・断面図 ……228
第291図　SK2054出土土器 ……229
第292図　SK2054出土石器 ……229
第293図　SK2055平・断面図 ……230
第294図　SK2055出土石器 ……230
第295図　SK2056平・断面図 ……230
第296図　SK2056出土石器 ……230
第297図　SK2056出土土器 ……230
第298図　SK2057平・断面図 ……231

第299図　SK2057出土土器 ……231
第300図　SK2059平・断面図 ……232
第301図　SK2059出土土器 ……232
第302図　SK2065平・断面図 ……232
第303図　SK2065出土土器 ……233
第304図　SK2065出土石器 ……233
第305図　SK2066平・断面図 ……234
第306図　SK2066出土石器 ……234
第307図　SK2068平・断面図 ……235
第308図　SK2068出土土器 ……235
第309図　SK2073平・断面図 ……235
第310図　SK2073出土土器 ……235
第311図　SK2076平・断面図 ……236
第312図　SK2076出土土器 ……236
第313図　SK2076出土石器 ……237
第314図　SK2077平・断面図 ……237
第315図　SK2077出土土器 ……238
第316図　SK2078平・断面図、遺物出土状況図 …238
第317図　SK2078出土土器 ……239
第318図　SK2081平・断面図 ……240
第319図　SK2081出土土器 ……240
第320図　SK2084平・断面図 ……241
第321図　SK2084出土土器 ……241
第322図　SK2084出土石器 ……241
第323図　SK2085平・断面図 ……242
第324図　SK2085出土石器 ……242
第325図　SK2087平・断面図 ……243
第326図　SK2087出土土器 ……243
第327図　SK2089平・断面図 ……243
第328図　SK2089出土石器 ……243
第329図　SK2091平・断面図 ……244
第330図　SK2091出土土器 ……244
第331図　SK2091出土石器 ……244
第332図　SK2092平・断面図 ……245
第333図　SK2092出土土器 ……245
第334図　SK2093平・断面図 ……245
第335図　SK2093出土土器 ……245
第336図　SK2094平・断面図 ……246
第337図　SK2094出土土器 ……246
第338図　SK2098平・断面図 ……247
第339図　SK2098出土土器 ……247
第340図　SK2099平・断面図 ……247
第341図　SK2099出土土器 ……247
第342図　SK2100平・断面図 ……248
第343図　SK2100出土土器 ……248
第344図　SK2102平・断面図 ……248
第345図　SK2102出土土器 ……249
第346図　SK2106平・断面図 ……249
第347図　SK2106出土土器 ……249
第348図　SK2107平・断面図 ……250
第349図　SK2107出土土器 ……250
第350図　SK2108出土土器 ……250
第351図　SK2108平・断面図 ……251
第352図　SK2108出土石器 ……251
第353図　SK2109平・断面図 ……252
第354図　SK2109出土石器 ……252
第355図　SK2109出土土器(1) ……253
第356図　SK2109出土土器(2) ……254
第357図　SP2044平・断面図 ……255
第358図　SP2044出土土器 ……255
第359図　SP2047平・断面図 ……255
第360図　SP2047出土土器 ……255
第361図　SP2064平・断面図 ……255
第362図　SP2064出土土器 ……255
第363図　SP2139平・断面図 ……256
第364図　SP2139出土土器 ……256
第365図　SP2168平・断面図 ……256
第366図　SP2168出土土器 ……256
第367図　SP2170平・断面図 ……257
第368図　SP2170出土土器 ……257
第369図　SP2171平・断面図 ……257
第370図　SP2171出土土器 ……257
第371図　SP2172平・断面図 ……258
第372図　SP2172出土土器 ……258
第373図　SP2179平・断面図、遺物出土状況図 …258
第374図　SP2179出土土器 ……258

第375図　SP2181平・断面図 ……259
第376図　SP2181出土土器 ……259
第377図　SP2215平・断面図 ……259
第378図　SP2215出土土器 ……259
第379図　SP2222平・断面図 ……259
第380図　SP2222出土土器 ……259
第381図　SP2224平・断面図 ……260
第382図　SP2224出土土器 ……260
第383図　SP2236平・断面図 ……260
第384図　SP2236出土土器 ……260
第385図　SP2239平・断面図 ……261
第386図　SP2239出土土器 ……261
第387図　SP2245平・断面図 ……261
第388図　SP2245出土土器 ……261
第389図　SP2249平・断面図 ……261
第390図　SP2249出土土器 ……261
第391図　SP2263平・断面図 ……262
第392図　SP2263出土土器 ……262
第393図　SP2278平・断面図 ……262
第394図　SP2278出土土器 ……262
第395図　SP2359平・断面図 ……263
第396図　SP2359出土土器 ……263
第397図　SP2490平・断面図 ……263
第398図　SP2381出土土器 ……263
第399図　SP2490出土石器 ……263
第400図　SR2001断面図 ……264
第401図　SR2001出土土器(1) ……265
第402図　SR2001出土土器(2) ……266
第403図　SR2001出土土器(3) ……267
第404図　SR2001出土土器(4) ……268
第405図　SR2001出土土器(5) ……269
第406図　SR2001出土土器(6) ……270
第407図　SR2001出土土器(7) ……271
第408図　SR2001出土土器(8) ……272
第409図　SR2001出土土器(9) ……273
第410図　SR2001出土土器(10) ……274
第411図　SR2001出土土器(11) ……275
第412図　SR2001出土土器(12) ……276
第413図　SR2001出土土器(13) ……277
第414図　SR2001出土土器(14) ……278
第415図　SR2002平・断面図 ……279
第416図　SR2002出土土器(1) ……280
第417図　SR2002出土土器(2) ……281
第418図　SR2002出土土器(3) ……282
第419図　SR2002出土石器(1) ……283
第420図　SR2002出土石器(2) ……284
第421図　SR2003平・断面図 ……285
第422図　SR2003出土土器(1) ……286
第423図　SR2003出土土器(2) ……287
第424図　SR2003出土土器(3) ……288
第425図　SR2003出土土器(4) ……289
第426図　SR2003出土土器(5) ……290
第427図　SR2003出土石器 ……291
第428図　ST2001平・断面図、遺物出土状況図 …292
第429図　ST2001出土土器(1) ……292
第430図　ST2001出土土器(2) ……293
第431図　SX2001平・断面図 ……293
第432図　SX2001出土土器 ……294
第433図　SX2001出土石器 ……294
第434図　SX2003平・断面図 ……295
第435図　SX2003出土土器 ……295
第436図　SX2003出土石器 ……295
第437図　SX2004平・断面図 ……296
第438図　SX2004遺物出土状況図 ……297
第439図　SX2004出土石器 ……297
第440図　SX2004出土土器(1) ……298
第441図　SX2004出土土器(2) ……299
第442図　SX2006平・断面図 ……300
第443図　SX2006出土土器 ……300
第444図　SX2006出土石器 ……300
第445図　SX2006出土鉄器 ……300
第446図　SX2008平・断面図 ……301
第447図　SX2008出土土器(1) ……301
第448図　SX2008出土土器(2) ……302
第449図　SX2008出土土器(3) ……303
第450図　SX2008出土土器(4) ……304

第451図　SX2008出土土器(5) ……305
第452図　SX2008出土土器(6) ……306
第453図　SX2010平・断面図 ……307
第454図　SX2010出土土器 ……307
第455図　SX2012平・断面図 ……308
第456図　SX2012出土土器 ……308
第457図　SX2014平面図 ……309
第458図　SX2014出土土器 ……309
第459図　SX2015平・断面図 ……310
第460図　SX2015出土石器 ……310
第461図　SX2016平・断面図 ……311
第462図　SX2016出土土器 ……311
第463図　SX2017平・断面図 ……312
第464図　SX2017遺物出土状況図 ……313
第465図　SX2017出土遺物詳細 ……314
第466図　SX2017出土土器(1) ……315
第467図　SX2017出土土器(2) ……316
第468図　SX2017出土土器(3) ……317
第469図　SX2017出土土器(4) ……318
第470図　SX2017出土土器(5) ……319
第471図　SX2017出土土器(6) ……320
第472図　SX2017出土土器(7) ……321
第473図　SX2017出土土器(8) ……322
第474図　SX2017出土土器(9) ……323
第475図　SX2017出土土器(10) ……324
第476図　SX2017出土土器(11) ……325
第477図　SX2017出土土器(12) ……326
第478図　SX2017出土土器(13) ……327
第479図　SX2017出土土器(14) ……328
第480図　SX2017出土土器(15) ……329
第481図　SX2017出土土器(16) ……330
第482図　SX2017出土土器(17) ……331
第483図　SX2017出土土器(18) ……332
第484図　SX2017出土土器(19) ……333
第485図　SX2017出土土器(20) ……334
第486図　SX2017出土土器(21) ……335
第487図　SX2017出土石器(1) ……336
第488図　SX2017出土石器(2) ……337
第489図　SX2017出土石器(3) ……338
第490図　SX2017出土石器(4) ……339
第491図　SX2017出土石器(5) ……340
第492図　SX2017出土石器(6) ……341
第493図　SX2017出土石器(7) ……342
第494図　SX2017出土鉄器 ……342
第495図　SX2019平面図 ……343
第496図　SX2019出土石器 ……343
第497図　SX2019出土土器 ……343
第498図　SX2020平・断面図 ……344
第499図　SX2020出土土器 ……344
第500図　SX2021平・断面図 ……345
第501図　SX2021出土土器 ……346
第502図　SX2021出土石器 ……346
第503図　SX2022平・断面図 ……347
第504図　SX2022出土土器 ……347
第505図　矢野遺跡Ⅰ群主要遺構配置図（古代・中世） ……348
第506図　SA1001平・断面図 ……350
第507図　SA1001出土土器 ……351
第508図　SA1003出土土器 ……351
第509図　SA1003出土石器 ……351
第510図　SA1002平・断面図 ……351
第511図　SA1003平・断面図 ……352
第512図　SA1004平・断面図 ……353
第513図　SA1005平・断面図 ……354
第514図　SA1005出土土器 ……354
第515図　SA1006平面図 ……355
第516図　SA1006断面図 ……356
第517図　SA1006出土土器 ……357
第518図　SA1007平・断面図 ……358
第519図　SA1007出土土器 ……359
第520図　SA1007出土石器 ……359
第521図　SA1008平・断面図 ……360
第522図　SA1009平・断面図 ……361
第523図　SA1010平・断面図 ……363
第524図　SA1010出土土器 ……363
第525図　SA1011平・断面図 ……364

第526図　SA1012平・断面図 ……365
第527図　SA1013平・断面図 ……366
第528図　SA1014平・断面図 ……367
第529図　SA1014出土土器 ……368
第530図　SA1014出土石器 ……368
第531図　SA1015出土鉄器 ……368
第532図　SA1015平・断面図 ……369
第533図　SA1016平・断面図 ……370
第534図　SA1017平・断面図 ……371
第535図　SA1018平・断面図 ……372
第536図　SA1019・SA1020平・断面図 ……372
第537図　SA1021平・断面図 ……374
第538図　SA1022平・断面図、EP 2 遺物出土状況図
……375
第539図　SA1022出土土器 ……376
第540図　SA1023平・断面図 ……377
第541図　SA1024平・断面図 ……378
第542図　SA1025平・断面図 ……379
第543図　SA1026平・断面図 ……380
第544図　SA1026出土土器 ……380
第545図　SA1027平・断面図 ……381
第546図　SA1028平・断面図 ……381
第547図　SA1029平・断面図 ……382
第548図　SA1030平・断面図 ……383
第549図　SA1030出土土器 ……383
第550図　SA1031平・断面図 ……383
第551図　SA1032平・断面図 ……384
第552図　SA1033平・断面図 ……385
第553図　SA1034平・断面図 ……386
第554図　SA1035平・断面図 ……386
第555図　SA1036平・断面図 ……387
第556図　SA1037平・断面図 ……388
第557図　SA1038平・断面図 ……389
第558図　SA1038出土石器 ……390
第559図　SA1039平・断面図 ……391
第560図　SA1039出土土器 ……391
第561図　SA1040平・断面図 ……392
第562図　SA1041平・断面図 ……393
第563図　SA1042平・断面図 ……394
第564図　SA1043平・断面図 ……395
第565図　SA1044平・断面図 ……396
第566図　SA1044出土土器 ……396
第567図　SA1045平・断面図 ……397
第568図　SA1045出土土器 ……398
第569図　SA1045出土鉄器 ……398
第570図　SA1046平・断面図 ……399
第571図　SA1046出土土器 ……399
第572図　SA1047平・断面図 ……401
第573図　SA1047出土土器 ……401
第574図　SA1048平・断面図 ……402
第575図　SA1048出土土器 ……402
第576図　SA1049平・断面図 ……403
第577図　SA1049出土土器 ……403
第578図　SA1049出土鉄器 ……403
第579図　SA1050平・断面図 ……405
第580図　SA1050出土土器 ……406
第581図　SA1051出土土器 ……406
第582図　SA1051平・断面図 ……407
第583図　SA1052平・断面図 ……408
第584図　SA1052出土鉄器 ……408
第585図　SA1053平・断面図 ……409
第586図　SA1054平・断面図 ……410
第587図　SA1054出土土器 ……410
第588図　SA1055平・断面図 ……412
第589図　SA1055出土土器 ……412
第590図　SA1056平・断面図 ……413
第591図　SA1056出土土器 ……414
第592図　SA1057平・断面図 ……414
第593図　SA1057出土土器 ……414
第594図　SA1057出土鉄器 ……414
第595図　SA1058平・断面図 ……415
第596図　SA1058出土土器 ……415
第597図　SA1059平・断面図 ……416
第598図　SA1059出土土器 ……416
第599図　SA1060平・断面図 ……417
第600図　SB1001平・断面図 ……419

第601図　SB1001出土土器 ……420
第602図　SB1002平・断面図 ……420
第603図　SB1002出土土器 ……420
第604図　SB1003平・断面図 ……421
第605図　SB1003出土土器 ……421
第606図　SB1004平・断面図 ……422
第607図　SB1004出土石器 ……422
第608図　SB1005平・断面図 ……423
第609図　SB1005出土石器 ……423
第610図　SB1005出土土器 ……423
第611図　SB1006平・断面図 ……424
第612図　SB1006EH１平・断面図 ……425
第613図　SB1006出土土器 ……426
第614図　SB1006出土石器 ……426
第615図　SB1007平・断面図 ……427
第616図　SB1008平・断面図 ……428
第617図　SB1008出土土器 ……428
第618図　SB1009、SB1010平・断面図……429
第619図　SB1009出土土器 ……429
第620図　SB1009出土鉄器 ……429
第621図　SB1010出土土器 ……429
第622図　SB1011平・断面図 ……431
第623図　SB1011出土石器 ……431
第624図　SB1012平・断面図 ……432
第625図　SB1012出土土器 ……432
第626図　SB1012出土石器 ……432
第627図　SB1013平・断面図 ……433
第628図　SB1013出土土器 ……433
第629図　SB1014平・断面図 ……434
第630図　SB1014出土土器 ……434
第631図　SB1014出土石器 ……434
第632図　SB1016平・断面図 ……435
第633図　SB1016出土土器 ……435
第634図　SB1017平・断面図 ……436
第635図　SB1019平・断面図 ……437
第636図　SB1019出土土器 ……437
第637図　SB1021平・断面図……438
第638図　SB1021遺物出土状況図 ……439
第639図　SB1021出土土器 ……440
第640図　SB1021出土石器 ……440
第641図　SB1021出土鉄器 ……440
第642図　SB1022平・断面図 ……441
第643図　SB1023平・断面図 ……441
第644図　SB1022出土土器 ……441
第645図　SB1024平・断面図 ……443
第646図　SB1024出土石器 ……443
第647図　SB1024出土土器 ……443
第648図　SB1025平・断面図 ……444
第649図　SB1025出土土器 ……444
第650図　SD1003平・断面図 ……445
第651図　SD1003出土土器 ……446
第652図　SD1003出土石器 ……447
第653図　SD1003出土鉄器 ……447
第654図　SD1004平・断面図 ……448
第655図　SD1004出土土器 ……448
第656図　SD1004出土鉄器 ……448
第657図　SD1006出土鉄器 ……448
第658図　SD1004出土石器 ……449
第659図　SD1019平・断面図 ……450
第660図　SD1019出土土器 ……450
第661図　SD1020平・断面図 ……451
第662図　SD1020出土土器 ……451
第663図　SD1020出土石器 ……451
第664図　SD1031平・断面図 ……452
第665図　SD1032平・断面図(1) ……453
第666図　SD1032平・断面図(2) ……454
第667図　SD1031出土土器 ……454
第668図　SD1032出土鉄器 ……454
第669図　SD1036平・断面図 ……455
第670図　SD1036出土石器 ……455
第671図　SD1037平・断面図 ……457
第672図　SD1037出土土器 ……458
第673図　SD1037出土石器 ……458
第674図　SD1037出土鉄器 ……458
第675図　SD1038、SD1039、SD1044、SD1048平・断面図……459

第676図　SD1039遺物出土状況図 ……460
第677図　SD1039出土土器 ……461
第678図　SD1039出土石器 ……462
第679図　SD1039出土鉄器 ……463
第680図　SD1040平・断面図 ……463
第681図　SD1040出土土器 ……463
第682図　SD1041平・断面図 ……464
第683図　SD1041出土石器 ……464
第684図　SD1042、SD1043平・断面図 ……465
第685図　SD1042出土土器 ……465
第686図　SD1043出土土器 ……465
第687図　SD1044出土石器 ……465
第688図　SD1048出土土器(1) ……466
第689図　SD1048出土土器(2) ……467
第690図　SD1048出土石器 ……468
第691図　SD1048出土鉄器 ……468
第692図　SD1060平・断面図 ……469
第693図　SD1062平・断面図 ……469
第694図　SD1060出土土器 ……470
第695図　SD1062出土土器 ……470
第696図　SD1064平・断面図 ……471
第697図　SD1064出土土器 ……471
第698図　SD1072平・断面図 ……472
第699図　SD1073平・断面図 ……472
第700図　SD1072出土土器 ……473
第701図　SD1073出土土器 ……473
第702図　SD1078平・断面図 ……473
第703図　SD1078出土土器 ……474
第704図　SD1081平・断面図 ……475
第705図　SD1081出土土器 ……475
第706図　SD1084平・断面図 ……476
第707図　SD1084出土石器 ……476
第708図　SD1088、SD1089平・断面図 ……477
第709図　SD1088出土土器 ……478
第710図　SD1089出土土器 ……478
第711図　SD1090平・断面図 ……479
第712図　SD1095平・断面図 ……479
第713図　SD1090出土土器 ……479
第714図　SD1095出土土器 ……479
第715図　SE1001平・断面図 ……480
第716図　SE1001出土土器 ……481
第717図　SE1001出土石器 ……481
第718図　SG1001平・断面図 ……482
第719図　SG1001出土土器 ……482
第720図　SK1002平・断面図 ……483
第721図　SK1002出土土器 ……483
第722図　SK1014平・断面図 ……483
第723図　SK1014出土石器 ……483
第724図　SK1015平・断面図 ……484
第725図　SK1015出土土器 ……484
第726図　SK1038平・断面図 ……484
第727図　SK1038出土土器 ……484
第728図　SK1062平・断面図 ……485
第729図　SK1052出土鉄器 ……485
第730図　SK1062出土土器 ……485
第731図　SK1071出土鉄器 ……486
第732図　SK1078出土鉄器 ……486
第733図　SK1080出土鉄器 ……486
第734図　SK1111平・断面図 ……487
第735図　SK1111出土土器 ……487
第736図　SK1162平・断面図 ……488
第737図　SK1162出土土器 ……488
第738図　SK1167平・断面図 ……488
第739図　SK1167出土土器 ……489
第740図　SK1184平・断面図 ……489
第741図　SK1184出土石器 ……490
第742図　SK1202出土石器 ……490
第743図　SK1207平・断面図 ……492
第744図　SK1207出土土器 ……492
第745図　SK1212平・断面図 ……493
第746図　SK1212出土土器 ……493
第747図　SK1212出土石器 ……493
第748図　SK1214平・断面図 ……494
第749図　SK1214出土土器 ……494
第750図　SK1218平・断面図 ……494
第751図　SK1218出土石器 ……494

第752図　SK1231平・断面図 ……495
第753図　SK1231出土土器 ……495
第754図　SK1235平・断面図 ……495
第755図　SK1235出土土器 ……495
第756図　SK1236平・断面図 ……496
第757図　SK1236出土土器 ……496
第758図　SK1244出土土器 ……496
第759図　SK1244平・断面図 ……497
第760図　SK1253平・断面図 ……498
第761図　SK1253出土土器 ……498
第762図　SK1255平・断面図 ……498
第763図　SK1255出土土器 ……498
第764図　SK1257平・断面図 ……499
第765図　SK1257出土土器 ……499
第766図　SK1267出土鉄器 ……499
第767図　SK1283平・断面図、遺物出土状況図 …501
第768図　SK1283出土土器 ……502
第769図　SK1283出土石器 ……502
第770図　SK1285平・断面図 ……503
第771図　SK1285出土土器 ……503
第772図　SK1289平・断面図 ……503
第773図　SK1289出土土器 ……503
第774図　SK1294平・断面図 ……504
第775図　SK1294出土土器 ……504
第776図　SK1296平・断面図 ……505
第777図　SK1296出土土器 ……505
第778図　SK1299平・断面図 ……506
第779図　SK1299出土石器 ……506
第780図　SKI299出土鉄器 ……507
第781図　SK1300平・断面図 ……507
第782図　SK1300出土土器 ……508
第783図　SK1314平・断面図 ……508
第784図　SK1314出土土器 ……508
第785図　SK1315平・断面図 ……509
第786図　SK1315出土土器 ……509
第787図　SK1325平・断面図 ……509
第788図　SK1325出土土器 ……509
第789図　SP1051平・断面図 ……510
第790図　SP1005出土鉄器 ……510
第791図　SP1051出土土器 ……510
第792図　SP1060、SP1061平・断面図 ……511
第793図　SP1060出土土器 ……511
第794図　SP1061出土土器 ……511
第795図　SP1067平・断面図 ……512
第796図　SP1067出土土器 ……512
第797図　SP1071平・断面図 ……512
第798図　SP1071出土土器 ……512
第799図　SP1136平・断面図 ……513
第800図　SP1127出土鉄器 ……513
第801図　SP1136出土土器 ……513
第802図　SP1158平・断面図 ……514
第803図　SP1158出土土器 ……514
第804図　SP1159平・断面図 ……514
第805図　SP1159出土石器 ……514
第806図　SP1301平・断面図 ……515
第807図　SP1301出土土器 ……515
第808図　SP1332平・断面図 ……515
第809図　SP1332出土土器 ……515
第810図　SP1759平・断面図 ……516
第811図　SP1759出土土器 ……516
第812図　SP1782平・断面図 ……516
第813図　SP1782出土石器 ……516
第814図　SP1790平・断面図 ……517
第815図　SP1790出土土器 ……517
第816図　SP1862平・断面図 ……517
第817図　SP1862出土土器 ……517
第818図　SP1934平・断面図 ……518
第819図　SP1934出土土器 ……518
第820図　SP2042新平・断面図 ……518
第821図　SP2042新出土石器 ……518
第822図　SP2046新出土鉄器 ……519
第823図　SP2065新出土鉄器 ……519
第824図　SP2082新平・断面図 ……520
第825図　SP2082新出土土器 ……520
第826図　SP2082新出土石器 ……520
第827図　SP2102新平・断面図 ……521

第828図　SP2102新出土土器 ……521
第829図　SP2121新平・断面図 ……521
第830図　SP2121新出土土器 ……521
第831図　SP2139新平・断面図 ……522
第832図　SP2171新平・断面図 ……522
第833図　SP2139新出土石器 ……522
第834図　SP2171新出土土器 ……523
第835図　SP2192新平・断面図 ……524
第836図　SP2192新出土石器 ……524
第837図　SP2226新平・断面図 ……524
第838図　SP2226新出土土器 ……524
第839図　SP2229新平・断面図 ……525
第840図　SP2229新出土土器 ……525
第841図　SP2312新平・断面図 ……525
第842図　SP2312新出土土器 ……525
第843図　SP2394新出土石器 ……526
第844図　SP2422新平・断面図 ……526
第845図　SP2422新出土土器 ……526
第846図　SP2454新平・断面図 ……527
第847図　SP2454新出土土器 ……527
第848図　SP2488新平・断面図 ……527
第849図　SP2488新出土土器 ……527
第850図　SP2505新平・断面図 ……528
第851図　SP2505新出土石器 ……528
第852図　SP2511新平・断面図 ……529
第853図　SP2523新平・断面図 ……529
第854図　SP2511新出土土器 ……529
第855図　SP2523新出土土器 ……529
第856図　SP2524新平・断面図 ……530
第857図　SP2524新出土土器 ……530
第858図　SP2526新平・断面図 ……530
第859図　SP2526新出土土器 ……530
第860図　SP2528新平・断面図 ……531
第861図　SP2528新出土土器 ……531
第862図　SP2541新平・断面図 ……531
第863図　SP2541新出土土器 ……531
第864図　SP2553新平・断面図 ……532
第865図　SP2553新出土土器 ……532
第866図　SP2571新平・断面図 ……532
第867図　SP2571新出土土器 ……532
第868図　SP2575新平・断面図 ……533
第869図　SP2575新出土土器 ……533
第870図　SP2583新平・断面図 ……534
第871図　SP2583新出土鉄器 ……534
第872図　SP2585新平・断面図 ……534
第873図　SP2585新出土土器 ……534
第874図　SP2593新平・断面図 ……535
第875図　SP2593新出土土器 ……535
第876図　SP2608新平・断面図 ……536
第877図　SP2608新出土土器 ……536
第878図　SP2610新出土鉄器 ……536
第879図　SP2621新平・断面図 ……537
第880図　SP2621新出土土器 ……537
第881図　SP2629新平・断面図 ……537
第882図　SP2629新出土石器 ……537
第883図　SP2643新平・断面図 ……538
第884図　SP2643新出土土器 ……538
第885図　SP2645新平・断面図 ……539
第886図　SP2645新出土土器 ……539
第887図　SP2657新平・断面図 ……539
第888図　SP2657新出土土器 ……539
第889図　SP2662新平・断面図 ……540
第890図　SP2662新出土土器 ……540
第891図　SP2671新平・断面図 ……541
第892図　SP2671新出土土器 ……541
第893図　SP2678新平・断面図 ……542
第894図　SP2678新出土土器 ……542
第895図　SP2679新平・断面図 ……542
第896図　SP2679新出土土器 ……542
第897図　SP2768新平・断面図 ……543
第898図　SP2768新出土石器 ……543
第899図　SP2805新平・断面図 ……543
第900図　SP2805新出土土器 ……543
第901図　SP2806新平・断面図 ……544
第902図　SP2806新出土土器 ……544
第903図　SP2807新平・断面図 ……544

第904図　SP2807新出土土器 ……544
第905図　SX1001平・断面図 ……545
第906図　SX1001出土石器 ……546
第907図　SX1001出土鉄器 ……546
第908図　SX1002平・断面図 ……547
第909図　SX1003、SX1004平・断面図 ……548
第910図　SX1002出土土器 ……549
第911図　SX1003出土土器 ……549
第912図　SX1004出土土器 ……549
第913図　SX1004出土鉄器 ……549
第914図　SX1004出土石器(1) ……550
第915図　SX1004出土石器(2) ……551
第916図　SX1004出土石器(3) ……552
第917図　SX1005平・断面図 ……553
第918図　SX1005出土土器 ……553
第919図　SX1005出土鉄器 ……553
第920図　SX1015平・断面図 ……554
第921図　SX1015出土土器 ……555
第922図　SX1016平・断面図 ……556
第923図　SX1016出土土器 ……556
第924図　4区第1包含層出土土器……558
第925図　5・6区第1包含層出土土器……559
第926図　7区第1包含層出土土器(1) ……559
第927図　7区第1包含層出土土器(2) ……560
第928図　7区第1包含層出土土器(3) ……561
第929図　10区第1包含層出土土器(1) ……562
第930図　10区第1包含層出土土器(2) ……563
第931図　12区第1包含層出土土器(1) ……563
第932図　12区第1包含層出土土器(2) ……564
第933図　12区第1包含層出土土器(3) ……565
第934図　4・12区第1包含層出土遺物……566
第935図　SD2028出土土器 ……567

観察表目次

《第２分冊》

観察表凡例 ……657
遺構（第２遺構面） ……657
SA ……657
SB ……658
SD ……658
SK ……659
SP ……660
SR ……666
ST ……666
SX ……666
遺構（第１遺構面）
SA ……668
SB ……668
SD ……669
SE ……670
SG ……670
SK ……670
SP ……674
SX ……696
新旧遺構対応表（第１遺構面） ……697
〃　（第２遺構面） ……713
土器（第２遺構面） ……719
石器（　〃　） ……808
鉄器（　〃　） ……816
土器（第１遺構面） ……817
石器（　〃　） ……844
鉄器（　〃　） ……845

写真目次

原色１　SB 出土遺物
原色２　SB2037出土台石・玉類
原色３　SK・SR 出土遺物
原色４　SX2008出土壺
原色５　SX2017出土遺物

遺構１　SB2004遺物出土状況 (1) ……849
SB2004遺物出土状況 (2) ……849
SB2004遺物出土状況 (3) ……849
SB2004遺物出土状況 (4) ……849
SB2007遺物出土状況 (1) ……849
SB2007遺物出土状況 (2) ……849
SB2007遺物出土状況 (3) ……849
遺構２　SB2007遺物出土状況 (4) ……850
SB2007遺物出土状況 (5) ……850
SB2007遺物出土状況 (6) ……850
SB2007遺物出土状況 (7) ……850
SB2007遺物出土状況 (8) ……850
SB2007遺物出土状況 (9) ……850
SB2007遺物出土状況 (10) ……850
遺構３　SB2007完掘 (1) ……851
SB2007完掘 (2) ……851
SB2004掘り下げ ……851
遺構４　SB2012遺物出土状況・土層断面 (1) …852
SB2012遺物出土状況 ……852
SB2012遺物出土状況・土層断面 (2) …852
SB2012遺物出土状況・土層断面 (3) …852
SB2012EH・EK・EP 検出 (1) ……852
SB2012EH・EK・EP 検出 (2) ……852
SB2012EH・EK・EP 半掘 (1) ……852
SB2012EH・EK・EP 半掘 (2) ……852
遺構５　SB2015・2016遺物出土状況 (1) ……853
SB2016完掘 (1) ……853
SB2016完掘 (2) ……853
遺構６　SB2015・2016遺物出土状況 (2) ……854
SB2019遺物出土状況 ……854

SB2019完掘 ……854
SB2019EH・EP 完掘 ……854
SB2022検出状況 ……854
SB2019EH 完掘 ……854
SB2022遺物出土状況 (1) ……854
SB2022遺物出土状況 (2) ……854
遺構 7　SB2022完掘 ……855
SB2024完掘 (1) ……855
SB2024完掘 (2) ……855
遺構 8　SB2022SK・SH 土層断面 ……856
SB2022床面検出状況 ……856
SB2022完掘 (2) ……856
SB2024検出状況 ……856
SB2024遺物出土状況・EP検出状況 (1) …856
SB2024遺物出土状況・EP検出状況 (2) …856
SB2024EH 土層断面 ……856
SB2024EP 遺物出土状況 ……856
遺構 9　SB2025完掘 (1) ……857
SB2025半掘 (1) ……857
SB2025半掘 (2) ……857
遺構10　SB2024・2025遺構掘削・検出 ……858
SB2024遺物出土状況 ……858
SB2025掘削・検出 ……858
第 2 遺構面 SB2025付近検出 (1) ……858
第 2 遺構面 SB2025付近検出 (2) ……858
SB2025EH 検出 ……858
SB2025EH 断割検出状況 ……858
SB2025EH 土層断面 ……858
遺構11　SB2026EP 完掘 ……859
SB2026EH 完掘 ……859
SB2026EH・EP 完掘 ……859
遺構12　SB2026完掘 (1) ……860
SB2026完掘 (2) ……860
SB2026完掘 (3) ……860
遺構13　SB2026遺物出土状況 ……861
SB2026サヌカイト出土状況 ……861
SB2026遺構掘削状況 ……861
SB2026EP 検出状況 (1) ……861
SB2026EP 検出状況 (2) ……861
SB2026遺物出土状況・EP 検出状況 …861
SB2026EP 半掘・EH・EK 掘削 ……861
SB2026EH 掘削状況 ……861
遺構14　SB2026EH 土器出土状況 (1) ……862
SB2026EH 土器出土状況 (2) ……862
SB2026EP 完掘 (1) ……862
SB2026EP 完掘 (2) ……862
SB2026EP 完掘 (3) ……862
SB2026EP 完掘 (4) ……862
SB2026EP 完掘 (5) ……862
SB2026EK・EP 完掘 ……862
遺構15　SB2033完掘 ……863
SB2035完掘 (1) ……863
SK2043完掘 ……863
遺構16　SB2033EH 土器出土状況 (1) ……864
SB2033EH 土器出土状況 (2) ……864
SB2033土層断面 (1) ……864
SB2033土層断面 (2) ……864
SB2033土層断面 (3) ……864
SB2035EH 土器出土状況 ……864
SB2035炭化材検出状況 ……864
SB2035土層断面 (1) ……864
遺構17　SB2035土層断面 (2) ……865
SB2035土層断面 (3) ……865
SB2035完掘 (2) ……865
SK2043炭化物焼土 ……865
SK2043土層断面 (1) ……865
SK2043土層断面 (2) ……865
SK2043土層断面 (3) ……865
SK2043土層断面 (4) ……865
遺構18　SB2037EH 掘削 (1) ……866
SB2037EH 掘削 (2) ……866
SB2037EH 掘削 (3) ……866
遺構19　SB2037EH 断面 (1) ……867
SB2037EH 断面 (2) ……867
SB2037遺物出土状況 (1) ……867
SB2037EH 断面 (3) ……867

SB2037遺物出土状況(2) ……867
SB2037遺物出土状況(3) ……867
SB2037遺物出土状況(4) ……867
遺構20 SB2037遺物出土状況(5) ……868
SB2037鉄器(T4)出土状況……868
SB2037鉄滓出土状況 ……868
遺構21 SB2037完掘状況(1) ……869
SB2037完掘状況(2) ……869
遺構22 SB2039EH内土器出土状況 ……870
SB2039土器出土状況 ……870
SB2039完掘 ……870
遺構23 SD2006土層堆積状況(1) ……871
SD2006土層堆積状況(2) ……871
SD2006土器出土状況 ……871
SD2006石斧出土状況 ……871
SX2008遺物出土状況(1) ……871
SX2008遺物出土状況(2) ……871
SX2008遺物出土状況(3) ……871
SX2008完掘 ……871
遺構24 SK2109遺物出土状況 ……872
SK2109完掘(1) ……872
SK2109完掘(2) ……872
遺構25 SR2002遺物出土状況(1) ……873
SR2002遺物出土状況(2) ……873
SR2002遺物出土状況(3) ……873
SR2002遺物出土状況(4) ……873
SR2002遺物出土状況(5) ……873
SR2002遺物出土状況(6) ……873
SR2002遺物出土状況(7) ……873
SR2002遺物出土状況(8) ……873
遺構26 SR2002遺物出土状況(9) ……874
SR2002遺物出土状況(10) ……874
SR2002遺物出土状況(11) ……874
SR2002遺物出土状況(12) ……874
SR2002遺物出土状況(13) ……874
SR2002遺物出土状況(14) ……874
SR2002遺物出土状況(15) ……874
SR2002遺物出土状況(16) ……874
遺構27 SR2002遺物出土状況(17) ……875
SR2002遺物出土状況(18) ……875
SR2002遺物出土状況(19) ……875
SR2002遺物出土状況(20) ……875
SR2002遺物出土状況(21) ……875
SR2002遺物出土状況(22) ……875
SR2002遺物出土状況(23) ……875
SR2002遺物出土状況(24) ……875
遺構28 SR2002遺物出土状況(25) ……876
SR2002遺物出土状況(26) ……876
SR2002遺物出土状況(27) ……876
SR2002遺物出土状況(28) ……876
SR2002土層堆積状況(1) ……876
SR2002土層堆積状況(2) ……876
SR2002土層堆積状況(3) ……876
SR2002土層堆積状況(4) ……876
遺構29 SR2002土層堆積状況(5) ……877
SR2002弥生流路(1) ……877
SR2002弥生流路面(1) ……877
SR2002弥生流路(2) ……877
SR2002弥生流路面(2) ……877
SR2002弥生流路面(3) ……877
SR2002弥生流路面(4) ……877
SR2002弥生流路面(5) ……877
遺構30 SR2003土器だまり(1) ……878
SR2003土器だまり(2) ……878
SR2003土器だまり(3) ……878
SR2003土器だまり(4) ……878
SR2003土器だまり(5) ……878
SR2003土器だまり(6) ……878
SR2003土器だまり(7) ……878
SR2003遺物出土状況(1) ……878
遺構31 SR2003遺物出土状況(2) ……879
SR2003遺物出土状況(3) ……879
SR2003遺物出土状況(4) ……879
SR2003遺物出土状況(5) ……879
SR2003遺物出土状況(6) ……879
SR2003遺物出土状況(7) ……879

SR2003遺物出土状況(8) ……879
SR2003遺物出土状況(9) ……879
遺構32 SR2003遺物出土状況(10) ……880
SR2003遺物出土状況(11) ……880
SR2003遺物出土状況(12) ……880
SR2003遺物出土状況(13) ……880
SR2003遺物出土状況(14) ……880
SR2003遺物出土状況(15) ……880
SR2003遺物出土状況(16) ……880
SR2003遺物出土状況(17) ……880
遺構33 SR2003土層堆積状況(1) ……881
SR2003土層堆積状況(2) ……881
SR2003土層堆積状況(3) ……881
SR2003土層堆積状況(4) ……881
SR2003土層堆積状況(5) ……881
SR2003土層堆積状況(6) ……881
SR2003土層堆積状況(7) ……881
SR2003土層堆積状況(8) ……881
遺構34 SX2004半掘(1) ……882
SX2004完掘(1) ……882
SX2004完掘(2) ……882
遺構35 SX2004遺物出土状況(1) ……883
SX2004遺物出土状況(2) ……883
SX2004遺物出土状況(3) ……883
SX2004遺物出土状況(4) ……883
SX2004半掘(2) ……883
SX2004半掘(3) ……883
SX2004半掘(4) ……883
SX2004土層断面……883
遺構36 SX2017遺物出土状況(1) ……884
SX2017遺物出土状況(2) ……884
SX2017遺物出土状況(3) ……884
遺構37 SX2017ヘラ描土器出土状況(1) ……885
SX2017ヘラ描土器出土状況(2) ……885
SX2017ヘラ描土器出土状況(3) ……885
SX2017骨片出土状況……885
SX2017断面(1) ……885
SX2017断面(2) ……885
SX2017断面(3) ……885
SX2017断面(4) ……885
遺構38 SX2017遺物出土状況(4) ……886
SX2017遺物出土状況(5) ……886
SX2017遺物出土状況(6) ……886
SX2017遺物出土状況(7) ……886
SX2017遺物出土状況(8) ……886
SX2017遺物出土状況(9) ……886
SX2017遺物出土状況(10) ……886
SX2017遺物出土状況(11) ……886
遺構39 10区第1遺構面完掘状況（北から） …887
10区第1遺構面完掘状況（南から） …887
遺構40 SA1014完掘(1) ……888
SA1014完掘(2) ……888
SA1015完掘(1) ……888
遺構41 SA1015完掘(2) ……889
SA1022完掘(1) ……889
SA1022完掘(2) ……889
遺構42 SA1014掘り下げ……890
SA1013掘り下げ……890
SA1015（鉄器）出土状況……890
SA1015掘り下げ(1) ……890
SA1022①土器出土状況……890
SA1015掘り下げ(2) ……890
SA1022遺物……890
SA1022完掘(3) ……890
遺構43 SA1038EP 完掘(1)……891
SA1038EP 完掘(2)……891
SA1038完掘(1) ……891
SA1038完掘(2) ……891
SA1026EP 土器出土状況 ……891
SA1024・1025EP 半掘(1)……891
SA1024・1025EP 半掘(2)……891
SA1025EP 半掘 ……891
遺構44 SA1038遺構検出状況……892
SA1038EP 半掘(1)……892
SA1038EP 半掘(2)……892
SA1038EP 半掘(3)……892

SA1038EP 半掘 (4)……892
SA1038EP 半掘 (5)……892
SA1038EP 半掘 (6)……892
SA1038EP 半掘 (7)……892
遺構45　SA1038EP 半掘 (8)……893
SA1038EP 半掘 (9)……893
SA1038EP 半掘 (10)……893
SA1038EP 半掘 (11)……893
SA1038EP 半掘 (12)……893
SA1038EP 半掘 (13)……893
SA1038EP 完掘 (3)……893
SA1038EP 完掘 (4)……893
遺構46　SA1038EP 完掘 (5)……894
SA1038EP 完掘 (6)……894
SA1038EP 完掘 (7)……894
SA1038EP 完掘 (8)……894
SA1038EP 完掘 (9)……894
SA1038EP 完掘 (10)……894
SA1038EP 完掘 (11)……894
SA1038EP 完掘 (12)……894
遺構47　SB1006完掘状況……895
SB1006EH 完掘状況……895
遺構48　SB1021全景遺物出土状況……896
SB1021焼土ブロック・炭化物 (1)……896
SB1021竈セクション主軸直交……896
遺構49　SB1021焼土ブロック・炭化物 (2)……897
SB1021焼土ブロック・炭化物 (3)……897
SB1021焼土ブロック・炭化物 (4)……897
SB1021焼土ブロック・炭化物 (5)……897
SB1021竈断面 (1)……897
SB1021竈断面 (2)……897
SB1021竈断面 (3)……897
SB1021竈断面 (4)……897
遺物 1　壺 (1)……898
遺物 2　壺 (2)……899
遺物 3　壺 (3)……900
遺物 4　壺 (4)……901
遺物 5　壺 (5)……902
遺物 6　壺 (6)……903
遺物 7　壺 (7)……904
遺物 8　壺 (8)……905
遺物 9　壺 (9)……906
遺物10　壺 (10)……907
遺物11　壺 (11)……908
遺物12　壺 (12)……909
遺物13　壺 (13)……910
遺物14　壺 (14)……911
遺物15　壺 (15)……912
遺物16　壺 (16)……913
遺物17　甕 (1)……914
遺物18　甕 (2)……915
遺物19　甕 (3)……916
遺物20　甕 (4)……917
遺物21　甕 (5)……918
遺物22　甕 (6)……919
遺物23　甕 (7)……920
遺物24　鉢 (1)……921
遺物25　鉢 (2)……922
遺物26　鉢 (3)……923
遺物27　高杯 (1)……924
遺物28　高杯 (2)……925
遺物29　高杯 (3)……926
遺物30　器台・蓋 (1)……927
遺物31　蓋 (2)・ミニチュア土器……928
遺物32　紡錘車・土錘……929
遺物33　石鏃 (1)……930
遺物34　石鏃 (2)・楔形石器 (1)……931
遺物35　楔形石器 (2)・石錘・石庖丁・剥片……932
遺物36　石斧 (1)……933
遺物37　石斧 (2)……934
遺物38　敲石・砥石・紡錘車・石核……935
遺物39　壺・甕・竈……936
遺物40　甑・羽釜・瓶・擂鉢……937
遺物41　杯・蓋 (1)……938
遺物42　杯・蓋 (2)……939
遺物43　椀・碗……940

遺物44　皿 ……941
遺物45　土錘(1)……942
遺物46　土錘(2)・紡錘車？・土馬・石帯……943
遺物47　瓦(1)……944
遺物48　瓦(2)……945
遺物49　瓦(3)……946
遺物50　瓦(4)・磚……947

付図目次

付図1 矢野遺跡Ⅰ郡第1遺構面遺構配置図　(小グリッド名付き　S=1/400)
付図2 矢野遺跡Ⅰ郡第1遺構面遺構配置図　(遺構番号付き　S=1/400)
付図3 矢野遺跡Ⅰ郡第1遺構面遺構配置図　(掘立柱建物跡番号付き　S=1/400)
付図4 矢野遺跡Ⅰ郡第2遺構面遺構配置図　(小グリッド名付き　S=1/400)
付図5 矢野遺跡Ⅰ郡第2遺構面遺構配置図　(遺構番号付き　S=1/400)

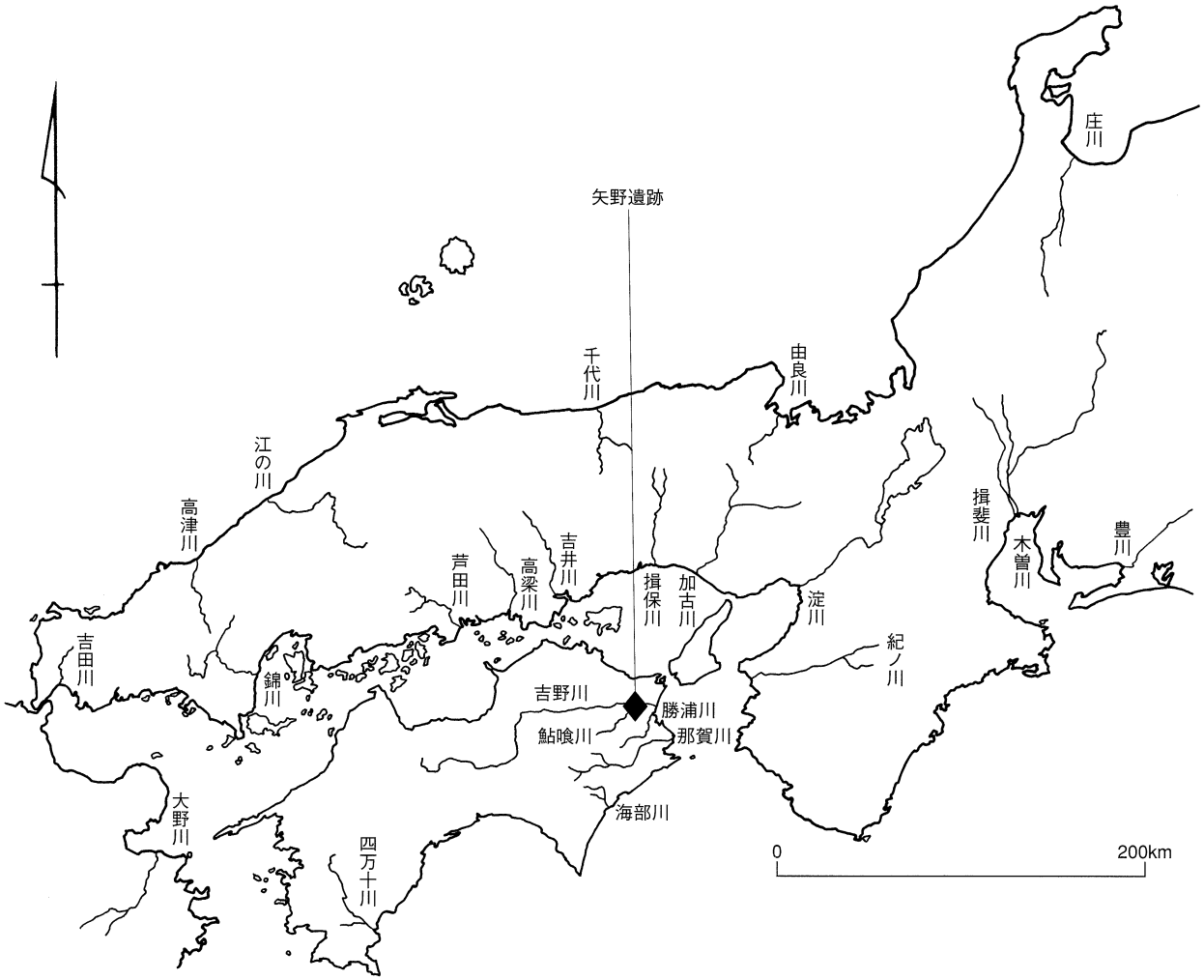
Ⅰ　調査と整理の経緯

1　調査に至る経緯

一般国道192号徳島南環状道路の計画区間は、徳島市国府町観音寺地区から徳島市八万町大野地区に至るものである。昭和60年度に都市計画が決定、昭和61年度に事業化され、平成元年度から用地取得に着手した。

徳島県教育委員会文化課（以下、「県教委文化課」と略称）では平成２年度に建設省徳島工事事務所と当該路線全域に埋蔵文化財が存在することを前提とした事前協議を行った。ただし、遺跡の遺存状況、掘削深度、調査遺構面数に関する情報を欠いていた。そこで、平成３年度に県教委文化課が矢野地区約600m の間に試掘調査が実施し、その結果を踏まえて徳島県内では極めて重要な遺跡であるという共通認識を得た。そこで、道路建設予定地内はすべて発掘調査を実施し、遺跡の記録保存の徹底を図ることを確認した。

以上のような協議を経て、遺構面が複数存在し、遺物・遺物包含層厚が地点により相当量見込まれるため、平成４年度から、事業は財団法人徳島県埋蔵文化財センター（以下センター）が県教委から受託して行うこととなった。そして県教委文化課とセンターが発掘調査計画を策定した。この計画で道路建設予定地内を観音寺地区・矢野地区・延命地区に分割することとし、用地取得の進んでいる矢野地区から発掘調査を開始した。また、平成５年度から７年度にかけては調査区が広範にわたるため２分割した



第１図　矢野遺跡位置図

発注を行った。本報告書では、調査で検出された旧河道を境界線として、以北を掲載している。年次ごとの調査区と本書における調査区名とを第６図に示している。

なお、この間の詳細は『矢野遺跡（Ⅰ）』（徳島県埋蔵文化財センター調査報告書第33集）を参照されたい。

2　調査の経緯

発掘調査は、平成４年度に矢野遺跡の中央地点付近から着手され、以降南北に新たに調査区を設定する形で進行している。調査地の遺跡は、平安時代を中心とする古代の第１遺構面と、弥生時代中期～古墳時代初頭を中心とする第２遺構面とで基本的に構成されている。古代の遺構の拡がりには粗密があり、遺構検出や遺物出土状況には偏りがある。一方で、弥生時代の遺構では多数の竪穴住居跡を中心として広範囲に拡がる。集落域内部より突線鈕式の銅鐸が埋納状態で検出されるなど、徳島県下で有数の拠点的な集落であることが判明した。

調査が進展するにつれて、道路計画地内の遺構の配置状況がより明かとなり、集落のグルーピングの可能性が指摘されることとなった。具体的には、集落内を大きな自然流路（矢野遺跡（Ⅰ）：SR2001）が横切っていることから、この流路を境としてその以北を便宜的に「矢野遺跡Ⅰ群」・「Ⅰ群」、以南を「矢野遺跡Ⅱ群」・「Ⅱ群」と呼称している。遺跡の全体像が把握されていない現状では、最適な呼称であるか疑問は残るが、集落のおおよその範囲や位置関係を示すあくまで便宜的な用法に限り、以下の本文中においても使用する。

発掘調査期間中には、一般市民を対象とする現地説明会を実施して調査成果の紹介につとめた。開催日程は以下の通り（カッコ内は参加人数）。

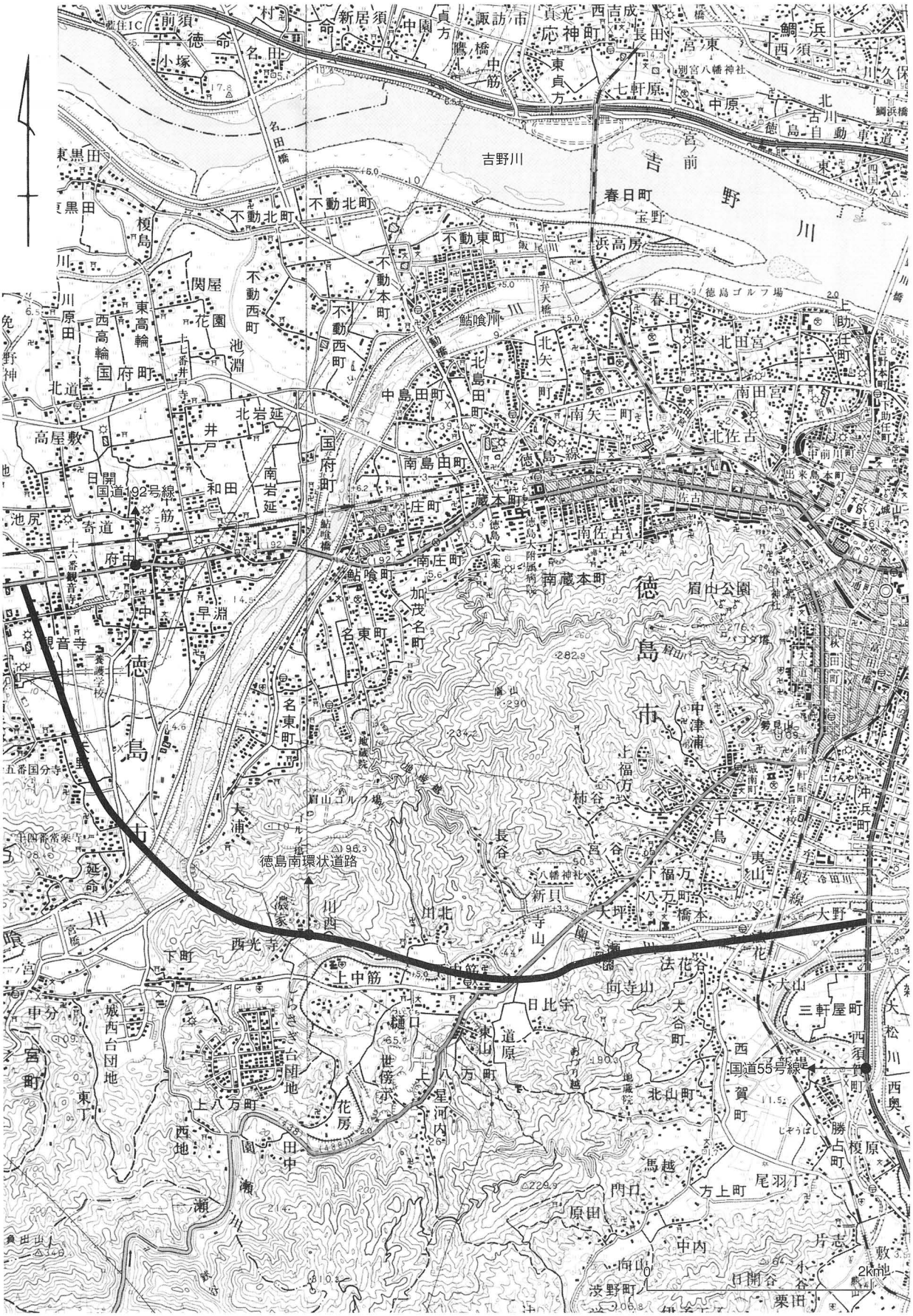
平成５年度：平成６年１月22日（200名）
平成６年度：平成６年10月29日（250名）
平成７年度：平成８年２月17日（100名）。

ここにあげた以外にも、徳島県立埋蔵文化財総合センターにおける速報展示会・成果報告会などにおいても、矢野遺跡の成果を紹介する機会を設けた。

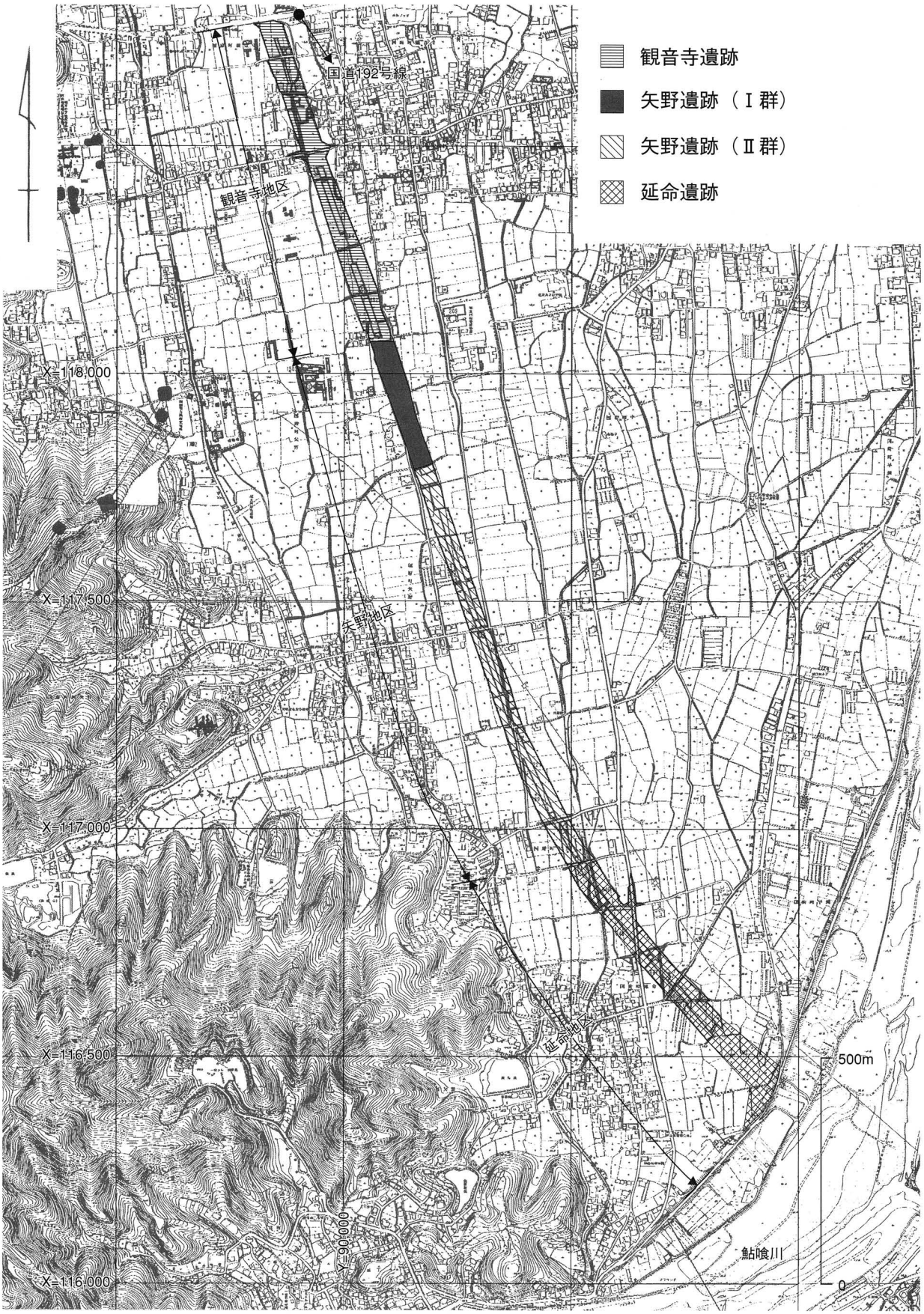
3　発掘調査の方法

発掘調査に際しては、安全・労務・工程の管理を民間業者に委託する工事請負方式が採用した。この手法は徳島県においては、平成元年に行われた四国縦貫自動車道関係の調査に採用され、以後の調査でも断続的に発注が行われていた。南環状道路関係の調査においても、以後平成10年度に至るまで継続的に実施された。また、表土層・無遺物層の掘削時などへの機械力の導入や、航空測量による図化を行うことによって、精度の向上・省力化・調査のスピードアップに努めた。

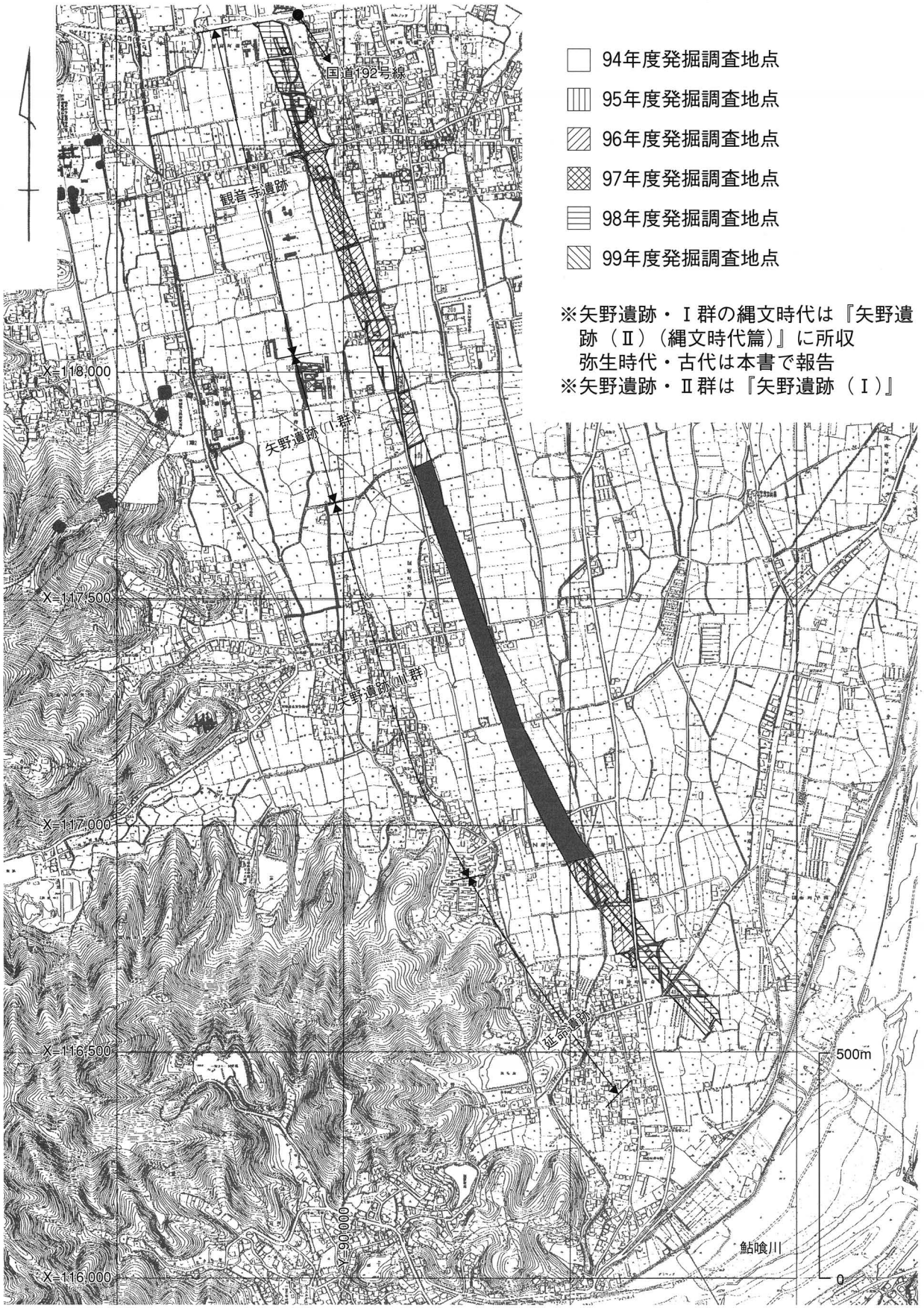
対象とする調査は６年間をかけて実施された。年次ごとに調査区名を設定し、遺構番号もそれに準じている。『徳島県埋蔵文化財センター年報』などの中間報告などで使用されていたものであるが、本報告書では、一群全体を包括する調査区の名称・遺構番号を新たに割り振っている（調査区の対応関係は第４図において図示）。



第２図　一般国道192号徳島南環状道路　路線図



第３図　徳島南環状道路　地区割図



第４図　徳島南環状道路　年度別調査地区

また、調査する地点の表示には一定の規則性を持たせた呼称をつける必要性から、平成５年度に大・中・小の三種のグリッドを設定し、調査区全体を覆うことにした。設定したグリッドは第Ⅳ座標系による国土座標を基準とするものである。

まず一辺を500m とするグリッドで区切り、これを大グリッドと呼ぶ。具体的には、国土座標のX＝116,000、Y＝89,500の地点を大グリッド南西隅の原点とした。そして、この原点から一辺500m 四方のグリッドをLocation-A-1グリッドと呼び、Loc.A1と略記することにした。さらに、このLoc.A1から東隣にある一辺500m 四方のグリッドをLoc.A2、北隣にあるグリッドをLoc.B1、すなわち、Loc.A1から東へ500m ごとにLoc.A1、Loc.A2、Loc.A3……とし、Loc.A1から北へ500m ごとにLoc.A1、Loc.B1、Loc.C1……と表記する（第５図上）。つぎに、この大グリッドを、一辺が100m 四方の方眼で細かく東西５・南北５に分割し、この100m 四方の方眼１つを中グリッドと呼ぶ。この中グリッドは、ギリシャ文字とローマ数字の組み合わせで表現し、大グリッドを呼んだ場合と同じ方法で、原点から100m 四方の中グリッドを、Loc.A1・αⅠと表記し、東へ100m ごとにLoc.A1・αⅡ、Loc.A1・αⅢ……とし、北へ百ｍごとにLoc.A1・βⅠ、Loc.A1・γⅠ……と表記する（第５図下左）。

そして、さらにこの中グリッドを、一辺が５ｍ四方の方眼で細かく400個（東西20、南北20）に分割し、この５ｍ四方の方眼一つを小グリッドと呼ぶ。この小グリッドはアルファベット小文字とアラビア数字の組み合わせで表現することにし、大・中グリッドを呼んだ場合と同じ方法で、原点から５ｍ四方の小グリッドを、Loc.A1・αⅠ・A-1と表記し、東へ５ｍごとにLoc.A1・αⅠ・A-2……、北へ５ｍごとにLoc.A1・αⅠ・B-1、Loc.A1・αⅠ・C-1……、と表記する（第５図下右）。

本報告書では折に触れ、大・中・小のグリッドや国土座標を併用しながら調査地点や遺構・遺物の位置情報を表現している。

遺構番号は調査年度・調査区ごとに、センターの定める略記号を用いて表示する。1000番台を第１遺構面に、2000番台を第２遺構面に当てはめる。

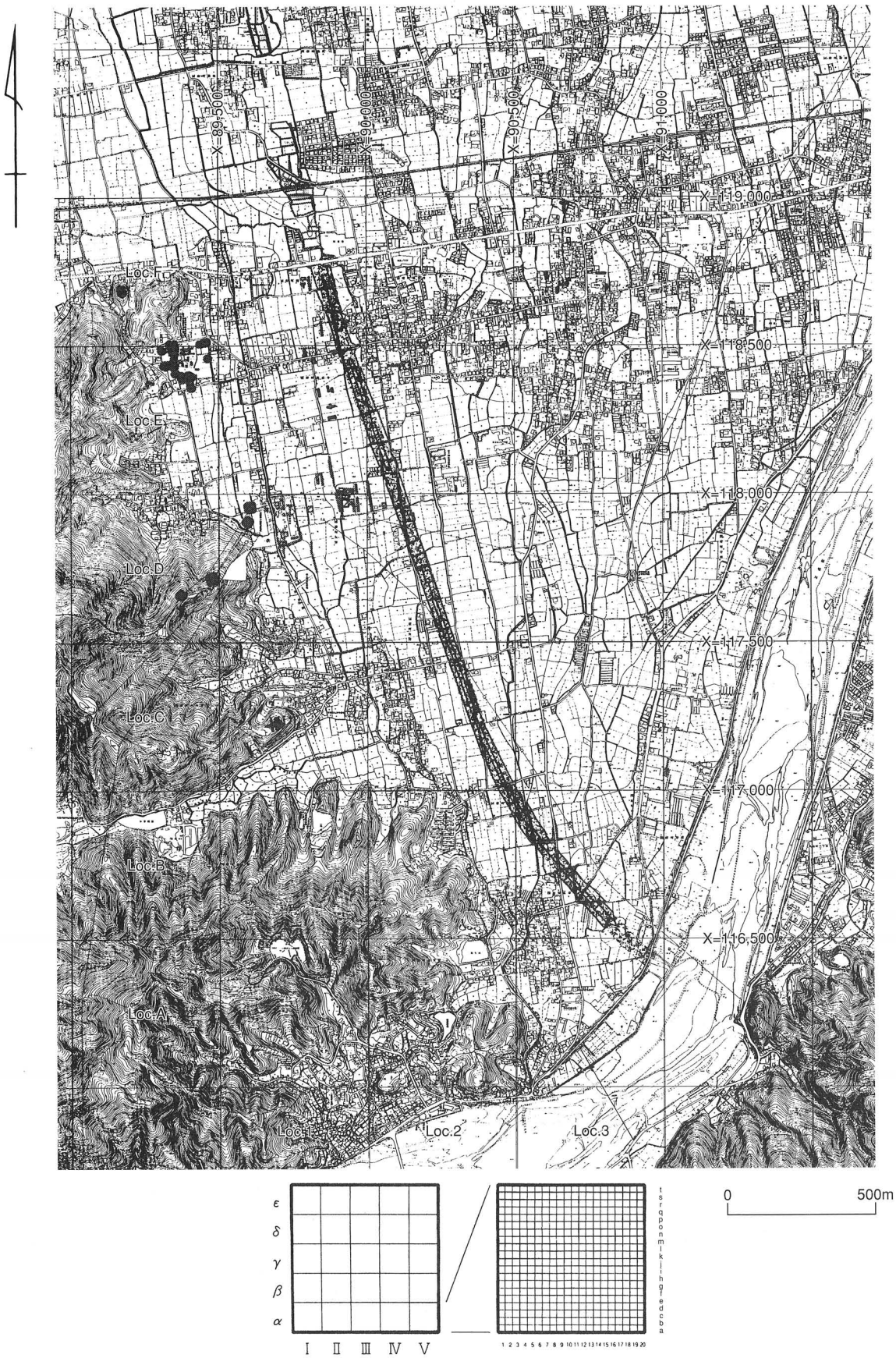
4　整理作業の方法と経過

矢野遺跡の整理作業は、平成７年度に開始された。当時発掘調査そのものが継続中であり、その全体計画も不透明な状態ではあった。作業歩掛は他の実施された実績に基づき、遺物コンテナ１箱170点換算で、１作業班が１年間に140箱のコンテナの作業を完結させるとするものである。

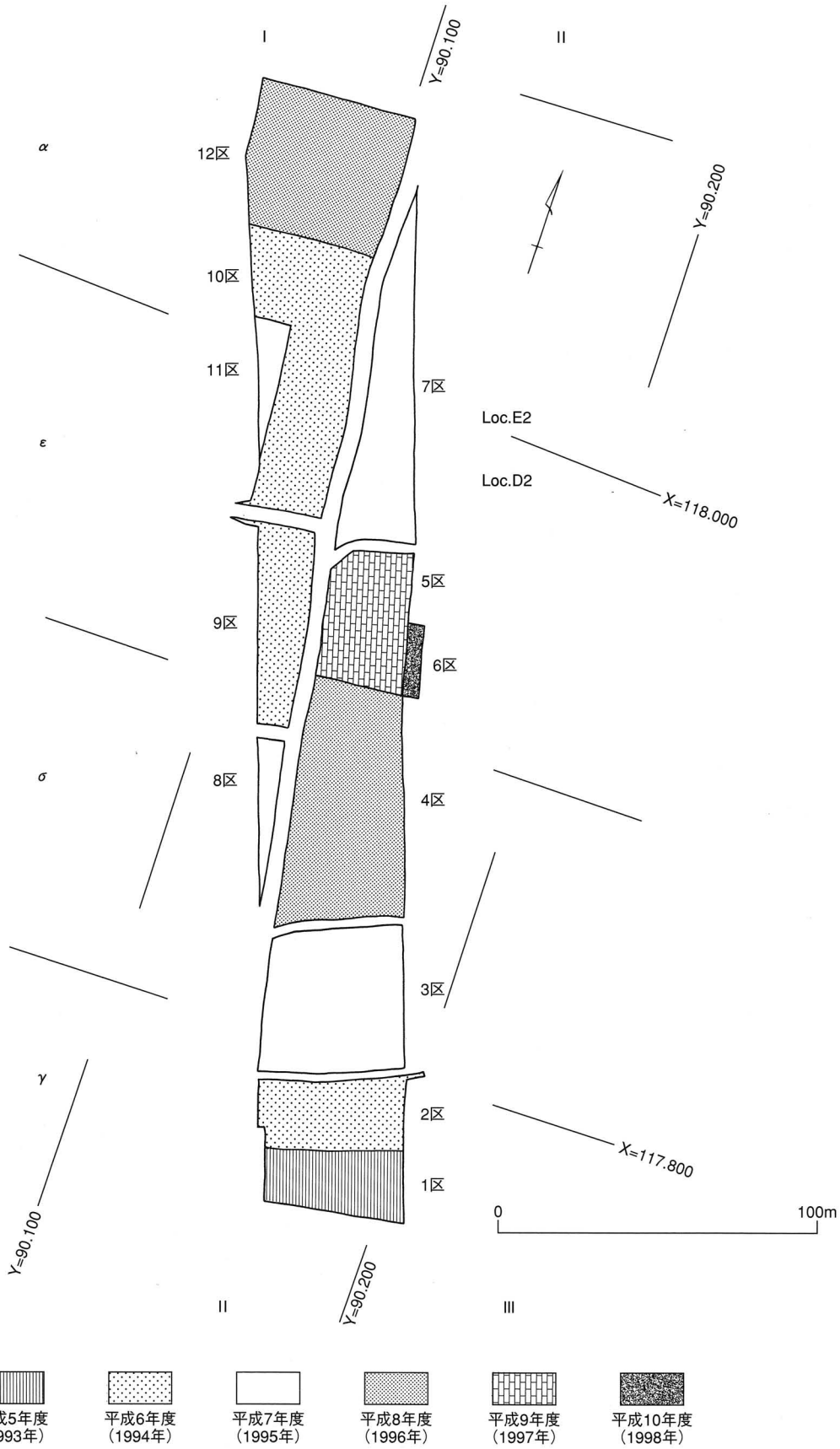
当初作業の対象となったのは、調査の蓄積の進む矢野遺跡の南半（Ⅱ群）である。調査の進展と整理作業の課程においても、先述した集落単位に基づいた報告書作成計画を策定し、矢野遺跡Ⅱ群の作業を先行させることとした。『矢野遺跡（Ⅰ）』は、Ⅱ群の成果をまとめたものである。

矢野遺跡Ⅰ群の中に含まれる遺跡の構成年代は主として３つあり、縄文時代・弥生時代・奈良～平安時代である。本来はそれぞれが独立すべき内容であるが、検出される遺構の面としての分離性なども考慮して、報告書作成の工程を縄文時代と弥生・奈良～平安時代に二分し、それぞれを別個の報告書として作成することにした。縄文時代の成果については『矢野遺跡（Ⅱ）』（徳島県埋蔵文化財センター調査報告書第44集）として平成14年度に刊行した。本報告書は、弥生時代・奈良～平安時代を対象とした「弥生・古代篇」である。

弥生・古代篇の整理作業は平成12年度から実施された。途中、他事業との関連から事業計画の見直し



第５図　一般国道192号南環状道路の遺跡とグリットの対応



第6図　矢野遺跡の各年次の調査区の配置

を図り、結果としては平成17年度までが作業期間に充てられることとなった。

整理作業の流れは、洗浄・注記・接合・復元の工程を通じて図化遺物の抽出を行い、図化されない遺物についても破片ごとの特徴に応じて計数を行った。遺物の図化に際しては、形状をとどめる資料の豊富なことから、形態・製作技法・使用痕などの遺物の特徴が理解できるように努めた。遺物図は製図ペンによる浄書後に挿図図版に作成した。同様に遺構や土層などの図面も浄書・図版化を行った。土器・石器の一部については写真撮影を行い、遺構や発掘時の状況を示す写真とともに写真図版として構成した。遺物の図化と並行して遺物観察表を作成した。遺構図は調査時に作成した図面・写真、空撮による図面・写真を基に住居や溝などの種類に応じて掲載の有無・挿図としての縮尺を検討し、挿図図版として構成した。遺構挿図は平面図＋土層断面図を基本とし、遺構の状況によっては遺物出土状況図を平面図＋断面図（または見通し断面図）として作成した。以上の内容をもとに本文の作成を行い、自然化学分野などの分析委託成果を併せて編集を行い、報告書としての体裁を整え刊行に至った。

5　業務の体制

調査組織および整理体制は以下の通りである。

○総括・総務担当

所長	筒井　豊祐（平成７～９年度）、寒川　光明（平成10～12年度）
	本浄　敏之（平成13・14年度）
事務局長	柴田　　広（平成５～７年度）、庄野　徳保（平成８・９年度）
	細川　靖夫（平成10年度）、伊丹　康裕（平成12・13年度）
	西村　和博（平成14年度）
総務課長	岡本　一仁（平成５年度）、小林　敬治（平成６・７年度）
	長江　　仁（平成８・９年度）、井後　伸一（平成10年度）
	高野　　明（平成12・13年度）、山本　高史（平成14年度）
庶務係長	福本紀美子（平成12・13・14年度）
総務課主事	三木　和文（平成５～７年度）、西木　未香（平成７～９年度）
	佐藤　真紀（平成10～12年度）、集堂　正士（平成８～10年度）
	田所　政義（平成12・13年度）、布川　純子（平成14年度）
	鈴木　智栄（平成14年度）
総務課技師	酒井　彰彦（平成５・６年度）、青木　雅和（平成７～９年度）
	笠井　達雄（平成８年度）、大西　孝司（平成10年度）
調査課長	紀伊　司郎（平成５～７年度）、菅原　康夫（平成８～10年度）
調査係長	菅原　康夫（平成５～７年度）、南　　信義（平成８年度）
	佐々木清克（平成９～10年度）
整理普及課長	島巡　賢二（平成12～14年度）
整理係長	西谷　泰幸（平成12年度）、貞野　保仁（平成13・14年度）
	貞野　雅巳（平成15・16年度）

○発掘調査担当

平成５年度　研究員　湯浅　利彦・藤本　好浩　研究補助員　藤沢　幸代
平成６年度　研究員　湯浅　利彦・瀧山　智子・栗林　誠治・藤本　好浩
平成７年度　研究員　藤川　智之・西岡　早苗・稲村　秀介・上藤　浩治
平成８年度　研究員　氏家　敏之・渡邉　信之・元木　浩司
平成９年度　研究員　近藤　玲・湯浅　文則
平成10年度　研究員　藤川　智之・田川　憲

○整理担当

平成12年度　研究員　藤川　智之・烏野　美子・斉藤　剛・石尾　和仁
平成13年度　研究員　藤川　智之・植地　岳彦・四宮　玲子・佐藤美和子
平成14年度　研究員　藤川　智之・山本　和弘
平成15年度　研究員　近藤　玲・山本　和弘
平成16年度　研究員　近藤　玲　研究補助員　谷川　真基

6　調査日誌抄

各年次の調査期間は例言に記したとおりであるが、弥生・古代の調査に関係する作業工程を中心に、以下に抜粋する。

平成５年度（1993年４月30日～1994年１月27日）

1993年５月21日～　１区・２区機械掘削開始
1993年５月31日　１区・２区第１遺構面遺構検出
1993年６月８日　１区・２区第１遺構面完掘
1993年９月28日　１区・２区第２遺構面遺構検出
1993年12月８日　１区・２区第２遺構面空撮（その１）
1994年１月19日　１区・２区第２遺構面空撮（その２）
1993年１月12日　１区・２区第２遺構面完掘
1993年１月22日　現地説明会実施
1994年１月24日　現場作業終了・撤収

平成６年度（1994年５月17日～1995年２月20日）

1994年６月６日～　９区・10区機械掘削
1994年６月７日～　９区第１遺構面遺構検出
1994年６月15日～　10区第１遺構面遺構検出
1994年６月21日　９区第１遺構面完掘
1994年８月９日
1994年10月29日　現地説明会実施
1994年11月９日　９区第２遺構面完掘

1994年11月11日　　10区第２遺構面完掘・現地作業終了・撤収

平成７年度（1995年４月29日～1996年３月25日）

1995年５月24日～　　８区機械掘削
1995年５月26日～　　８区第１遺構面遺構検出
1995年６月２日　　８区第１遺構面完掘
1995年６月６日～　　８区第２遺構面遺構検出
1995年６月15日～　　11区機械掘削
1995年６月16日～　　７区機械掘削
1995年６月20日　　８区第２遺構面完掘
1995年６月26日～　　７区第１遺構面遺構検出
1995年８月23日　　７区第１遺構面空撮・８区第２遺構面空撮
1995年８月28日　　３区機械掘削開始
1995年９月６日　　３区第１遺構面遺構検出
1995年９月13日　　７区第１遺構面完掘
1995年10月９日　　７区第２遺構面遺構検出
1995年10月17日　　11区第１遺構面遺構検出
1995年10月26日　　３区第１遺構面空撮・７区第２遺構面空撮
　　11区第１遺構面空撮
1995年10月27日　　11区第１遺構面完掘
1995年11月８日　　７区第２遺構面完掘
1995年11月９日　　３区第１遺構面完掘
1995年11月９日～　　７区縄文時代調査
1995年11月10日～　　３区縄文時代調査
1995年12月11日～　　11区第２遺構面遺構検出
1995年12月22日　　11区第２遺構面完掘・空撮
1996年２月17日　　現地説明会実施
1996年３月25日　　現地作業終了・撤収

平成８年度（1996年４月３日～1997年２月28日）

1996年４月17日～　　４区・12区機械掘削
1996年４月25日～　　12区第１遺構面遺構検出
1996年５月22日　　12区第１遺構面完掘
1996年６月28日　　12区第２遺構面遺構検出
1996年６月29日　　４区第１遺構面遺構検出
1996年８月６日　　４区・12区第２遺構面空撮
1996年８月27日　　４区第２遺構面完掘
1996年８月28日～　　４区縄文時代調査

1996年９月11日　　12区第２遺構面完掘
1997年２月14日　　現地作業終了・撤収

平成９年度（1997年９月１日～1998年２月27日）

1997年10月１日～　　５区機械掘削
1997年10月17日　　５区第１遺構面遺構検出
1997年11月14日　　５区第１遺構面完掘
1997年11月19日　　５区第１遺構面空撮
1997年12月２日～　　５区第２遺構面遺構検出
1997年12月12日　　５区第２遺構面完掘
1997年12月16日　　５区第２遺構面空撮
1997年12月17日～　　５区縄文時代調査
1998年２月27日　　現地作業終了・撤収

平成10年度（1998年４月２日～1999年３月31日）

1998年９月８日　　６区機械掘削開始
1998年９月10日　　６区第１遺構面遺構検出
1998年10月２日　　６区第１遺構面完掘
1998年10月６日　　６区第２遺構面遺構検出
1998年10月９日　　６区第２遺構面完掘
1998年10月14日　　６区縄文時代調査

7　既出の文献

本センターおよび発掘調査担当者によって、これまでに紹介された矢野遺跡Ｉ群の成果については以下のようなものがある。

・『徳島県埋蔵文化財センター年報　Vol.5～10』（徳島県埋蔵文化財センター　1994・1995・1996・1997・1998・1999）
・『日本考古学協会年報47』（栗林　1996）

Ⅱ　遺跡の立地と環境

1　地理的環境

徳島県は四国島の東部に位置する。面積は4,144㎢であるが、全面積の約８割近くを山地が占める。平野部は吉野川・勝浦川・那賀川・海部川などの流域に、主として三角州として発達する。山地は北側の讃岐山脈と吉野川以南の四国山地に大別される。地質の構造は、四国を東西に横断する中央構造線によって、北側の内帯と南側の外帯とに分けられる。中央構造線は、徳島県内では東から鳴門市里浦町・美馬郡脇町・三好郡池田町・愛媛県川之江市に連なる低地帯の阿讃山麓沿いに延びる。徳島県内の地質は、中央構造線を含む東西方向の構造線によって外帯の和泉層群、内帯は北から三波川帯・御荷鉾帯・秩父帯・四万十帯からなる。

「四国三郎」吉野川は、延長194㎞・流域面積3,750㎢の規模をもつ四国有数の河川である。吉野川は石鎚山脈に源を発し、中央構造線に沿って東流し紀伊水道に注ぐ。吉野川の左岸では、扇状地の発達が顕著である。外帯においても鮎喰川などで扇状地が形成されているが、内帯に属する伊沢谷川・大久保谷川・日開谷川・九頭宇谷川・宮川内谷川において急勾配の扇状地が多く形成されている（寺戸編 1995)。内帯の扇状地の土砂の堆積作用によって、吉野川そのものも構造谷の南寄りを通ることとなる。

吉野川の河道は時代によって大きく変動しているが、最大の画期は1701年頃に行われたとされる付け替え（新川掘り抜き）である。これは河道の開削と堰の構築（第十堰）によって、下流域での灌漑用水の確保と城下町の安定化を目指したものであり、北東へ流れていた当時の本流（現在の旧吉野川）を現在の河道へと導いた。

矢野遺跡の所在する地点は、鮎喰川の堆積作用により形成された三角州性扇状地である。徳島市延命を扇頂とし、半径６㎞の規模をもつ。扇頂部の字「延命」で標高15m、扇端部の字「井戸」付近では標高５ｍを測る。

この扇状地上には旧河道が網の目状に広がり、その様子は用水路や地割の乱れとして確認される。航空写真による地割の乱れを観察すると、埋没した河道が５～７本程度確認できる。旧河道のいくつかは発掘調査によって確認されている。矢野遺跡の集落群（Ⅰ群・Ⅱ群）を分かつ流路は、微地形観察から想定された旧河道と一致する。

2　歴史的環境

矢野遺跡の所在する徳島市国府町の鮎喰川の扇状地およびその周辺地は、徳島県下における有数の遺跡の密集地帯である。ここでは年代に沿って歴史的環境を整理するが、年代によっては位置図外の遺跡などについても触れることとする。

旧石器時代

徳島市域全体を通して遺跡はほとんど知られていない。名東遺跡の弥生時代の住居内からサヌカイト製の国府型ナイフ形石器が１点出土している（徳島県埋蔵文化財センター編　1995)。

縄文時代

縄文時代の後期以前の遺跡は非常に少ない。

晩期の遺跡としては、名東遺跡（徳島県教育委員会　1990）・庄遺跡（徳島県埋蔵文化財センター編

1999）・三谷遺跡（徳島市埋蔵文化財発掘調査委員会　1997）がその代表的な例であるが、観音寺遺跡でも少量ながらこの年代の遺物が出土している。

矢野遺跡の調査と前後して、同じかあるいは近接する年代の調査事例が目立っている。貞光町貞光前田遺跡（徳島県埋蔵文化財センター編　2001）・美馬町荒川遺跡（徳島県埋蔵文化財センター編　2005）・阿南市蒲生田遺跡（斎　2001）である。

弥生時代

鮎喰川の扇状地上は、徳島県下でも有数の規模の集落が継続するが、前期にさかのぼる資料はごくわずかである。

中期前葉以降には遺跡形成の範囲は徐々に拡がり、中期後葉には爆発的に住居数が増加する。この年代の遺構は、矢野遺跡Ⅰ群に集中しており本書に成果を掲載する。

後期には中期の集落域がさらに拡がる傾向が見られる。矢野遺跡の集落としての最盛期はこの段階で、多くの竪穴住居が築かれる。集落の形成は当初矢野遺跡北半（観音寺遺跡南半を含む）に始まり、布留式併行期にかけて徐々に中心が南寄りと山沿いに移動する。銅鐸埋納坑が築かれたのは後期後半と考えられているが、その位置はこの年代の住居の密集部の中心部である（徳島県埋蔵文化財センター編 2002a）。その一方で、観音寺遺跡の北半（阿波国府推定地内も含む）では、弥生後期初頭や布留式併行期の遺構が散見され、矢野遺跡とは異なる別の拡がりを有していたことが分かる。延命遺跡（南環状道路地点）で検出された水田は、弥生後期のものと考えられている（徳島県埋蔵文化財センター　1998）。水田は確認範囲も限られており、集落規模に見合った成果の蓄積はまだ不十分である。

また、鮎喰川の左右両岸は青銅器が集中地帯である。隣接する園瀬川水系の遺跡をも含むと、銅鐸17口、銅剣５振が出土している。

古墳時代

鮎喰川扇状地の西側の山塊は気延山と呼ばれ、古墳時代前期から後期にかけての県下でも最大規模の大古墳群が築かれている。

前期の古墳としては、宮谷古墳・奥谷古墳群がその代表例である。宮谷古墳は墳丘長36mの前方後円墳である。主体部として後円部に竪穴式石室が築かれ、三角縁神獣鏡３面などが出土している（三宅 2002）。奥谷古墳群は１号墳（前方後方墳）と２号墳（円墳）とからなり、１号墳は墳丘長が50mであること、墳丘上を巡る埴輪列が最近の調査で確認されている（三宅　2002）。

中期の古墳は実態が明らかとなっていない。「阿波式石棺」と呼ばれた板石を用いた組合式の石棺がいくつか築かれている。墳丘・副葬遺物が少ないが、５世紀代に盛行するものとみられる。内谷古墳・尼寺１号墳など数基が知られる。

後期に属するものではひびき岩古墳・矢野古墳があり、横穴式石室などが確認されている（天羽　1973ほか）。

古墳をのぞくとさらに状況が不明であったが、近年の調査でようやく中期以降の集落の一端が確認され始めた。敷地遺跡（西環状線地点）の集落は中期末と後期後半の二時期の遺構が確認されており、竪穴住居数十棟が検出されている（徳島県埋蔵文化財センター　1999a・1999b・2000）。

奈良・平安時代

『和名類聚抄』の記述により、阿波国府はかつての名東郡に属したことが記録されている。これまでに考古学的な材料によって国府を証明しているわけではないが、観音寺遺跡から出土した木簡などによってその所在はほぼ確定した（徳島県埋蔵文化財センター編　2002b）。

国府推定地からは約1.5㎞南東に国分寺（現国府町西矢野）、西数百ｍで国分尼寺（現名西郡石井町尼寺）が所在する。

国分寺は現在の四国霊場15番札所国分寺境内に、塔心礎と伝えられる片岩の巨石が残されている。1978年からの３次にわたる範囲確認調査などによって二町四方の寺域が想定された（天羽・一山1987）。建物跡・築地状遺構・基壇状遺構・瓦窯跡など確認された。また、南環状道路の調査地点では、国分寺へ延びると見られる道路遺構が検出されている（徳島県埋蔵文化財センター編　2002a）。

国分尼寺は1970年からの２次にわたる範囲確認調査（田辺・松永　1987）が行われ、1999年からは史跡整備に伴う調査が進行中である。これまでに金堂基壇・北門・中門・講堂などが検出されている。全般に開墾など後世の削平が著しい。

これらのほかに石井廃寺・西蓮寺跡などの寺院跡がある。四国霊場16番札所観音寺周辺や天満宮（観音寺の約150m 南）などで古代の瓦が採集されている。

鮎喰川扇状地上には、条里地割が広く残っている。福井好行・服部昌之らが詳細に復元している（福井　1959・服部　1966）。最近の研究では、条里余剰帯に注目した木原・岡田両氏の分析がある（木原・岡田　1998）。尼寺から東に向けての旧伊予街道上、尼寺東側の南北道上などに認められ、直線的で規格性が高いことから官道（延喜式段階よりも古いルートをとる南海道）の可能性が想定されている。

また、奈良時代から平安時代にかけては水田域が増大する。延命遺跡・矢野遺跡・観音寺遺跡（ともに南環状道路地点）、観音寺遺跡・敷地遺跡・池尻桜間遺跡（ともに西環状線地点）でこの時期の水田が検出されている。国府造営と併行して水田地としての開発も行われたことが分かってきている。

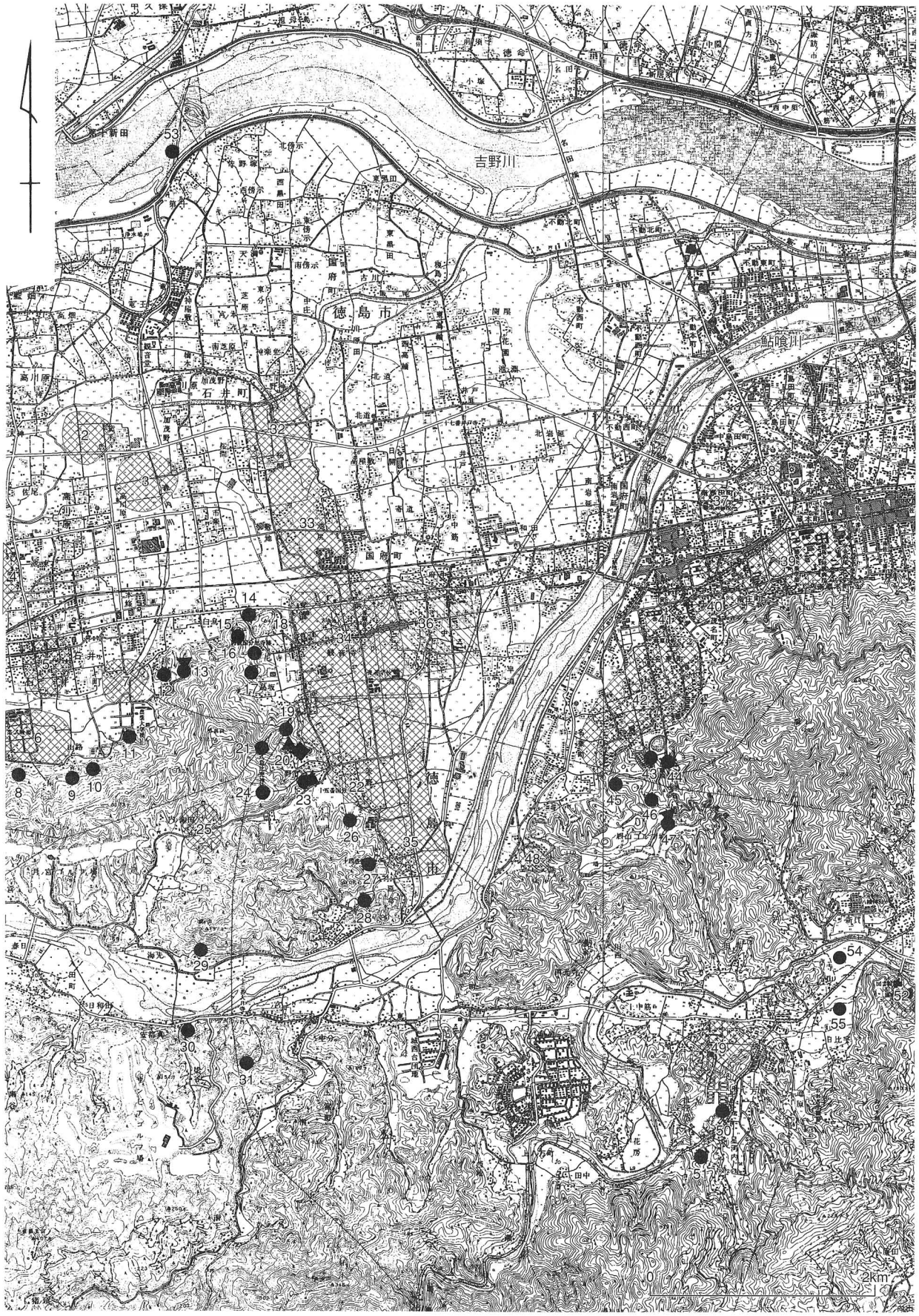
鎌倉・室町時代

この年代の遺構は検出される範囲が非常に限定的であり、粗密がはっきりと分かれる。1997年に調査された観音寺遺跡（南環状道路地点）の地点（字青木）では、数十ｍ四方の狭い範囲に15世紀前半とみられる掘立柱建物７棟以上、土壙墓40基以上などが検出された。同年代の遺構は周囲にほとんどみられない（徳島県埋蔵文化財センター　1998）。

また、奈良時代に拡大した水田域はさらにこの時期になると整備が進む。古代の項であげた遺跡では、検出される水田一区画の面積が古代から中世にかけて徐々に広くなる変化が確認される。

鎌倉時代後期（正応年間頃）と考えられる文書に興福寺領「観音寺庄」がみえる。観音寺周辺がその比定地にあげられている。

鮎喰川扇状地の南側の山塊には一宮城が築かれている。一宮城は鎌倉期の守護小笠原氏が築城したとされ、その後一宮氏・細川氏・三好氏・長宗我部氏が居城とした。蜂須賀家政が天正13年（1585）に阿波に移された際に入城し、徳島城下町に移るまで居城とした。



第７図　矢野遺跡周辺歴史的環境図

第８図　矢野遺跡Ｉ群周辺調査地点位置図（数字は徳島県遺跡地図システム管理コード）

表１　矢野遺跡周辺歴史的環境図対応一覧と調査地点管理コード一覧

1	矢野遺跡	12	利包古墳	23	宮谷古墳	34	観音寺遺跡	45	諏訪神社古墳群
2	箕ノ手遺跡	13	山ノ神古墳	24	八倉比売神社古墳群	35	延命遺跡	46	うばのふところ古墳
3	高川原遺跡	14	尼寺古墳群	25	内ノ御田窯跡群	36	国府推定域	47	八人塚古墳
4	石井遺跡群	15	鳥坂城跡	26	瓦谷瓦窯	37	南島田遺跡	48	大浦遺跡
5	井ノ元遺跡	16	ひびき岩古墳群	27	常楽寺瓦窯	38	中島田遺跡	49	樋口遺跡
6	清成遺跡	17	内谷古墳群	28	源田遺跡	39	庄遺跡	50	星河内美田遺跡
7	利包遺跡	18	国分尼寺	29	海見古墳	40	南庄遺跡	51	巽山古墳
8	清成古墳	19	矢野古墳	30	安都真遺跡	41	鮎喰遺跡	52	向寺山遺跡
9	八倉姫神社石棺	20	奥谷１号墳	31	一宮城跡	42	名東遺跡	53	第十堰
10	阿波国造墓碑	21	奥谷２号墳	32	池尻・桜間遺跡	43	節句山古墳群	54	寺山遺跡
11	高良古墳	22	国分寺	33	敷地遺跡	44	穴不動古墳	55	広田遺跡

管理コード	市町村	通称遺跡名	年度	所在地	調査歴	調査主体	参考文献	種類	年代１	遺構１	遺物１
18	徳島市	阿波国府跡	1984	徳島市国府町府中	発掘調査	徳島市教育委員会	一山典徳島市埋蔵文化財調査報告書第14集『阿波国府跡第３次調査概報―1984年度―』徳島市教育委員会1984	集落、墳墓	古代：奈良	溝、土坑	須恵器、土師器、瓦
20	徳島市	阿波国府跡	1986	徳島市国府町観音寺こうげ池535	発掘調査	徳島市教育委員会	一山典徳島市埋蔵文化財調査報告書第16集『阿波国府跡第５次調査概報―1986年度―』徳島市教育委員会1987、滝山雄一・勝浦康守・三宅良明・一山典『第８回埋蔵文化財資料展　阿波を掘る―最近の発掘調査―』徳島市教育委員会1987	官衙	古代：平安	掘立柱建物、溝、土坑	須恵器、土師器、黒色土器、瓦、土製品（土錘）、石器（砥石）
21	徳島市	阿波国府跡	1987	徳島市国府町神明	発掘調査	徳島市教育委員会	一山典徳島市埋蔵文化財調査報告書第17集『阿波国府跡第６次調査概報―1987年度―』徳島市教育委員会1988、勝浦康守『徳島県における古代末から中世の土器様相について』「中近世土器の基礎研究Ⅶ」1992	官衙	古代：平安	掘立柱建物、溝、井戸、土坑、その他（柱列）	須恵器（甕類土器、円面硯）、土師器、黒色土器（B類）、施釉陶器、陶器（瓦、土製品（土錘）、石器（砥石）、石製品（石帯）、鉄器（釘）、銅製経筒、銅銭（延喜通宝）、木製品（曲物、櫛）
22	徳島市	阿波国府跡	1989	徳島市国府町観音寺神明417かう1F324－６	発掘調査	徳島市教育委員会	三宅良明徳島市埋蔵文化財調査報告書第18集『阿波国府跡第７次調査概報―1988年度―』徳島市教育委員会1989	官衙	古代：平安	溝、土坑	須恵器、土師器
23	徳島市	阿波国府跡（神明地区）	1990	徳島市国府町観音寺461・464	発掘調査	徳島市教育委員会	三宅良明徳島市埋蔵文化財調査報告書第19集『阿波国府跡第８次調査概報―1989年度―』徳島市教育委員会1990	官衙	古代：平安	掘立柱建物、溝、土坑	須恵器、土師器、黒色土器、緑釉陶器、瓦
26	徳島市	阿波国府跡	1992	徳島市国府町観音寺二反田623－1・624－１神明466－１	発掘調査	徳島市教育委員会	三宅良明『阿波国府跡第10次調査概要―1991年度―』徳島市教育委員会1992	官衙	古代：奈良	掘立柱建物、溝、横列、土坑、ピット	須恵器、土師器、土製品（土錘）
172	徳島市	高畑（矢野）（国養プール）	1988	徳島市国府町矢野字高畑	発掘調査	徳島県教育委員会文化課	鳥巡賢二　日浦力『徳島県立国府養護学校プール建設工事に伴う高畑遺跡発掘調査概要報告書』徳島県教育委員会1990	集落	古代：平安	掘立柱建物、溝	須恵器（円面硯）、土師器、黒色土器、緑釉陶器、瓦
204	徳島市	矢野（国府変電所地区）（第２次調査）	1976	徳島市国府町矢野溝添550	発掘調査	徳島県教育委員会文化課、四国電力埋蔵文化財発掘調査委員会	小林勝美「矢野国府変電所緊急発掘調査概報第１・２次調査」『徳島県文化財調査概報　1976年度』徳島県教育委員会1978	集落	弥生：後期	土坑	弥生土器、弥生石器（石斧）
205	徳島市	矢野（国府変電所地区）（第４次調査）	1977	徳島市国府町矢野溝添	発掘調査	徳島県教育委員会文化課、四国電力埋蔵文化財発掘調査委員会	一山典「国府変電所遺跡（第４次）」『日本考古学年報　30　1977年度版』1979日本考古学協会	集落	弥生：後期～古墳：前期	溝、土坑、道路	弥生土器、弥生石器（石鏃、石庖丁）
206	徳島市	矢野（国府変電所A・B地区）（第5次調査）	1978	徳島市国府町矢野溝添	発掘調査	徳島市教育委員会、四国電力埋蔵文化財発掘調査委員会	徳島市教育委員会『徳島市文化財だより』№11978、『埋蔵文化財ニュース』№2 1978、№3 1979、『徳島市の原始・古代―埋蔵文化財資料展―』1980	集落	弥生：中期～後期	竪穴住居、溝、土坑、埋葬（壺棺墓）	弥生土器、弥生石器（石斧、石庖丁）、鉄器
207	徳島市	矢野（国府変電所地区C地区）（第7次調査）	1980	徳島市国府町矢野よつまた555－２	発掘調査	徳島市教育委員会、四国電力埋蔵文化財発掘調査委員会	一山典『弥生時代の徳島市―埋蔵文化財資料展―』徳島市教育委員会1983	集落	弥生：中期～後期	竪穴住居、土坑、埋葬（甕棺墓）	弥生土器、弥生石器（石鏃、石斧）
208	徳島市	矢野（国府変電所地区D地区）（第８次調査）	1981	徳島市国府町矢野溝添	発掘調査	徳島市教育委員会、四国電力埋蔵文化財発掘調査委員会	一山典『弥生時代の徳島市―埋蔵文化財資料展―』徳島市教育委員会1983	集落	弥生：中期～後期	竪穴住居、土坑	弥生土器、弥生石器（石斧）
209	徳島市	矢野松木（国府養護地区）	1982	徳島市国府町矢野松木	発掘調査	徳島県教育委員会、四国電力埋蔵文化財発掘調査委員会	徳島県教育委員会「矢野遺跡国府養護学校地区現地説明会資料」1983	集落	弥生：中期～後期	掘立柱建物、竪穴住居、溝、土坑、ピット	弥生土器、弥生石器（石鏃、石槍、石庖丁、石錘）、石製品（紡錘車）、鉄器（斧）、銅鏃
210	徳島市	矢野（国府変電所E・F地区）	1984	徳島市国府町矢野溝添	発掘調査	徳島市教育委員会、四国電力埋蔵文化財発掘調査委員会	勝浦康守・三宅良明・一山典『第11回埋蔵文化財資料展　阿波を掘る―最近の発掘調査と矢野遺跡の出土土器―』徳島市教育委員会1990	集落	弥生	溝、土坑	弥生土器
211	徳島市	矢野（国府養護食堂地区）	1987	徳島市国府町矢野松木348	発掘調査	徳島県教育委員会文化課	松永住美・島巡賢二・福家清司・菅原康夫・羽山久男・谷匡人・湯浅利彦・寒川健治・大西浩正・久保脇美朗・早渕隆人『埋蔵文化財資料展　掘ったでよ阿波』徳島県教育委員会1988	集落	弥生：中期～後期	竪穴住居、溝	弥生土器、弥生石器（石槍）
212	徳島市	矢野（よつまた地区）	1988	徳島市国府町矢野よつまた555－１	発掘調査	徳島市教育委員会	三宅良明「市道よつまた・せんだの木線改良工事に伴う矢野遺跡発掘調査概要」『徳島市埋蔵文化財発掘調査概要１』徳島市教育委員会1989	集落	古墳：前期初頭	竪穴住居、溝	土師器
213	徳島市	矢野（せんだの木地区）	1988	徳島市国府町矢野せんだんの木	発掘調査	徳島市教育委員会	三宅良明「市道よつまた・せんだの木線改良工事に伴う矢野遺跡発掘調査概要」『徳島市埋蔵文化財発掘調査概要１』徳島市教育委員会1989	集落	弥生	土坑、ピット	弥生土器
214	徳島市	矢野（鉄塔地区）	1990	徳島市国府町矢野城山他	発掘調査	徳島市教育委員会	勝浦康守『矢野遺跡発掘調査概要―四国電力応神東線鉄塔建替工事に伴う発掘調査』徳島市埋蔵文化財発掘調査委員会1991	集落	弥生：中期～後期	竪穴住居、溝、土坑、ピット、埋葬（土壙墓）	弥生土器、弥生石器（石鏃、柱状片刃石斧）
215	徳島市	矢野（国府変電所地区）	1992	徳島市国府町矢野溝添550	発掘調査	徳島市教育委員会	三宅良明・勝浦康守『矢野遺跡発掘調査概要』『徳島市埋蔵文化財発掘調査概要４』徳島市教育委員会1994　三宅良明『第14回埋蔵文化財資料展　阿波を掘る』徳島市教育委員会1994	集落	弥生	竪穴住居、溝、土坑、ピット	弥生土器、土製品（紡錘車）、弥生石器（石庖丁、柱状片刃石斧）、石製品（勾玉）
218	徳島市	矢野（南環状線地区）	1993	徳島市国府町矢野法師ヶ久保309他	発掘調査	財団法人徳島県埋蔵文化財センター	鳥野美子　栗林誠治　近藤玲　菅原康夫　藤川智之　湯浅利彦徳島県埋蔵文化財センター調査報告書第33集『矢野遺跡（１）――一般国道192号徳島南環状道路改築に伴う埋蔵文化財発掘調査―』財団法人徳島県埋蔵文化財センター2001湯浅利彦・栗林誠治『徳島県埋蔵文化財センター年報 Vol.5　1993年度』徳島県埋蔵文化財センター1994	集落	弥生	掘立柱建物、竪穴住居、溝、井戸、ピット、土器棺墓、河道、不明遺構	弥生土器、弥生石器（石鏃、石庖丁、台石、砥石、筋砥石、石錘、蛇文岩片、蛇文岩剥片）
220	徳島市	矢野（第１分割）	1994	徳島市国府町矢野せんだんの木452－１他	発掘調査	財団法人徳島県埋蔵文化財センター	湯浅利彦『徳島県埋蔵文化財センター年報 Vol.6　1994年度』徳島県埋蔵文化財センター1995	集落	弥生	竪穴式住居、鍛冶炉、方形周溝墓、集石墓、壺棺墓	弥生土器、鉄器（鍛冶滓、三角鉄片、鍛造剥片、棒状鉄片）、弥生石器（石鏃、太型蛤刃石斧、石庖丁、敲石）
382	石井町	矢野（国府変電所地区）（第１次調査）	1976	名西郡石井町石井内谷40－１	発掘調査	徳島県教育委員会文化課四国電力埋蔵文化財発掘調査委員会	小林勝美「矢野国府変電所緊急発掘調査概報第１・２次調査」『徳島県文化財調査概報　1976年度』徳島県教育委員会1978	集落	弥生	土坑	弥生土器
833	徳島市	矢野（第１分割）	1995	徳島市国府町矢野字せんだんの木430－１他	発掘調査	財団法人徳島県埋蔵文化財センター	現地説明会資料、徳島県埋蔵文化財センター年報 Vol.7　1995年度	集落	弥生：中期	土坑、土器棺墓	弥生土器、弥生石器（石鏃）、スクレイパー、鉄器（鉄鏃）
852	徳島市	観音寺	1996	徳島市国府町観音寺455－１他	発掘調査	財団法人徳島県埋蔵文化財センター	伊東隆夫　大飼隆　多田伊織　古田昇　松原弘宣　和田萃　菅原康夫　藤川智之『観音寺遺跡Ⅰ（観音寺遺跡本篇）――一般国道192号徳島南環状道路改築に伴う埋蔵文化財発掘調査』徳島県教育委員会、国土交通省四国地方整備局、財団法人徳島県埋蔵文化財センター2002田川憲『徳島県埋蔵文化財センター年報　vol.8　1996年度』財団法人徳島県埋蔵文化財センター1997	集落	弥生	掘立柱建物、竪穴住居、溝、土坑、ピット、自然流路	弥生土器、弥生石器（石鏃）
853	徳島市	観音寺（第２分割）	1997	徳島市国府町観音寺466－１他	発掘調査	財団法人徳島県埋蔵文化財センター	伊東隆夫　大飼隆　多田伊織　古田昇　松原弘宣　和田萃　菅原康夫　藤川智之『観音寺遺跡Ⅰ（観音寺遺跡本篇）――一般国道192号徳島南環状道路改築に伴う埋蔵文化財発掘調査』徳島県教育委員会、国土交通省四国地方整備局、財団法人徳島県埋蔵文化財センター2002徳島県埋蔵文化財センター年報　vol.9　1997年度	集落	古墳：後期～古代	井戸、溝、土坑、ピット、自然流路	須恵器、土師器、瓦、木製品（斎串、木簡、建築部材、祭祠具、曲物、杵）、青磁、緑釉陶器
854	徳島市	観音寺（第１分割）	1997	徳島市国府町観音寺466他	発掘調査	財団法人徳島県埋蔵文化財センター	伊東隆夫　大飼隆　多田伊織　古田昇　松原弘宣　和田萃　菅原康夫　藤川智之『観音寺遺跡Ⅰ（観音寺遺跡本篇）――一般国道192号徳島南環状道路改築に伴う埋蔵文化財発掘調査』徳島県教育委員会、国土交通省四国地方整備局、財団法人徳島県埋蔵文化財センター2002徳島県埋蔵文化財センター年報　vol.9　1997年度	集落	弥生：後期前半	竪穴住居、ピット	弥生土器、弥生石器（石鏃、石錐）
855	徳島市	観音寺	1998	徳島市国府町観音寺字町屋敷488－１他	発掘調査	財団法人徳島県埋蔵文化財センター	伊東隆夫　大飼隆　多田伊織　古田昇　松原弘宣　和田萃　菅原康夫　藤川智之『観音寺遺跡Ⅰ（観音寺遺跡本篇）――一般国道192号徳島南環状道路改築に伴う埋蔵文化財発掘調査』徳島県教育委員会、国土交通省四国地方整備局、財団法人徳島県埋蔵文化財センター2002徳島県埋蔵文化財センター年報　vol.10　1998年度	集落	古代	掘立柱建物、溝、自然流路、土壙墓	須恵器、土師器、八稜鏡、木製品（木簡）
881	徳島市	矢野（農業用水路改良工事）	1991	徳島市国府町矢野	発掘調査	徳島市教育委員会	徳島市教育委員会『徳島市埋蔵文化財発掘調査概要６』1996	集落	弥生	竪穴住居、溝	弥生土器、鉄器、弥生石器（サヌカイト剥片、サヌカイト製石鏃、太型蛤刃石斧砕片、砥石）
887	徳島市	矢野	1996	徳島市国府町矢野字せんだんの木454－１他	発掘調査	財団法人徳島県埋蔵文化財センター	『徳島県埋蔵文化財センター年報　vol.8　1996年度』財団法人徳島県埋蔵文化財センター1997	集落	縄文	住居、ピット、土坑、炉	縄文土器、縄文石器（石棒、石杵）、石臼
888	徳島市	矢野	1997	徳島市国府町矢野字青木401－１他	発掘調査	財団法人徳島県埋蔵文化財センター	徳島県埋蔵文化財センター年報　vol.9　1997年度	集落	弥生	竪穴住居、土坑、ピット、溝	弥生土器、弥生石器（サヌカイト製石包丁）
1488	徳島市	観音寺	2000	徳島市国府町観音寺屋敷518	発掘調査	財団法人徳島県埋蔵文化財センター	伊東隆夫　大飼隆　多田伊織　古田昇　松原弘宣　和田萃　菅原康夫　藤川智之『観音寺遺跡Ⅰ（観音寺遺跡本篇）――一般国道192号徳島南環状道路改築に伴う埋蔵文化財発掘調査』徳島県教育委員会、国土交通省四国地方整備局、財団法人徳島県埋蔵文化財センター	集落	古代	柱穴、土坑、溝、不明遺構	土師器、須恵器、瓦質土器
1509	徳島市	矢野遺跡・阿波国府跡	1996	徳島市国府町	発掘調査	徳島市教育委員会	徳島市教育委員会『徳島市埋蔵文化財発掘調査概要８』1998	集落	弥生：終末期	竪穴住居	弥生土器
1510	徳島市	阿波国府跡	1994	徳島市国府町	立会調査	徳島市教育委員会	徳島市教育委員会『徳島市埋蔵文化財発掘調査概要８』1998	官衙、集落			
1516	徳島市	阿波国府跡	1988	徳島市国府町観音寺神明417かうげ524－６	発掘調査	徳島市教育委員会	三宅良明徳島市埋蔵文化財調査報告書第18集『阿波国府跡第７次調査概報―1988年度―　』徳島市教育委員会1989	官衙	古代：平安	溝、土坑	須恵器、土師器
1517	徳島市	阿波国府跡	1998	徳島市国府町矢野	発掘調査	徳島市教育委員会	徳島市教育委員会『阿波国府跡発掘調査報告書』1999	集落、官衙	弥生	方形、円形周溝墓、土壙、溝、土壙墓	弥生土器、土製品（分銅形土製品）
1518	徳島市	阿波国府跡	1999	徳島市国府町矢野せんだんの木	発掘調査	徳島市教育委員会	徳島市教育委員会『阿波国府跡発掘調査報告書』2000	官衙	古代	掘立柱建物	土師器、須恵器、緑釉陶器
1519	徳島市	阿波国府跡	2000	徳島市国府町矢野せんだんの木	発掘調査	徳島市教育委員会	徳島市教育委員会『阿波国府跡発掘調査報告書』2001	官衙	古代	掘立柱建物、井戸	黒色土器Ａ類、土師器、須恵器、瓦、木製品（櫛）
1524	徳島市	矢野	1995	徳島市国府町	発掘調査	徳島市教育委員会	徳島市教育委員会『徳島市埋蔵文化財発掘調査概要10』2000	集落	弥生	竪穴住居・土壙、ピット、溝	弥生土器
1525	徳島市	矢野	1997	徳島市国府町	発掘調査	徳島市教育委員会	徳島市教育委員会『徳島市埋蔵文化財発掘調査概要10』2000	集落	弥生	土壙、溝	弥生土器
1660	徳島市	矢野（国府変電所地区）（第３次調査）	1976	徳島市国府町矢野溝添	発掘調査	徳島県教育委員会文化課四国電力埋蔵文化財発掘調査委員会	小林勝美「矢野国府変電所緊急発掘調査概報第３次調査」『徳島県文化財調査概報　1976年度』徳島県教育委員会1978	集落	弥生：前期	竪穴住居、土坑、溝、ピット	弥生土器、弥生石器（石鏃、石斧）、土製品（紡錘車）、鉄器（鉄斧、棒状鉄製品）
1751	徳島市	矢野（国府変電所地区）	1990	徳島市国府町矢野溝添550	発掘調査	徳島市教育委員会、四国電力埋蔵文化財発掘調査委員会	勝浦康守・三宅良明・一山典『第11回埋蔵文化財資料展　阿波を掘る―最近の発掘調査と矢野遺跡の出土土器―』徳島市教育委員会1990	集落	弥生：後期	竪穴住居、土坑、ピット	弥生土器
1752	石井町	矢野（国府変電所地区）	1990	名西郡石井町内谷	発掘調査	徳島市教育委員会、四国電力埋蔵文化財発掘調査委員会	勝浦康守・三宅良明・一山典『第11回埋蔵文化財資料展　阿波を掘る―最近の発掘調査と矢野遺跡の出土土器―』徳島市教育委員会1990	集落	弥生：後期	自然流路	弥生土器
1755	徳島市	矢野（鉄塔地区）	1990	徳島市国府町矢野松木342－１他	試掘調査	徳島市教育委員会	勝浦康守『矢野遺跡発掘調査概要―四国電力応神東線鉄塔建替工事に伴う発掘調査』徳島市埋蔵文化財発掘調査委員会1991				
1978	徳島市	観音寺	2002	徳島市国府町観音寺石田41－１	発掘調査	徳島市教育委員会	勝浦康守『徳島県文化財保護年報平成14年度版』徳島県教育委員会2004	官衙	古代	掘立柱建物、竪穴住居、溝、ピット	
1995	徳島市	阿波国府跡	2001	徳島市国府町せんだんの木439－１・441	発掘調査	徳島市教育委員会		官衙			
2000	徳島市		2001	徳島市国府町観音寺石田41－１	発掘調査	徳島市教育委員会		官衙			
2040	徳島市		2001	徳島市国府町矢野553	発掘調査	財団法人徳島県埋蔵文化財センター		集落	近世	井戸、自然流路	須恵器、土師質土器、瓦器、陶器、磁器、木製品（杭）

引用文献・参考文献

天羽利夫・一山典　1987　「阿波国分寺」『新修国分寺の研究　第５巻上』吉川弘文館

氏家敏之　1997　「矢野遺跡出土の土製仮面」『考古学ジャーナル』No422　ニュー・サイエンス社

大久保徹也　1990　「下川津遺跡における弥生時代後期から古墳時代前半の土器について」『下川津遺跡』瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅶ

香川県教育委員会編　1995　『太田下・須川遺跡』高松東道路建設に伴う埋蔵文化財調査報告第４冊

木原克司・岡田啓子　1998　「古代吉野川下流域の条里と交通路」『鳴門教育大学研究紀要』第13巻　鳴門教育大学

栗林誠治　1996　「徳島県徳島市矢野遺跡」『日本考古学協会年報　47　(1994年度版)』日本考古学協会

須槍和巳・岩崎正夫・鈴木堯士編　1991　『日本の地質　8　四国地方』共立出版株式会社

田辺征夫・松永住美　1987　「阿波国分尼寺」『新修国分寺の研究　第５巻上』吉川弘文館

寺戸恒夫編　1995　『徳島の地理』徳島地理学会

斎浩市　2001　「蒲生田遺跡」『徳島県埋蔵文化財センター年報 Vol12　2000年度』

徳島県教育委員会　1990　『名東遺跡（天神地区）』

徳島県埋蔵文化財センター編　1995　『名東遺跡』徳島県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第14集　徳島県教育委員会・(財) 徳島県埋蔵文化財センター・建設省四国地方建設局

徳島県埋蔵文化財センター編　1999　『庄遺跡Ⅲ』徳島県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第24集　徳島県教育委員会・(財) 徳島県埋蔵文化財センター

徳島県埋蔵文化財センター編　2001　『貞光前田遺跡』徳島県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第35集　徳島県教育委員会・(財) 徳島県埋蔵文化財センター

徳島県埋蔵文化財センター編　2002a　『矢野遺跡（Ⅰ）』徳島県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第33集　徳島県教育委員会・(財) 徳島県埋蔵文化財センター・国土交通省四国地方整備局

徳島県埋蔵文化財センター編　2002b　『観音寺遺跡Ⅰ（観音寺遺跡木簡篇）』徳島県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第40集　徳島県教育委員会・(財) 徳島県埋蔵文化財センター・国土交通省四国地方整備局

徳島県埋蔵文化財センター編　2003　『矢野遺跡（Ⅱ）（縄文時代篇）』徳島県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第44集　徳島県教育委員会・(財) 徳島県埋蔵文化財センター・国土交通省四国地方整備局

徳島県埋蔵文化財センター編　2005　『荒川遺跡』徳島県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第61集　徳島県教育委員会・(財) 徳島県埋蔵文化財センター・日本道路公団

徳島県埋蔵文化財センター　1994　『徳島県埋蔵文化財センター年報　Vol. 5　1994年度』

徳島県埋蔵文化財センター　1995　『徳島県埋蔵文化財センター年報　Vol. 6　1994年度』

徳島県埋蔵文化財センター　1996　『徳島県埋蔵文化財センター年報　Vol. 7　1995年度』

徳島県埋蔵文化財センター　1997　『徳島県埋蔵文化財センター年報　Vol. 8　1996年度』

徳島県埋蔵文化財センター　1998　『徳島県埋蔵文化財センター年報　Vol. 9　1997年度』

徳島県埋蔵文化財センター　1999a　『徳島県埋蔵文化財センター年報　Vol. 10　1998年度』

徳島県埋蔵文化財センター　1999b　『道路改築事業（徳島環状線国府工区）に伴う埋蔵文化財発掘調査　敷地遺跡発掘調査現地説明会資料』(1999年12月18日開催)

徳島県埋蔵文化財センター　2000　『徳島県埋蔵文化財センター年報　Vol. 11　1999年度』

徳島県埋蔵文化財センター・徳島県教育委員会　1996　『埋蔵文化財速報展　縄文の彩り』

徳島市埋蔵文化財発掘調査委員会　1997　『三谷遺跡』

寺戸恒夫編　1995　『徳島の地理』徳島地理学会

奈良国立文化財研究所　1978　『飛鳥・藤原宮発掘調査概報８』

服部昌之　1966　「阿波条里の復原的研究」『人文地理』18-5　人文地理学会

平井松午・藤田裕嗣　1994　「吉野川支流の鮎喰川扇状地における土地開発と灌漑システムの成立」『徳島大学総合科学部　人間社会文化研究』第２巻　徳島大学総合科学部

福井好行　1959　「阿波の国府と其の附近の条里」『徳島大学学芸学部紀要』８　徳島大学

古田昇　2002　「地理学からみた観音寺遺跡周辺の地形環境の変化」(『観音寺遺跡Ⅰ』所収)

三宅良明　2002　「宮谷古墳・奥谷１号墳の墳丘構造について」『論集　徳島の考古学』徳島考古学論集刊行会

Ⅲ　調　査　成　果

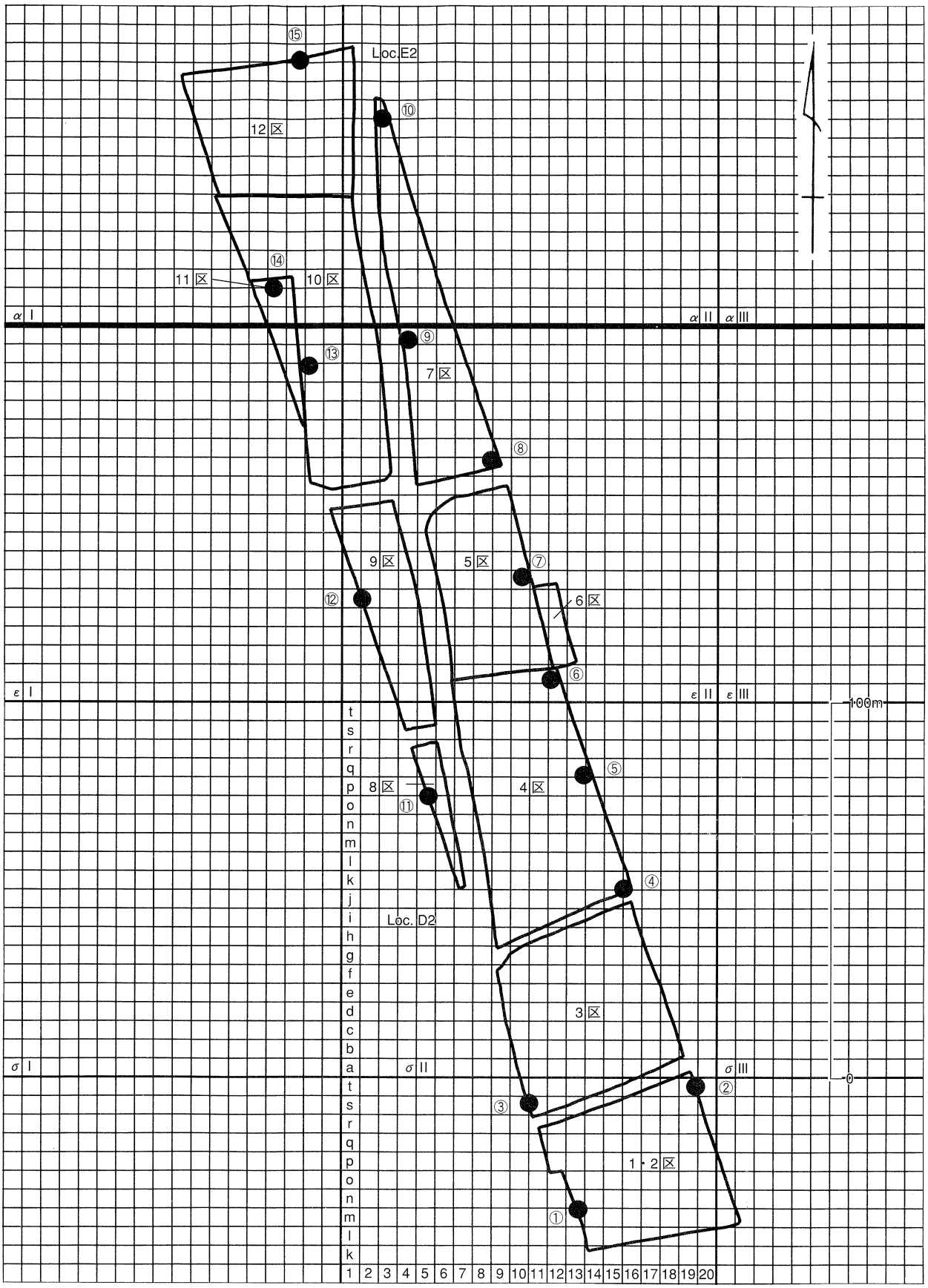
1　基本層序

矢野遺跡は、鮎喰川が形成した扇状地に立地する。河川の堆積作用により、地形的に細かな起伏が生まれ微高地を形成する。この微高地上に遺跡が展開しており、微高地の大きなまとまりを北からⅠ群、Ⅱ群と称していることはすでに述べた。『矢野遺跡（Ⅰ）』の報告書では、南側の微高地の土層堆積状況について触れ、『矢野遺跡（Ⅱ）』の中では、北側の微高地、すなわちⅠ群の土層堆積状況について言及した。今回、報告する遺構、遺物は、既刊の『矢野遺跡（Ⅱ）』で報告された縄文時代の包含層から50～80㎝無遺物層を挟んだ上層に位置する弥生時代の遺構面と古代～中世の遺構面に含まれている。したがって、基本層序も『矢野遺跡（Ⅱ）』で報告された部分と基本的に変わりはない。縄文時代以降の層序関係について補足する程度に留めたい。Ⅰ群、Ⅱ群を合わせた矢野遺跡全体の把握は、本書の基本層序で完結するものと考えたい。

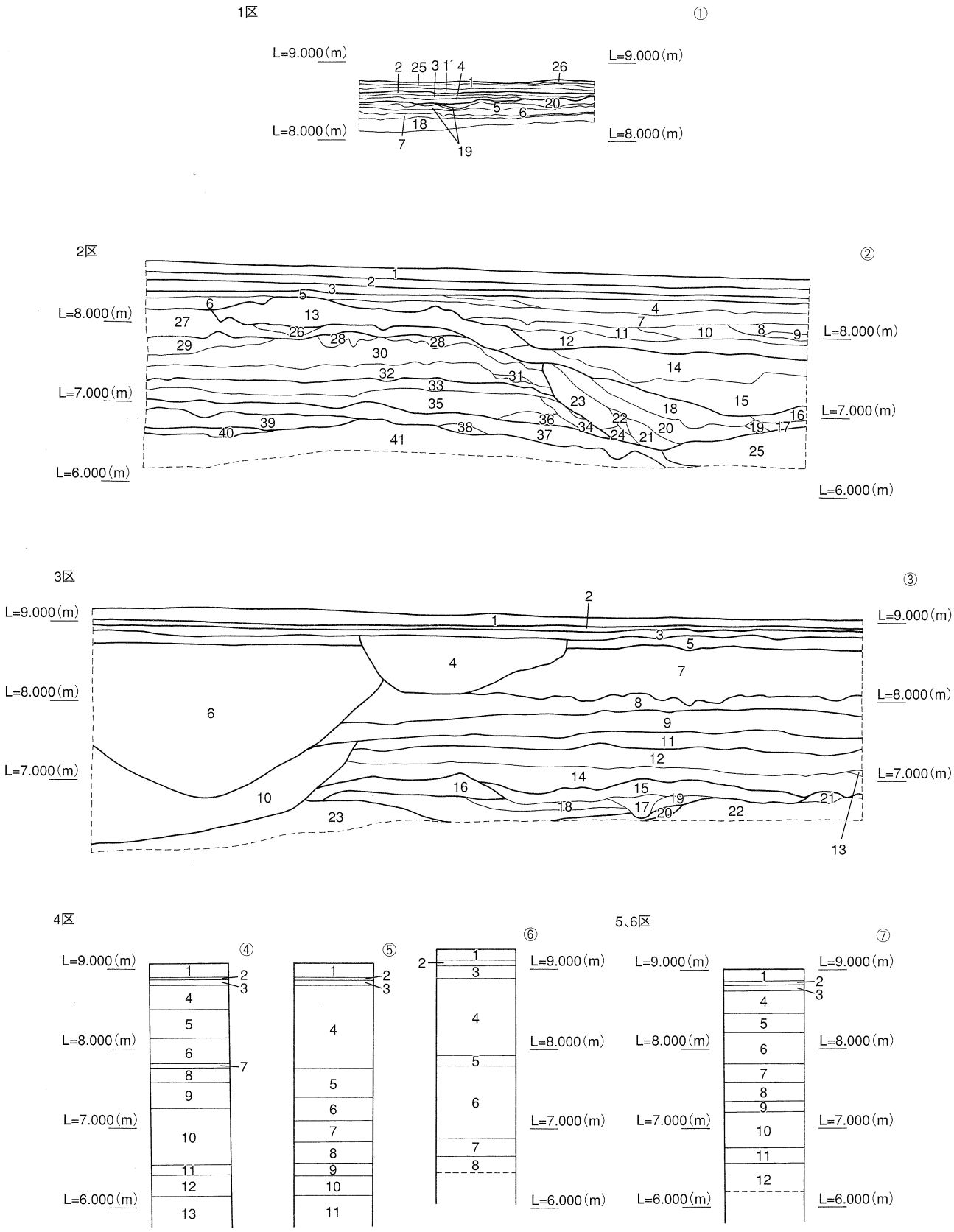
第９～11図に基本土層図調査地点とその基本土層について掲げる。現地表面は、標高8.8m～9.3mであり、Ⅱ群に比べ、高低差は小さい。４区と８区のあたり、そして、12区で標高9.3m前後の最高所が認められることから、本調査区では、南から徐々に上がり、４・８区付近で最も高くなりそこから緩やかな傾斜で、５・６区と７区の境目あたりにかけて、標高9.0m前後まで現地表面は下がっていく。そこからなだらかに12区へ向かって、標高9.3m前後まで上がっていくことが基本土層図から読み取ることができよう。この現地表面から30㎝前後の層厚で、旧耕作土と床土が広がる。耕作土より下にさらに５～15㎝の層厚で、古代～中世の包含層が認められる。色調は黄褐色が主体で、土質はシルトもしくは、粘性の強い砂質土である。この古代～中世の包含層は遺存状態は良好ではなく、地点によっては削平を受けているところもある。したがって、古代～中世の遺構面は、単独で存在しない場所もあり、弥生時代の遺構面で検出された古代～中世の遺構群も少なからず存在している。このような条件下ではあるが、古代～中世の遺構面は、標高8.6m～9.0m付近に存在している。

一方、弥生時代の遺構面は、古代～中世の遺構面からさらに下に、10～30㎝の弥生時代遺物包含層を挟んで形成されている。弥生時代遺物包含層は、にぶい黄褐色の色調を基本とし、シルトもしくは、砂質土である。古代～中世の遺物包含層に比べると、層厚にばらつきはあるものの、調査地点全体では安定して存在しており、これら弥生時代遺物包含層を鍵層として、人力で包含層掘削を進め、弥生時代遺構面の検出に努めた。遺構面の標高は8.2m～8.8m付近に存在する。この弥生時代遺構面下50～80㎝の無遺物層を挟んで下層に、縄文時代の包含層が広がっている。

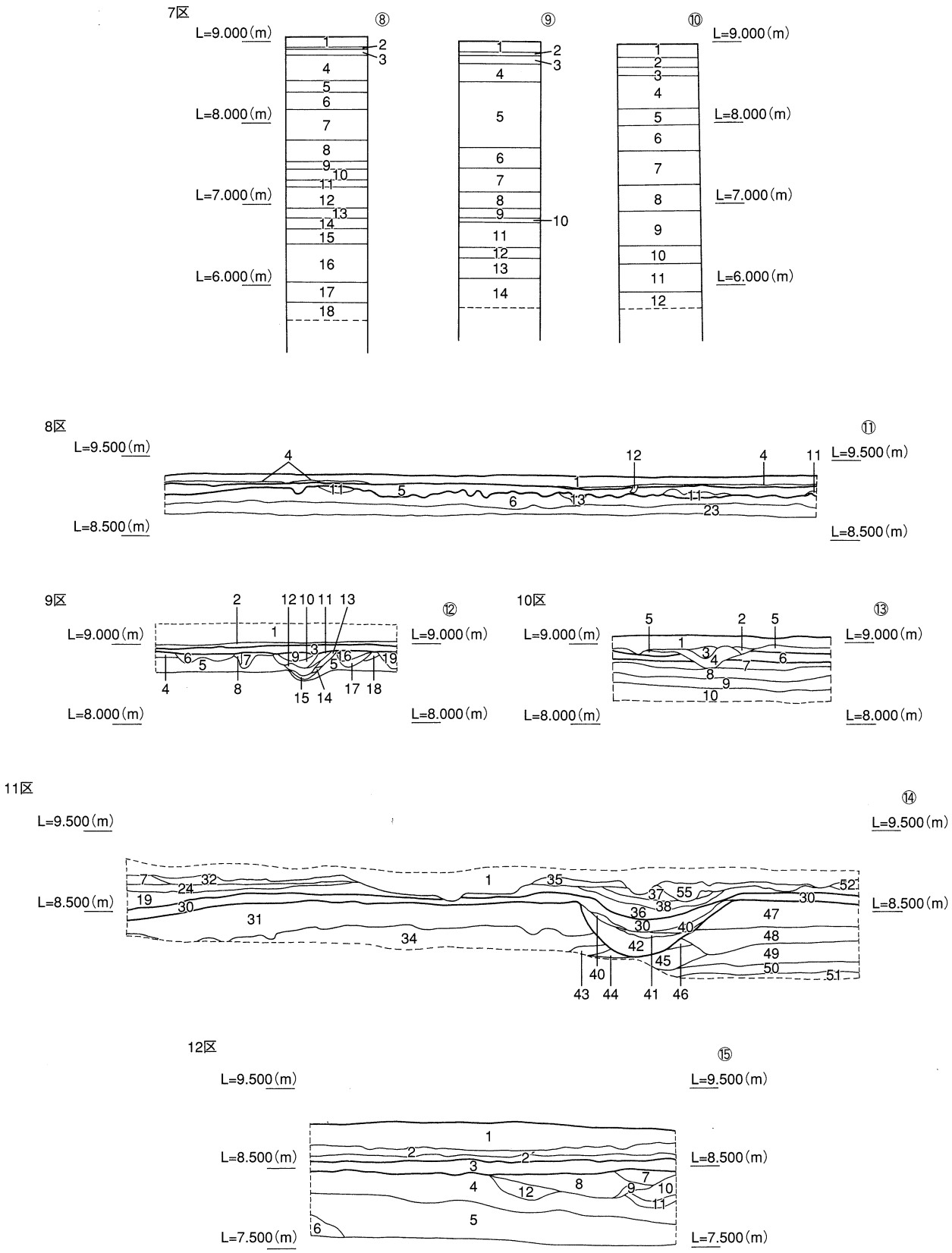
以上のような層序関係があり、古代～中世の遺構面を、第１遺構面と呼び、弥生時代の遺構面を、第２遺構面と称して、遺構番号を決定した。以下では、弥生時代の遺構について前述し、古代～中世の遺構について後述していくことにしたい。



第9図　基本土層図調査地点


1区
①
L=9.000(m)
L=8.000(m)
2区
②
L=8.000(m)
L=7.000(m)
L=6.000(m)
3区
③
L=9.000(m)
L=8.000(m)
L=7.000(m)
4区
④
⑤
⑥
5、6区
⑦
L=9.000(m)
L=8.000(m)
L=7.000(m)
L=6.000(m)

第10図　基本土層図（1）


7区
⑧
⑨
⑩
L=9.000(m)
L=8.000(m)
L=7.000(m)
L=6.000(m)
8区
⑪
L=9.500(m)
L=8.500(m)
9区
⑫
L=9.000(m)
L=8.000(m)
10区
⑬
L=9.000(m)
L=8.000(m)
11区
⑭
L=9.500(m)
L=8.500(m)
12区
⑮
L=9.500(m)
L=8.500(m)
L=7.500(m)

第11図　基本土層図（2）

1区①
1 褐色 10YR4/6 粘質土
1' 褐色 10YR4/6 粘質土
2 黄灰色 2.5Y5/1 粘質土
3 明黄褐色 10YR6/6 粘質土
4 黄褐色 2.5Y5/4 粘質土
5 黄褐色 2.5Y5/4 粘質土
6 黄灰色 2.5Y6/1 粘質土
7 黄褐色 10YR5/6 粘質土
18 にぶい黄褐色 10YR5/4 粘質土
19 褐灰色 10YR6/1 粘質土
20 にぶい黄褐色 10YR5/4 粘質土
25 オリーブ褐色 2.5Y4/6 粘質土
26 褐色 10YR4/4 粘質土

2区②
1 [耕作土]
2 褐灰色 10YR5/1 シルト
3 灰黄色 2.5Y6/2 シルト
4 にぶい黄褐色 10YR5/3 シルト
5 黄褐色 2.5Y5/4 シルト
6 オリーブ褐色 2.5Y4/4 シルト
7 にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト
8 黄褐色 10YR5/6 シルト
9 にぶい黄褐色 10YR5/3 シルト
10 褐色 10YR4/6 シルト
11 褐色 10YR4/4 シルト
12 灰黄褐色 10YR4/2 シルト
13 [砂礫層]
14 にぶい黄褐色 10YR5/4
15 にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト砂混じり
16 オリーブ褐色 2.5YR4/6 砂質土
17 暗褐色 10YR3/3 砂質土
18 にぶい黄褐色 10YR5/4 砂質土
19 褐色 10YR4/4 シルト砂混じり
20 にぶい黄褐色 10YR5/3 砂質土
21 暗褐色 10YR3/3 シルト砂混じり
22 暗褐色 10YR3/4 シルト砂混じり
23 にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト砂混じり
24 褐色 10YR4/4 シルト砂混じり
25 [砂礫層]
26 褐灰色 10YR4/1 砂層
27 褐色 10YR4/6 砂質土
28 オリーブ褐色 2.5Y4/6 シルト
29 オリーブ褐色 2.5Y4/4 シルト砂混じり
30 オリーブ褐色 2.5Y4/4 シルト砂混じり
31 にぶい黄色 2.5Y6/4 シルト
32 黄褐色 2.5Y5/4 シルト
33 褐色 10YR4/4 シルト
34 にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト
35 にぶい黄褐色 10YR4/3 シルト砂混じり
36 褐色 10YR4/4 シルト砂混じり
37 オリーブ褐色 2.5Y4/4 砂質土
38 オリーブ褐色 2.5Y4/6 シルト
39 褐色 10YR4/4 シルト砂混じり
40 にぶい黄褐色 10YR4/3 砂質土
41 褐色 10YR4/4 シルト

3区③
1 [耕作土]
2 [床土]
3 明褐色 7.5YR5/6 シルト砂混じり
4 [SD1082埋土]
5 にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト砂混じり
6 [流路上層]
7 褐色 10YR4/4 砂質土無遺物層
8 にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト砂混じり
9 にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト砂混じり
10 [流路中層]
11 にぶい褐色 10YR5/4 シルト砂混じり
12 にぶい黄褐色 10YR5/3 砂質土
13 にぶい黄褐色 10YR5/4
14 にぶい黄褐色 10YR5/3 砂質土
15 にぶい黄褐色 10YR5/3 シルト砂混じり
16 黄褐色 10YR5/6 シルト砂混じり
17 にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト砂混じり
18 褐色 10YR4/4 シルト砂混じり
19 にぶい黄褐色 10YR4/3 シルト砂混じり
20 黄褐色 2.5Y5/4 シルト砂混じり
21 にぶい黄褐色 10YR5/3 砂質土
22 にぶい黄褐色 10YR5/4 砂質土
23 [流路下層]

4区④
1 [耕作土]
2 [床土]
3 にぶい黄橙色 10YR6/4 シルト
4 黄褐色 10YR5/3 シルト砂混じり
5 にぶい黄褐色 10YR4/3 シルト砂混じり
6 にぶい黄褐色 10YR4/3 シルト砂混じり
7 オリーブ褐色 2.5Y4/4 シルト砂混じり
8 オリーブ褐色 2.5Y4/4 シルト砂混じり
9 黄褐色 2.5Y5/4 シルト
10 [SR4003埋土]
11 褐色 10YR4/4 砂質土
12 にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト砂混じり
13 黄褐色 2.5Y5/4 細砂

4区⑤
1 [耕作土]
2 [床土]
3 にぶい黄色 2.5Y6/4 シルト
4 黄褐色 2.5Y5/3 シルト砂混じり
5 にぶい黄褐色 10YR5/4 砂質土
6 褐色 10YR4/4 シルト砂混じり
7 褐色 10YR4/4 砂質土
8 にぶい黄褐色 10YR4/3 砂質土
9 褐色 10YR4/4 シルト砂混じり
10 にぶい黄褐色 10YR4/3 砂質土
11 にぶい黄褐色 10YR4/3 細砂

4区⑥
1 [耕作土]
2 [床土]
3 黄褐色 2.5Y5/3 シルト
4 黄褐色 2.5Y5/4 シルト砂混じり
5 にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト砂混じり
6 にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト砂混じり
7 褐色 10YR4/4 シルト砂混じり
8 にぶい黄褐色 10YR4/3 細砂

5・6区⑦
1 [耕作土]
2 [床土]
3 灰褐色 7.5YR6/2 砂質土
4 明黄褐色 2.5Y6/8 砂質土
5 明黄褐色 2.5Y6/6 砂質土
6 明黄褐色 10YR6/6 シルト砂混じり
7 明黄褐色 10YR6/6 シルト砂混じり
8 明黄褐色 10YR6/6 シルト砂混じり
9 黄橙色 10YR7/8 シルト砂混じり
10 にぶい黄褐色 10YR5/4 細砂
11 暗灰黄色 2.5Y4/2 細砂
12 黄灰色 2.5Y4/1 細砂

7区⑧
1 [耕作土]
2 [床土]
3 暗灰黄色 2.5Y4/2 シルト
4 暗灰黄色 2.5Y4/2 シルト
5 黄褐色 2.5Y5/4 シルト砂混じり
6 黄褐色 2.5Y5/3 シルト砂混じり
7 暗灰黄色 2.5Y4/2 シルト
8 にぶい黄褐色 10YR4/3 シルト砂混じり
9 黄褐色 2.5Y5/3 シルト砂混じり
10 灰黄褐色 10YR4/2 砂質土
11 にぶい黄褐色 10YR5/3 細砂
12 にぶい黄褐色 10YR4/3 砂礫層
13 褐色 10YR4/4 シルト砂混じり
14 にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト
15 褐色 10YR4/4 シルト
16 にぶい黄色 2.5YR6/3 シルト砂混じり
17 にぶい黄色 2.5YR6/4 シルト
18 灰オリーブ色 5Y5/3 シルト砂混じり

7区⑨
1 [耕作土]
2 [床土]
3 褐色 7.5YR4/4 シルト砂混じり
4 暗灰黄色 2.5Y4/2 シルト
5 にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト
6 にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト
7 にぶい黄褐色 10YR5/3
8 にぶい黄褐色 10YR5/3
9 褐色 10YR4/4 シルト砂混じり
10 にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト
11 黄褐色 2.5Y5/3 シルト
12 黄褐色 2.5Y5/4 シルト
13 オリーブ褐色 2.5Y4/3 シルト砂混じり
14 褐色 10YR4/4 砂質土

7区⑩
1 [耕作土]
2 褐色 10YR4/6 シルト
3 褐色 10YR4/6 シルト
4 にぶい黄色 2.5Y6/3 シルト
5 灰黄色 2.5Y6/2 シルト
6 にぶい黄色 10YR5/4 シルト砂混じり
7 黄褐色 2.5Y5/3 シルト砂混じり
8 褐色 10YR4/4 シルト砂混じり
9 オリーブ褐色 2.5Y4/4 シルト砂混じり
10 黄褐色 2.5Y4/4 シルト砂混じり
11 褐色 10YR4/4 シルト
12 黄褐色 2.5Y4/4 シルト

8区⑪
1 [耕作土]
4 [床土]
5 にぶい黄褐色 10YR5/3 シルト
6 灰黄褐色 10YR4/2 砂質土
11 灰黄褐色 10YR4/2 シルト
12 にぶい黄褐色 10YR5/3 粘質土
13 にぶい黄褐色 10YR5/3 砂質土
23 黄褐色 2.5Y5/3 粗砂

9区⑫
1 [耕作土]
2 [床土]
3 暗褐色 7.5YR3/4 粘性砂質土
4 にぶい黄褐色 10YR5/4 粘性砂質土
5 明黄褐色 10YR6/6 粘性砂質土
6 灰褐色 7.5YR4/2 粘性砂質土
7 灰褐色 7.5YR6/2 粘性砂質土
8 灰褐色 7.5YR5/2 粘性砂質土
9 灰褐色 7.5YR4/2 粘性砂質土
10 灰褐色 7.5YR5/2 粘性砂質土
11 灰褐色 7.5YR6/2 粘性砂質土
12 にぶい褐色 7.5YR5/3 粘性砂質土
13 にぶい褐色 7.5YR5/3 粘性砂質土
14 明黄褐色 10YR6/6 粘性砂質土
15 にぶい褐色 7.5YR6/3 粘性砂質土
16 灰褐色 7.5YR5/2 砂質土
17 黒褐色 10YR3/1 粘質土
18 灰褐色 7.5YR5/2 砂質土
19 灰褐色 7.5Y4/2 粘性砂質土

10区
1 灰黄褐色 10YR6/2 粘性砂質土
2 にぶい黄橙色 10YR6/3 砂質土
3 黄褐色 10Y5/4 砂質土
4 にぶい黄色 2.5Y6/3 砂質土
5 にぶい黄色 2.5Y6/4 粘性砂質土
6 浅黄色 2.5Y7/4 粘性砂質土
7 浅黄色 2.5Y7/3 粘性砂質土
8 にぶい褐色 7.5YR5/3 粘性砂質土
9 にぶい黄橙色 10YR6/3 粘性砂質土
10 明黄褐色 10YR6/6 粘質土

11区⑭
1 黄褐色 2.5Y5/4 粘性砂質土
7 黄褐色 2.5Y5/3 粘性砂質土
19 灰黄褐色 10YR4/2 粘性砂質土
24 黒褐色 10YR2/2 粘性砂質土
30 暗灰黄色 2.5Y5/2 粘性砂質土
31 黄褐色 2.5Y5/4 粘性砂質土
32 にぶい黄褐色 10YR4/3 粘性砂質土
34 灰黄褐色 10YR4/2 砂礫層
35 にぶい黄褐色 10YR4/3 粘性砂質土
36 灰黄褐色 10YR4/2 粘性砂質土
37 灰黄褐色 10YR3/3 粘性砂質土
38 灰黄褐色 10YR5/2 粘性砂質土
40 にぶい黄褐色 10YR5/4 粘性砂質土
41 にぶい黄褐色 10YR5/4 粘性砂質土
42 黄褐色 2.5Y5/4 粘性砂質土
43 褐色 10YR4/4 粘性砂質土
44 にぶい黄褐色 10YR4/3 砂質土
45 2灰黄褐色 10YR4/2 粗砂
46 にぶい黄褐色 10YR4/3 砂質土
47 暗灰黄色 2.5Y5/2 粘性砂質土
48 褐色 10YR4/4 粘性砂質土
49 にぶい黄褐色 10YR4/3 砂質土
50 にぶい黄褐色 10YR4/3 砂質土
51 にぶい黄褐色 10YR4/3 砂
52 にぶい黄褐色 10YR4/3 砂質土
55 黄褐色 2.5Y5/2 粘性砂質土

12区⑮
1 黄褐色 2.5Y5/3 砂質土
2 にぶい黄色 2.5Y6/4 砂質土
2' 黄褐色 2.5Y5/4 粘性砂質土
3 オリーブ褐色 2.5Y4/3 粘性砂質土
4 黄褐色 2.5Y5/3 粘性砂質土
5 黄褐色 2.5Y5/4 粘性砂質土
7 黄褐色 2.5Y5/3 砂質土
8 にぶい黄褐色 10YR5/3 砂質土
9 灰オリーブ色 5Y5/2 砂質土
10 オリーブ褐色 2.5Y4/4 砂質土
11 黄褐色 2.5Y5/4 砂質土
12 黄褐色 2.5Y5/4 砂質土

第3表　基本土層図土色一覧

2　遺構と遺物

前述したように、矢野遺跡Ⅰ群は、縄文時代の遺構面と弥生時代の遺構面、古代の遺構面が存在している。そのうち、縄文時代の遺構面については、『矢野遺跡（Ⅱ）』で既に述べた。ここでは、弥生時代と古代の遺構、遺物について記載していきたい。

（1）弥生時代中期～後期

弥生時代中期から後期前半と考えられる遺構と遺物が出土している。検出された遺構の種類には、掘立柱建物（SA）、竪穴住居跡（SB）、溝状遺構（SD）、土坑（SK）、ピット（SP）、自然流路（SR）、土壙墓（ST）、性格不明遺構（SX）が挙げられる。掘立柱建物跡は２棟、竪穴住居跡は42棟、溝状遺構は30条、土坑は115基、ピットは約500基、自然流路は３条、性格不明遺構は22基、で合計約700基の遺構が確認できた。以下では、これらの遺構の中で、遺物が出土した遺構について、とくに検討を加え見ていくことにしたい。なお、第12図に主要遺構配置図を掲げるので参照して頂きたい。

①掘立柱建物跡（SA)

掘立柱建物跡（SA2001）

位置　７区 Loc.D-2　ε-Ⅱ　rs５～７　　**床面積**　34.9㎡　　**主軸方向**　N-63°-W

柱穴　EP１～13の13基（径30～60㎝、深さ18～80㎝）

土層　各柱穴の覆土は１～２層

柱穴間距離　最大296㎝　最小124㎝　　梁間　370㎝　　桁行944㎝

遺物出土状況　図示できるような土器、石器は出土していない。EP９から鉄鏃が１点出土している。

時期　弥生時代中期後半

備考　検出された柱穴は13基である。各柱穴間距離は130㎝前後であるが、EP10・11間の距離が296㎝と長いので、EP10・11間には、掘り込みを持たない、礎板などで柱を支えていた可能性があり、一間×六間の掘立柱建物と考えられる。

掘立柱建物跡（SA2002）

位置　10区 Loc.D-2　ε-Ⅱ　rs２　　**床面積**　14㎡　　**主軸方向**　N-82°-W

柱穴　EP１～７の７基（径40～70㎝、深さ18～30㎝）

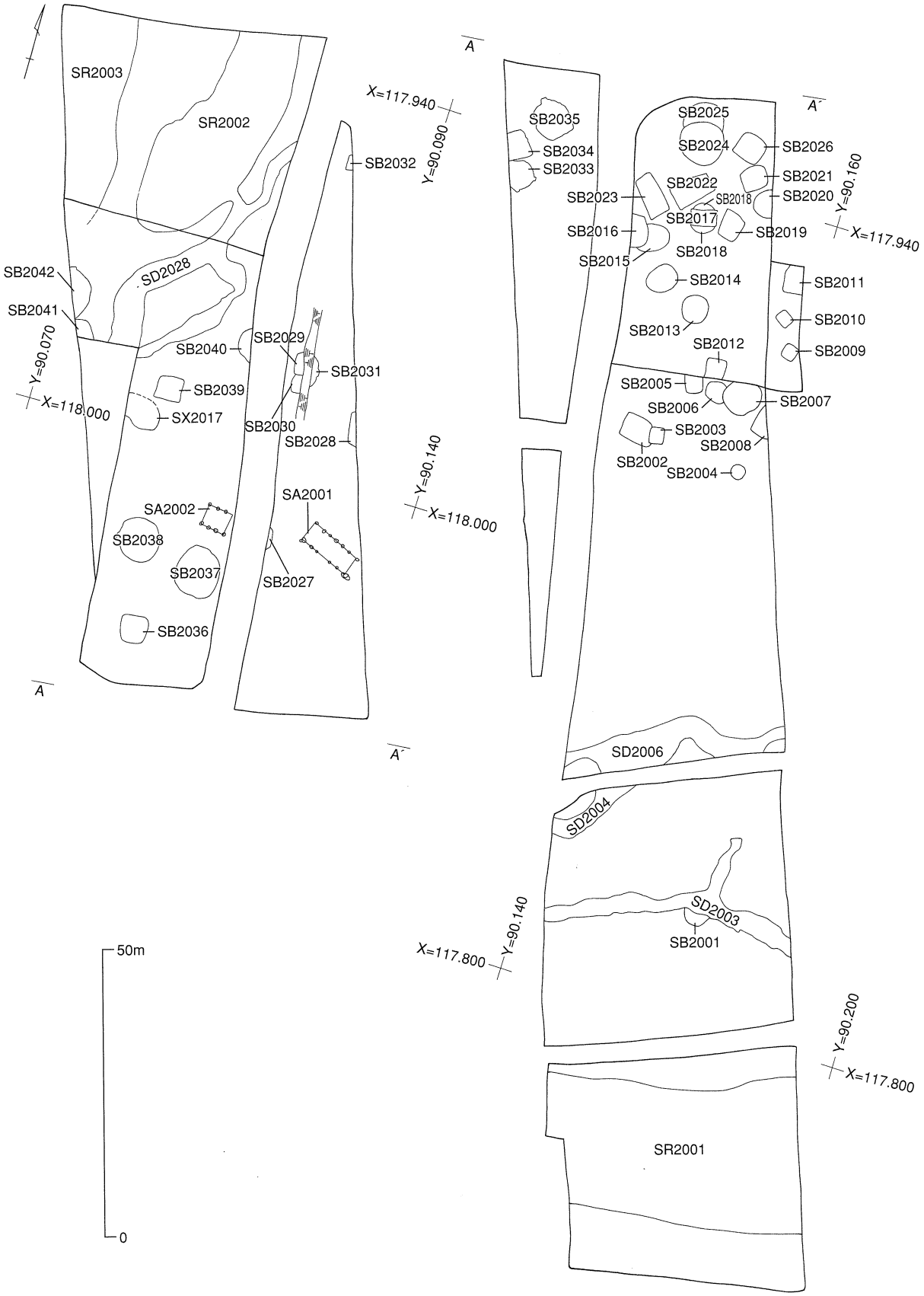
土層　各柱穴の覆土は３～７層

柱穴間距離　最大140㎝　最小121㎝　　梁間　350㎝　　桁行400㎝

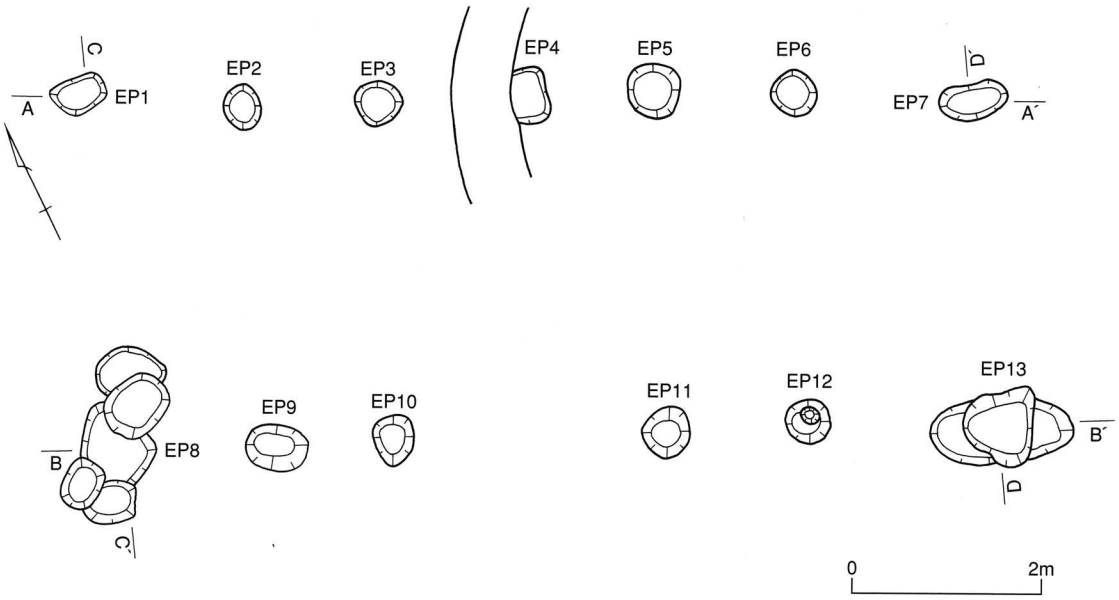
遺物出土状況　各柱穴から図示できた土器は29点である。何れの土器片も細かな破片で出土しており、完形での出土も見られないことから、埋納したわけではないことがわかる。石器や鉄器は出土していない。

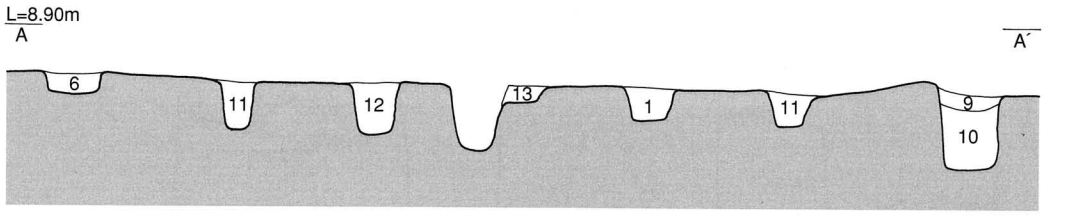
時期　弥生時代中期後半

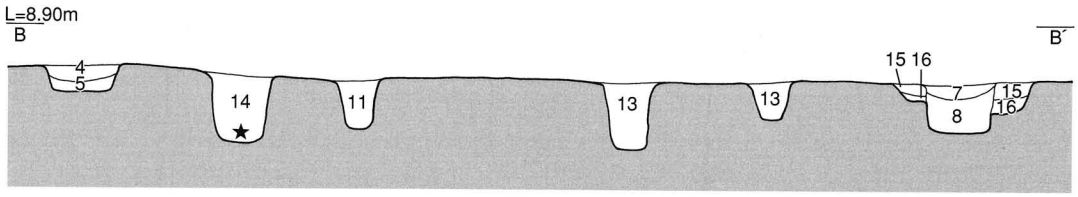
備考　検出された柱穴は７基である。各柱穴間距離は130㎝前後である。EP３の東側は調査区外であり、本来は、この部分にも柱穴があると予想されるので、一間×三間の掘立柱建物と考えて良いであろう。

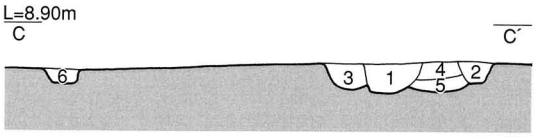


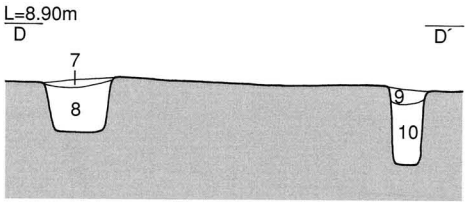
第12図　矢野遺跡Ⅰ群主要遺構配置図（弥生時代　S=1/1000）





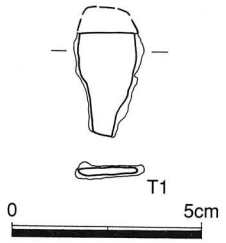




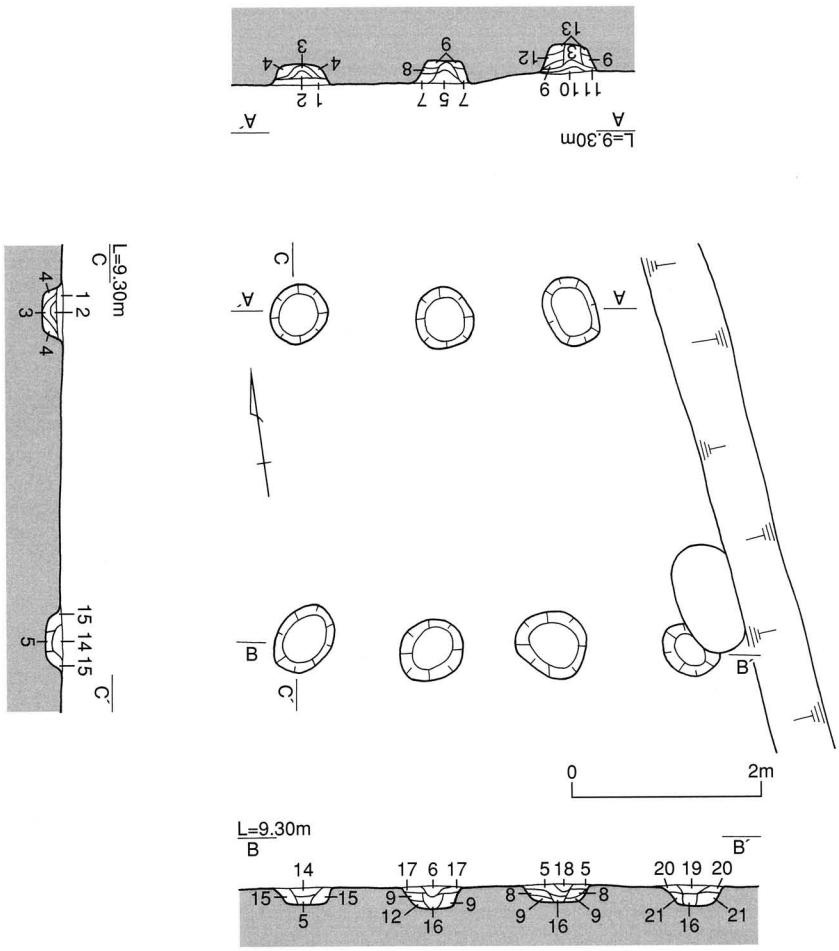


1	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土	(マンガンを含む。)
2	オリーブ褐色	2.5Y4/4	粘性砂質土	(マンガンを少量含む。)
3	オリーブ褐色	2.5Y4/6	粘性砂質土	(マンガンを含む。)
4	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土	(粘性がやや強い。マンガン、炭化物を含む。)
5	オリーブ褐色	2.5Y4/3	粘性砂質土	(マンガンを少量含む。)
6	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土	(砂質が強い。マンガンを含む。粘性の強い褐色粘性砂質土を少量含む。)
7	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土	(マンガン、炭化物、土器粒を含む。)
8	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土	(マンガンを微量含む。)
9	黄褐色	2.5Y5/6	粘性砂質土	(マンガン、炭化物を少量含む。)
10	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土	(粘性がやや強い。)
11	暗灰黄色	2.5Y4/2	粘性砂質土	
12	黄褐色	10YR5/6	粘性砂質土	(マンガン、炭化物を少量含む。)
13	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土	(マンガン、炭化物を含む。)
14	黄褐色	2.5Y5/3	粘性砂質土	〔マンガンを含み、土器片、鉄鏃(★印)を含む。〕
15	暗灰黄色	2.5Y4/2	粘性砂質土	(マンガン、炭化物、礫を含む。)
16	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘性砂質土	(マンガン、炭化物、土器片を含む。)

第13図　SA2001平・断面図（S＝1/80）

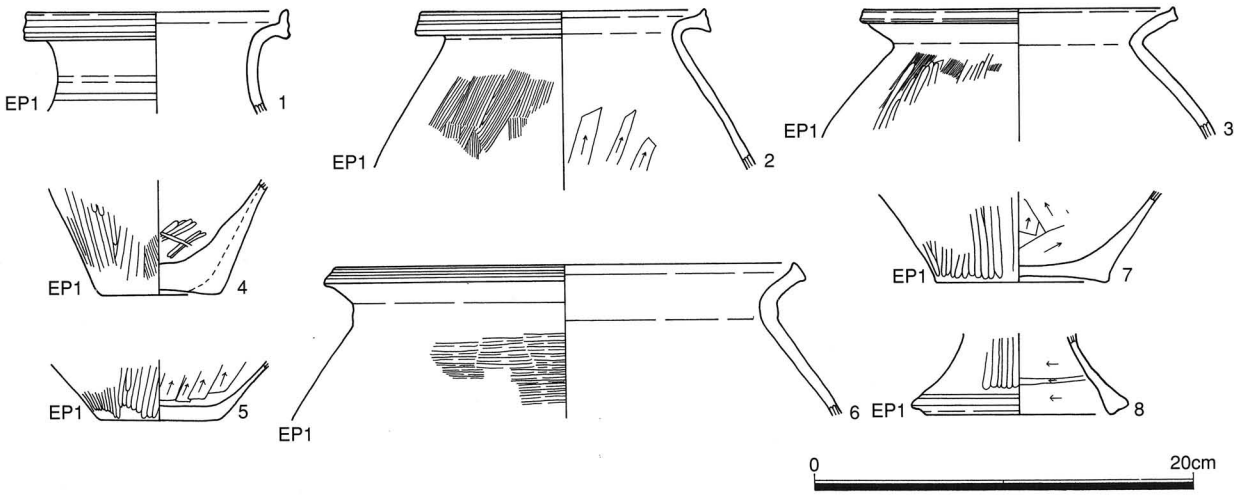


第14図　SA2001出土鉄器

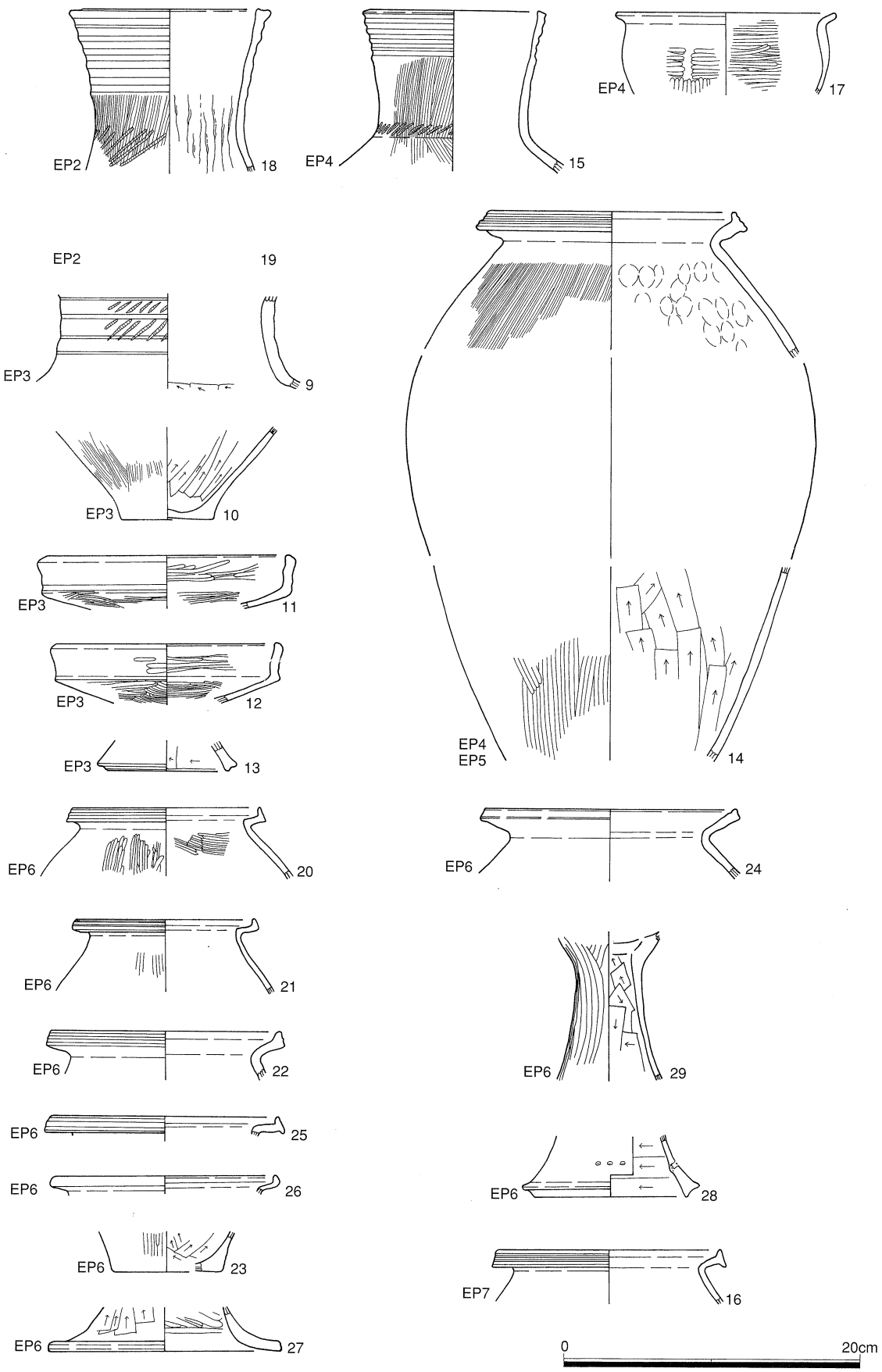


1	黄褐色	10YR5/6	粘性砂質土
2	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘質土
3	オリーブ褐色	2.5Y4/4	粘質土
4	にぶい黄褐色	10YR6/4	粘質土
5	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘質土
6	褐色	10YR4/4	粘質土
7	黄褐色	10YR5/6	粘質土
8	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土
9	オリーブ褐色	2.5Y4/3	粘質土
10	褐色	10YR4/4	粘性砂質土
11	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土（炭化物を含む。）
12	黄褐色	2.5Y5/3	粘質土
13	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土　（炭化物を含む。赤褐色粒を含む。）
14	黄褐色	2.5Y5/3	砂質土
15	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土
16	にぶい黄褐色	10YR5/4	砂質土
17	にぶい黄褐色	10YR5/3	砂質土
18	褐色	10YR4/4	砂質土
19	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘性砂質土
20	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘性砂質土
21	灰黄褐色	10YR4/2	粘性砂質土

第15図　SA2002平・断面図



第16図　SA2002出土土器（1）



第17図　SA2002出土土器（2）

竪穴住居跡（SB2001）

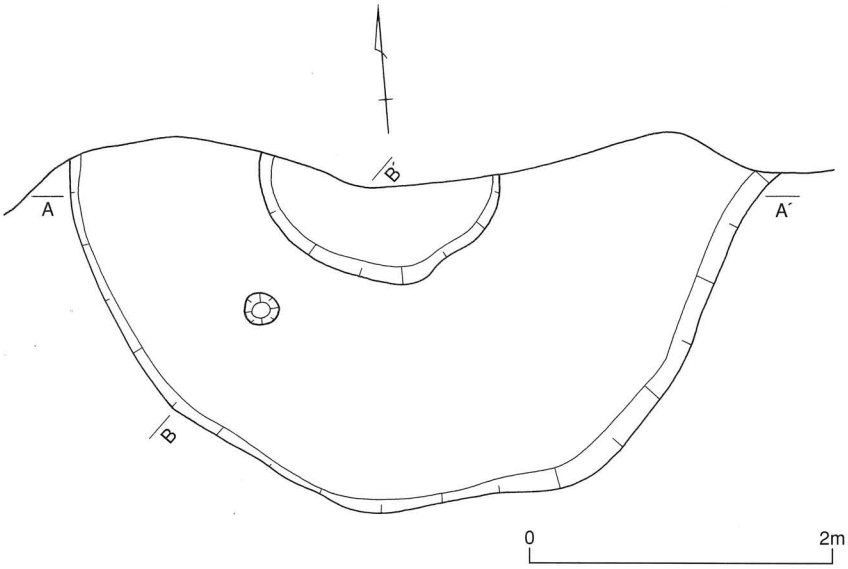
位置　3区　Loc.D 2　δⅡ　d14～15　　**平面形**　円形　　**床面積**　7.4㎡　　**土層**　2層

主柱穴　1基（径30㎝、深さ25㎝）

炉跡　1基（径110㎝、深さ7㎝、炭化物を多く含む3層）　　**施設**　なし

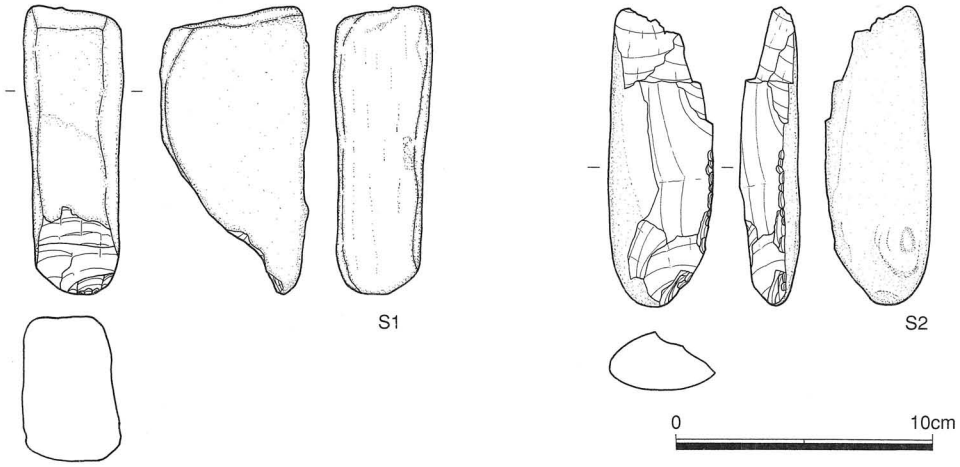
遺物出土状況　土器と石器が覆土から出土している。土器は壺、甕、鉢、高杯の10点、石器は砥石、敲石の3点が図示できた。

時期　弥生時代中期末～後期初頭

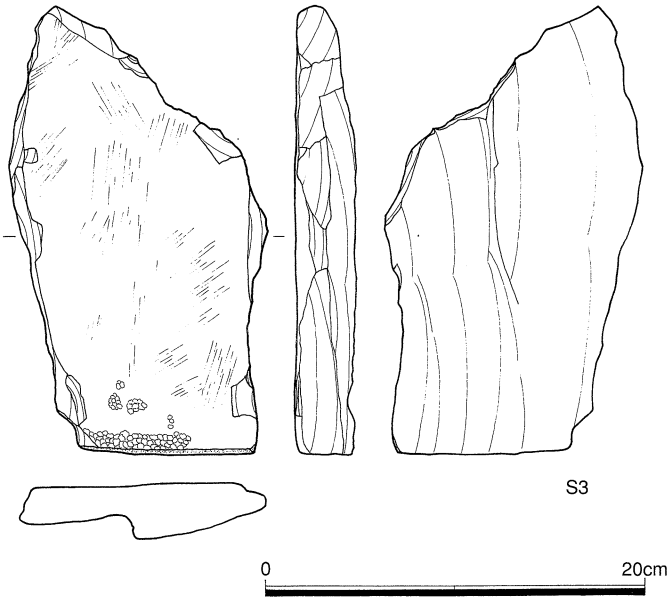


1	にぶい黄色	2.5Y6/4	砂質土	（マンガンを含む。炭化物を少量含む。）
2	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土	（砂質が強い。マンガンを多量に含む。1㎝程度の礫を含む。）
3	にぶい黄色	2.5Y6/4	砂質土	（マンガン、炭化物を少量含む。）
4	黄褐色	2.5Y5/4	砂質土	（マンガンを含む。炭化物を多量に含む。）
5	黄褐色	2.5Y5/4	砂質土	（やや暗い。マンガンを含む。）
6	浅黄色	2.5Y7/4	砂質土	（マンガン、小礫を含む。）

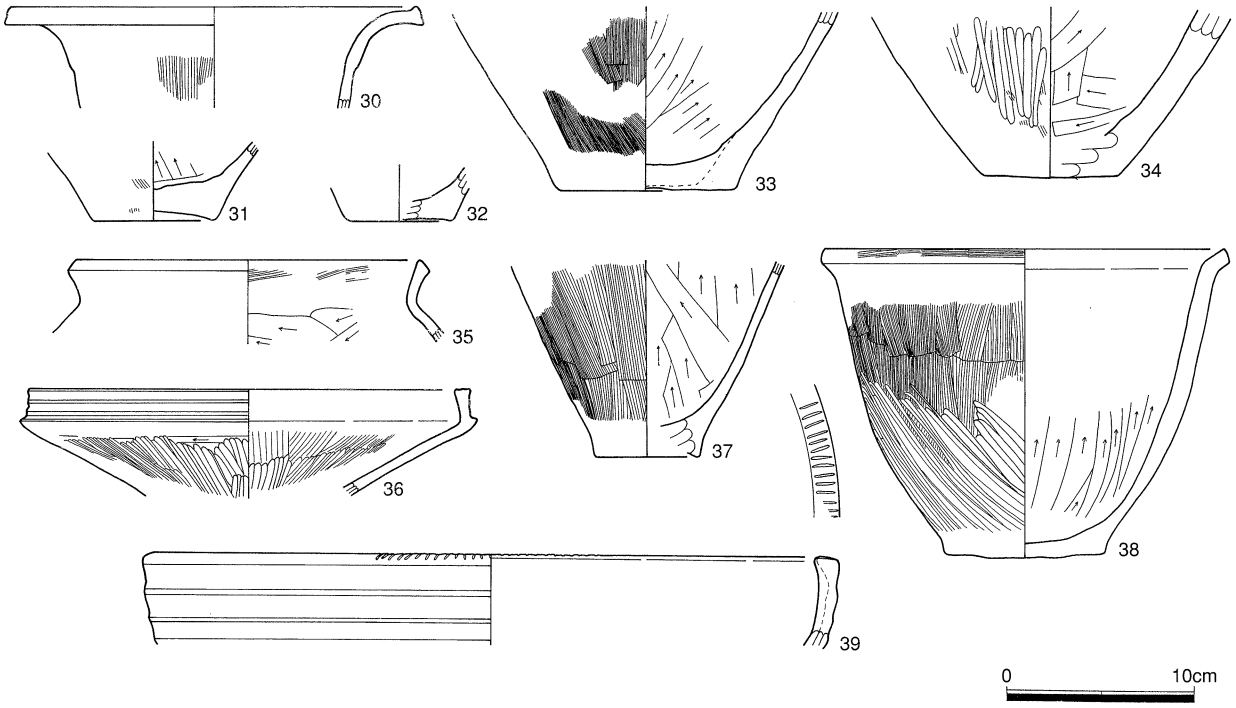
第18図　SB2001平・断面図



第19図　SB2001出土石器（1）



第20図　SB2001出土石器（２）



第21図　SB2001出土土器

竪穴住居跡（SB2002）

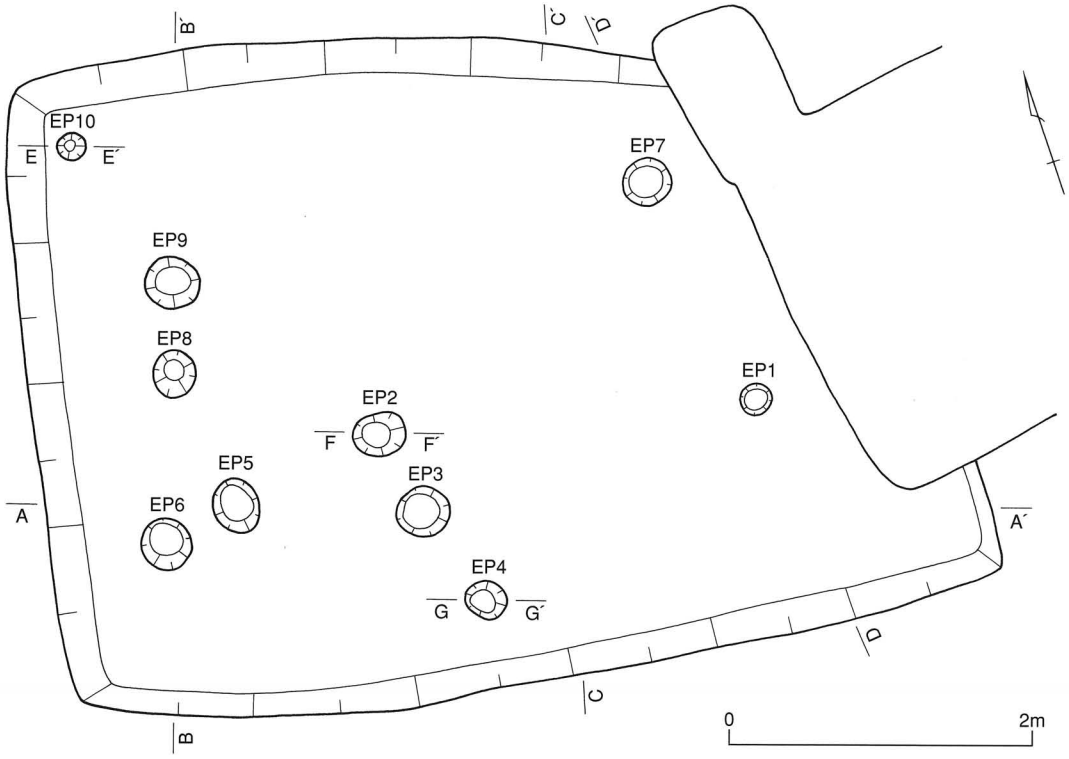
位置　４区　Loc.D２　δⅡ　st７～８　　**平面形**　方形　　**床面積**　18.6㎡　　**土層**　２層

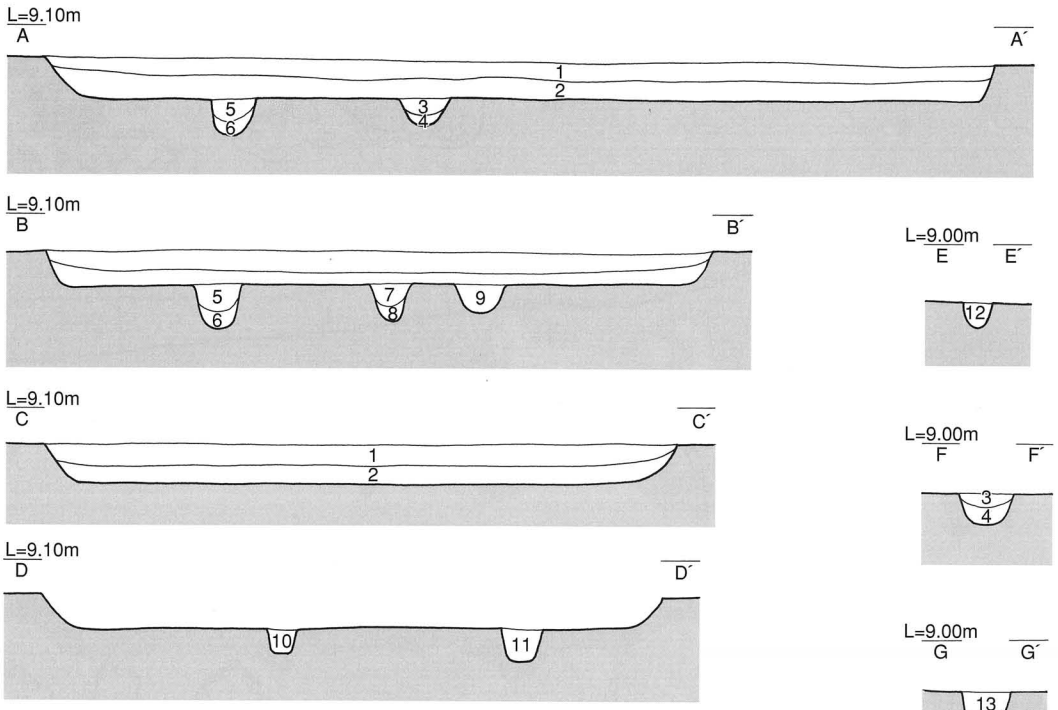
主柱穴　EP1・7・5・9の４基（径18～30㎝、深さ16～31㎝）

炉跡　検出されず　　**施設**　ピット６基

遺物出土状況　西壁体と南壁体付近で主に土器片が細かな破片で床面から10㎝程度浮いた状態で出土している（遺物出土状況図参照）。図示できた土器は、壺、甕の16点である。図示できた石器は剥片１点である。

時期　弥生時代中期後半





1	黄褐色	2.5Y5/3	粘性砂質土	(0.5～2㎝の礫、マンガン、炭化物を含む。)
2	黄褐色	2.5Y5/3	粘性砂質土	(オリーブ褐色・灰黄色粘性砂質土を所々に含む。)
3	にぶい黄色	2.5Y6/3	砂質土	(0.5㎝の礫を含む。EP2・3)
4	黄褐色	2.5Y5/3	砂質土	(0.5～2㎝の礫を多量に含む。EP2・3)
5	にぶい黄色	2.5Y6/4	砂質土	(0.5㎝の礫、マンガンを含む。EP5・6)
6	黄褐色	2.5Y5/3	砂質土	(砂質が強い。EP5・6)
7	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土	(マンガンを含み、土器片も含む。EP 8)
8	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土	(EP 8)
9	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土	(0.5～2㎝の礫、マンガン、土器片を含む。EP 9)
10	黄褐色	2.5Y5/4	砂質土	(マンガン、炭化物を含む。EP 1)
11	黄褐色	2.5Y5/4	砂質土	(EP 7)
12	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘性砂質土	(マンガン、炭化物を含み、粒子が細かい。EP10)
13	にぶい黄色	2.5Y6/4	砂質土	(灰褐色土を所々に含む。EP 4)
14	黄褐色	2.5Y5/4	砂質土	(マンガンを含む。EP 4)

第22図　SB2002平・断面図（S＝1/50）

40・41・42・43・44・46・47
49・50・51・52・54・55

40・41・42・43・44・45・46
47・49・50・51・53・55

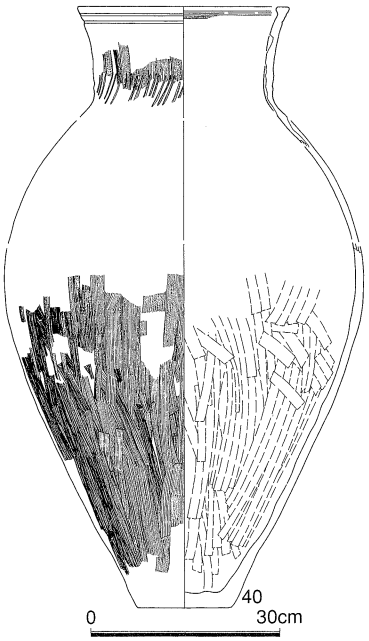
40・41・42・43・44・46
47・49・50・51・52・55

40・42・43・44
47・50・51・53

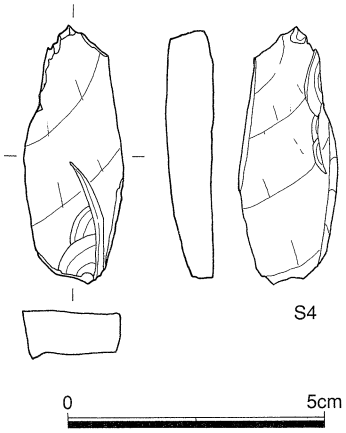
40・41・42・43・44
46・47・50・53

0　1m

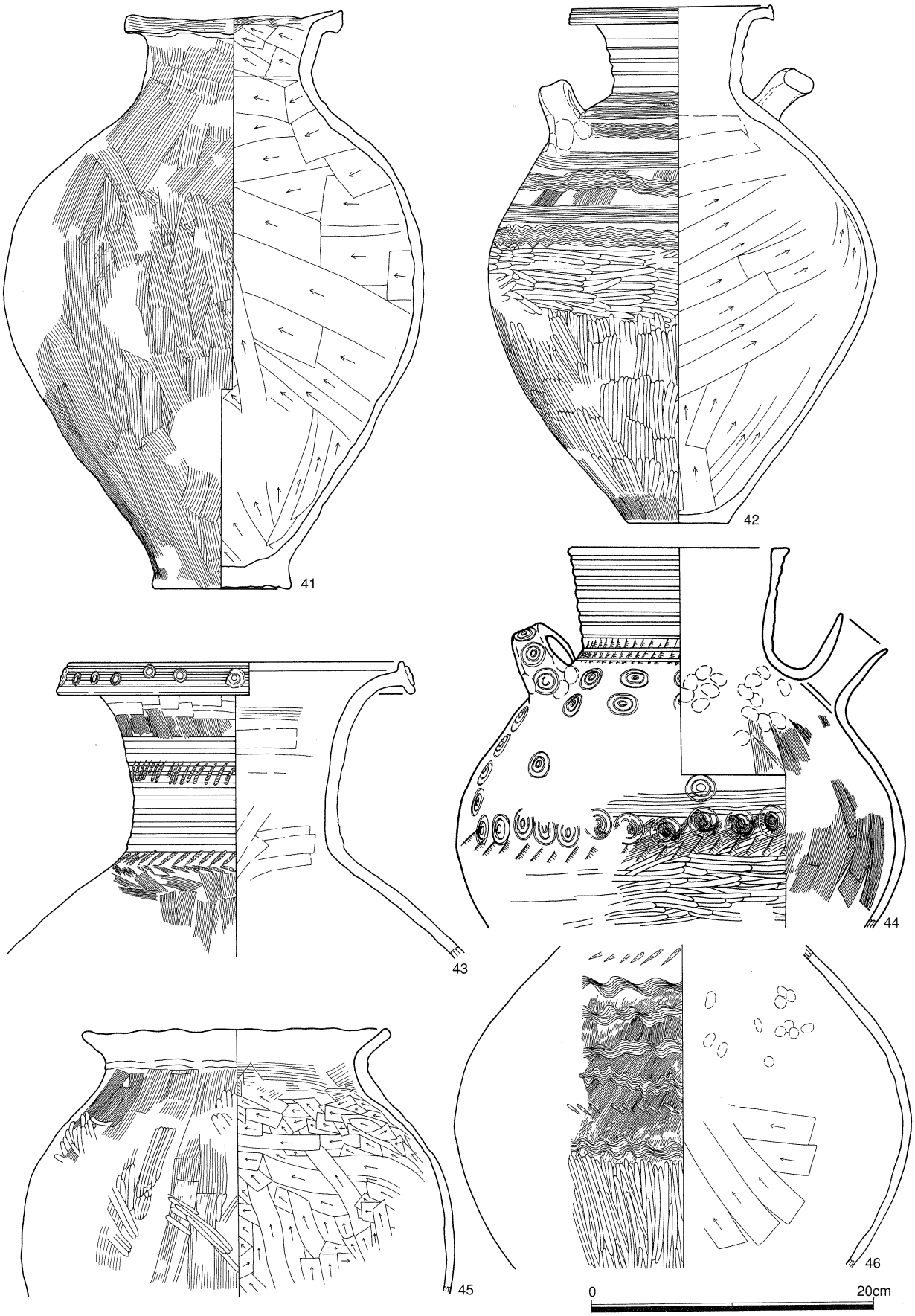
第23図　SB2002遺物出土状況図



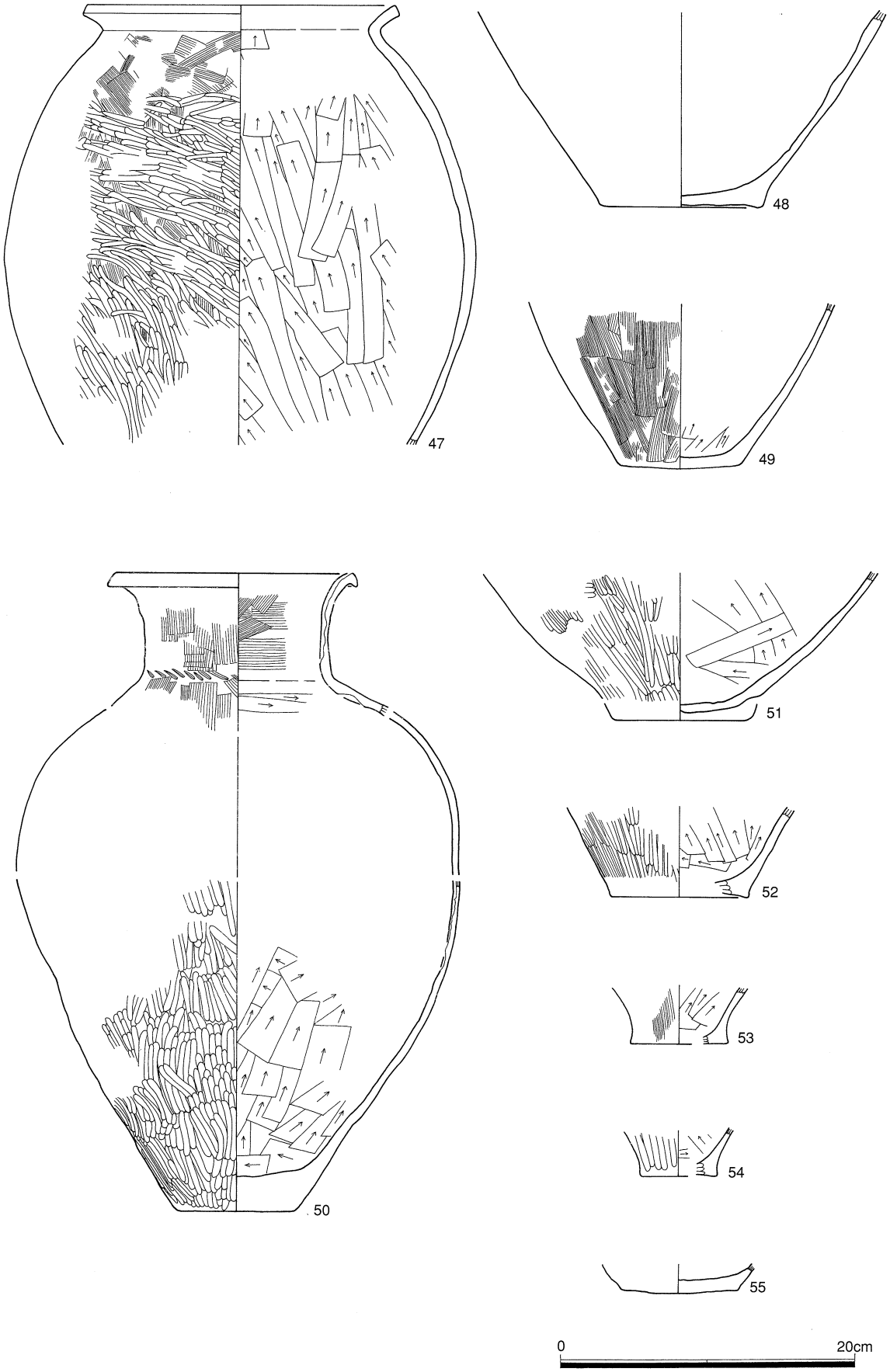
第24図　SB2002出土土器（1）（S＝1/8）



第25図　SB2002出土石器



第26図　SB2002出土土器（２）



第27図　SB2002出土土器（3）

竪穴住居跡（SB2003）

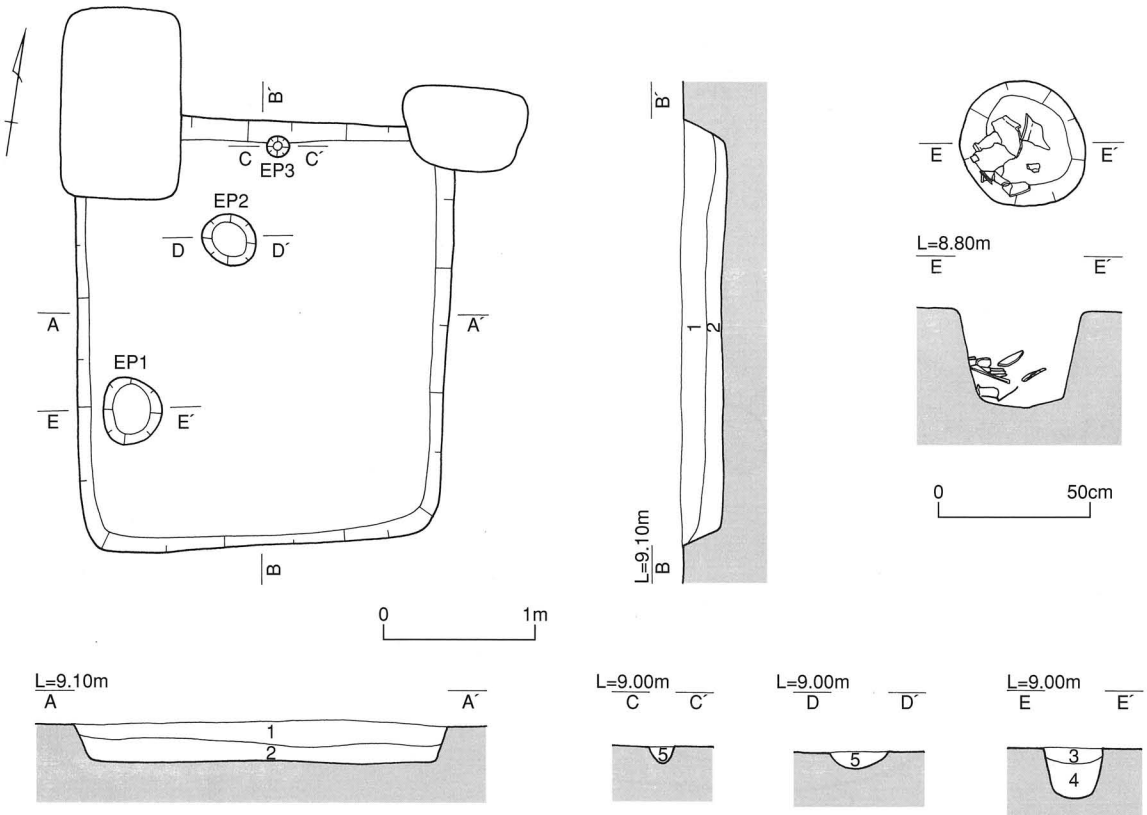
位置　4区　Loc.D2　δⅡ　t8～9　　**平面形**　方形　　**床面積**　5.5㎡　　**土層**　2層

主柱穴　EP1・2の2基（径40㎝、深さ10～30㎝）

炉跡　検出されず　　**施設**　ピット1基

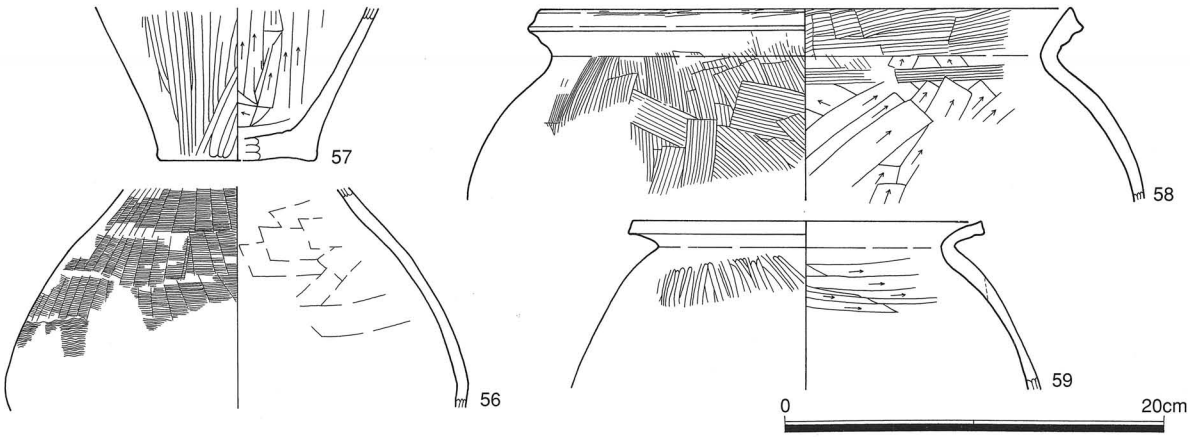
遺物出土状況　住居覆土からは土器、石器が出土しており、図示できた土器は、壺、甕、高杯の7点である。EP1から出土状況図にあるように甕口縁部58～60が出土している。一方、石器は、石鏃と楔形石器が住居覆土から出土している。

時期　弥生時代中期後半～後期前半

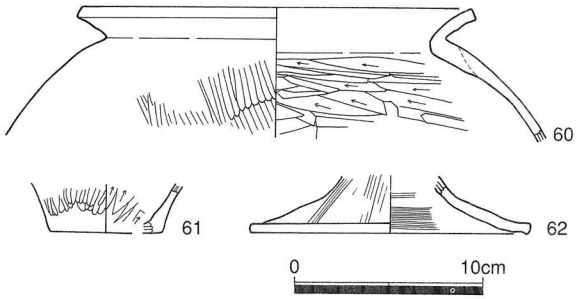


1	暗灰黄色	2.5Y5/2	粘性砂質土（マンガンを含み、炭化物を少量含む。）
2	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土（マンガンを含み、土器片も含む。）
3	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土（EP1）
4	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土（にぶい黄色粘性砂質土を所々に含む。EP1）
5	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土（マンガンを含み、炭化物を少量含む。EP2・3）

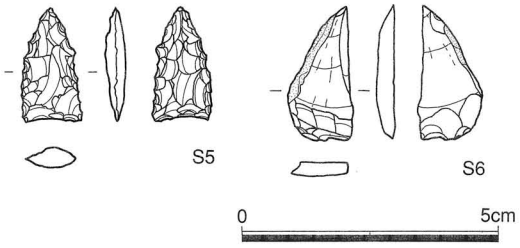
第28図　SB2003平・断面図（S＝1/25・1/50）



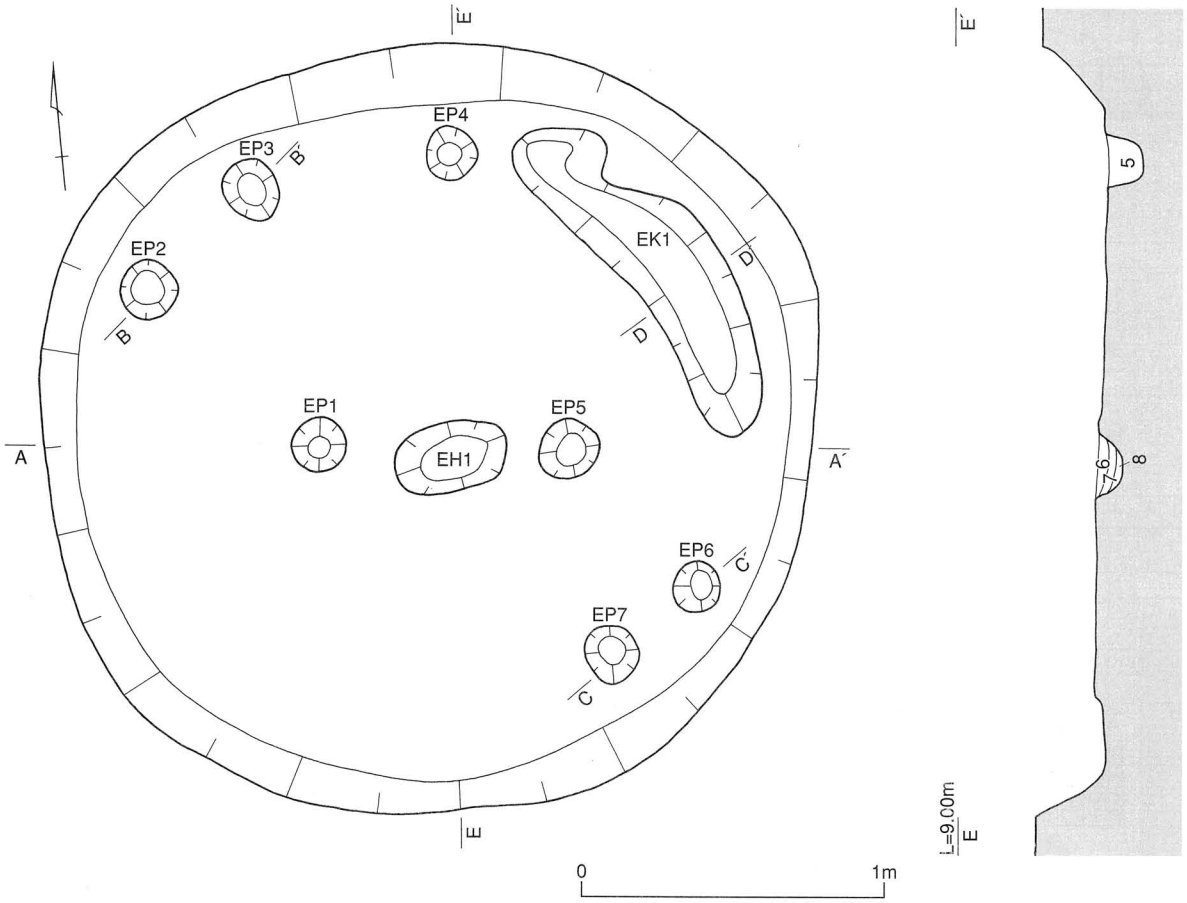
第29図　SB2003出土土器（1）

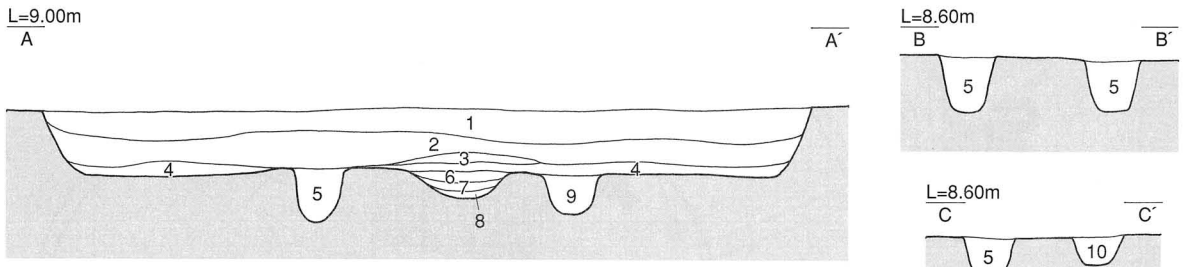


第30図　SB2003出土土器（２）



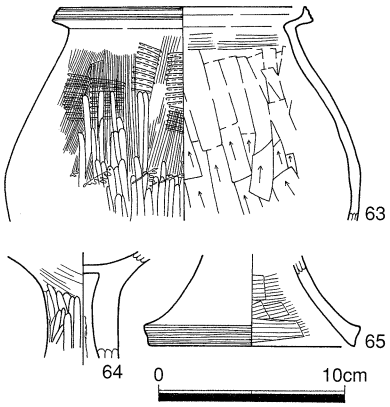
第31図　SB2003　出土石器





1	にぶい黄褐色	10YR5/3	砂質土	（灰黄褐色土を多量に含む。）
2	にぶい黄褐色	10YR5/3	砂質土	（オリーブ黄色粘性砂質土を多量に含む。）
3	灰黄褐色	10YR4/2	粘性砂質土	（焼土を含む炭化物層。）
4	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土	
5	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土	（炭化物を含む。EP1・2・3・5・7）
6	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘性砂質土	（炭化物を多量に含む。EH１）
7	灰黄褐色	10YR4/2	粘性砂質土	（炭化物層 EH１）
8	灰黄褐色	10YR5/2	粘性砂質土	（炭化物を多量に含む。EH１）
9	灰黄色	2.5Y6/2	粘性砂質土	（炭化物を少量含む。EP５）
10	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘性砂質土	（マンガンを含む。EP６）
11	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土	（マンガンを含む。EK１）

第32図　SB2004平・断面図（S＝1/25）



第33図　SB2004出土土器

竪穴住居跡（SB2004）

位置　３区　Loc.D２　δⅡ　st11～12　　**平面形**　円形　　**床面積**　4.3㎡　　**土層**　４層

主柱穴　EP1・5の２基（径20㎝、深さ14～18㎝）

炉跡　EH１の１基（長軸38㎝、短軸22㎝の楕円形、深さ10㎝、炭化物を多く含む３層）

施設　ピット５基、土坑１基

遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は甕、高杯の３点、石器は石鏃、楔形石器、敲石・磨石、剥片の18点である。

時期　弥生時代中期後半

竪穴住居跡（SB2005）

位置　３区　Loc.D２　εⅡ　b9～10　　**平面形**　方形　　**床面積**　7.6㎡　　**土層**　３層

主柱穴　EP2・3・6・7の４基（径26～33㎝、深さ28～45㎝）

炉跡　１基（長軸128㎝、短軸96㎝、深さ８㎝、炭化物を多く含む３層）　**施設**　ピット３基

遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、甕と高杯の２点である。高杯67は住居西側壁体付近から破片の状態で出土している。一方、石器は石鏃、石庖丁、楔形石器、柱状片刃石斧、砥石、剥片が11点出土している。砥石S34は、炉跡（EH１）の北側縁辺から出土している。

時期　弥生時代中期後半

竪穴住居跡（SB2006）

位置　３区　Loc.D２　εⅡ　b10　　**平面形**　隅丸方形　　**床面積**　8.5㎡　　**土層**　４層

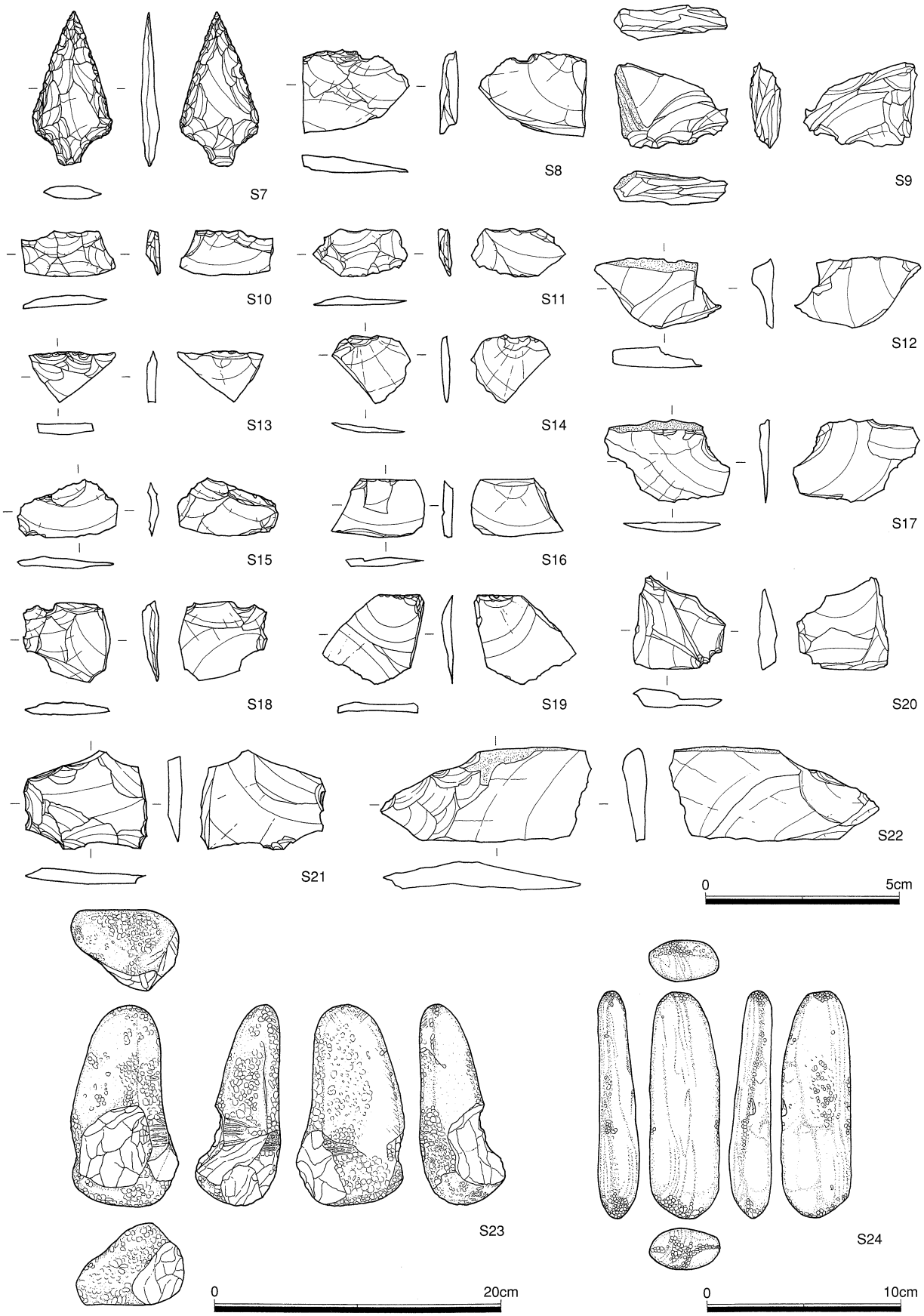
主柱穴　EP１～４の４基（径23～31㎝、深さ29～31㎝）

炉跡　２基（長軸59㎝、短軸38㎝の楕円形のEH１と、長軸79㎝、短軸21㎝の楕円形のEH２で、ともに深さ８㎝、炭化物や土器片を含む１～２層の堆積である。）　**施設**　なし

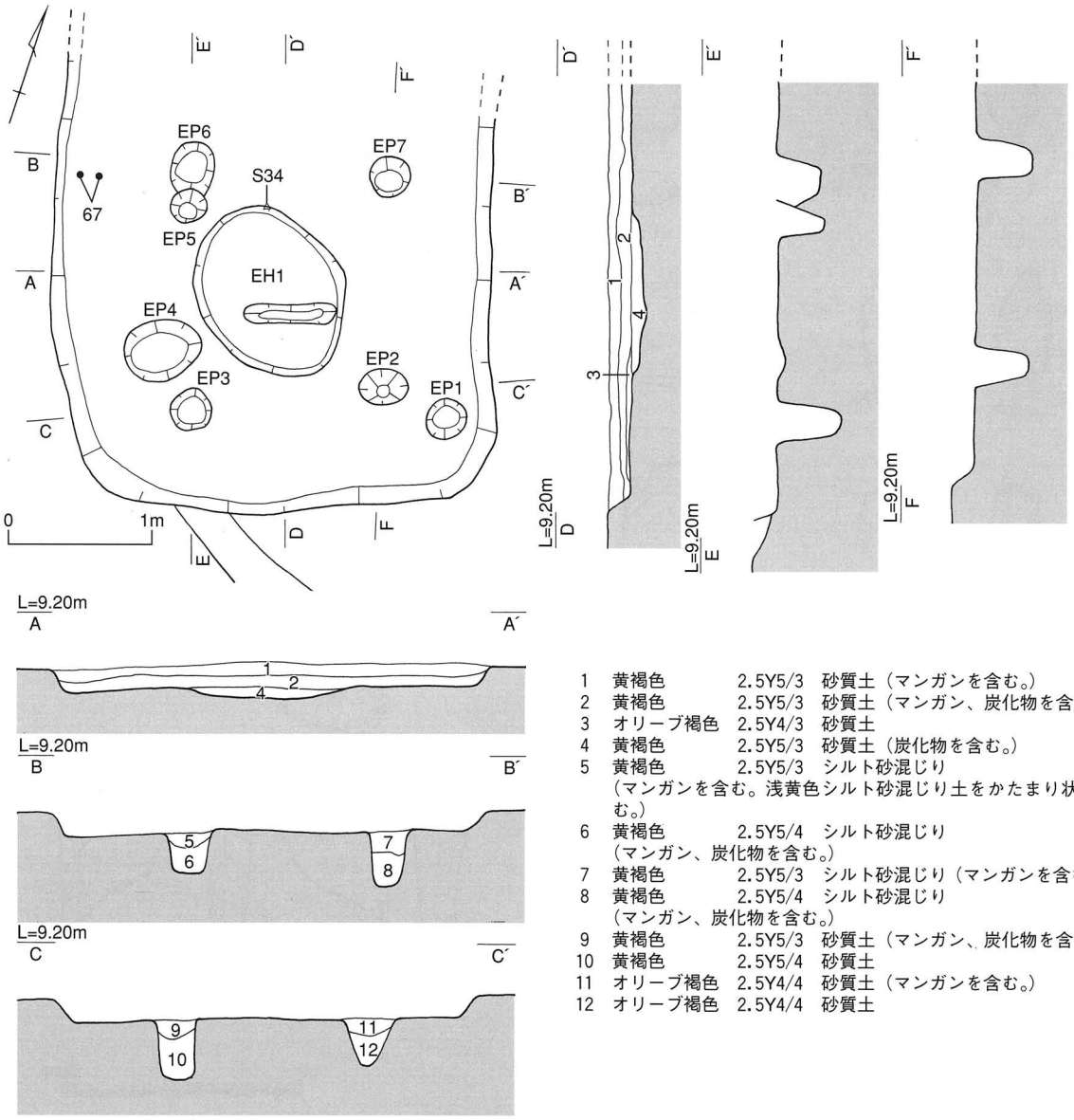
遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕の２点である。一方、石器は楔形石器と剥片が出土している。

時期　弥生時代中期後半

備考　炉跡の構造は、その平面形状から10（いちまる）土坑と俗称されるものである。中期後半に播磨地域で見られる炉形態と考えられる。

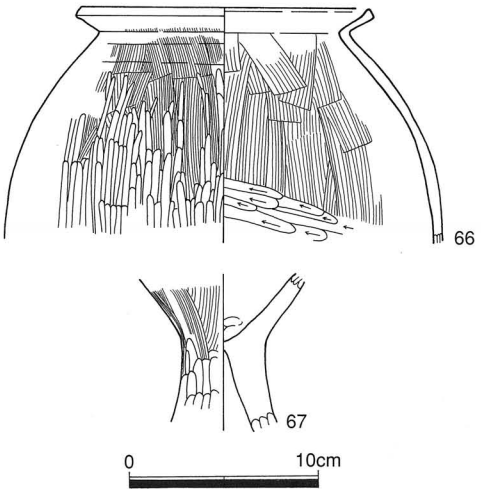


第34図　SB2004出土石器

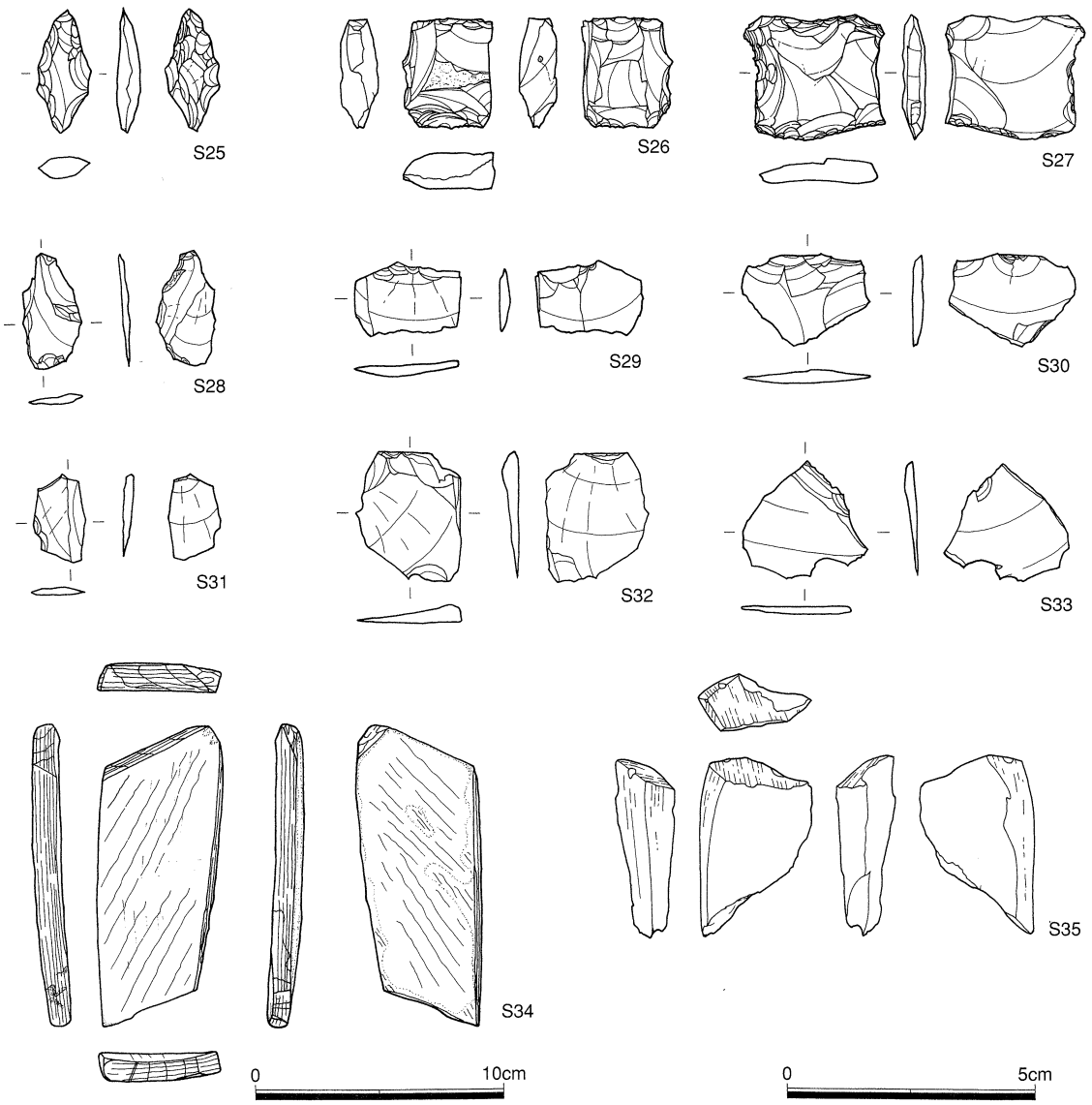


1　黄褐色　2.5Y5/3　砂質土（マンガンを含む。）
2　黄褐色　2.5Y5/3　砂質土（マンガン、炭化物を含む。）
3　オリーブ褐色　2.5Y4/3　砂質土
4　黄褐色　2.5Y5/3　砂質土（炭化物を含む。）
5　黄褐色　2.5Y5/3　シルト砂混じり
（マンガンを含む。浅黄色シルト砂混じり土をかたまり状に含む。）
6　黄褐色　2.5Y5/4　シルト砂混じり
（マンガン、炭化物を含む。）
7　黄褐色　2.5Y5/3　シルト砂混じり（マンガンを含む。）
8　黄褐色　2.5Y5/4　シルト砂混じり
（マンガン、炭化物を含む。）
9　黄褐色　2.5Y5/3　砂質土（マンガン、炭化物を含む。）
10　黄褐色　2.5Y5/4　砂質土
11　オリーブ褐色　2.5Y4/4　砂質土（マンガンを含む。）
12　オリーブ褐色　2.5Y4/4　砂質土

第35図　SB2005平・断面図（S＝1/50）



第36図　SB2005出土土器



第37図　SB2005出土石器

竪穴住居跡（SB2007）

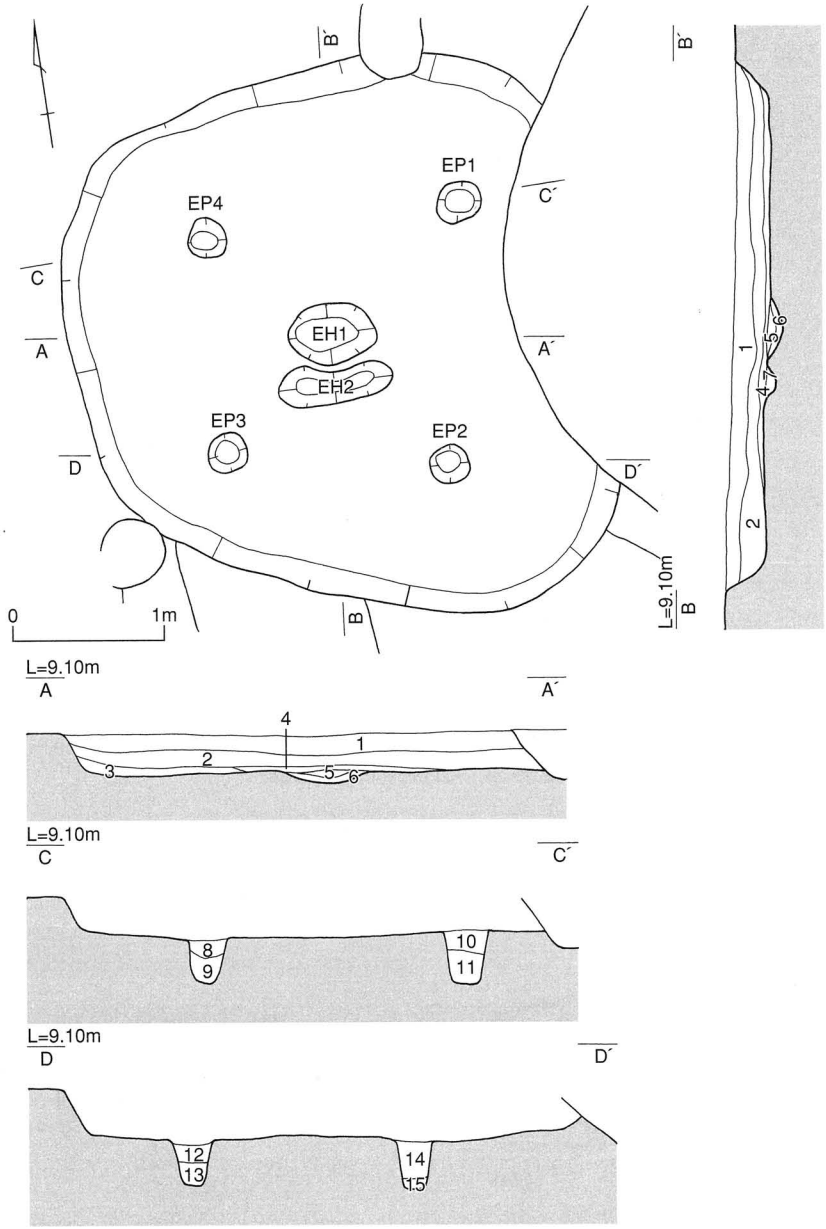
位置　3区　Loc.D 2　εⅡ　ab10～12　　**平面形**　円形　　**床面積**　26.8m²　　**土層**　5層

主柱穴　EP1・9・12～15の6基（径33～78cm、深さ32～53cm）

炉跡　1基（長軸120cm、短軸59cmの楕円形、深さ29cmの大形土坑があり、この土坑の南側に、長軸107cm、短軸27cmの楕円形、深さ17cmの小形土坑が隣接する。さらに大形土坑の北西側は直径51cmの円形で、深さ45cmの土坑が存在する。断面観察から小形楕円形→大形楕円形→円形の順で構築されたと考えられる。何れの土坑も3層堆積している。）　**施設**　ピット11基（EP6・8は入口に関係する可能性がある。）

遺物出土状況　他の竪穴住居跡と比較すれば、より多くの遺物が出土している。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯、蓋、紡錘車の24点である。床面付近からの出土土器も見られるが、何れの土器片も細かな破片の状態で出土している。一方、石器は、石鏃、スクレイパー、柱状片刃石斧、敲石・磨石、台石・砥石、楔形石器、剥片が111点出土している。遺物出土状況図にあるように、EP10の西側でかなりまとまって出土している。なお、S146は、蛇紋岩製勾玉の未製品と考えられよう。

時期　弥生時代中期末～後期初頭



1　黄褐色　2.5Y5/3　砂質土
（炭化物、マンガン、鉄分を含む。）

2　にぶい黄褐色　10YR5/4　砂質土
（炭化物、マンガン、鉄分、土器片を含む。）
〔（黄褐色2.5Y5/3砂質土）が周囲に鉄分を伴って所々に分布〕

3　にぶい黄褐色　10YR/5/3　砂質土（マンガンを含む。）

4　にぶい黄褐色　10YR5/3　シルト砂混じり
（炭化物、マンガン、土器片を含む。）

5　黄褐色　2.5Y5/3　シルト砂混じり
（炭化物、土器片を含む。）

6　灰黄褐　10YR4/2　シルト砂混じり
（炭化物、マンガン、土器片を含む。）

7　黄褐色　2.5Y5/4　シルト砂混じり
（炭化物を含む。）
〔（にぶい黄褐色　10YR4/3　シルト砂混じり）が点在〕

8　にぶい黄褐色　10YR5/4　砂質土（マンガンを含む。）

9　黄褐色　2.5YR5/4　砂質土

10　〔（にぶい黄褐色　10YR4/3　砂質土）と
（黄褐色2.5YR5/4砂質土）が半々の割合で含まれる〕

11　黄褐色　2.5Y5/4　砂質土

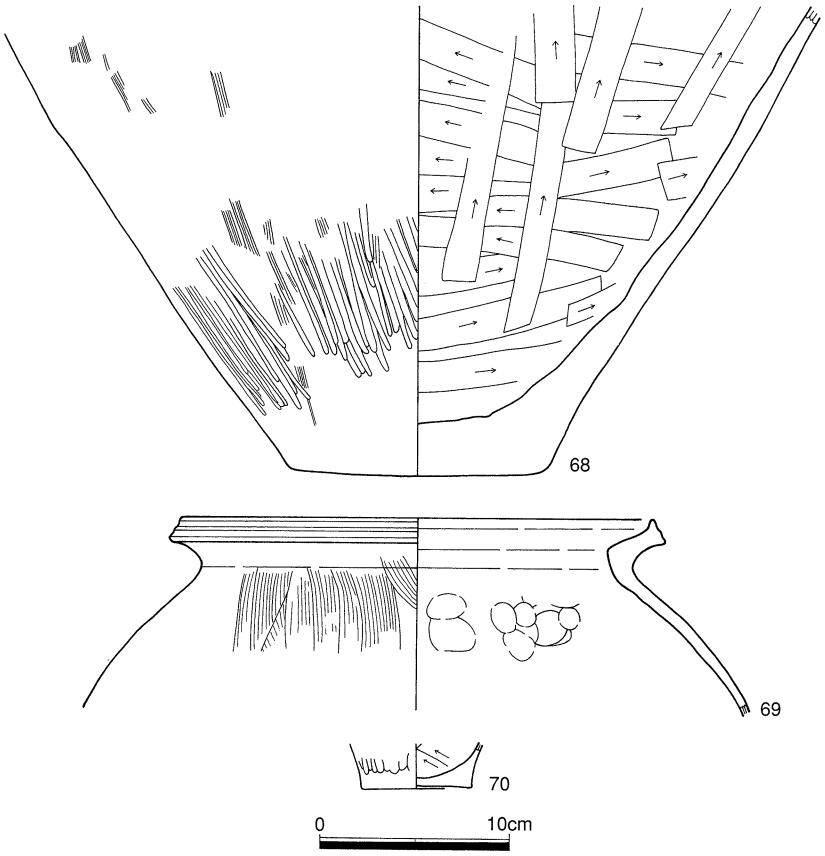
12　オリーブ褐色　2.5Y4/4　砂質土（炭化物、マンガンを含む。）

13　黄褐色　2.5Y5/4　砂質土

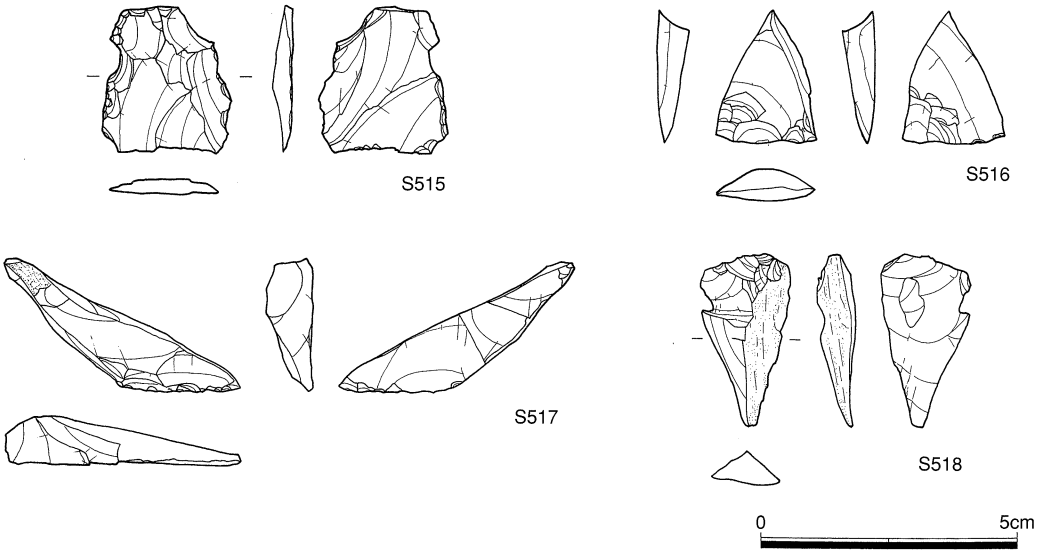
14　にぶい黄褐色　10YR4/3　砂質土（炭化物を含む。）

15　黄褐色　2.5Y5/4　砂質土

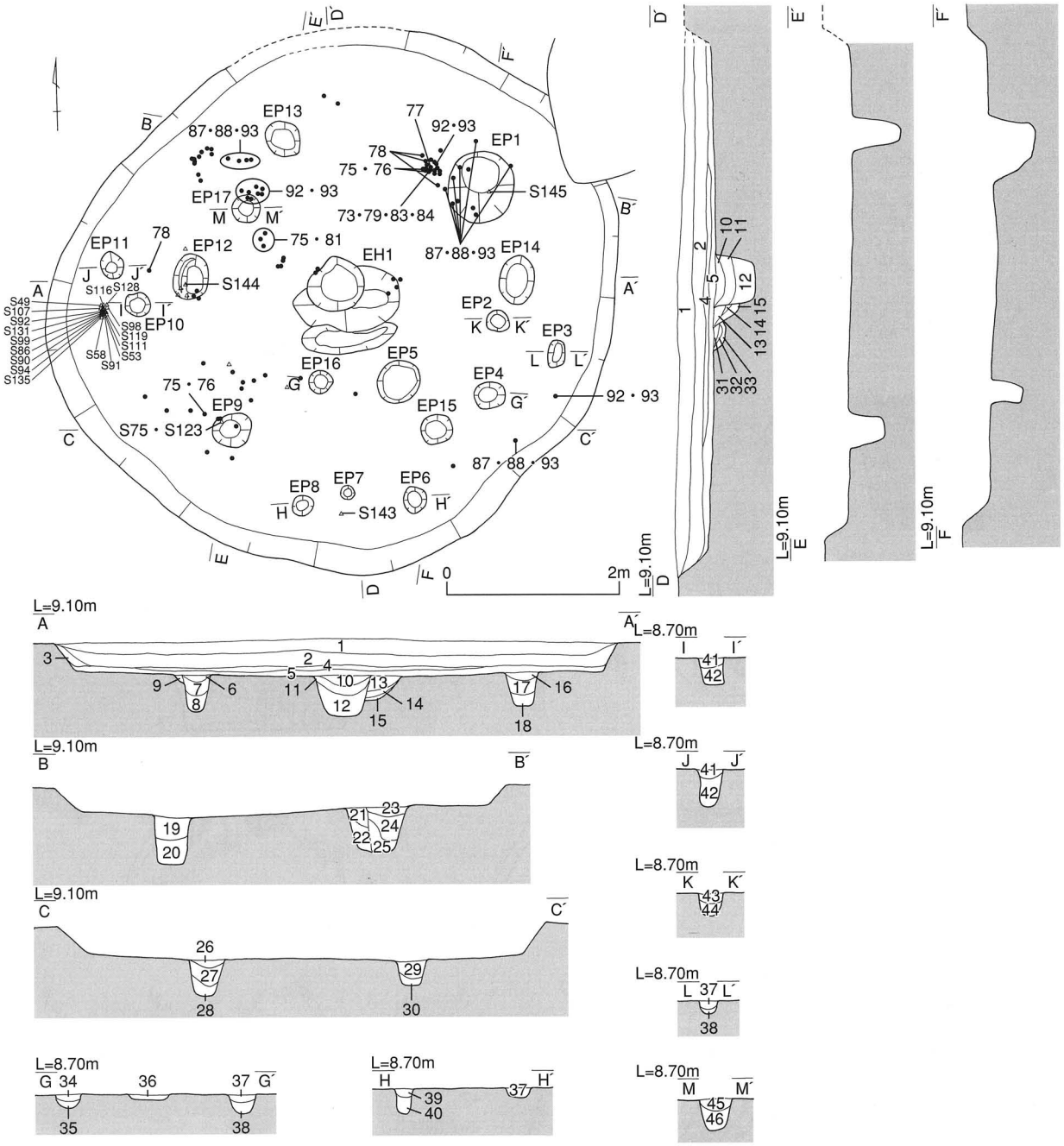
第38図　SB2006平・断面図（S＝1/50）



第39図　SB2006出土土器

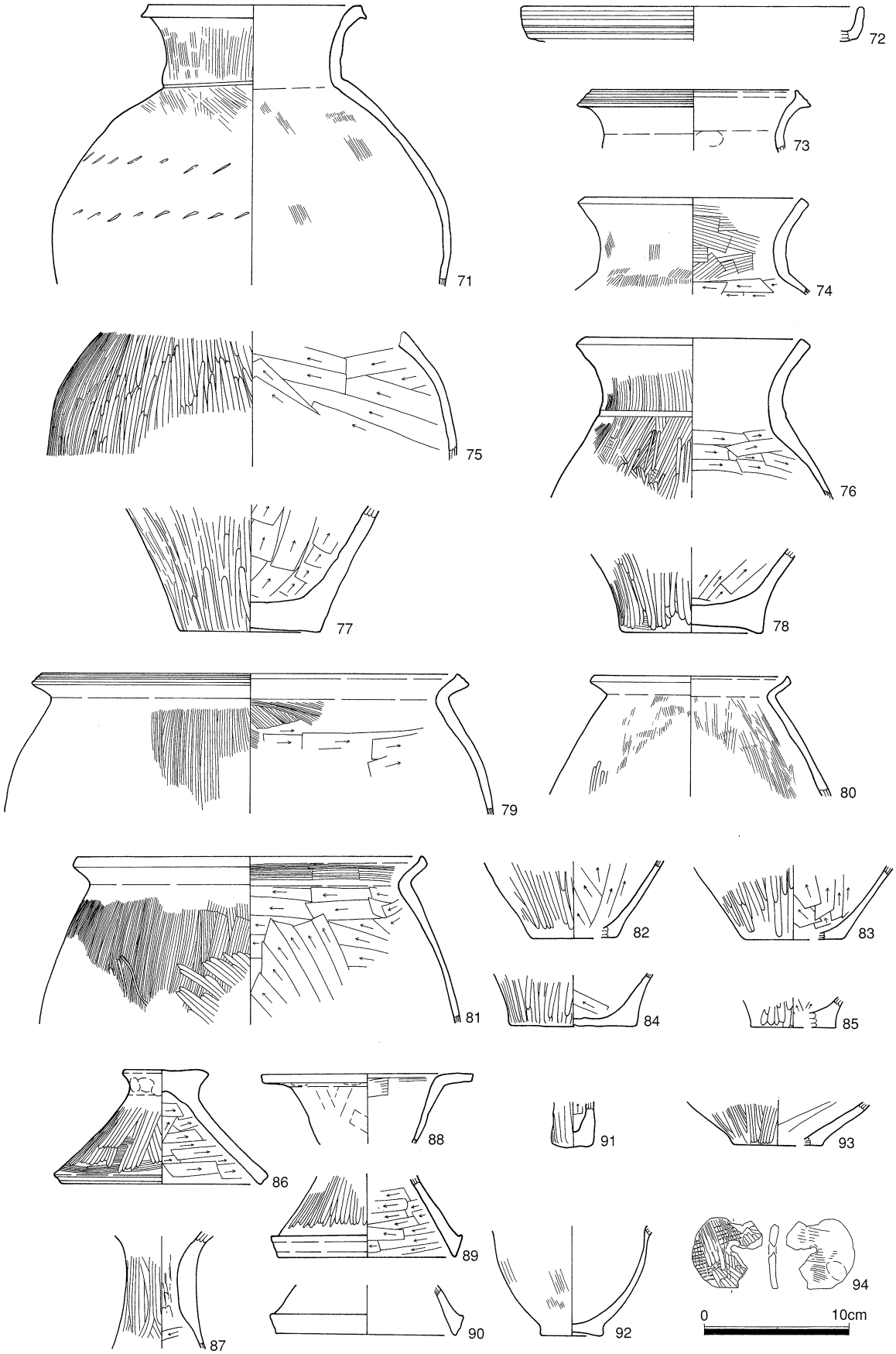


第40図　SB2006出土石器

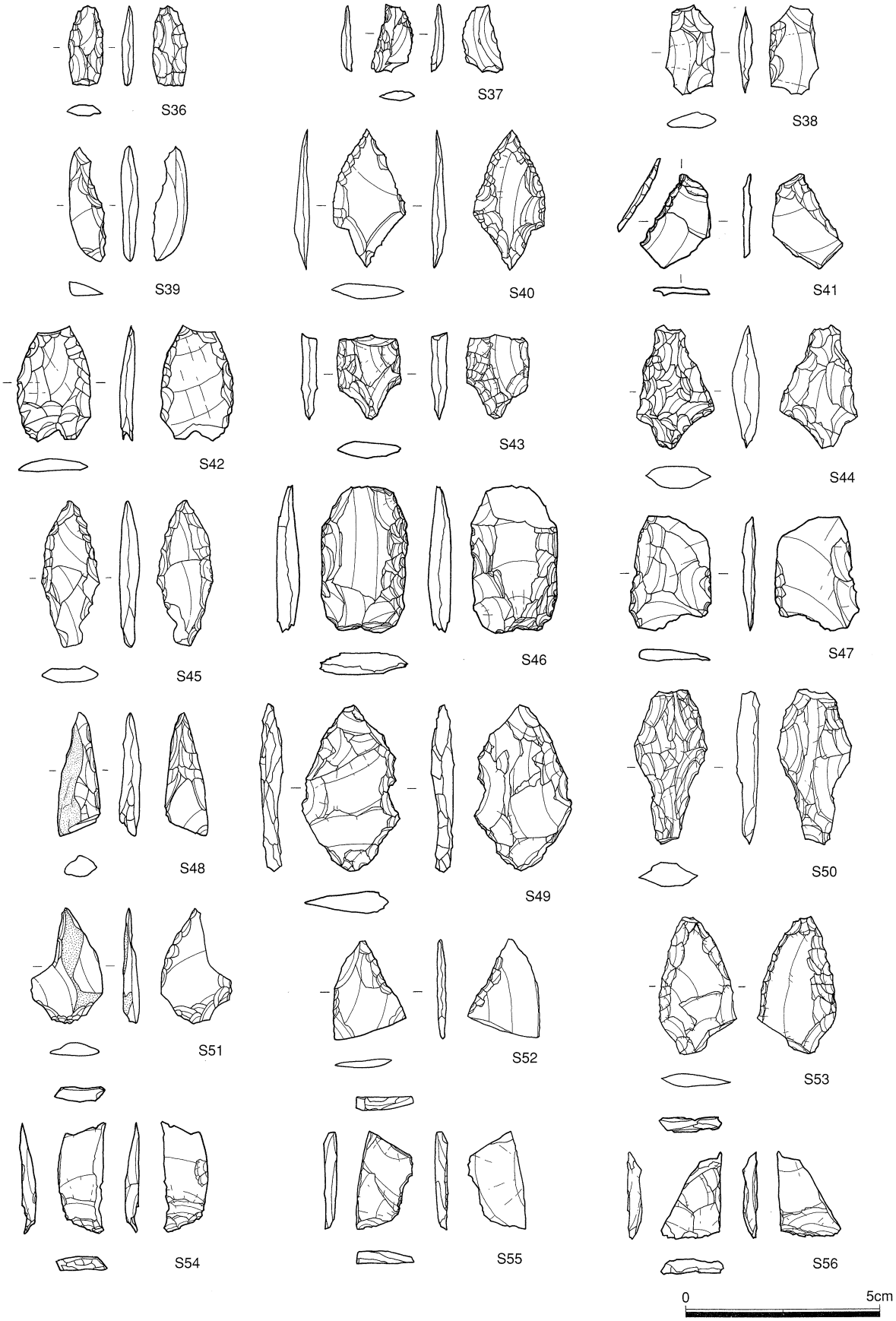


1 黄褐色 2.5Y5/3 砂質土
(土器片、マンガン、炭化物を含む。灰黄色シルト砂混じり土が所々に点在する。)
2 にぶい黄褐色 10YR5/3 シルト砂混じり (鉄分、マンガン、炭化物を含む。)
3 暗灰黄色 2.5Y5/2 砂質土 (鉄分、マンガン、炭化物を含む。)
4 黄褐色 2.5Y5/4 砂質土 (鉄分を含む。)
5 オリーブ褐色 2.5Y4/4 砂質土
6 褐色 10YR4/4 砂質土
(マンガンを含む。黄褐色シルト砂混じり土がしみのように広がる。)
7 褐色 10YR4/4 シルト砂混じり
(マンガン、炭化物を含む。灰褐色シルト砂混じり土が中程に広がる。)
8 にぶい黄褐色 10YR5/3 シルト砂混じり (マンガン、炭化物を含む。)
9 黄褐色 2.5Y5/3 シルト砂混じり (マンガンを含む。)
10 にぶい黄褐色 10YR5/3 砂質土 (マンガンを含む。)
11 にぶい黄褐色 10YR5/3 シルト砂混じり (マンガン、炭化物を含む。)
12 褐色 10YR4/4 シルト砂混じり (粗砂、炭化物、焼土を含む。)
13 にぶい黄色 2.5Y6/3 シルト砂混じり (炭化物を含む。)
14 黄褐色 2.5Y5/3 シルト砂混じり (炭化物を含む。)
15 オリーブ褐色 2.5Y4/3 シルト砂混じり (炭化物を含む。)
16 褐色 10YR4/4 砂質土 (マンガン、炭化物を含む。)
17 にぶい黄褐色 10YR5/3 砂質土 (マンガン、炭化物を含む。)
18 にぶい黄褐色 10YR4/3 シルト砂混じり (炭化物を含む。)
19 にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト砂混じり (土器片、マンガン、炭化物を含む。)
20 にぶい黄褐色 10YR4/3 シルト砂混じり (マンガン、炭化物を含む。)
21 黄褐色 2.5Y5/3 シルト砂混じり (マンガンを含む、。)
22 黄褐色 2.5Y5/4 砂質土 (炭化物を含む。)
23 褐色 10YR4/4 シルト砂混じり
(マンガン、炭化物、焼土を含む。にぶい黄褐色シルト砂混じり土が所々に点在する。)
24 にぶい黄褐色 10YR4/3 シルト砂混じり (マンガン、炭化物を含む。)
25 にぶい黄褐色 10YR4/3 シルト砂混じり (炭化物を含む。)
26 暗灰黄色 2.5Y5/2 シルト砂混じり (土器片、マンガン、炭化物を含む。)
27 にぶい黄褐色 10YR4/3 シルト砂混じり (マンガン、炭化物を含む。)
28 にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト砂混じり (マンガンを含む。)
29 にぶい黄褐色 10YR5/3 シルト砂混じり (マンガン、炭化物を含む。)
30 にぶい黄褐色 10YR4/3 シルト砂混じり (炭化物を含む。)
31 黄褐色 2.5Y5/3 シルト砂混じり
32 黄褐色 2.5Y5/3 シルト砂混じり (炭化物を含む。)
33 黄褐色 2.5Y5/3 砂質土 (炭化物を含む。)
34 黄褐色 2.5Y5/3 粘性砂質土 (炭化物を含む。EP16)
35 黄褐色 2.5Y5/4 粘性砂質土 (砂質が強い。EP16)
36 にぶい黄褐色 10YR5/4 砂質土 (細砂を多く含む。EP5)
37 にぶい黄褐色 10YR5/3 粘性砂質土 (炭化物を22層より多く含む。EP3・4・6・15)
38 にぶい黄褐色 10YR4/3 粘性砂質土 (粘性が強く、炭化物を少量含む。EP3・4・15)
39 暗灰黄色 2.5Y5/2 粘性砂質土 (EP 8 ・ 9)
40 にぶい黄褐色 10YR4/3 粘性砂質土 (粘性が強い。EP8・9)
41 黄褐色 2.5Y5/3 粘性砂質土 (マンガンを含む。EP10・11)
42 褐色 10YR5/4 粘性砂質土 (細砂を多く含み、マンガンを含む。EP10・11)
43 にぶい黄褐色 10YR5/4 砂質土 (マンガンを含む。EP2・14)
44 にぶい黄褐色 10YR4/3 粘性砂質土 (炭化物を少量含む。EP2・14)
45 にぶい黄色 2.5Y6/3 粘性砂質土 (マンガン、炭化物を含む。EP17)
46 黄褐色 2.5Y4/3 粘性砂質土 (炭化物を含む。EP17)

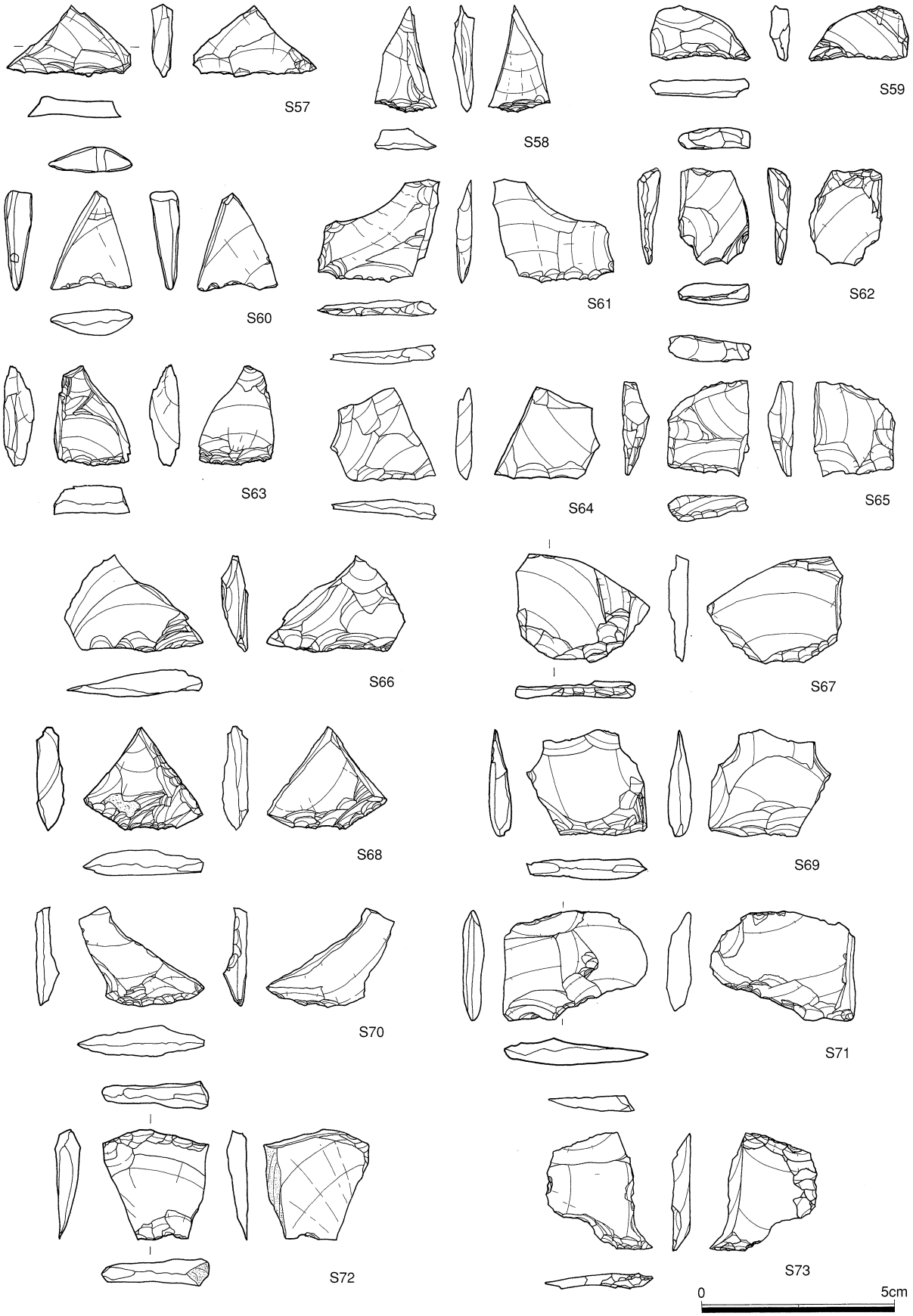
第41図 SB2007平・断面図 (S=1/75)



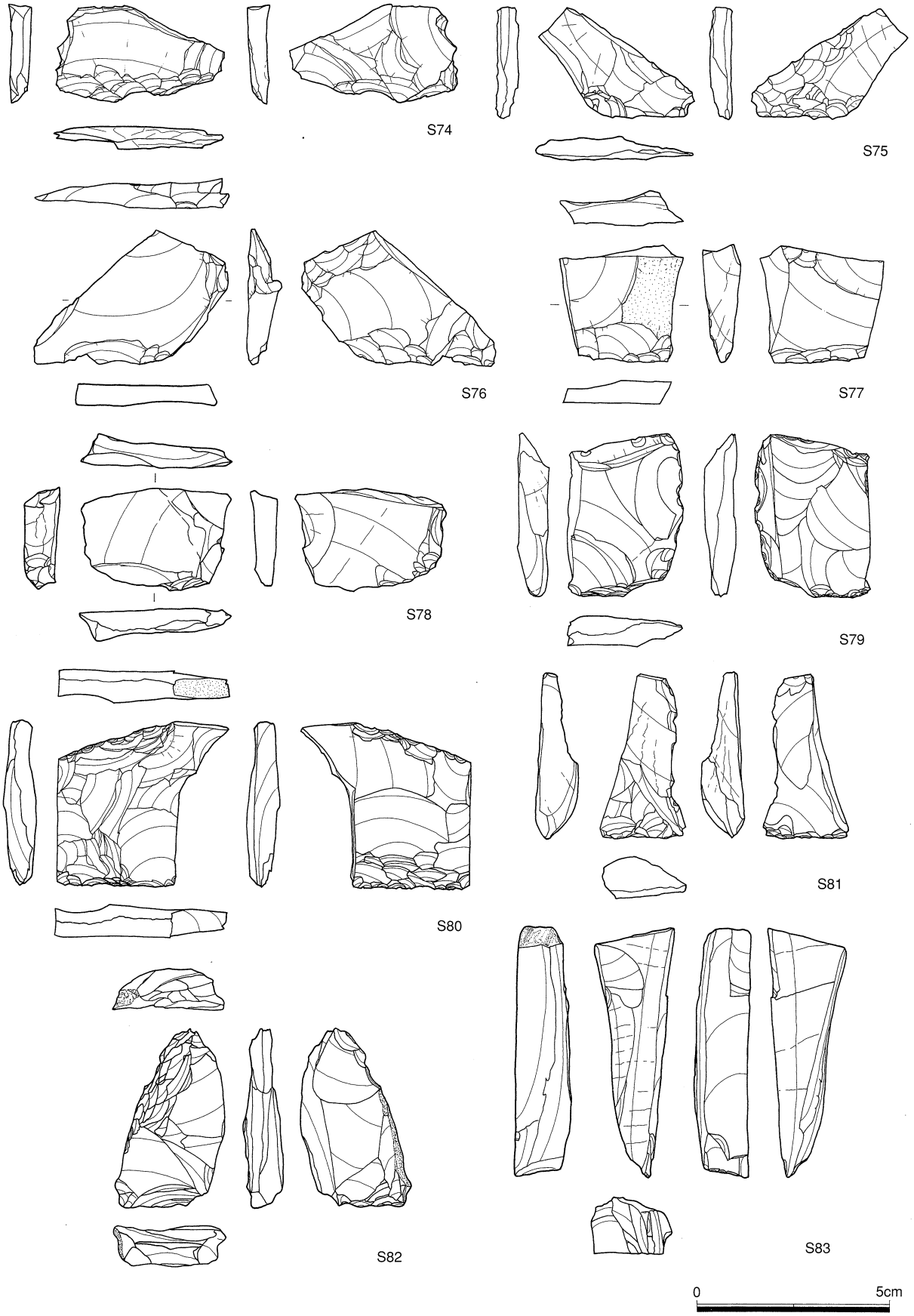
第42図　SB2007出土土器



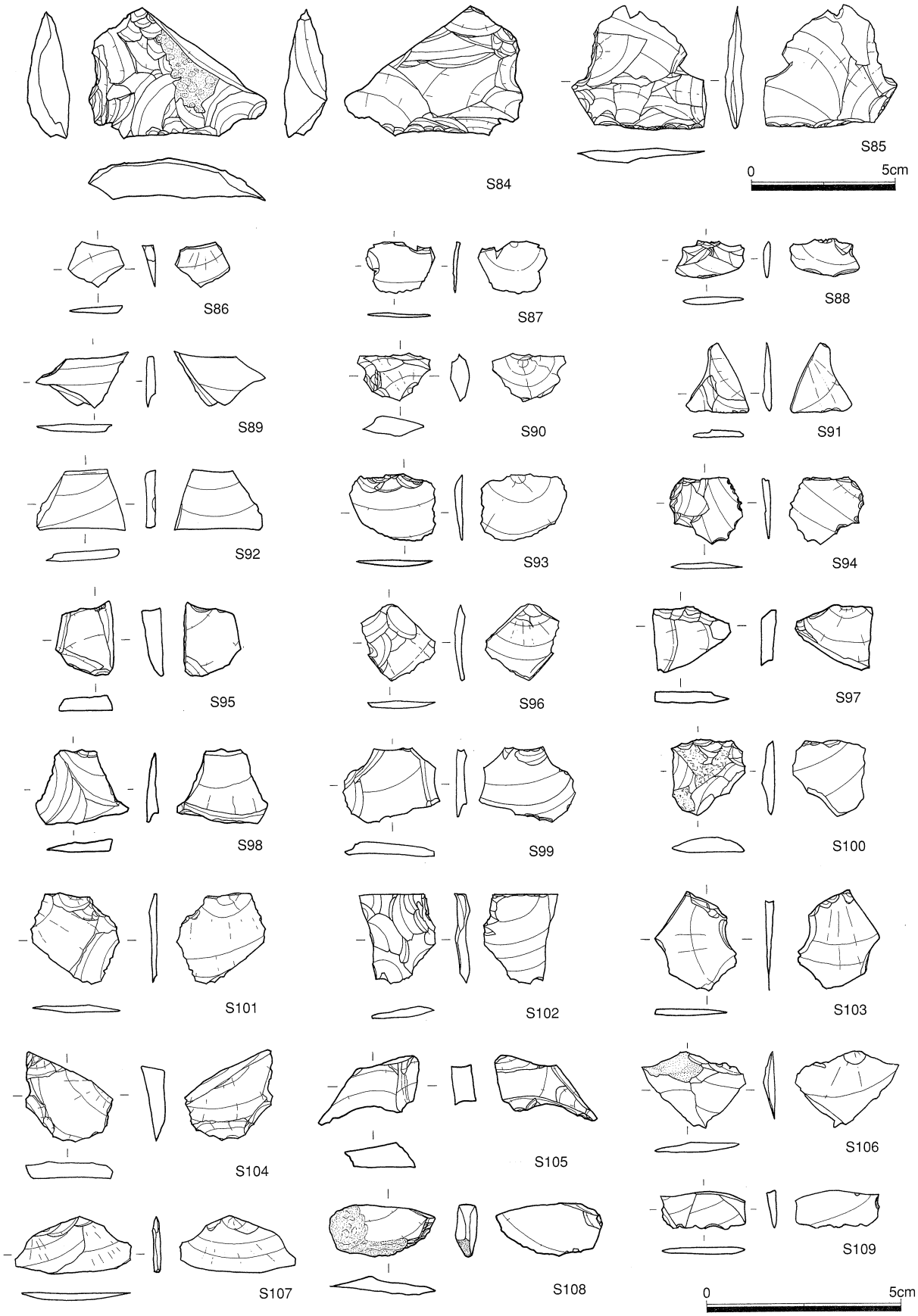
第43図　SB2007出土石器（1）



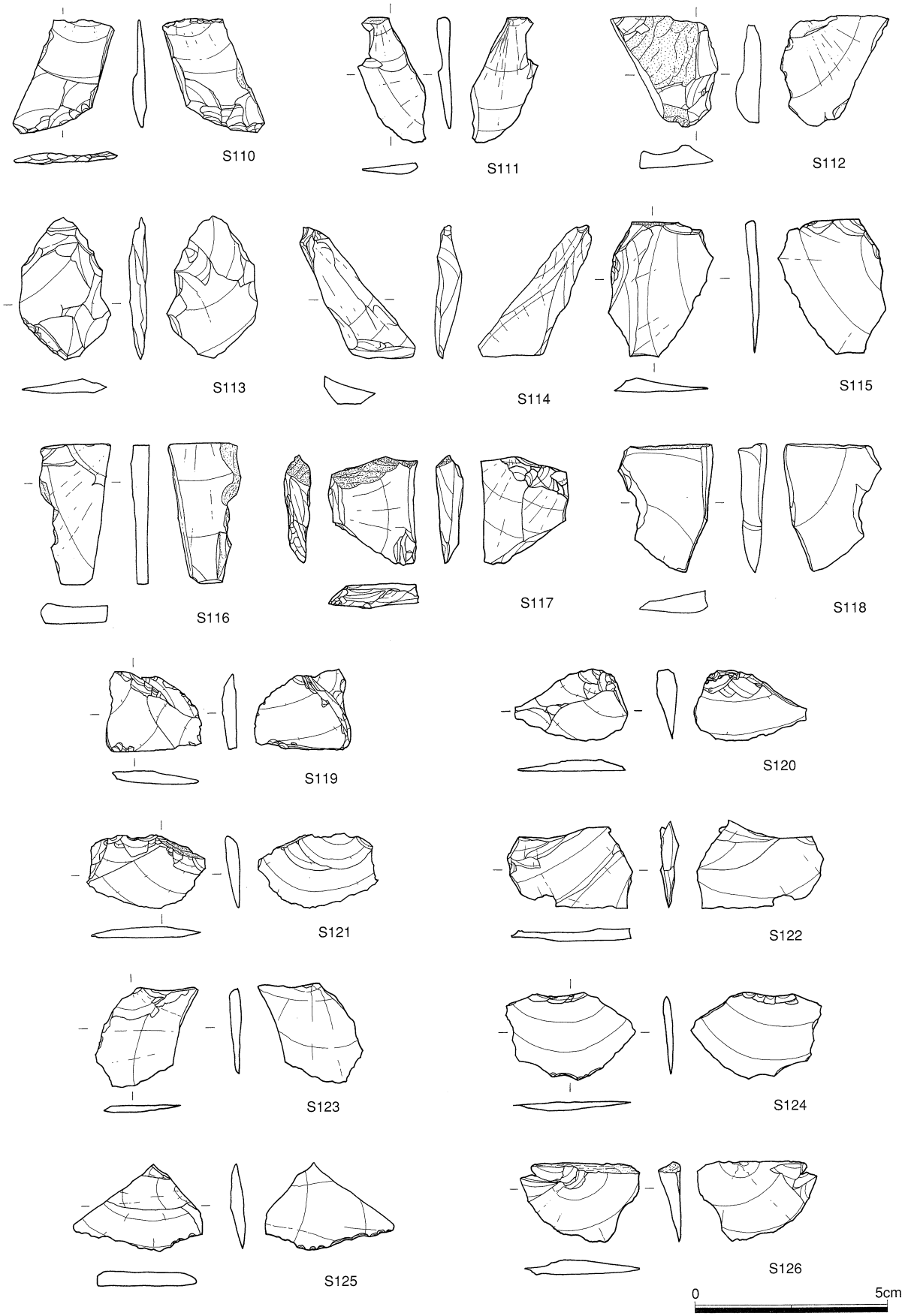
第44図　SB2007出土石器（２）



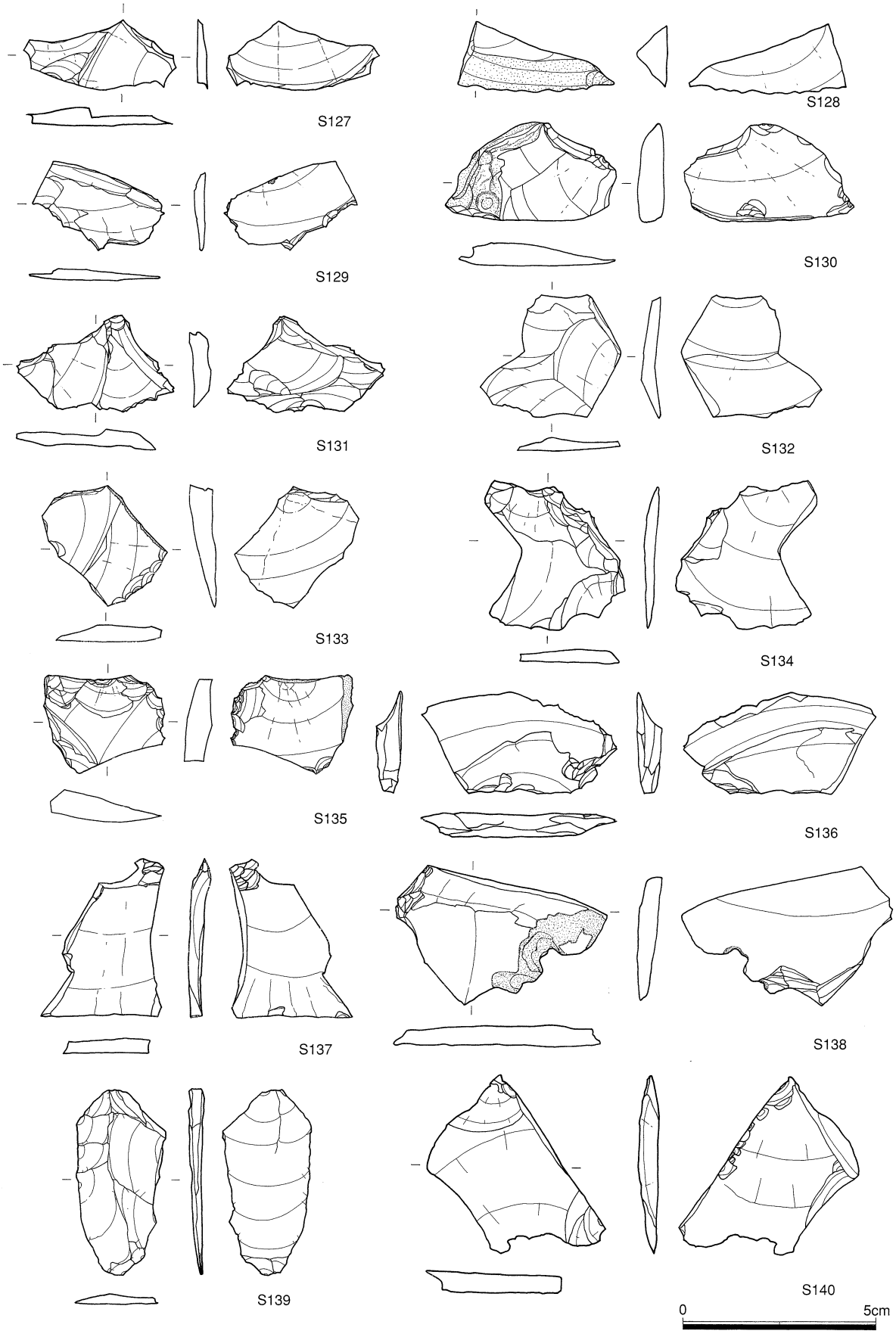
第45図　SB2007出土石器（3）



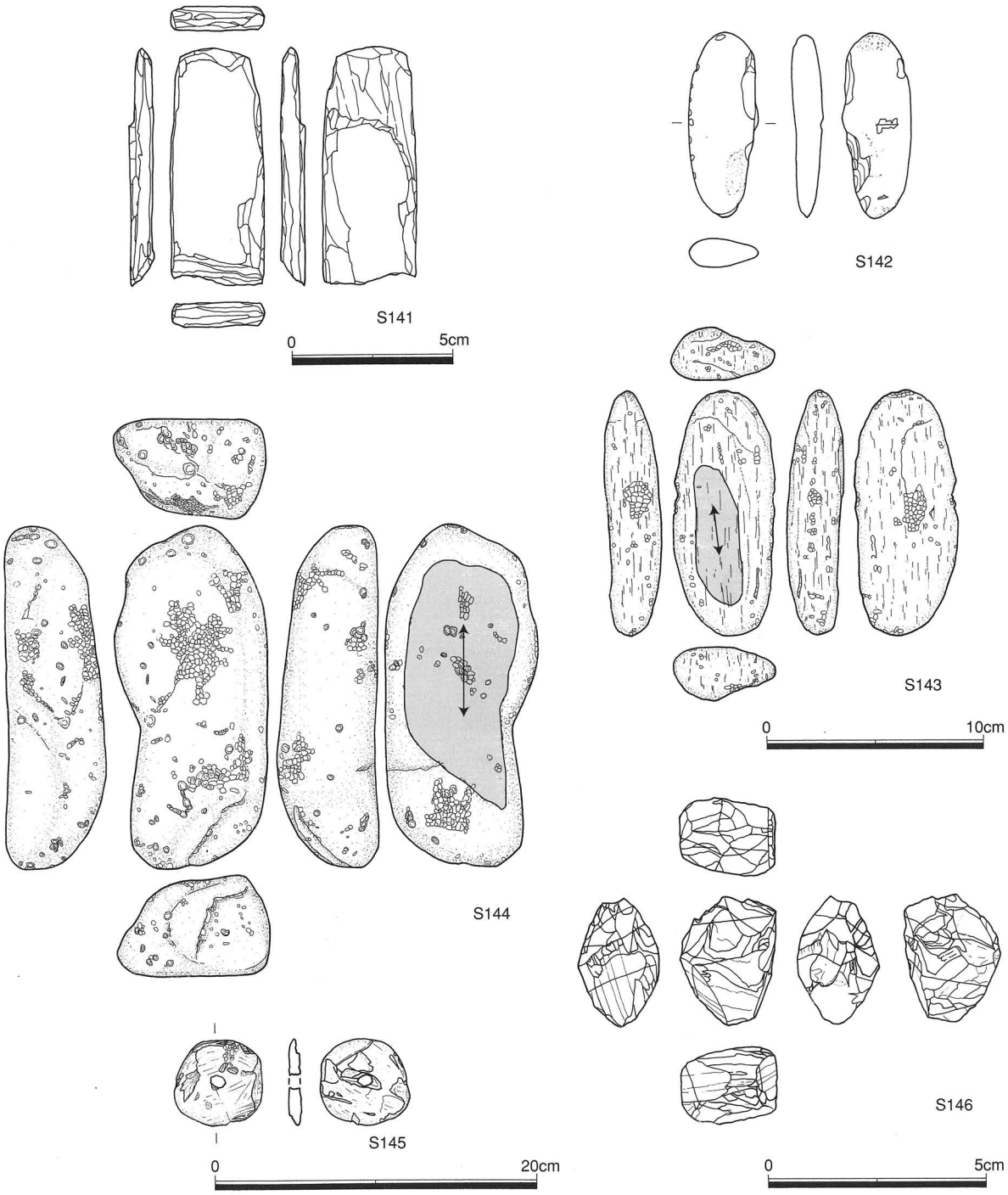
第46図　SB2007出土石器（4）



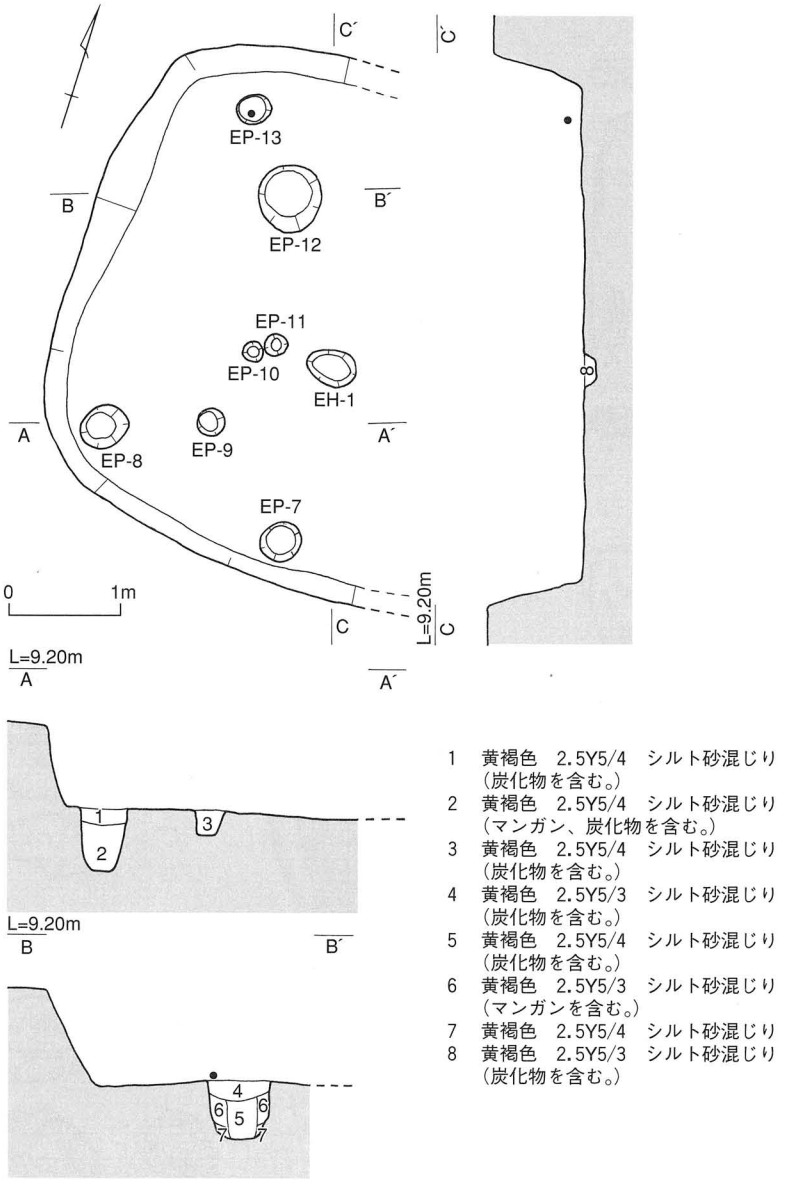
第47図　SB2007出土石器（５）



第48図　SB2007出土石器（6）



第49図　SB2007出土石器（7）



第50図　SB2008a 平・断面図（S＝1/50）

竪穴住居跡（SB2008a）

位置　3区　Loc.D 2　εⅡ　ab11～12　　**平面形**　方形　　**床面積**　5.2㎡　　**土層**　2層

主柱穴　EP8・12の2基（径32～42㎝、深さ38～42㎝）

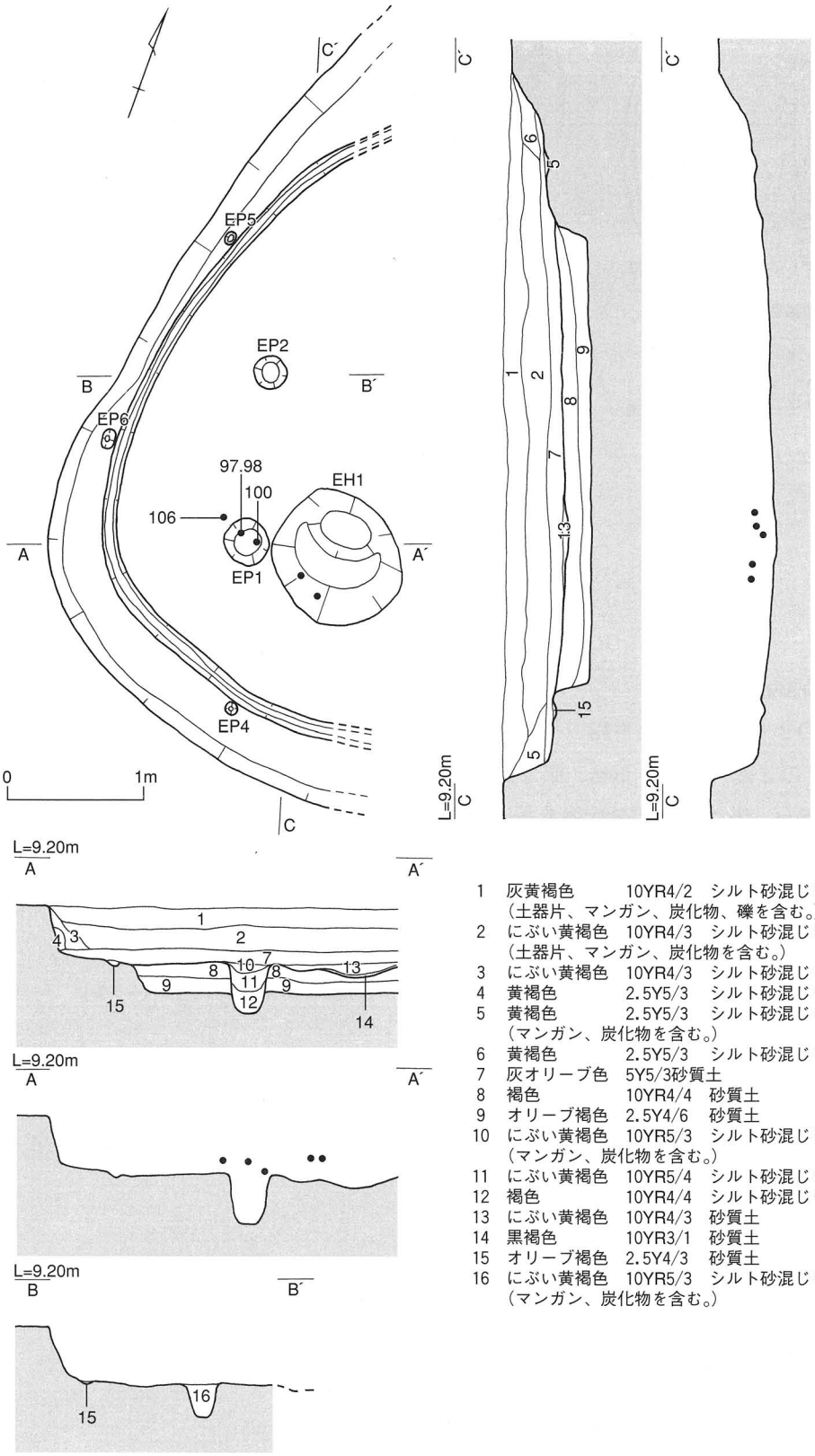
炉跡　1基（長軸33㎝、短軸22㎝の楕円形、深さ9㎝、炭化物を多く含む1層）

施設　ピット5基

遺物出土状況　土器、石器が出土している。

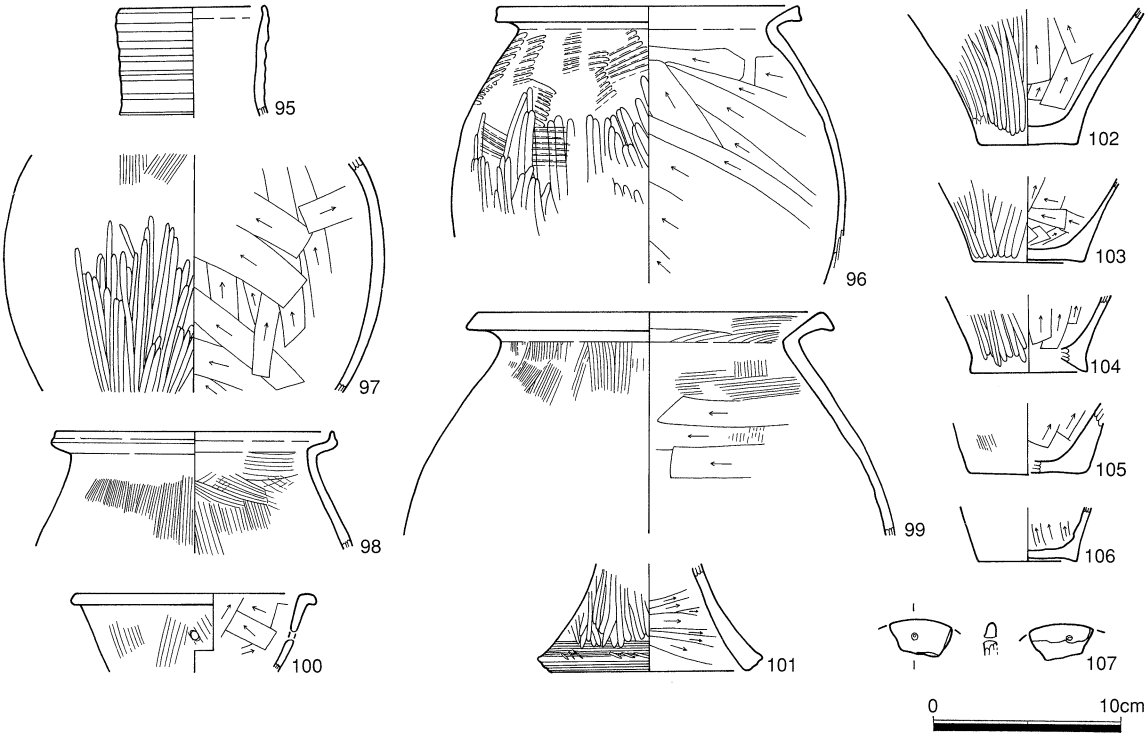
時期　弥生時代中期後半

備考　SB2008には重複関係があり、時期的に古く構築されたものをSB2008aとし、新しい方をSB2008bとして区別した。なお、遺物の取り上げの際、新旧遺構で混在が発生したため、遺物図版ではSB2008出土として、同一版面にレイアウトした。



1　灰黄褐色　10YR4/2　シルト砂混じり
（土器片、マンガン、炭化物、礫を含む。）
2　にぶい黄褐色　10YR4/3　シルト砂混じり
（土器片、マンガン、炭化物を含む。）
3　にぶい黄褐色　10YR4/3　シルト砂混じり（マンガンを含む。）
4　黄褐色　2.5Y5/3　シルト砂混じり（マンガンを含む。）
5　黄褐色　2.5Y5/3　シルト砂混じり
（マンガン、炭化物を含む。）
6　黄褐色　2.5Y5/3　シルト砂混じり（マンガンを含む。）
7　灰オリーブ色　5Y5/3砂質土
8　褐色　10YR4/4　砂質土　（炭化物を含む。）
9　オリーブ褐色　2.5Y4/6　砂質土
10　にぶい黄褐色　10YR5/3　シルト砂混じり
（マンガン、炭化物を含む。）
11　にぶい黄褐色　10YR5/4　シルト砂混じり（マンガンを含む。）
12　褐色　10YR4/4　シルト砂混じり（マンガンを含む。）
13　にぶい黄褐色　10YR4/3　砂質土　（焼土を含む。）
14　黒褐色　10YR3/1　砂質土　（炭化物を含む。）
15　オリーブ褐色　2.5Y4/3　砂質土
16　にぶい黄褐色　10YR5/3　シルト砂混じり
（マンガン、炭化物を含む。）

第51図　SB2008b 平・断面図（S＝1/50）



第52図　SB2008出土土器

竪穴住居跡（SB2008b）

位置　3区　Loc.D 2　εⅡ　ab11～12　　**平面形**　方形　　**床面積**　6.6m²　　**土層**　7曽

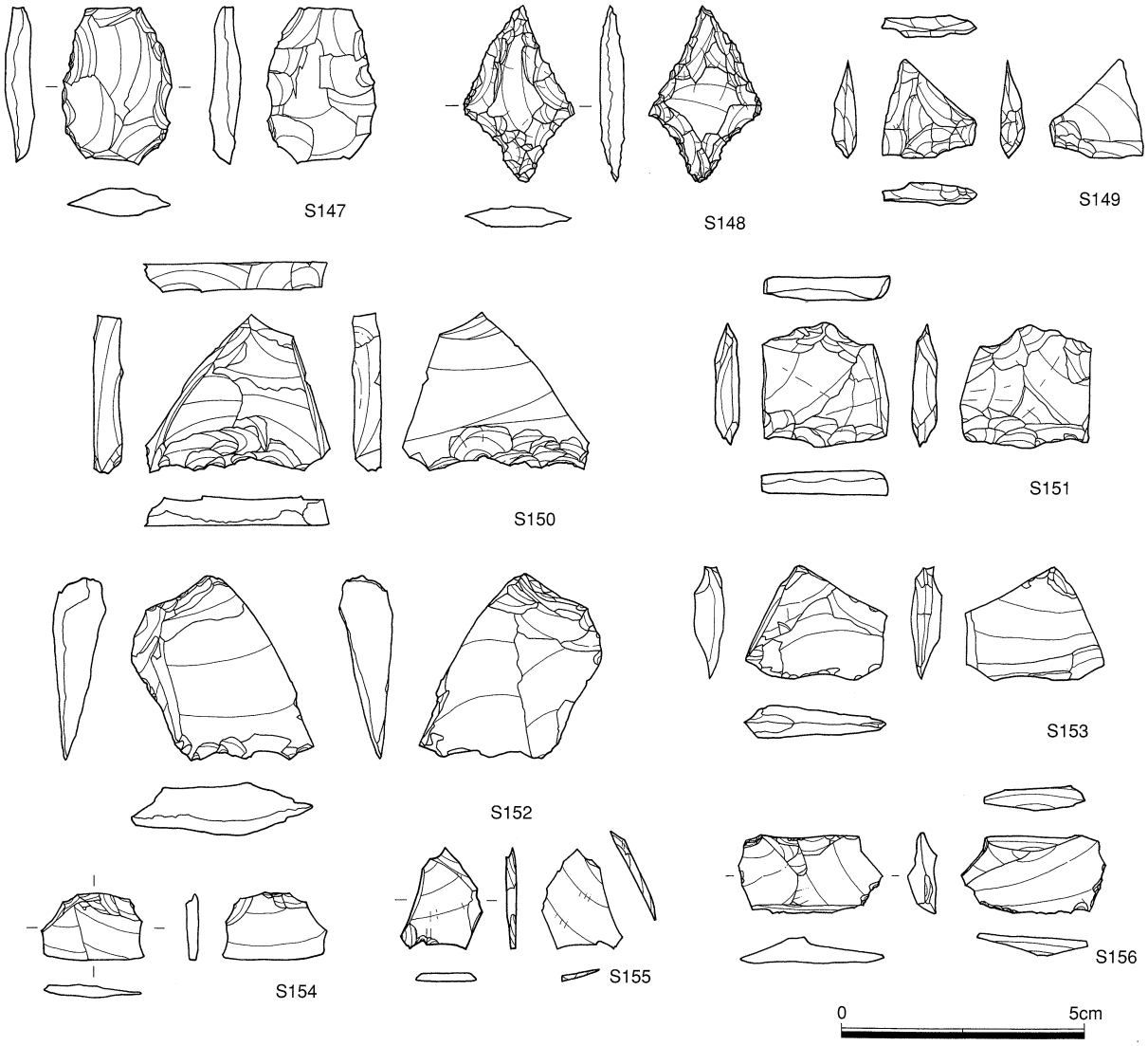
主柱穴　EP 1・2の2基（径23～33cm、深さ21～35cm）

炉跡　1基（径103cm、深さ18cm、炭化物を多く含む2層）　　**施設**　ピット3基、周壁溝

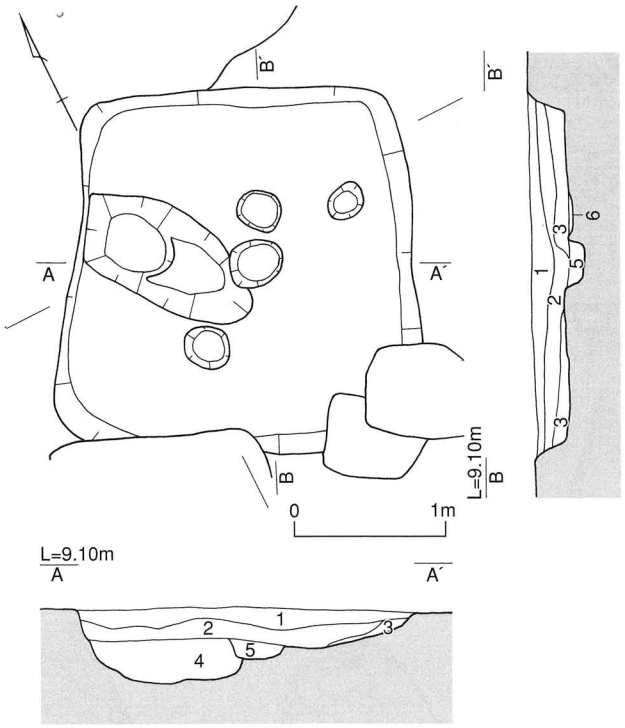
遺物出土状況　土器と石器が出土している。図示した中で、壺・甕（97・98・106）、鉢（100）はEP1の周辺から出土している。

時期　弥生時代中期末～後期初頭

備考　土層堆積状況から前述のSB2008aが埋没したのち、SB2008bは構築されている。

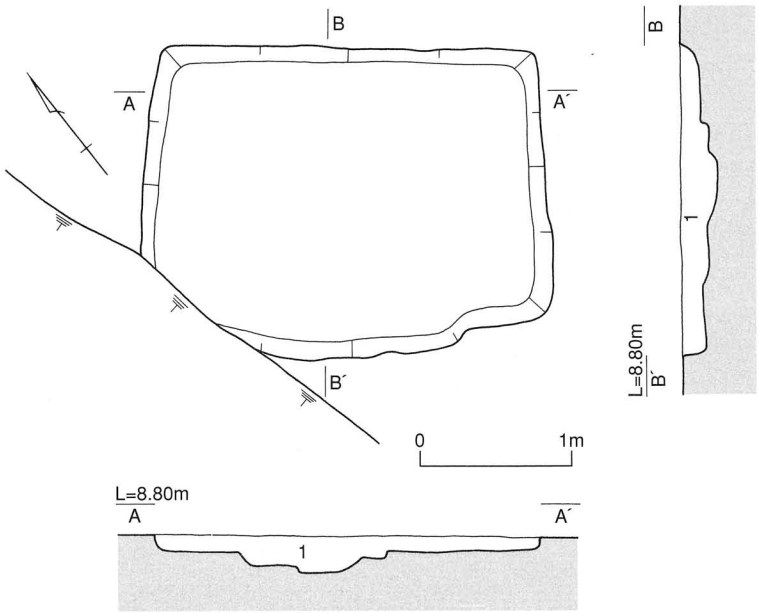


第53図 SB2008出土石器



1　にぶい黄褐色　10YR5/3　シルト（鉄分、マンガンを含む。）
2　にぶい黄褐色　10YR4/3　シルト（マンガンを含む。にぶい黄色シルトが40%混じる。）
3　にぶい黄褐色　10YR5/4　シルト（マンガンを含む。灰黄色シルトが10%混じる。）
4　オリーブ褐色　2.5Y4/3　シルト（鉄分、マンガン、炭化物を含む。）
5　暗灰黄色　2.5Y5/2　シルト（マンガンを含む。）
6　暗灰黄色　2.5Y5/2　シルト（鉄分、マンガンを含む。）

第54図　SB2009平・断面図（S=1/50）



1　オリーブ褐色　2.5Y4/4　砂質土

第55図　SB2010平・断面図（S=1/50）

竪穴住居跡（SB2009）

位置　5・6区　Loc.D２　εⅡ　d12

平面形　方形

床面積　4.3㎡　　**土層**　２層

主柱穴　EP1・2の２基（径30㎝、深さ15～20㎝）

炉跡　１基（長軸118㎝、短軸68㎝の楕円形、深さ28㎝、炭化物を含む１層）

施設　ピット２基

遺物出土状況　図示できるような遺物は出土していない。

時期　土層の状況を勘案して、弥生時代中期後半と考えられる。

竪穴住居跡（SB2010）

位置　5・6区　Loc.D２　εⅡ　e12

平面形　方形

床面積　4.5㎡　　**土層**　１層

主柱穴　検出されていない。

炉跡　検出されていない。　　**施設**　なし

遺物出土状況　図示できるような遺物は出土していない。

時期　土層の状況を勘案して、弥生時代中期後半と考えられる。

竪穴住居跡（SB2011）

位置　5・6区　Loc.D２　εⅡ　fg11～12

平面形　隅丸方形

床面積　11.8㎡　　**土層**　４層

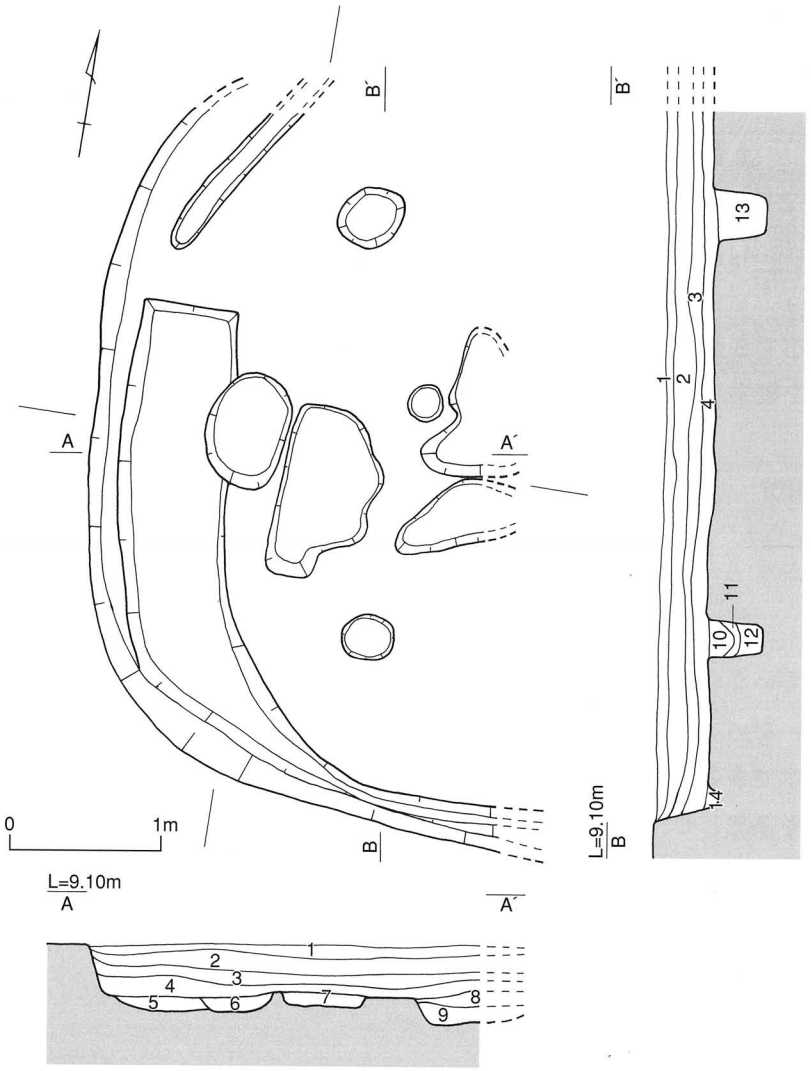
主柱穴　EP1・2の２基（径32～45㎝、深さ31～40㎝）

炉跡　１基（長軸100㎝、短軸40㎝以上の不整な楕円形、深さ13㎝、炭化物を多く含む１層）

施設　周壁溝、土坑２基、ピット１基

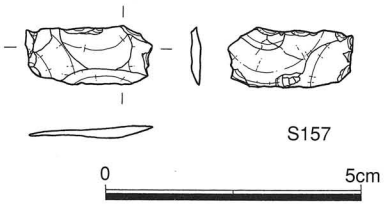
遺物出土状況　覆土から土器片、石器片が出土しているが、何れも細片である。図示できたのは、剥片１点だけである。

時期　弥生時代中期後半

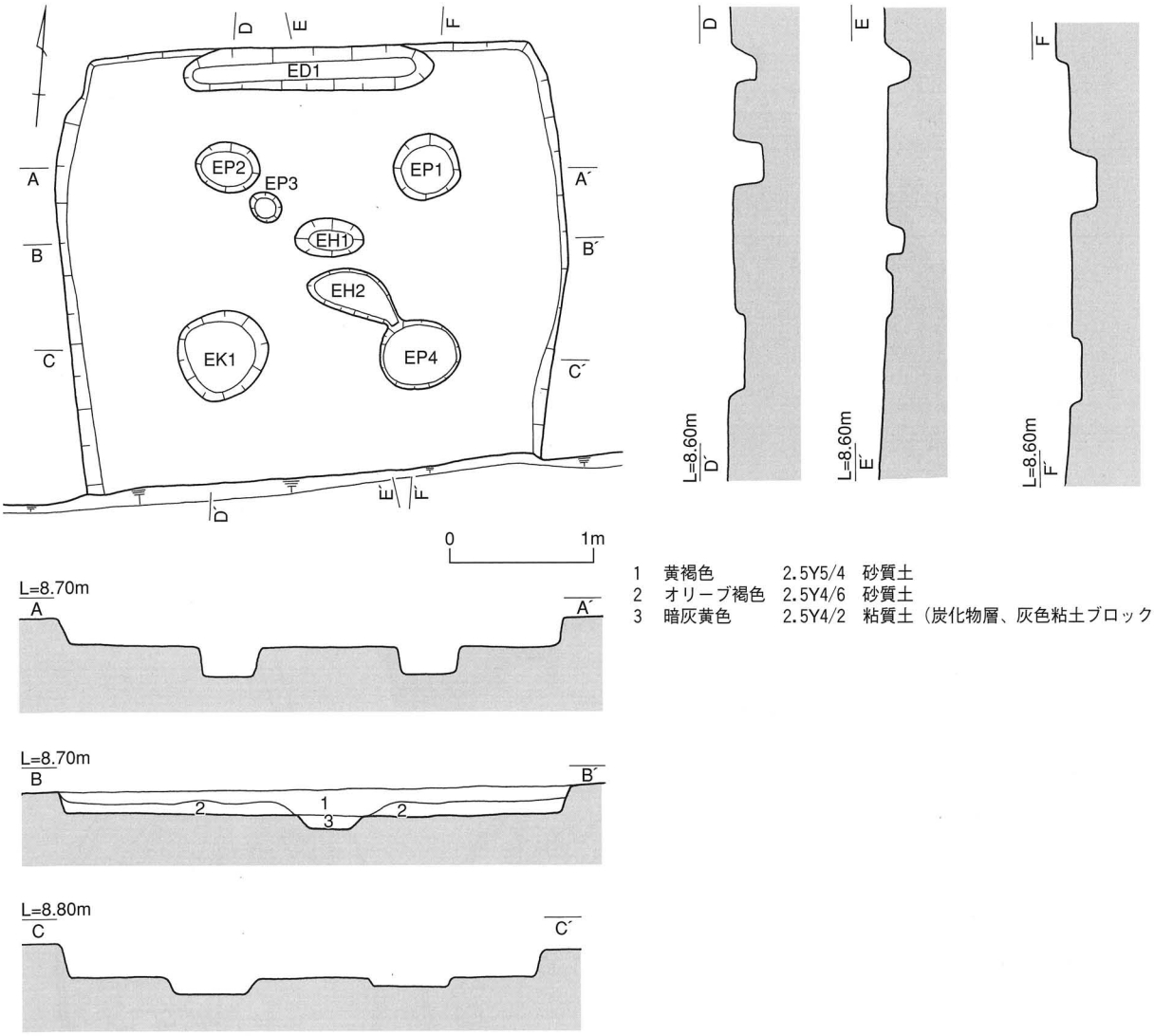


1　にぶい黄褐色　10YR4/3　シルト（土器片、鉄分、マンガンを含む。）
2　にぶい黄褐色　10YR4/3　シルト［（土器片、鉄分、炭化物を含む。暗灰黄色シルト）が10%混じる。］
3　にぶい黄褐色　10YR5/4　シルト（鉄分、マンガン、炭化物を含む。）
4　褐色　10YR4/4　シルト（土器片、鉄分、マンガン、炭化物を含む。暗灰黄色シルトが30%混じる。）
5　不明
6　にぶい黄褐色　10YR5/3　シルト（マンガン、炭化物を含む。サヌカイト片を多く含む。）
7　暗灰黄色　2.5Y4/2　シルト（炭化物、焼土を含む。サヌカイトを多く含む。）
8　暗灰黄色　2.5Y4/2　シルト（炭化物、焼土を含む。）
9　黒褐色　2.5Y3/1　シルト（炭化物、焼土を含む。）
10　灰黄褐色　10YR5/2　シルト（マンガン、炭化物含む。）
11　灰黄褐色　10YR4/2　シルト（焼土を含む。）
12　灰黄褐色　10YR4/2　シルト
13　にぶい黄褐色　10YR4/3　シルト（炭化物、焼土を含む。サヌカイト片を多く含む。）

第56図　SB2011平・断面図（S=1/50）



第57図　SB2011出土石器



第58図　SB2012平・断面図（S＝1/50）

竪穴住居跡（SB2012）

位置　5・6区　Loc.D２　εⅡ　bc10　　**平面形**　方形　　**床面積**　9.3m²　　**土層**　２層

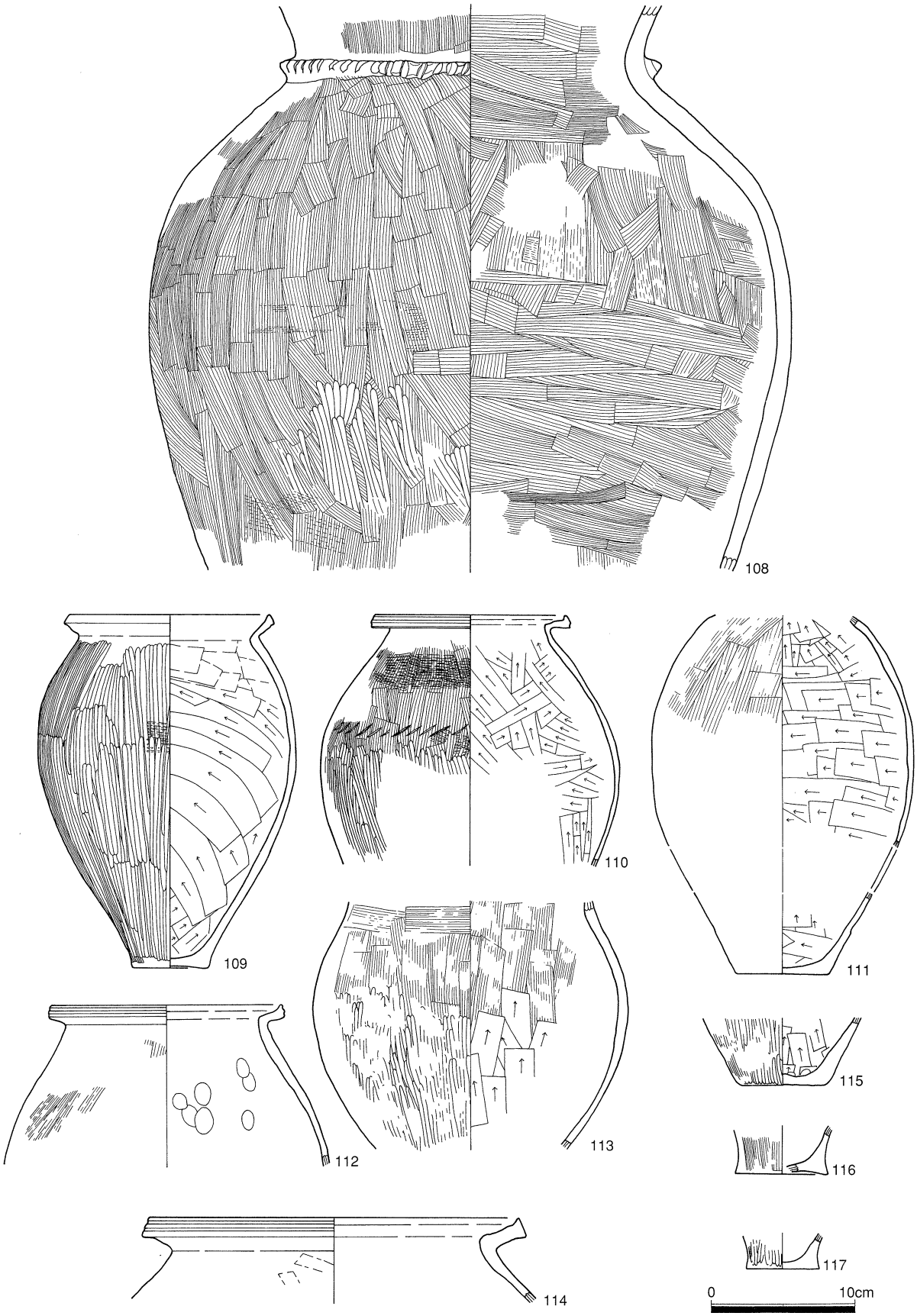
主柱穴　EP1・2・4、EK１の４基（径41～62cm、深さ10～26cm）

炉跡　EH1・2の２基（長軸50～70cm、短軸20～31cmの楕円形、深さ８cm、炭化物を多く含む１層）

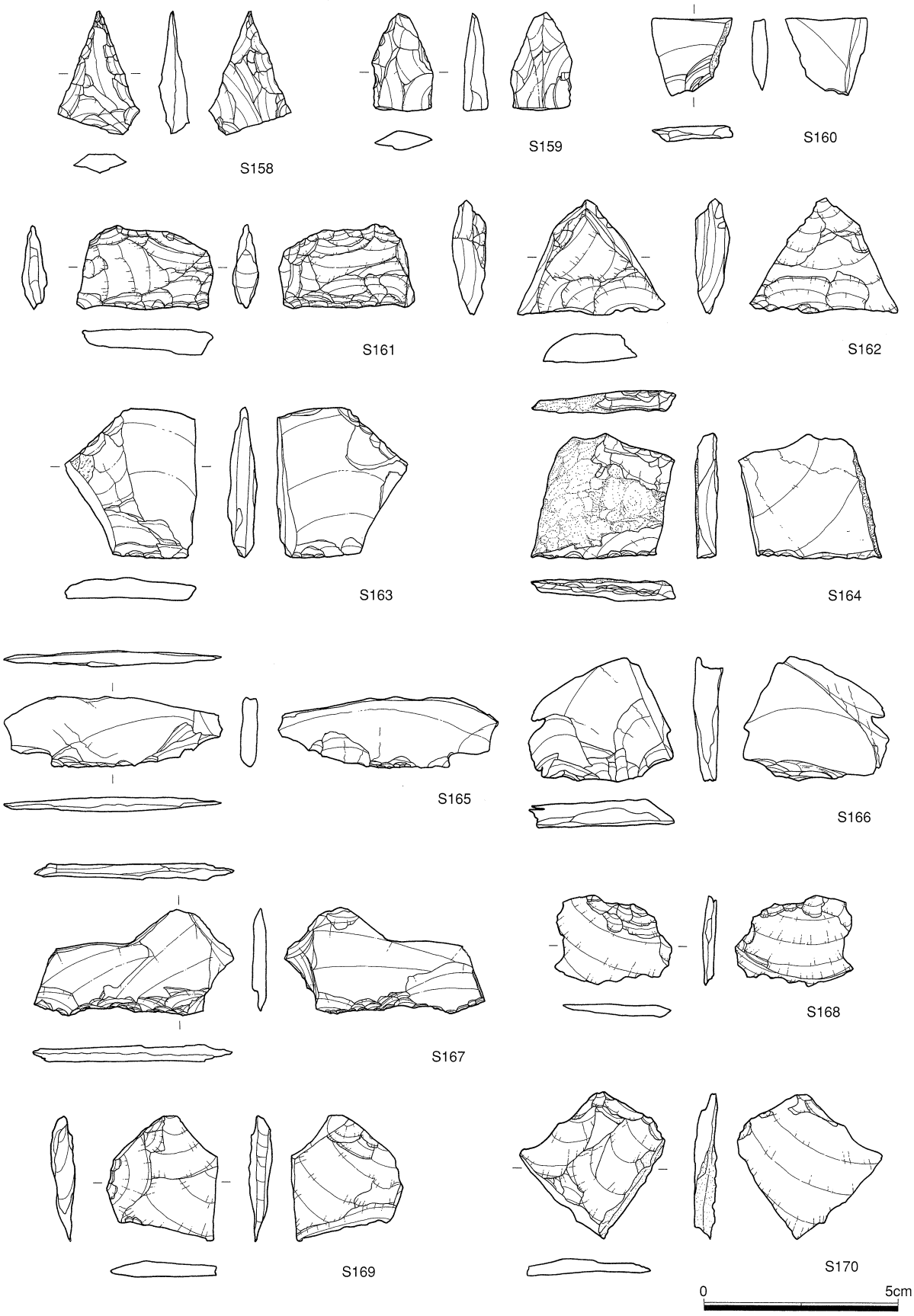
施設　北側縁辺部で周壁溝が検出されている。その他では、ピット１基が確認できた。

遺物出土状況　覆土から土器、石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕10点である。一方、石器は、石鏃、スクレイパー、楔形石器、剥片、砥石の23点が図示できた。これらの石器は、EK１付近からの出土が多かった。

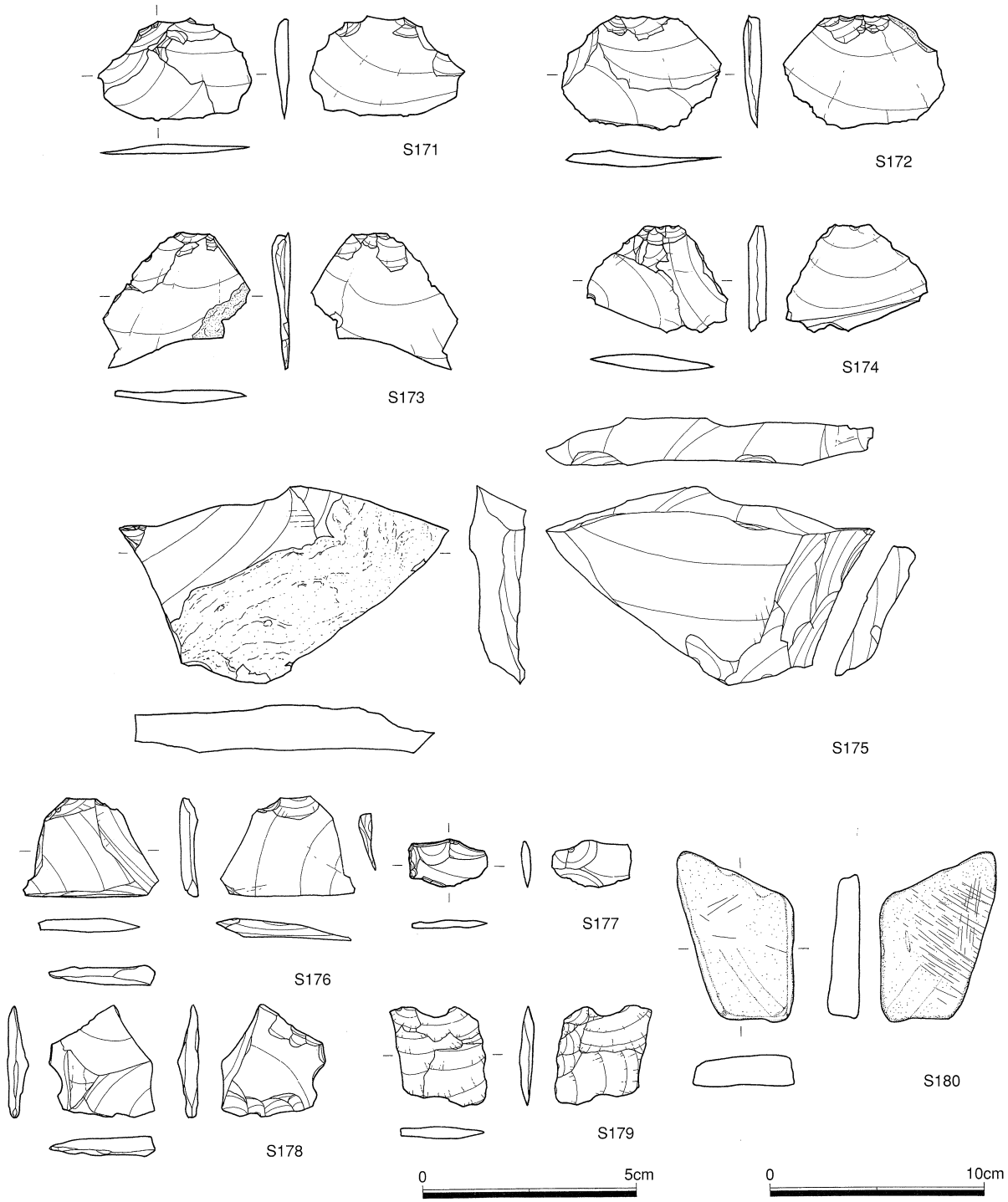
時期　弥生時代中期後半



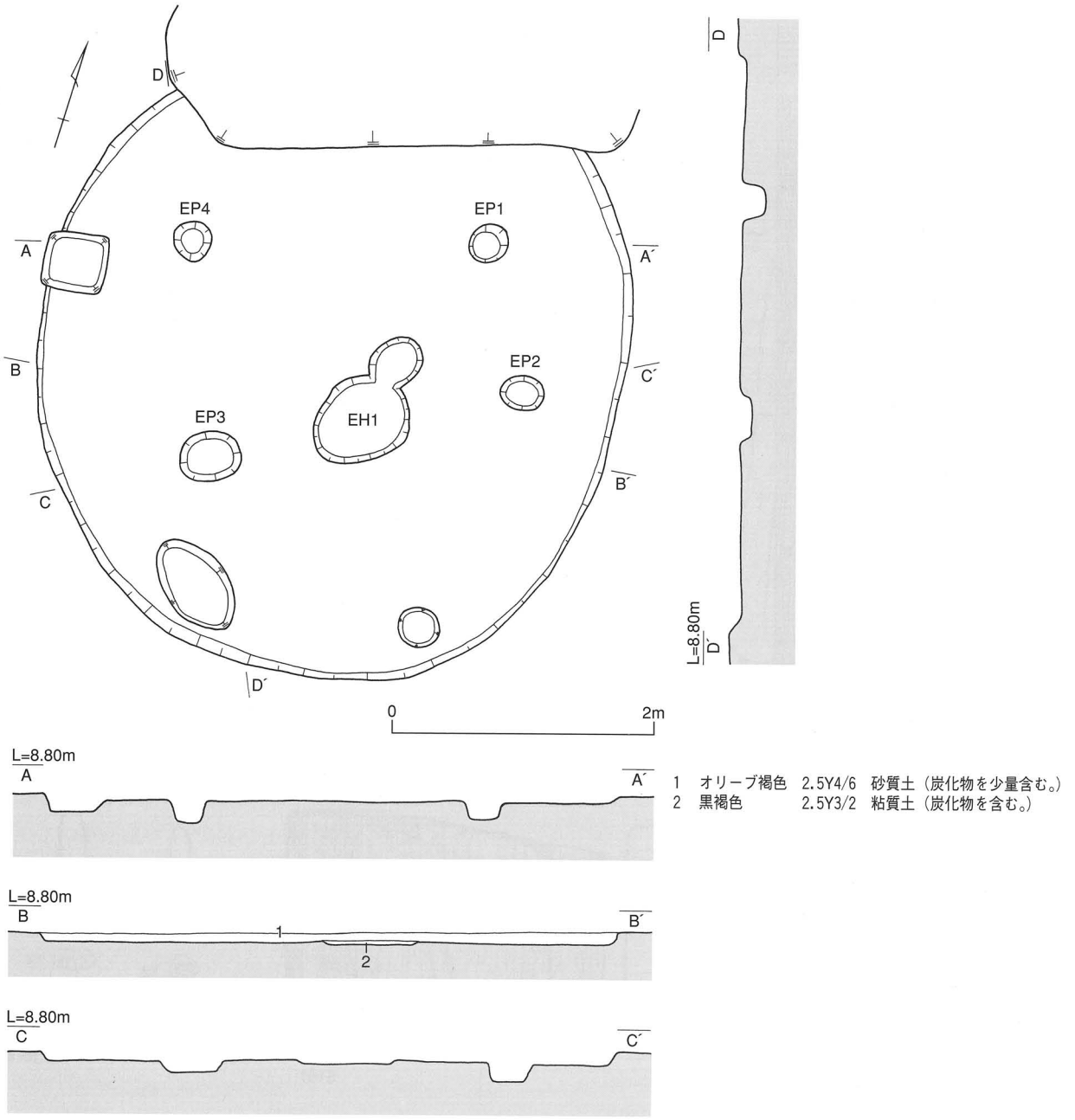
第59図　SB2012出土土器



第60図　SB2012出土石器（1）



第61図　SB2012出土石器（２）



第62図　SB2013平・断面図（S=1/50）

竪穴住居跡（SB2013）

位置　5・6区　Loc.D 2　εⅡ　de 8 ～ 9

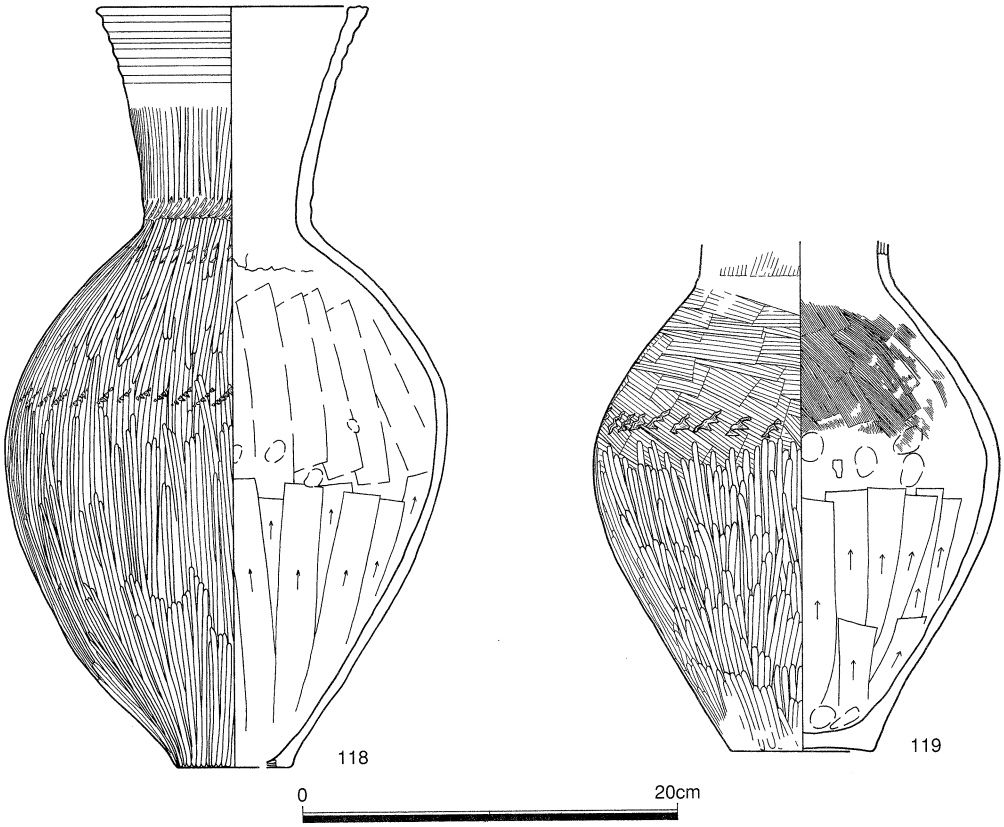
平面形　円形　　**床面積**　15.1m²　　**土層**　1 層

主柱穴　EP 1 ～ 4 の 4 基（径20～44cm、深さ 9 ～17cm）

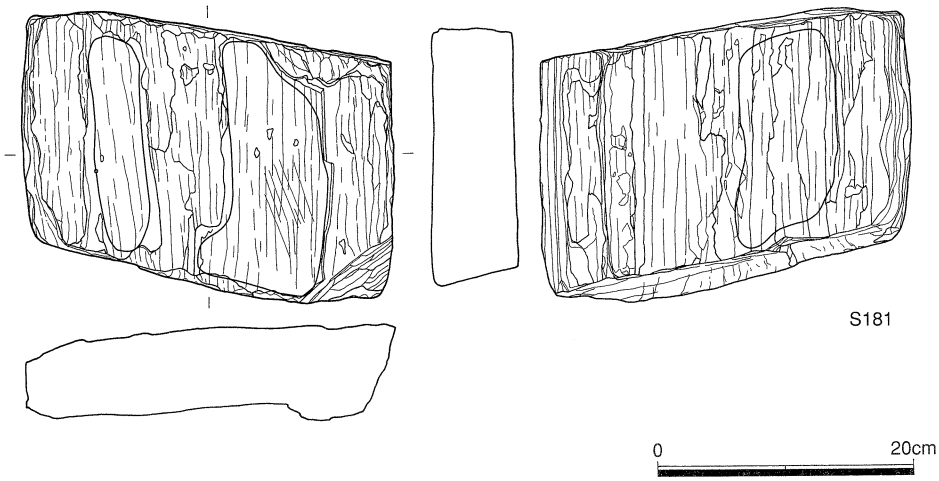
炉跡　1 基(長軸82cm、短軸68cmの楕円形、深さ 5 cmの土坑に、長軸42cm、短軸31cmの楕円形、深さ 5 cmの土坑が取り付く。炭化物を含む 1 層）　**施設**　なし

遺物出土状況　覆土から遺物が出土している。図示できたのは、壺 2 点と台石 1 点、鉄器 2 点である。

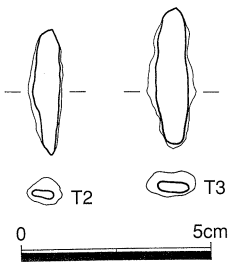
時期　弥生時代中期後半



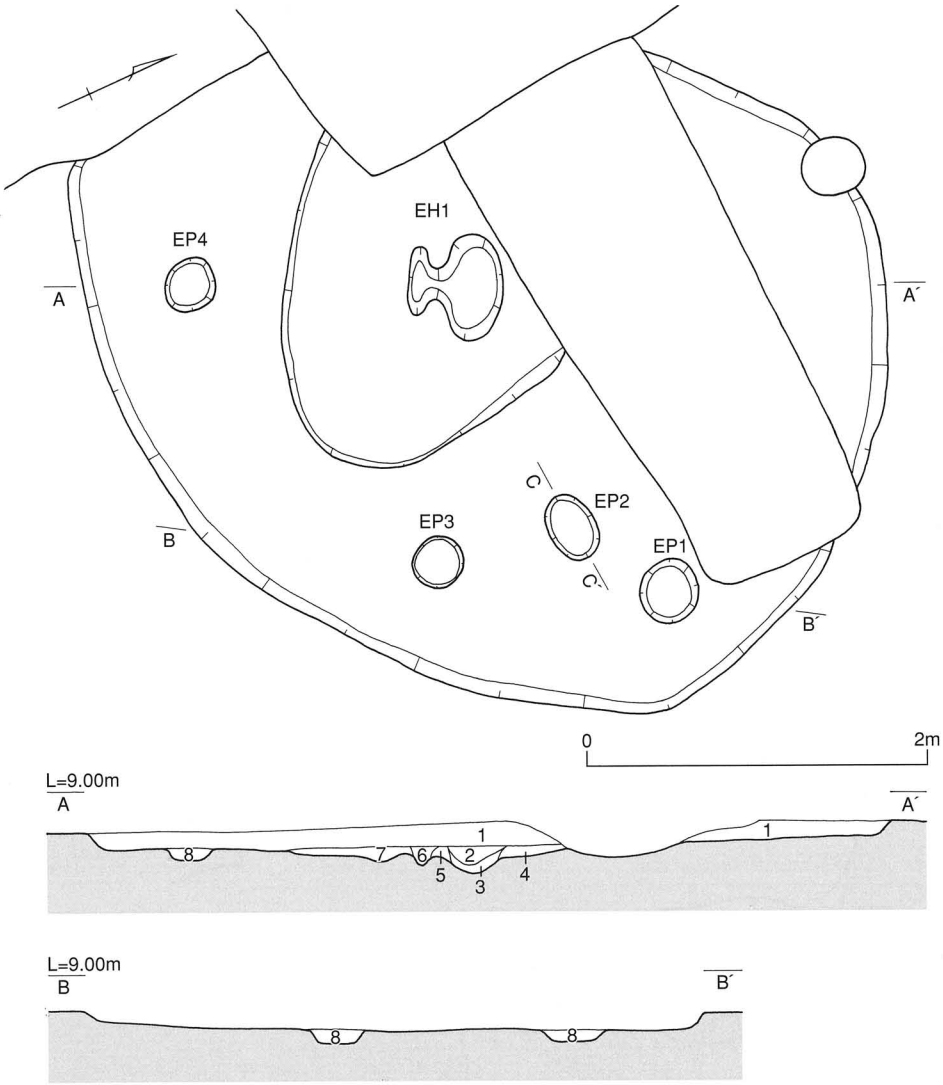
第63図　SB2013出土土器



第64図　SB2013出土石器

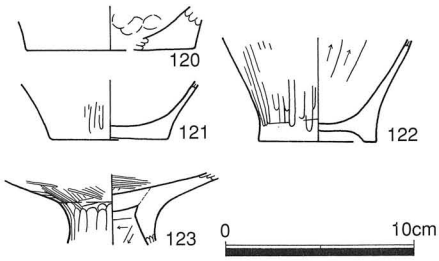


第65図　SB2013出土鉄器



1	オリーブ褐色	2.5Y4/6	砂質土（炭化物を少量含む。粘性がやや強い。）
2	褐色	10YR4/4	砂質土（炭化物を少量含む。）
3	にぶい黄褐色	10YR5/4	砂質土
4	にぶい黄褐色	10YR5/3	砂質土
5	黒褐色	10YR3/2	砂質土（炭化物を多く含む。）
6	暗褐色	10YR3/4	砂質土（炭化物を少量含む。）
7	にぶい黄褐色	10YR5/3	砂質土（４層よりやや明るい。）
8	黄褐色	2.5Y5/6	砂質土（炭化物を少量含み、粘性が強い。EP１～４）

第66図　SB2014平・断面図（S＝1/50）



第67図　SB2014出土土器

竪穴住居跡（SB2014）

位置　3区　Loc.D２　５・6区　εⅡ　e7～8　　**平面形**　円形　　**床面積**　12.9㎡　　**土層**　1層

主柱穴　EP1・3・4の３基（径32～39㎝、深さ11㎝）

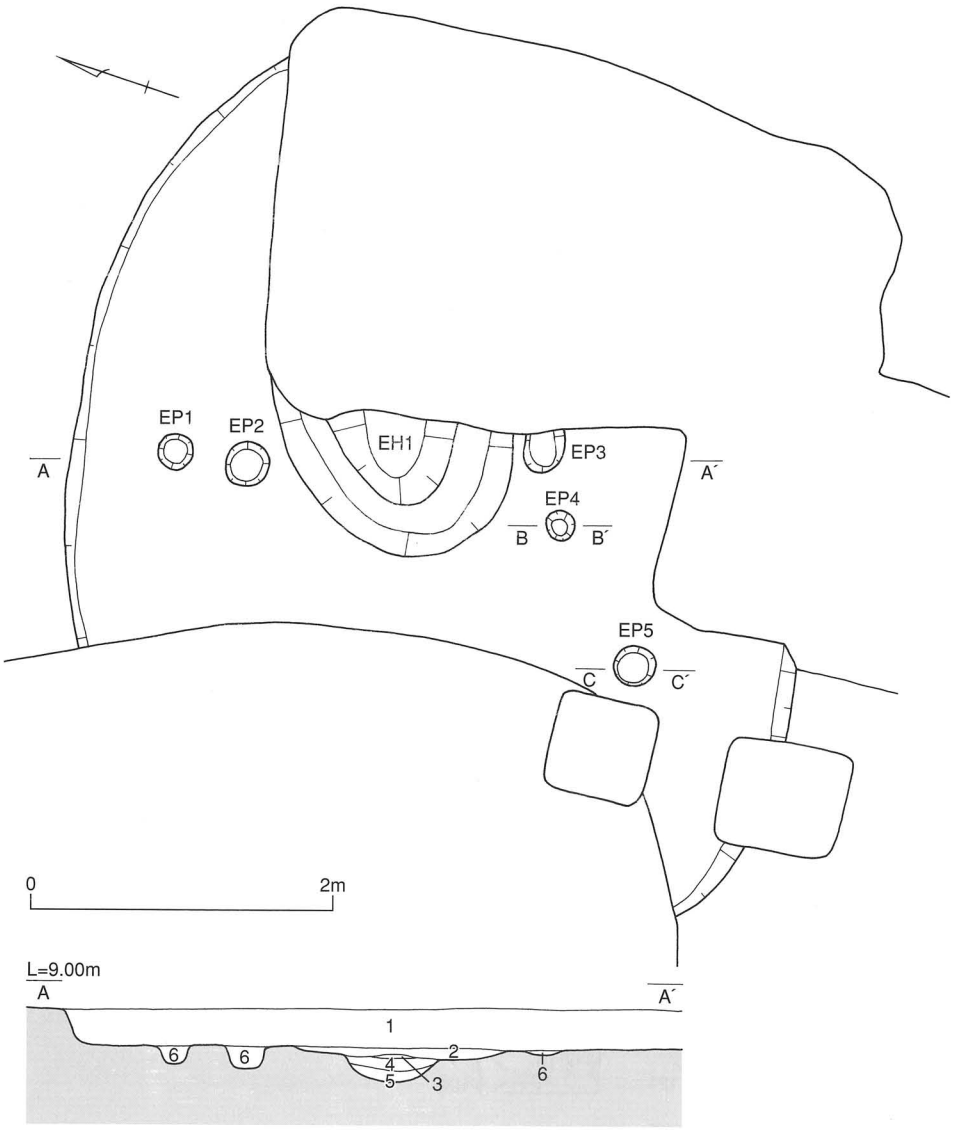
炉跡　１基（長軸69㎝、短軸32㎝の楕円形、深さ16㎝の土坑に長軸42㎝短軸13㎝の楕円形、深さ９㎝の土坑が取り付く。何れも炭化物を少量含む１～２層の堆積である。）

施設　ピット１基

遺物出土状況　覆土から遺物が出土しているが、図示できたのは、壺、甕、高杯の４点である。

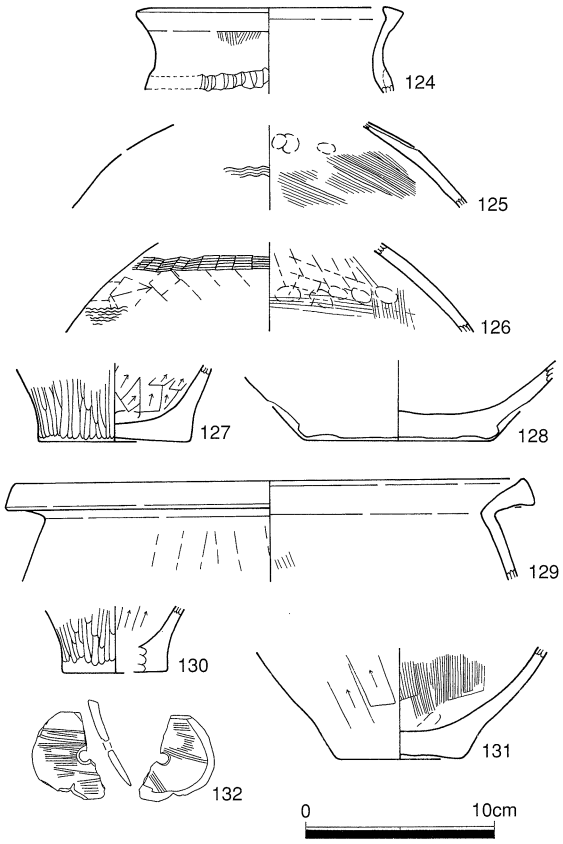
時期　弥生時代中期後半

備考　炉跡の構造は、その平面形状から10（いちまる）土坑と俗称されるものである。中期後半に播磨地域で見られる炉形態と考えられる。



1	暗オリーブ褐色	2.5Y3/3	砂質土	（炭化物、焼土を多く含み、粘性が強い。色調やや明るい。）
2	黒褐色	2.5Y3/2	粘質土	（炭化物を含む。EH１）
3	赤褐色	2.5YR4/6	粘質土	（炭化物を含む焼土層。EH１）
4	暗褐色	7.5YR3/3	粘質土	（炭化物層 EH１）
5	暗オリーブ褐色	2.5Y3/3	粘質土	（炭化物層 EH１）
6	黄褐色	2.5Y5/6	砂質土	（炭化物を少量含む。EH１～５）

第68図　SB2015平・断面図（S＝1/50）



第69図　SB2015出土土器

竪穴住居跡（SB2015）

位置　5・6区　Loc.D 2　εⅡ　fg 6 ～ 7

平面形　円形　　床面積　8.1m²　　土層　1層

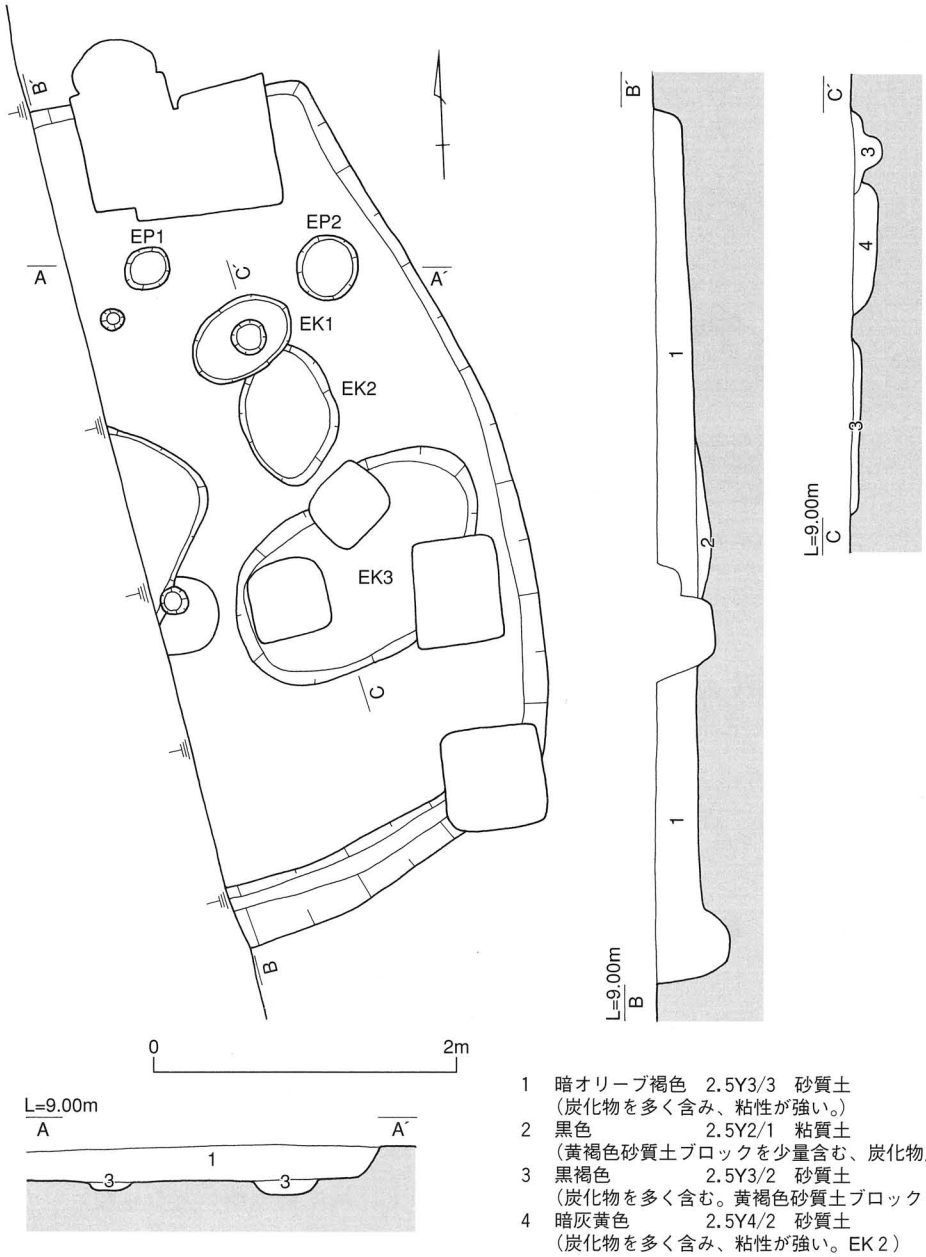
主柱穴　EP2・5の2基（径30cm、深さ11～19cm）

炉跡　1基（長軸130cm以上、短軸100cm以上の楕円形、深さ27cm以上、炭化物を多く含む4層）

施設　なし

遺物出土状況　覆土から遺物が出土している。図示できたのは、壺、甕、紡錘車の9点である。

時期　弥生時代中期後半



1　暗オリーブ褐色　2.5Y3/3　砂質土
（炭化物を多く含み、粘性が強い。）
2　黒色　2.5Y2/1　粘質土
（黄褐色砂質土ブロックを少量含む、炭化物層。EH１）
3　黒褐色　2.5Y3/2　砂質土
（炭化物を多く含む。黄褐色砂質土ブロックを少量含む。EP1・2・EK1・3）
4　暗灰黄色　2.5Y4/2　砂質土
（炭化物を多く含み、粘性が強い。EK２）

第70図　SB2016平・断面図（S＝1/50）

竪穴住居跡（SB2016）

位置　5・6区　Loc.D２　εⅡ　fg６　　**平面形**　長方形　　**床面積**　10.1m²　　**土層**　１層

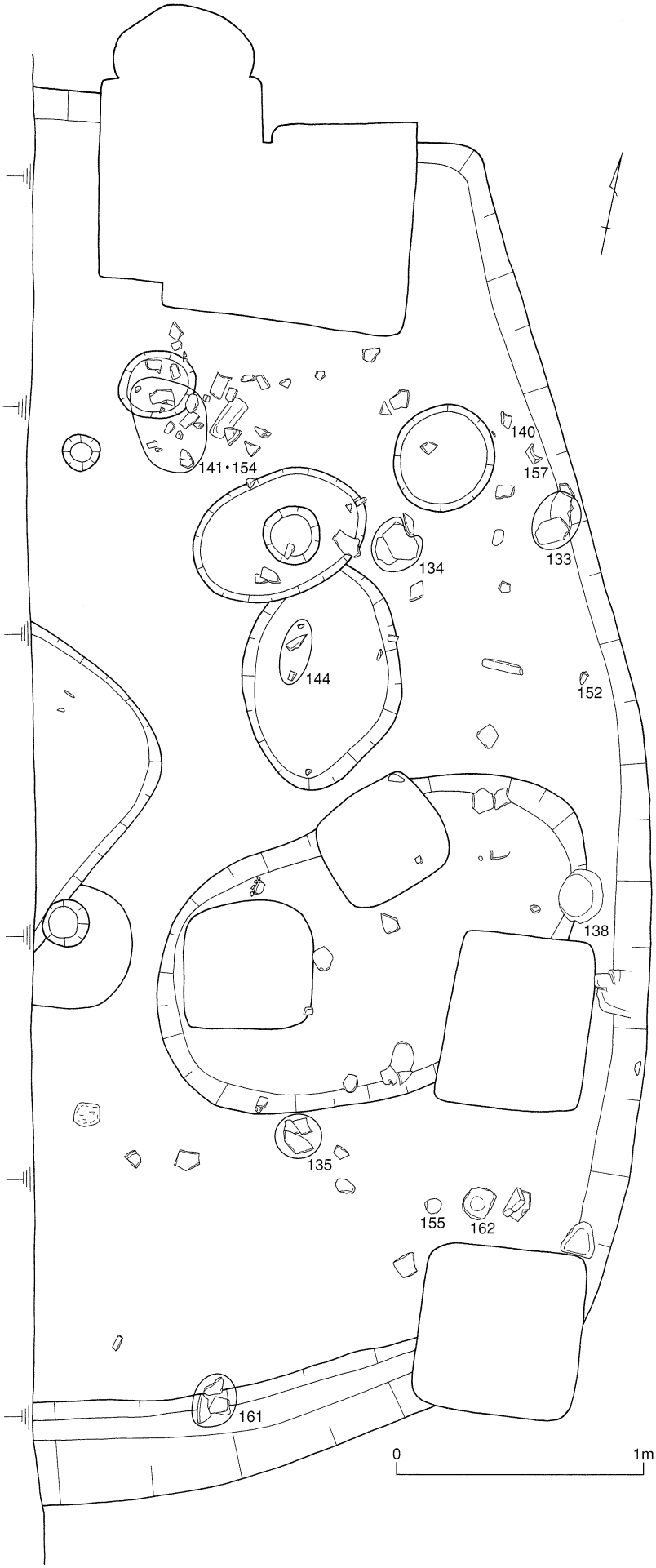
主柱穴　EP1・2の２基（径30cm、深さ28～42cm）

炉跡　１基（径110cm以上、深さ10cm、炭化物を多く含む１層）

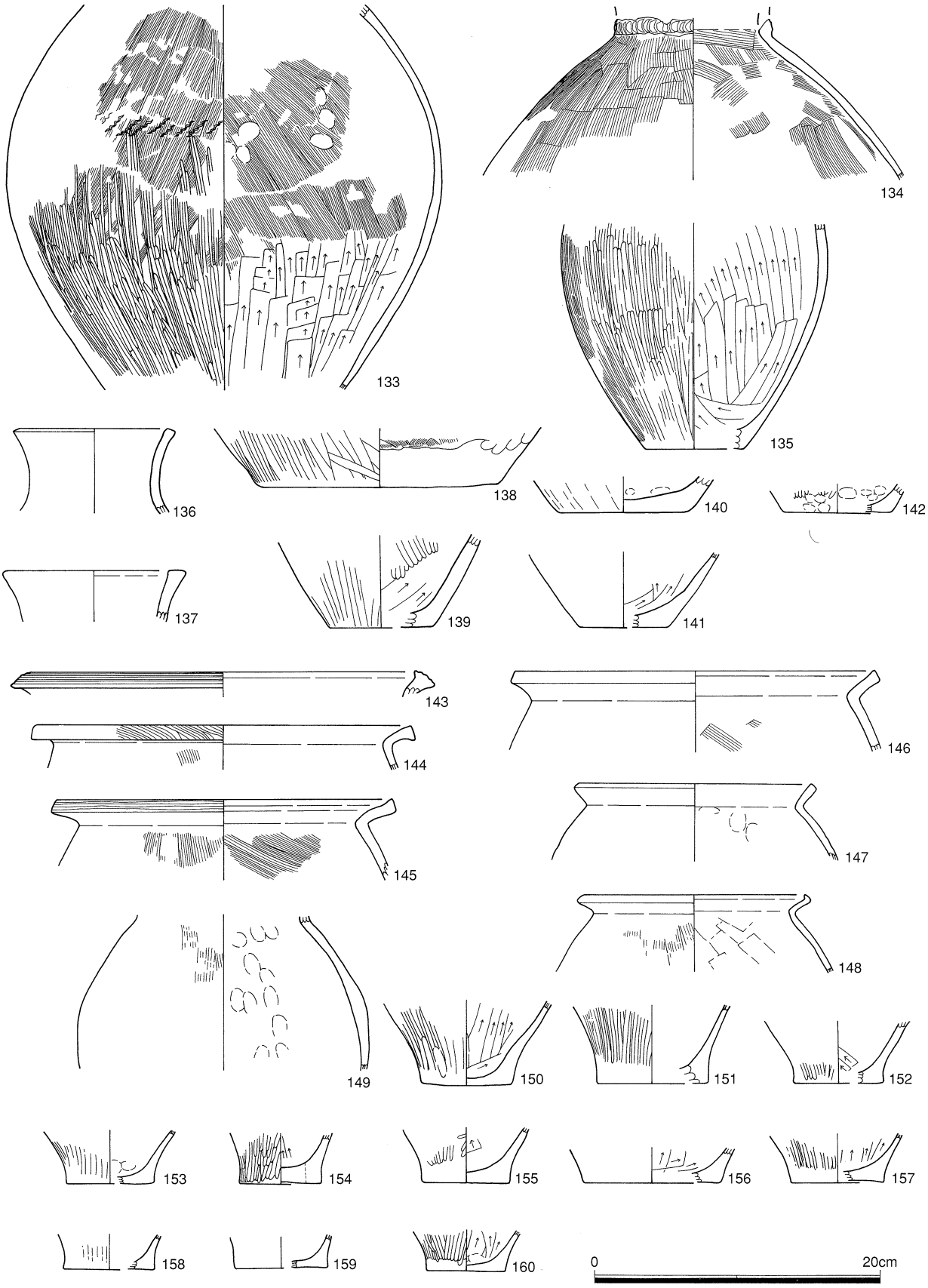
施設　土坑３基、ピット１基

遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。遺物出土状況図のように、小さな土器片となって、覆土全体から出土しており、とくに遺物が集中している地点はない。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯、紡錘車の34点である。一方、石器は、石鏃、柱状片刃石斧、剥片の５点が図示できた。

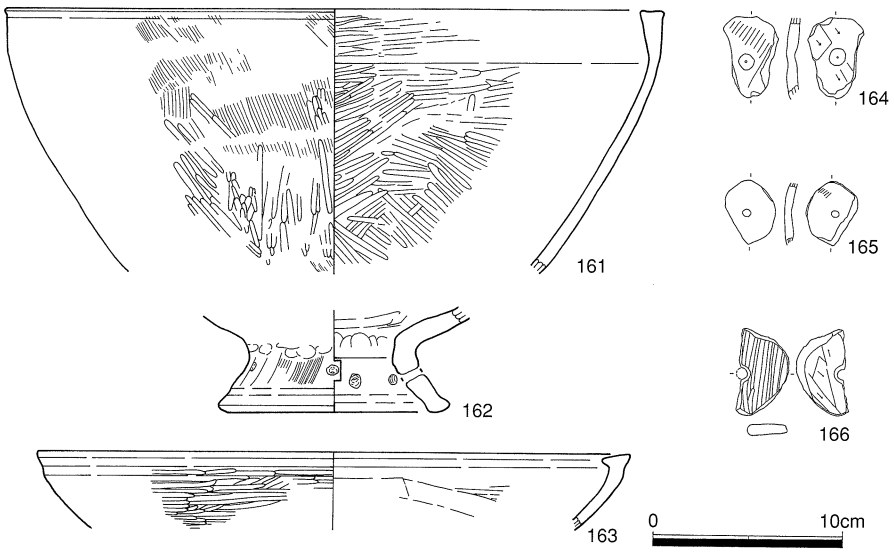
時期　弥生時代中期後半



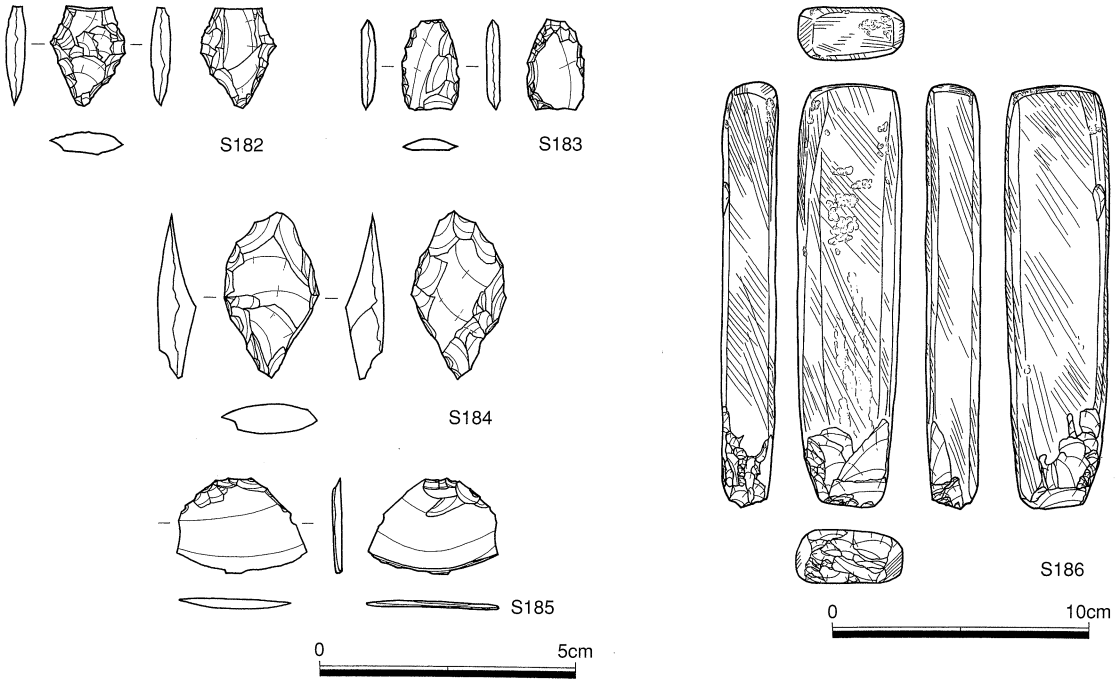
第71図　SB2016遺物出土状況図（S＝1/25）



第72図　SB2016出土土器（1）



第73図　SB2016出土土器（２）



第74図　SB2016出土石器

竪穴住居跡（SB2017）

位置　5・6区　Loc.D２　εⅡ　gh８　　**平面形**　長方形　　**床面積**　10.1㎡　　**土層**　１層

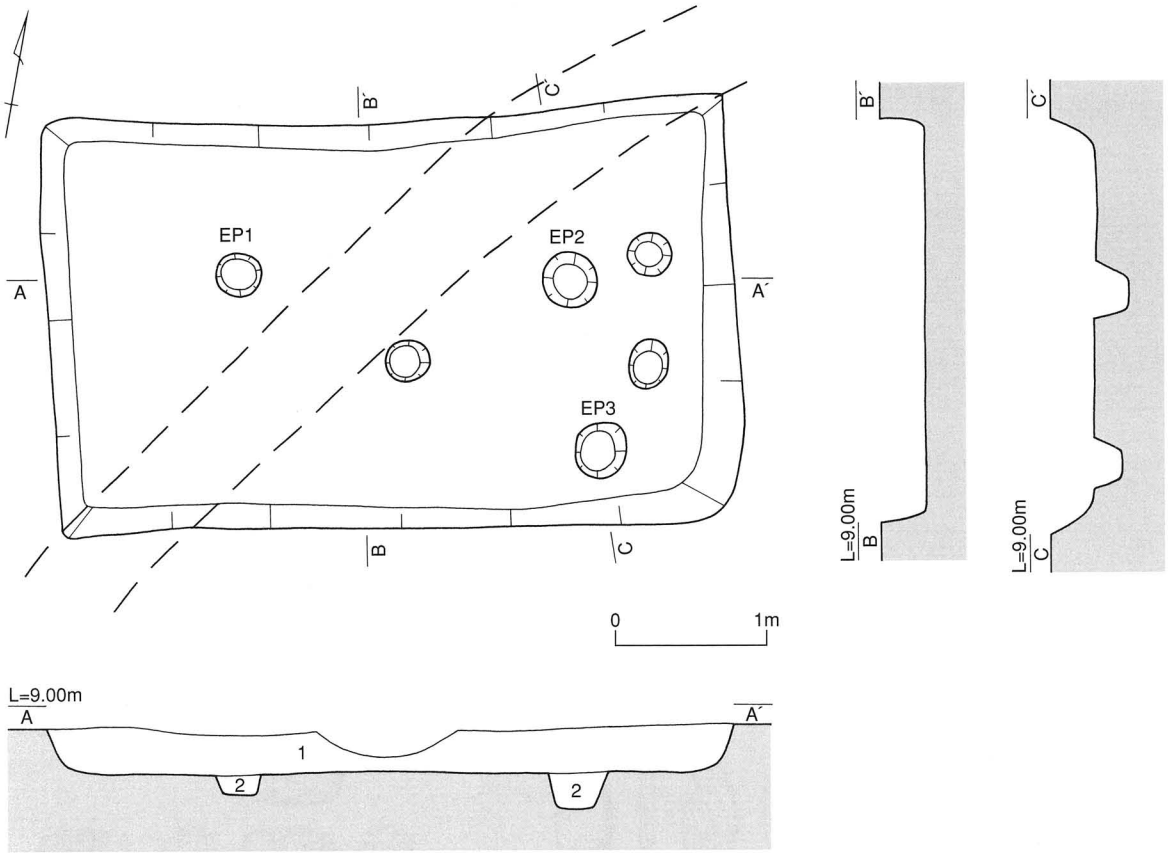
主柱穴　EP1～3の３基（径30～39㎝、深さ13～26㎝）

炉跡　検出されていない。　　**施設**　ピット３基

遺物出土状況　覆土から遺物が出土しているが、図示できたのは、壺１点だけである。

時期　弥生時代中期後半

備考　住居中央部分は、古代の溝状遺構により攪乱を受け、遺存状態は悪い。



1　暗灰黄色　2.5Y4/2　砂質土（炭化物を少量含み、硬くしまる。）
2　オリーブ褐色　2.5Y4/3　砂質土（炭化物を少量含み、粘性が強い。）

第75図　SB2017平・断面図（S=1/50）

竪穴住居跡（SB2018）

位置　3区　Loc.D 2　εⅡ　gh 8

平面形　長方形

床面積　5.5m²　　土層　1層

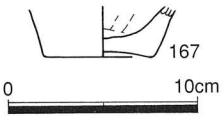
主柱穴　EP 1の1基（径42cm、深さ15cm）

炉跡　検出されていない。　　施設　なし

遺物出土状況　覆土から土器、石器が出土しているが、図示できたのは、楔形石器1点だけである。

時期　弥生時代中期後半

備考　前述のSB2017に住居中央部を壊されており、遺存状態は悪い。



第76図　SB2017出土土器

竪穴住居跡（SB2019）

位置　5・6区　Loc.D 2　εⅡ　gh 9　　平面形　方形　　床面積　14.2m²　　土層　9層

主柱穴　EP1～4の4基（径22～31cm、深さ10～14cm）

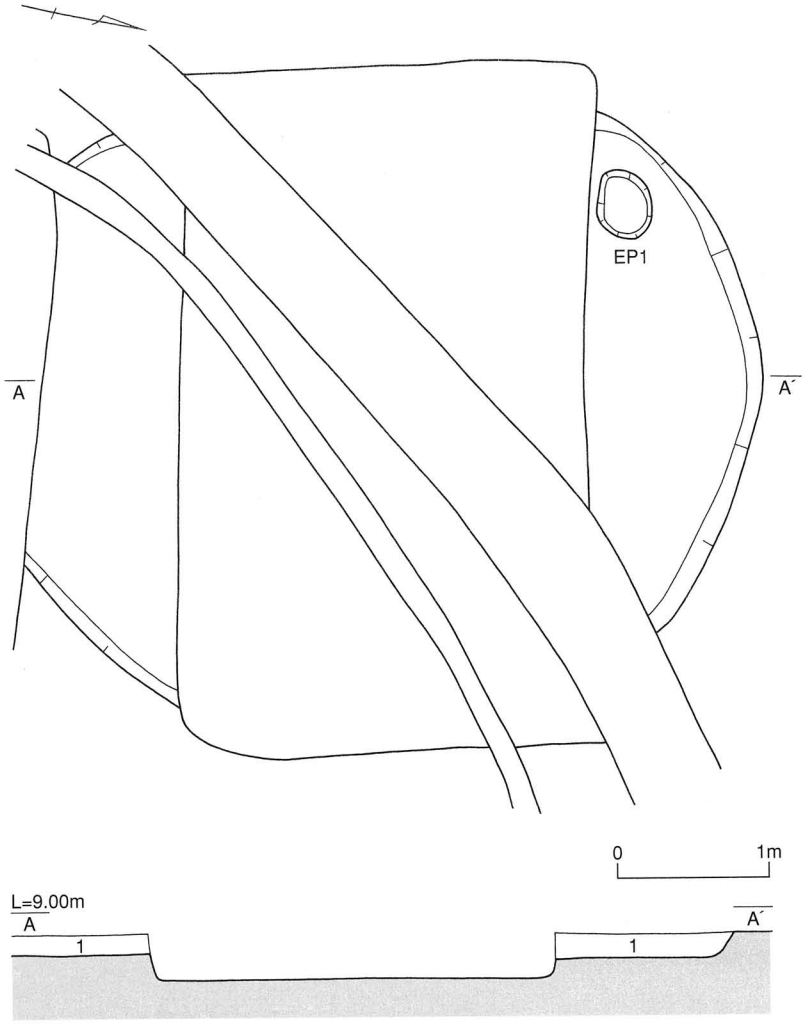
炉跡　EH1・2の2基（長軸150cm、短軸80cmの楕円形、深さ8cmのEH 1、長軸108cm、短軸53cmの楕円形、深さ12cmのEH 2が構築されている。炭化物を含む2層から成る。）

施設　ピット4基

遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。遺物出土状況図にあるように、EH 1・2周辺からの出土が多い。ただし、層位的には2～9層まで幅広く出土している。図示できた土器は、壺、甕、

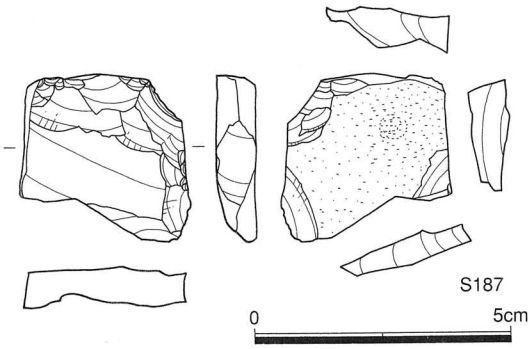
鉢、高杯、紡錘車の44点である。一方、石器は、石庖丁、楔形石器、台石、剥片の８点が図示できた。

時期　弥生時代中期後半

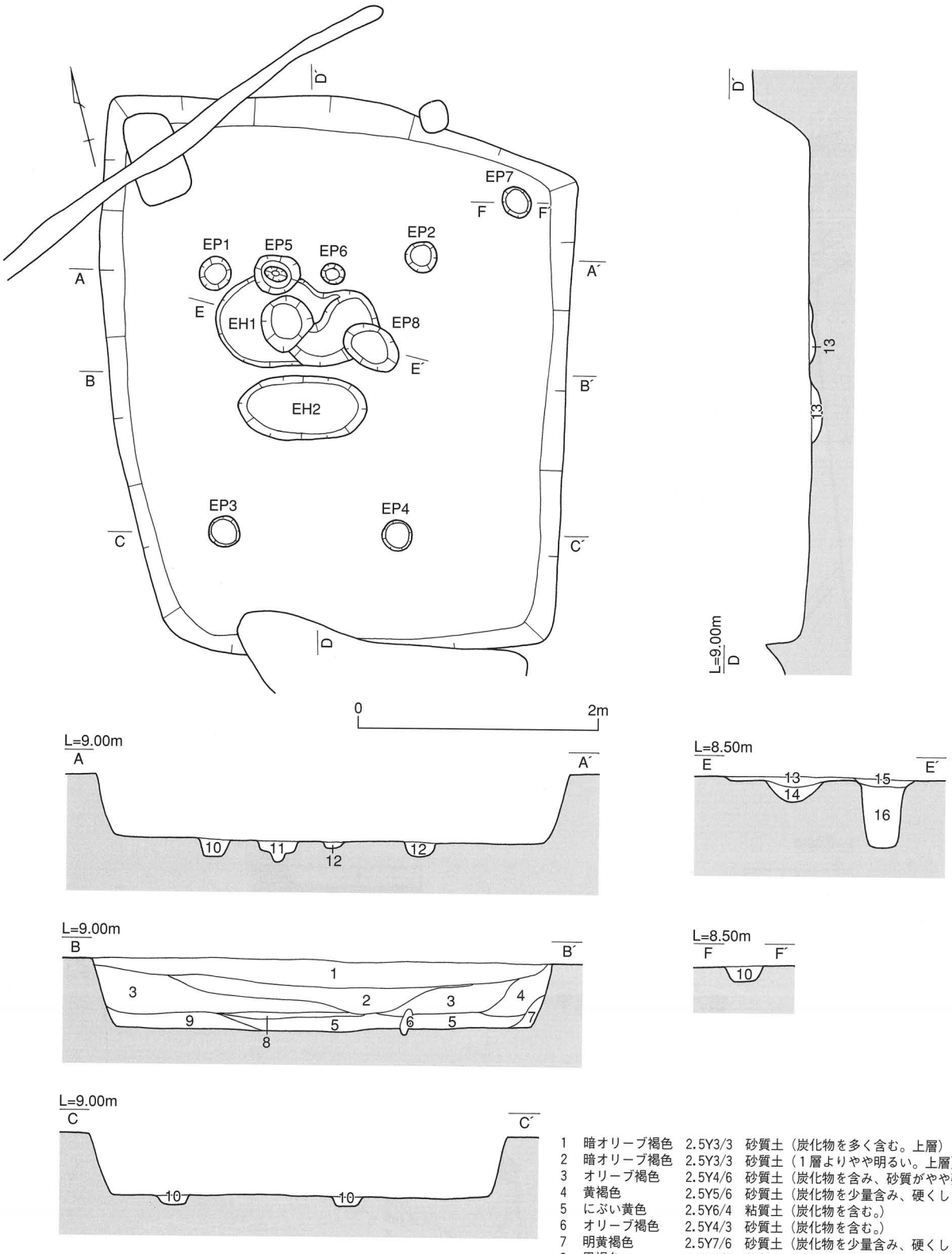


1　黄褐色　2.5Y5/3　砂質土（炭化物を少量含み、硬くしまる。）

第77図　SB2018平・断面図（S＝1/50）

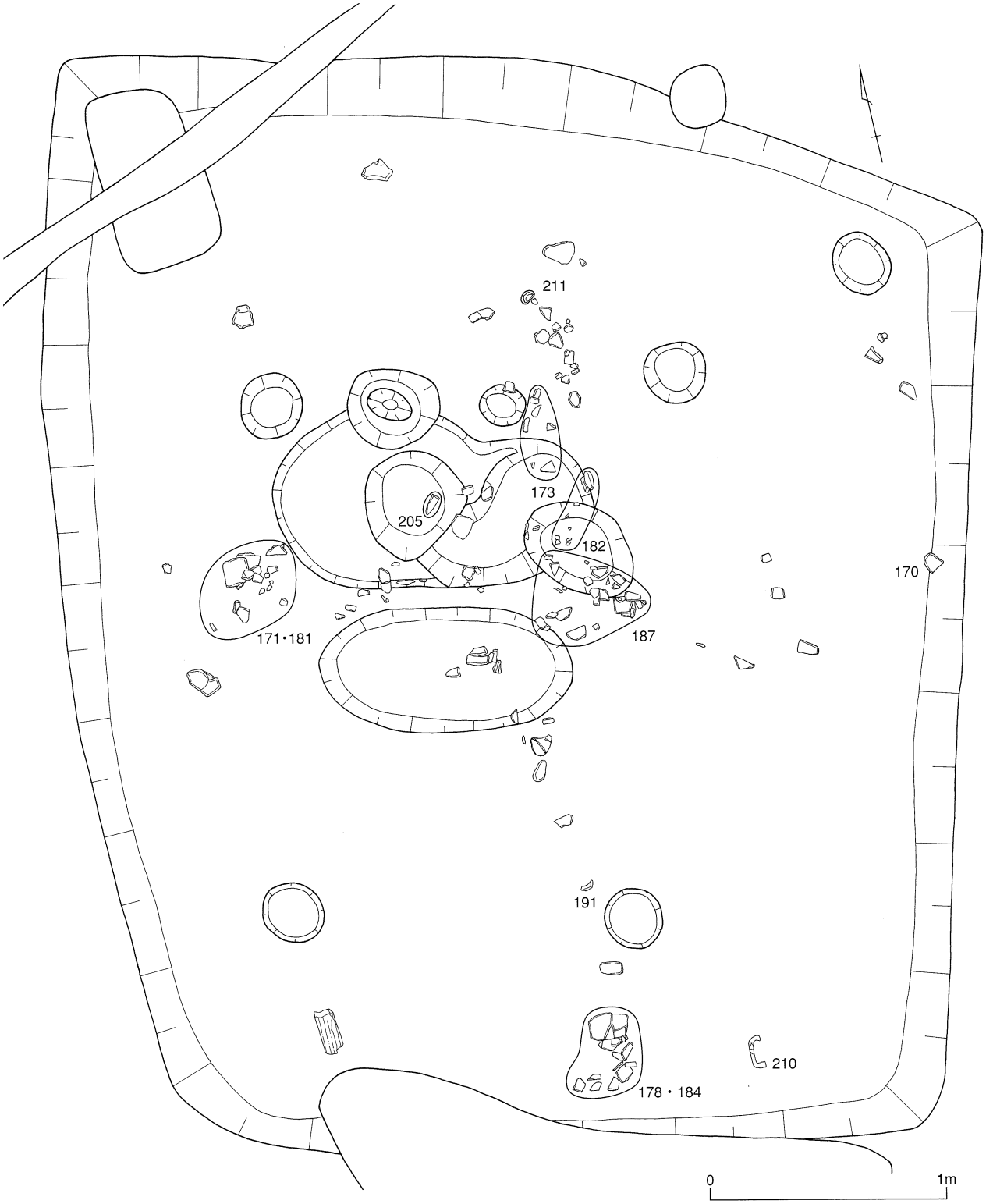


第78図　SB2018出土石器

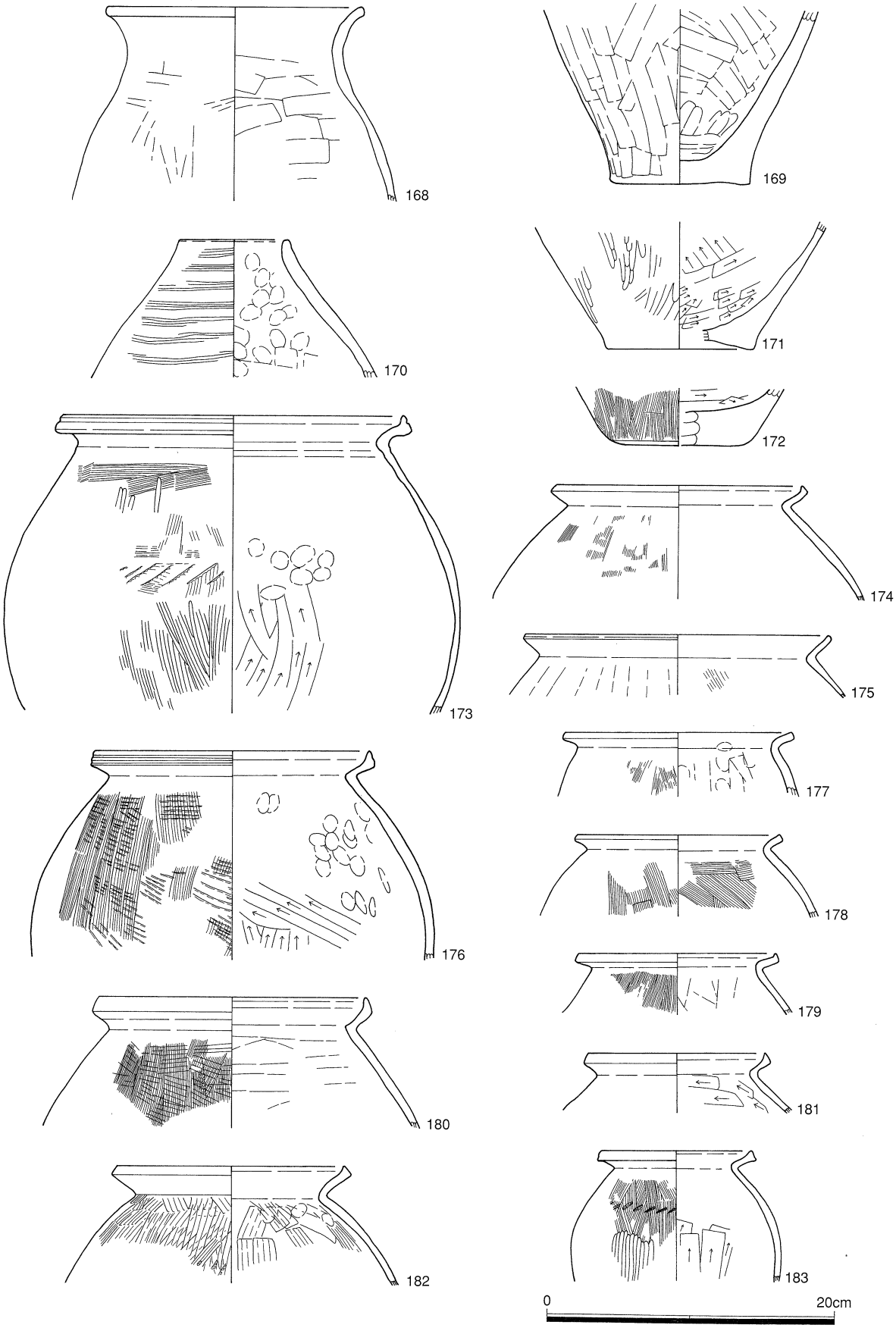


1	暗オリーブ褐色	2.5Y3/3	砂質土（炭化物を多く含む。上層）
2	暗オリーブ褐色	2.5Y3/3	砂質土（1層よりやや明るい。上層）
3	オリーブ褐色	2.5Y4/6	砂質土（炭化物を含み、砂質がやや強い。以下下層）
4	黄褐色	2.5Y5/6	砂質土（炭化物を少量含み、硬くしまる。）
5	にぶい黄色	2.5Y6/4	粘質土（炭化物を含む。）
6	オリーブ褐色	2.5Y4/3	砂質土（炭化物を含む。）
7	明黄褐色	2.5Y7/6	砂質土（炭化物を少量含み、硬くしまる。）
8	黒褐色	2.5Y3/1	粘質土（炭化物層）
9	にぶい黄色	2.5Y6/3	粘質土（炭化物を少量含む。）
10	オリーブ褐色	2.5Y4/6	砂質土（炭化物を少量含む。EH1・3・4）
11	暗灰黄色	2.5Y5/2	粘質土（炭化物を含む。EP5）
12	オリーブ褐色	2.5Y4/4	砂質土（若干粘性を帯びる。EP2・6）
13	黄褐色	2.5Y5/3	砂質土（炭化物を少量含む。EH1・2）
14	オリーブ褐色	2.5Y4/4	砂質土（12層より粘性が強い。EH1）
15	オリーブ褐色	2.5Y4/4	砂質土（土器片を含む。EP8）
16	オリーブ褐色	2.5Y4/3	砂質土（炭化物を含み、粘性が強い。EP8）

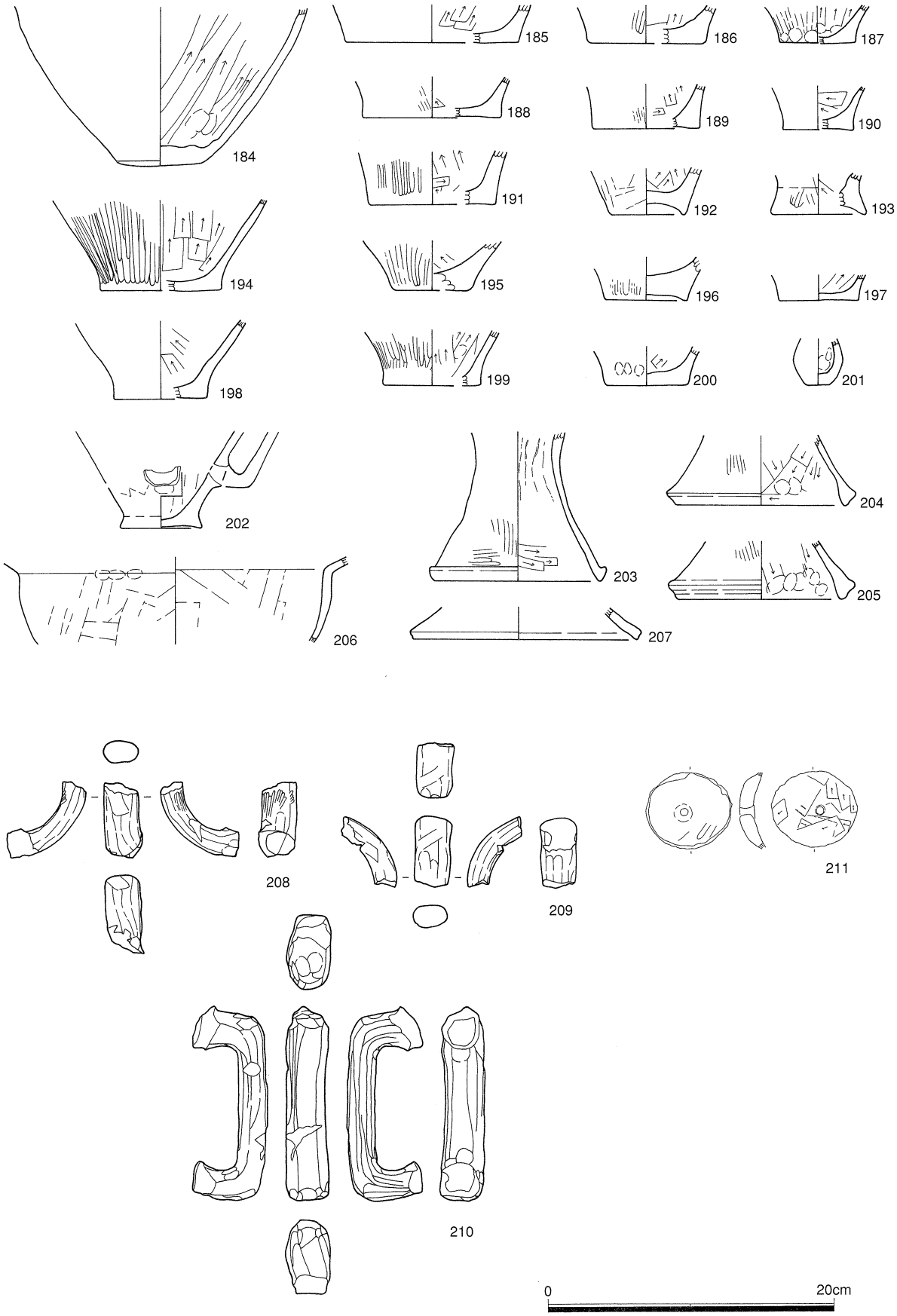
第79図　SB2019平・断面図（S=1/50）



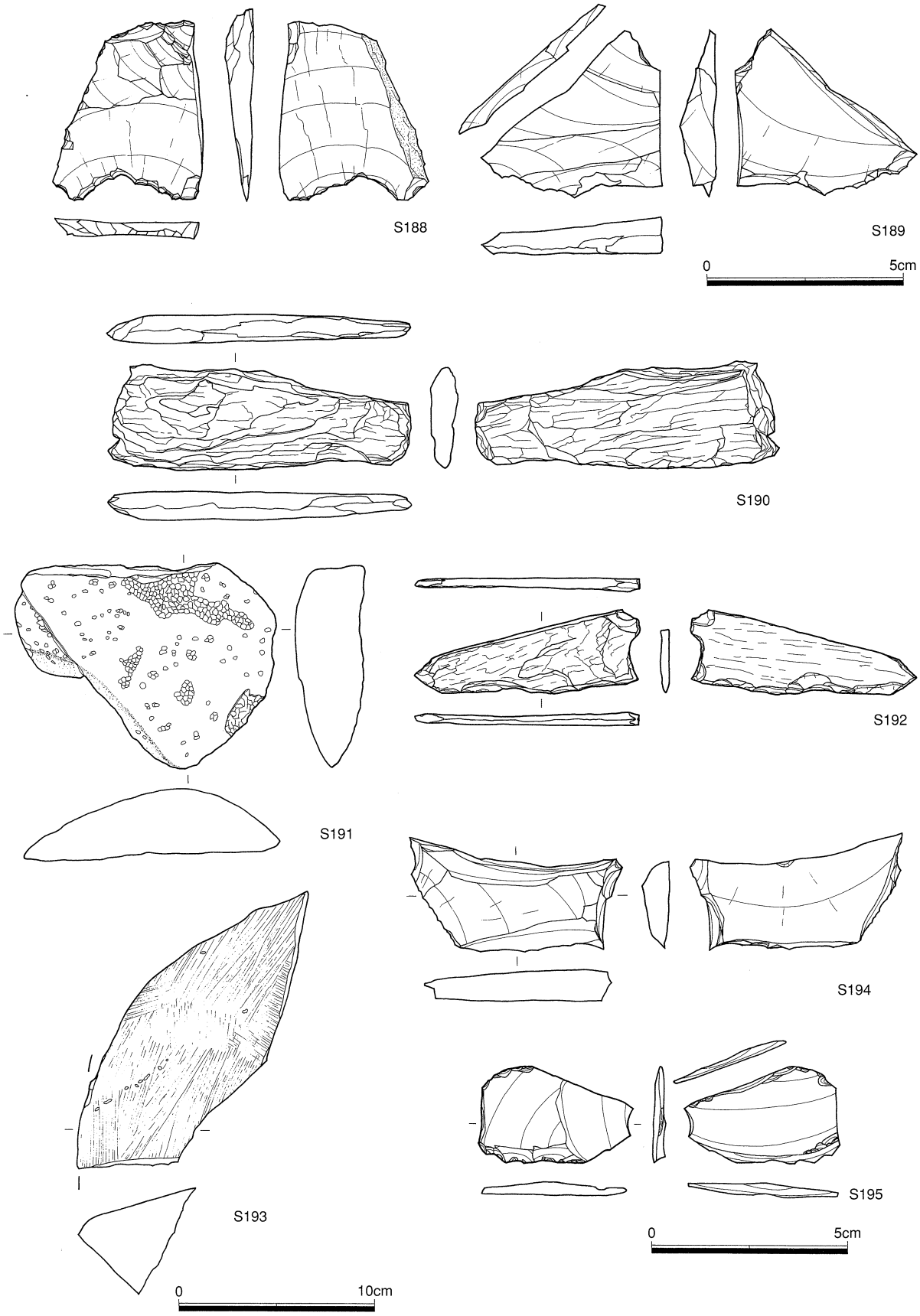
第80図　SB2019遺物出土状況図（S＝1/25）



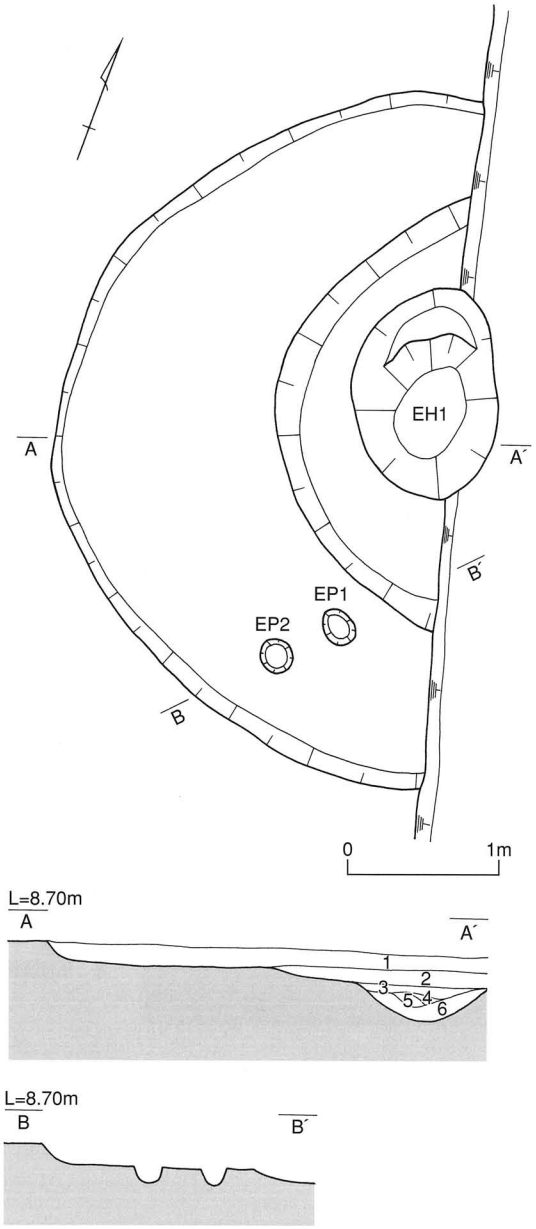
第81図　SB2019出土土器（1）



第82図　SB2019出土土器（2）



第83図　SB2019出土石器



1　黄褐色　2.5Y5/3　砂質土（粘性やや強く、炭化物を含む。0.5～1cmの礫を多く含む。）
2　黄褐色　2.5Y5/3　砂質土（1層より炭化物が多い。）
3　黒褐色　2.5Y3/2　砂質土（粘性やや強く、炭化物を含む。）
4　暗灰黄色　2.5Y4/2　砂質土（粘性やや強く、炭化物を含む。）
5　黄褐色　2.5Y5/4　砂質土（粘性やや強く、炭化物を少量含む。）
6　オリーブ褐色　2.5Y4/6　砂質土（粘性強く、炭化物を含む。）

第84図　SB2020平・断面図（S＝1/50）

竪穴住居跡（SB2020）

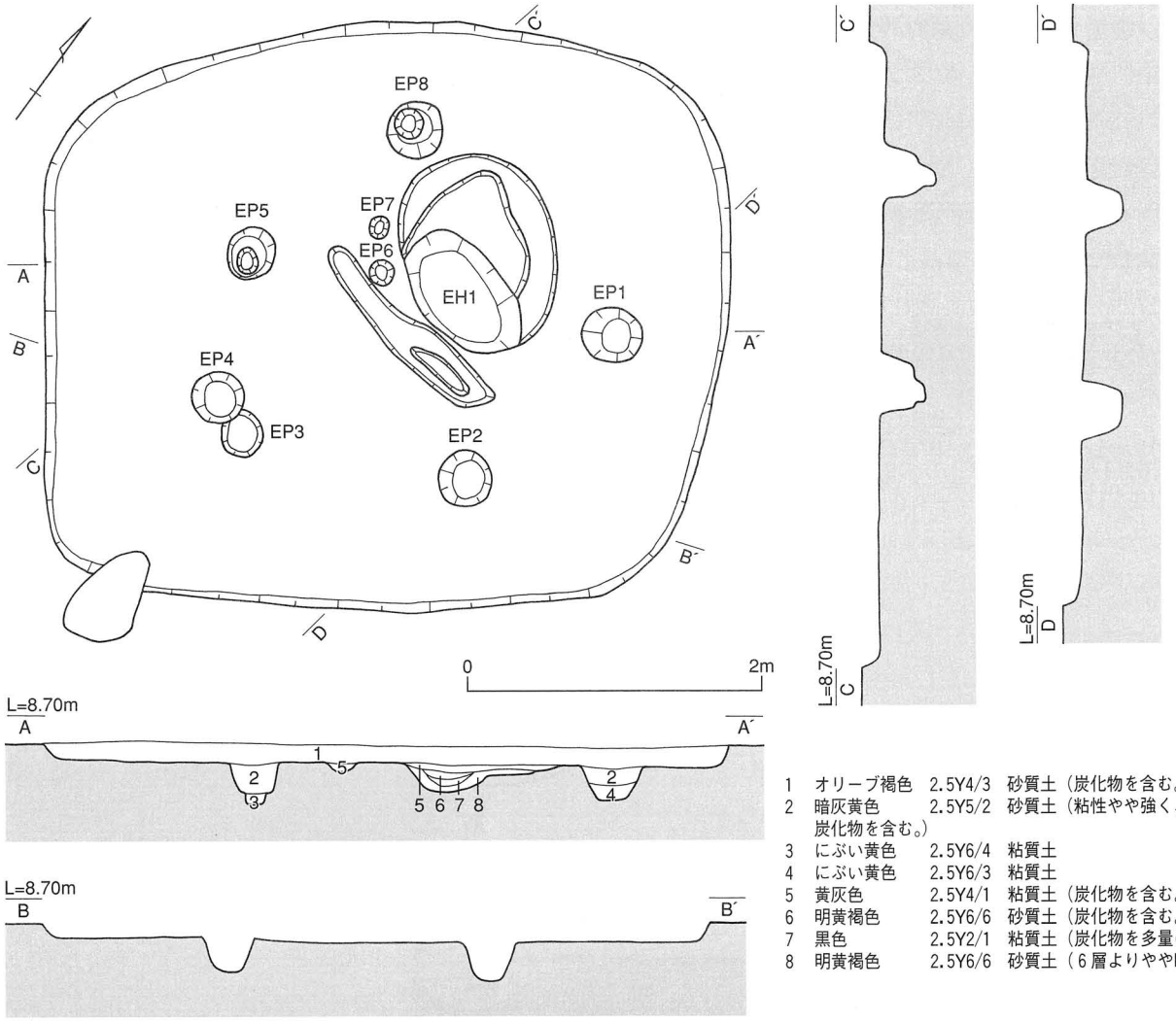
位置　5・6区　Loc.D２　εⅡ　hi10　　平面形　円形　　床面積　8.7㎡　　土層　２層

主柱穴　EP１・２の２基（径21～26cm、深さ13cm）

炉跡　１基（長軸142cm、短軸98cmの楕円形、深さ26cm、炭化物を含む４層）　　施設　なし

遺物出土状況　覆土から遺物が出土しているが、図示できるものはない。

時期　弥生時代中期後半



1　オリーブ褐色　2.5Y4/3　砂質土（炭化物を含む。）
2　暗灰黄色　2.5Y5/2　砂質土（粘性やや強く、炭化物を含む。）
3　にぶい黄色　2.5Y6/4　粘質土
4　にぶい黄色　2.5Y6/3　粘質土
5　黄灰色　2.5Y4/1　粘質土（炭化物を含む。）
6　明黄褐色　2.5Y6/6　砂質土（炭化物を含む。）
7　黒色　2.5Y2/1　粘質土（炭化物を多量に含む。）
8　明黄褐色　2.5Y6/6　砂質土（6層よりやや暗い。）

第85図　SB2021平・断面図（S=1/50）

竪穴住居跡（SB2021）

位置　5・6区　Loc.D 2　εⅡ　ij 9～10

平面形　隅丸方形　　**床面積**　15.1m²　　**土層**　1層

主柱穴　EP1・2・4・5・8の5基（径32～41cm、深さ25～40cm）

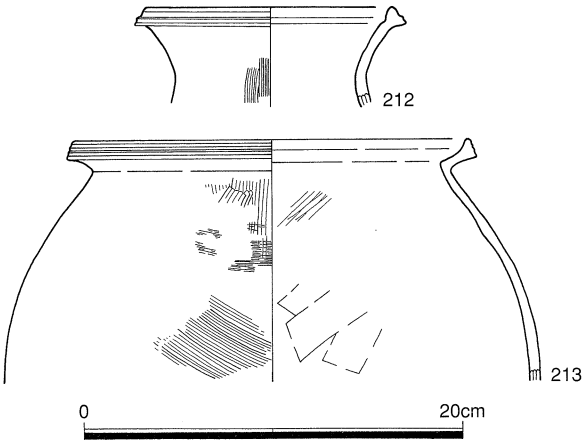
炉跡　1基（長軸140cm、短軸98cmの楕円形、深さ20cmの土坑と、長軸150cm、短軸30cmの長楕円形、深さ8cmの土坑が隣接して構築されている。炭化物を多く含む4層）

施設　ピット3基

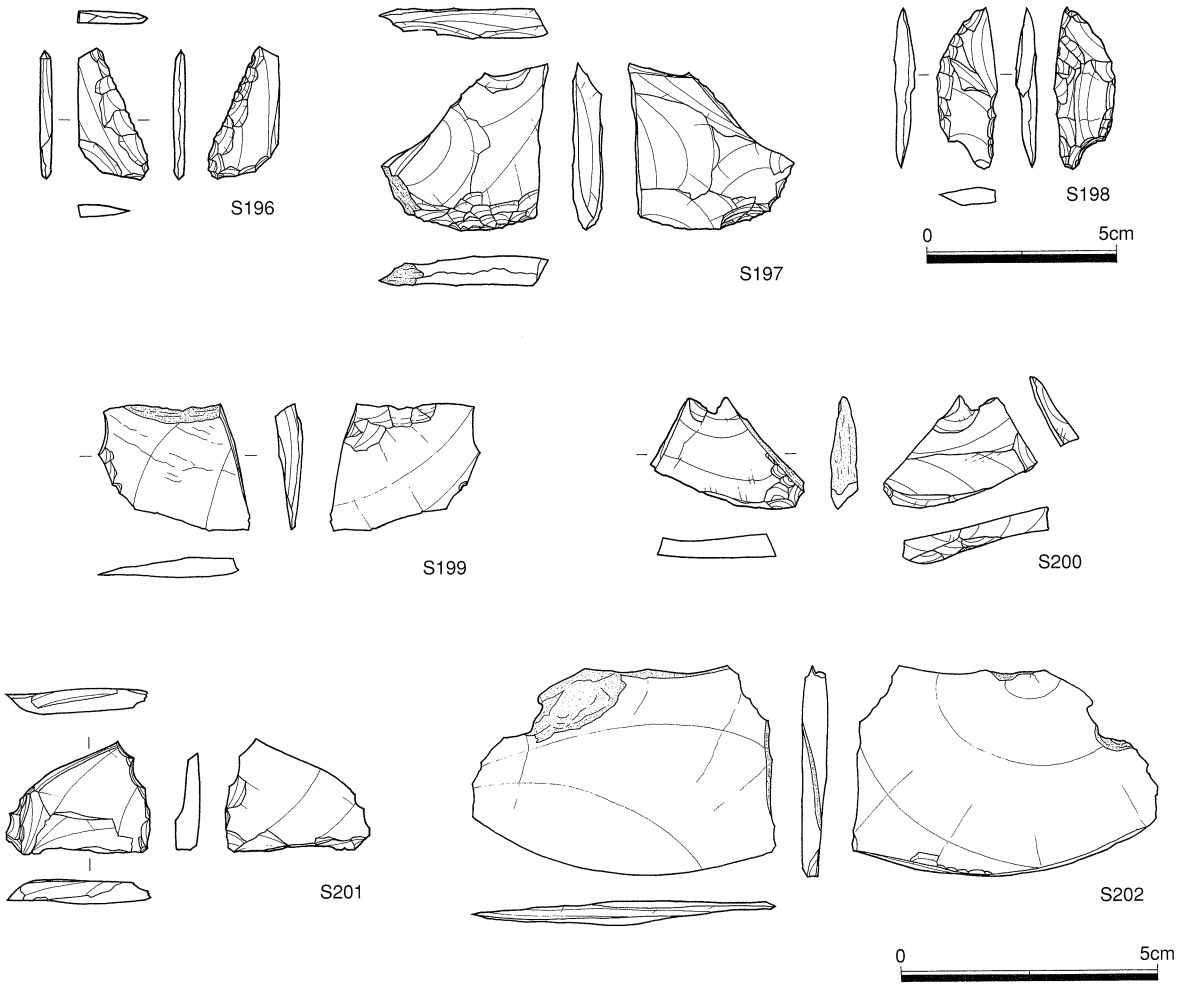
遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕の2点である。一方、石器は、石鏃、スクレイパー、楔形石器、剥片の7点が出土している。

時期　弥生時代中期後半

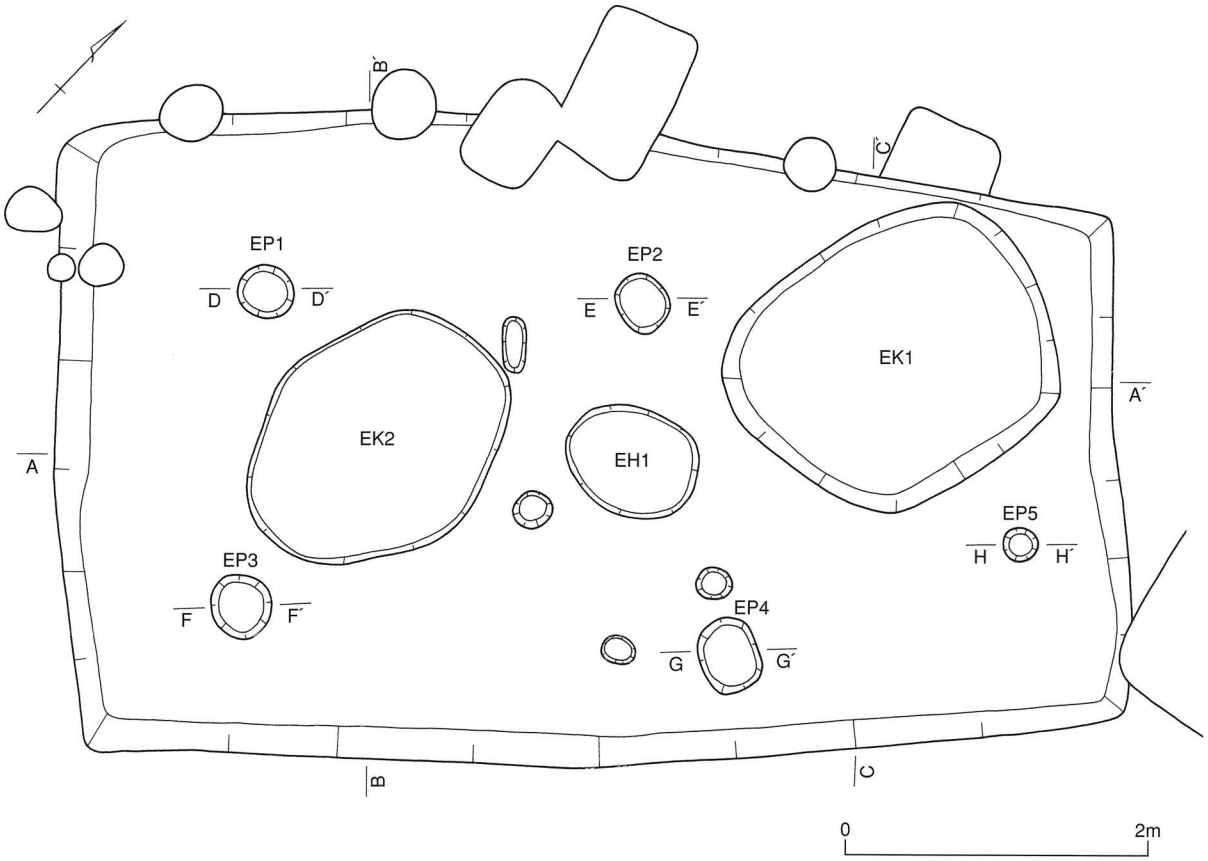
備考　炉跡の構造は、その形状から10（いちまる）土坑と俗称されるものである。中期後半に播磨地域で見られる炉形態と考えられる。

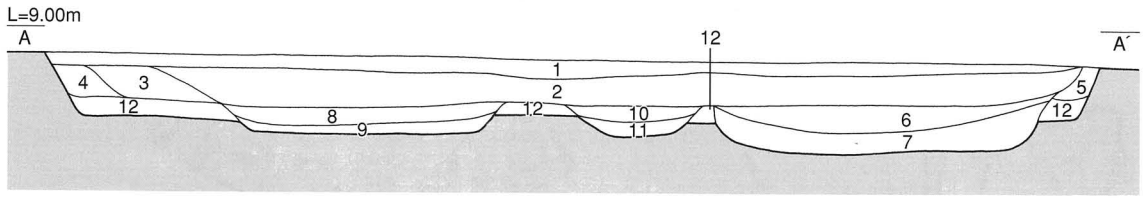


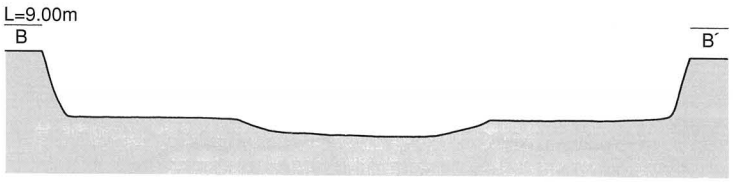
第86図　SB2021出土土器

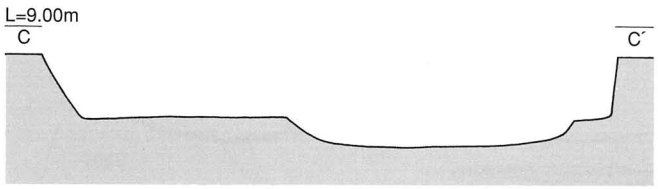


第87図　SB2021出土石器

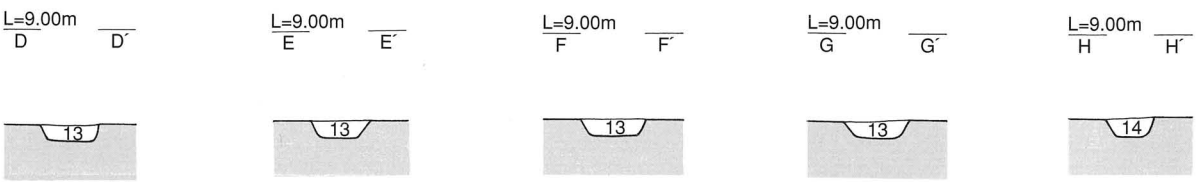






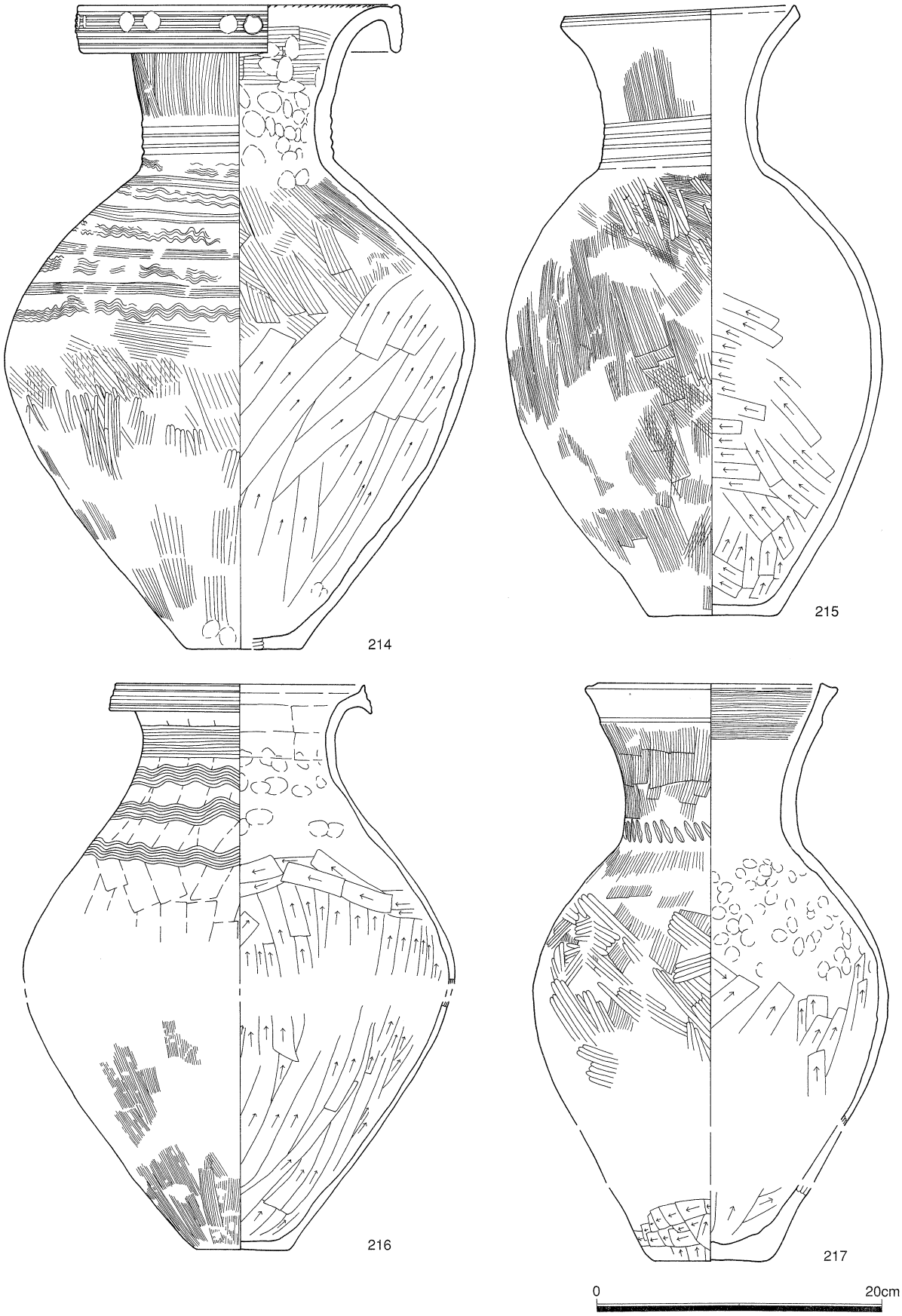


1	にぶい黄色	2.5Y6/4	砂質土（炭化物を含み、硬くしまる。）
2	黄褐色	2.5Y5/4	砂質土（炭化物を少量含み、砂質が強い。）
3	黄褐色	2.5Y5/3	砂質土（4層よりやや明るい。）
4	黄褐色	2.5Y5/3	砂質土（砂質が強く、やや硬くしまる。）
5	にぶい黄色	2.5Y6/4	砂質土（1層より黄色が強い。）
6	オリーブ褐色	2.5Y4/4	砂質土（炭化物を含み、若干粘性を帯びる。EK1）
7	暗オリーブ褐色	2.5Y3/3	砂質土（6層より炭化物を多く含む。EK1）
8	オリーブ褐色	2.5Y4/3	砂質土（EK2）
9	黄褐色	2.5Y5/3	砂質土（8層より焼土、炭化物を多く含む。EK2）
10	黒褐色	2.5Y3/2	粘質土（炭化物層。EH1）
11	黒褐色	2.5Y3/2	粘質土（10層より炭化物を多く含み、焼土を含む。EH1）
12	黄褐色	2.5Y5/6	砂質土（炭化物を少量含む。）
13	オリーブ褐色	2.5Y4/4	砂質土（炭化物を多く含み、粘性が強い。EP1～4）
14	黄褐色	2.5Y5/6	砂質土（12層より粘性が強い。EP5）

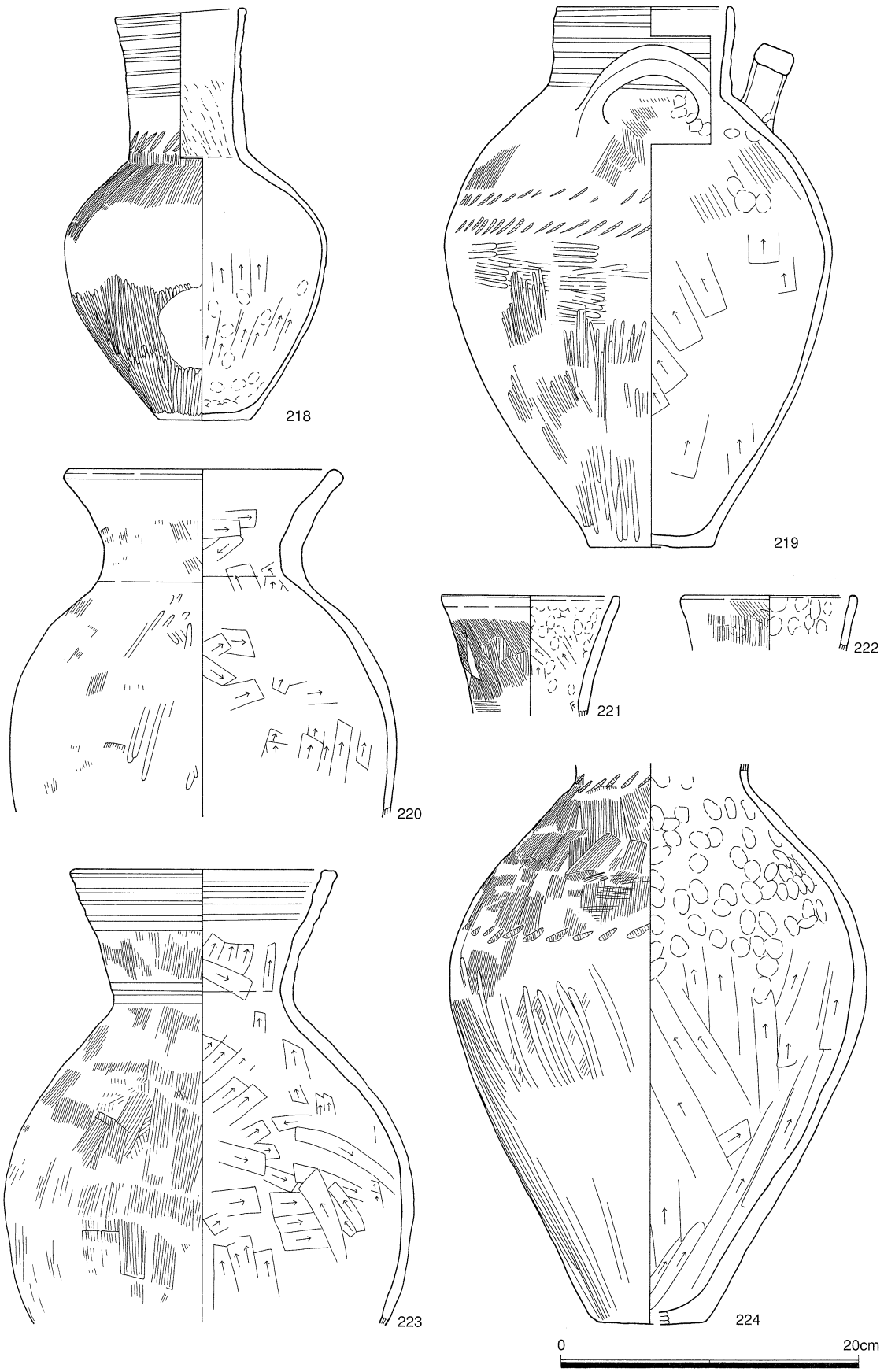


第88図　SB2022平・断面図（S＝1/50）

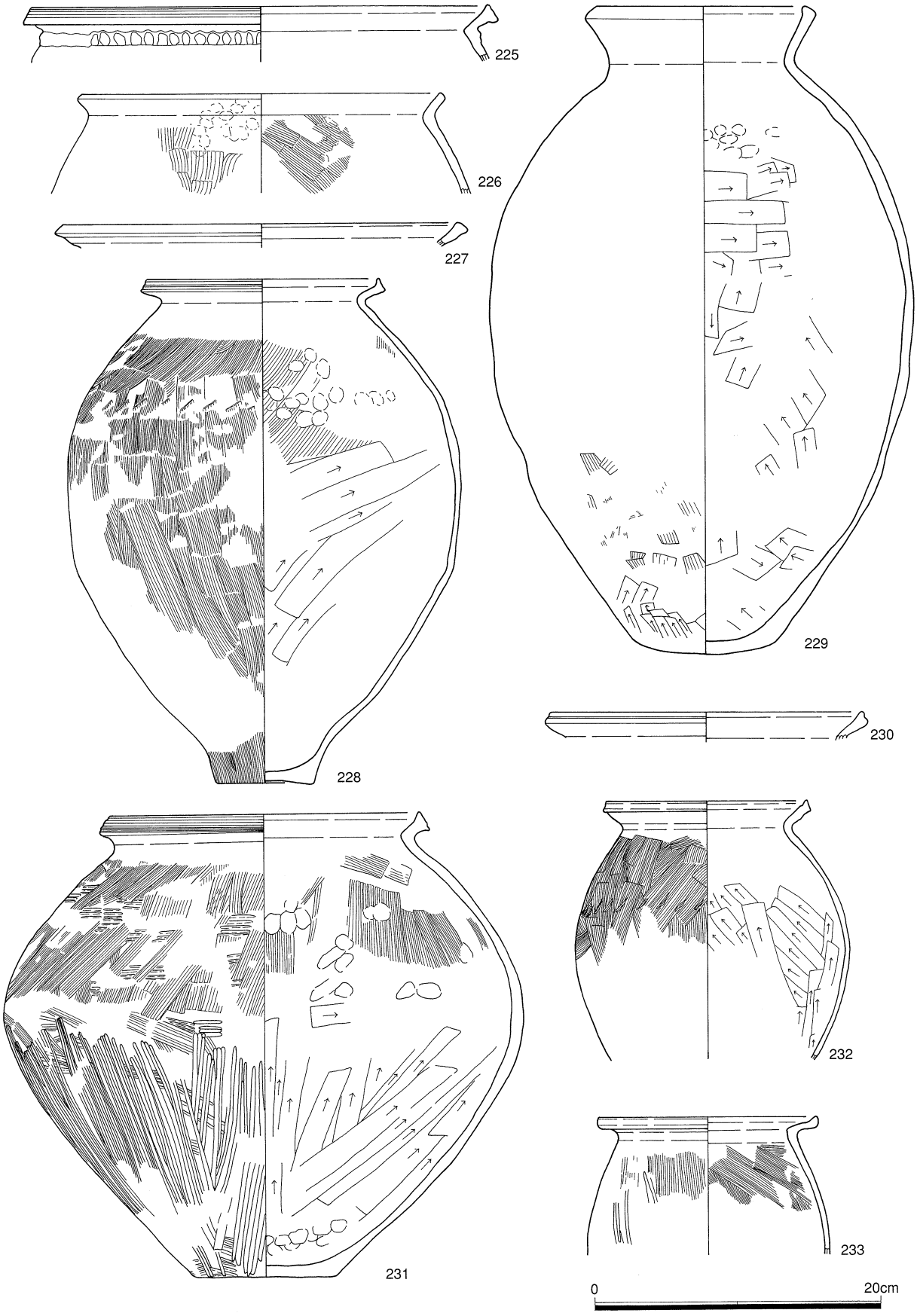
第89図　SB2022遺物出土状況図（S＝1/20）



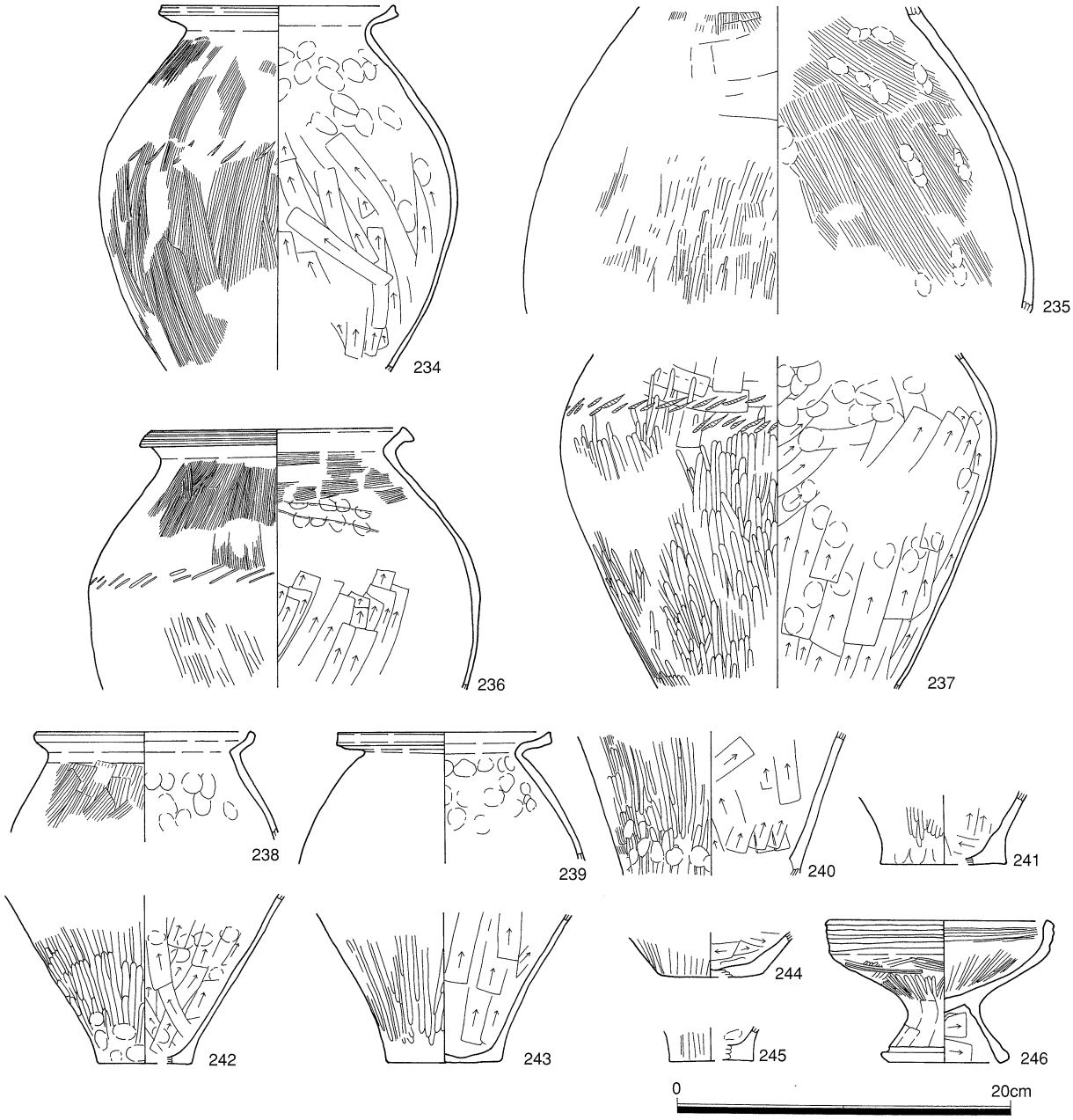
第90図　SB2022出土土器（1）



第91図　SB2022出土土器（2）



第92図　SB2022出土土器（3）



第93図　SB2022出土土器（４）

竪穴住居跡（SB2022）

位置　5・6区　Loc.D２　εⅡ　hi7～8　　**平面形**　長方形　　**床面積**　24.6㎡　　**土層**　5層

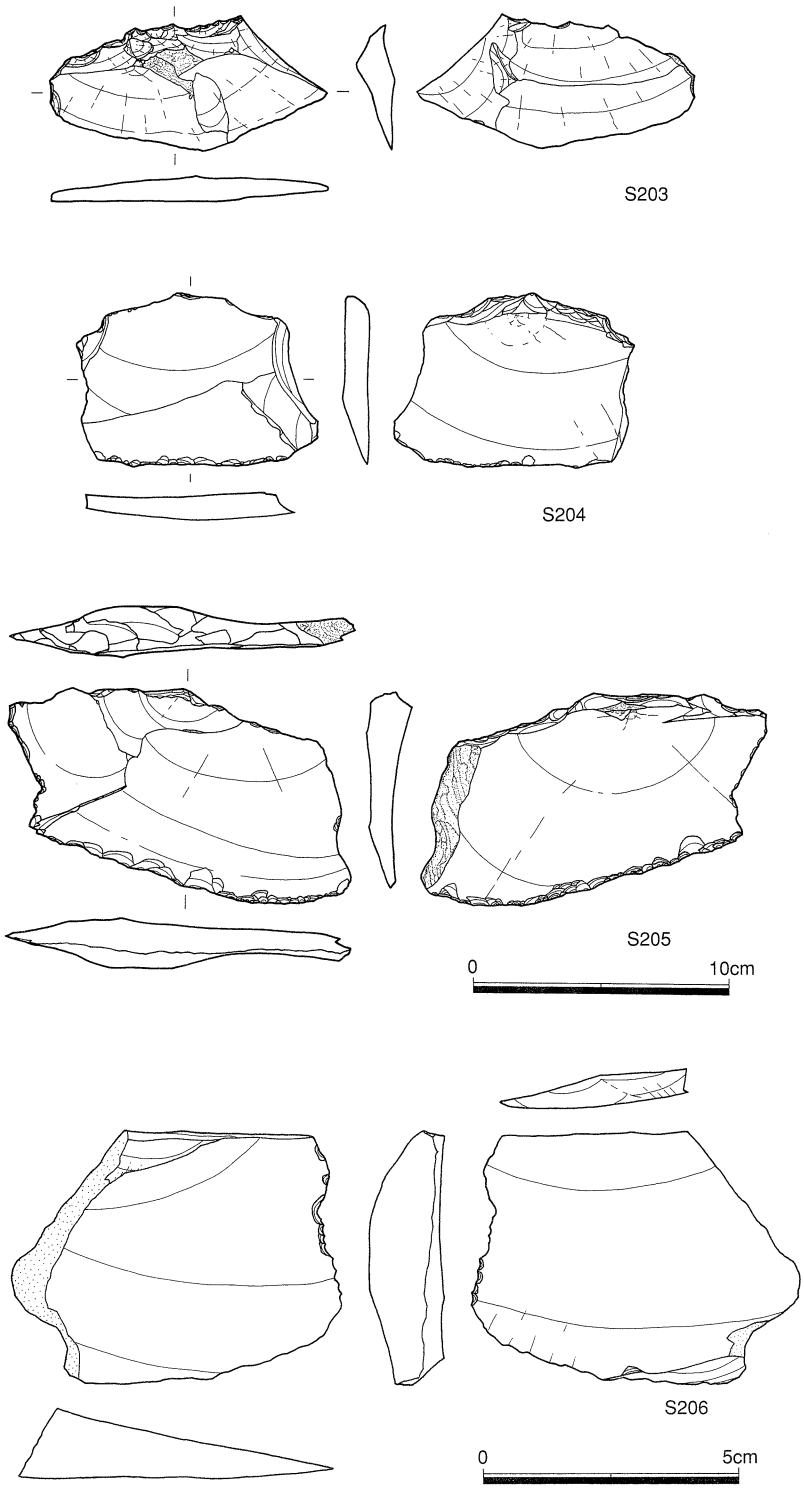
主柱穴　EP1～5の５基（径22～50㎝、深さ12㎝）

炉跡　１基（長軸88㎝、短軸72㎝の楕円形、深さ21㎝、炭化物と焼土を多く含む２層）

施設　土坑２基、ピット４基

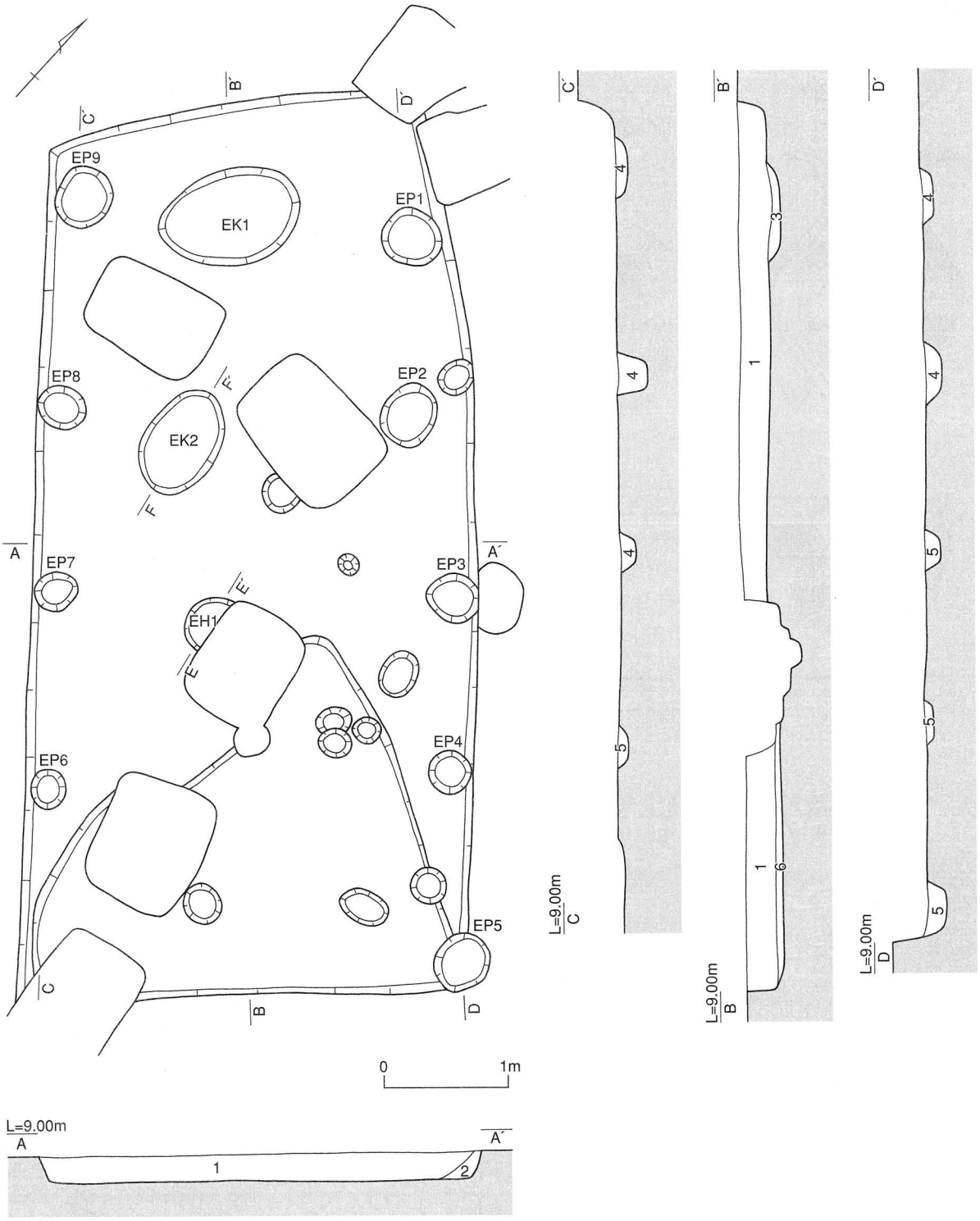
遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。これらは遺物EK１付近から集中して出土している。層位的には６・７層からの出土が多い。図示できた土器は壺、甕、高杯の33点である。他の住居出土土器に比べ、大きな破片での出土が目立つ。一方、石器は剥片が４点出土している。

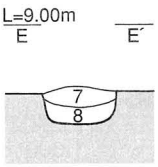
時期　弥生時代中期後半

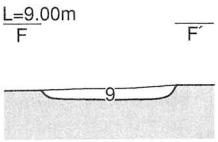


第94図　SB2022出土石器

備考　土層観察から12層を切り込んで、EH１やEK１・２が構築されていることから、12層は貼り床の可能性が考えられる。ただし、12層は、それほど固くしまっているわけではない。

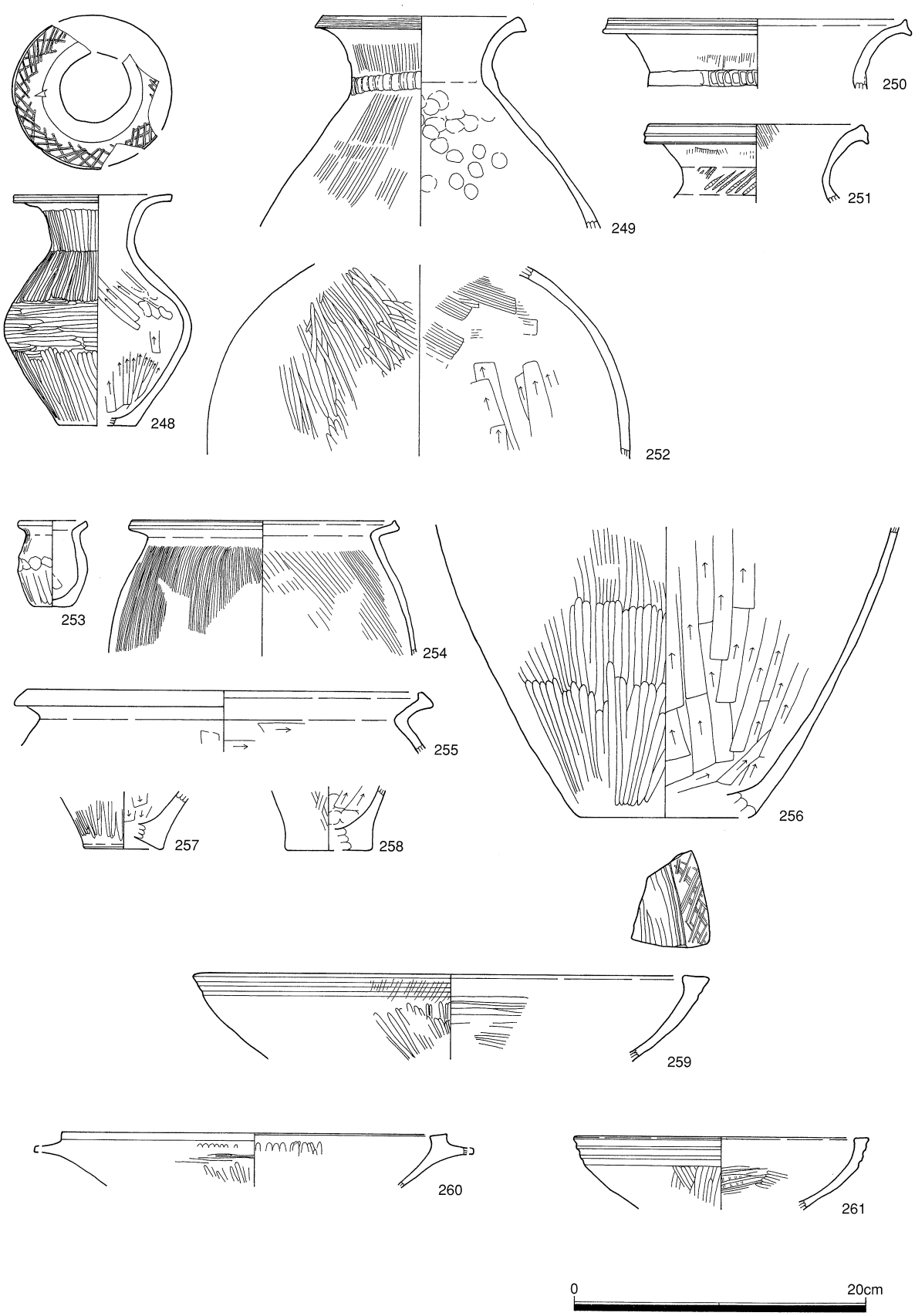




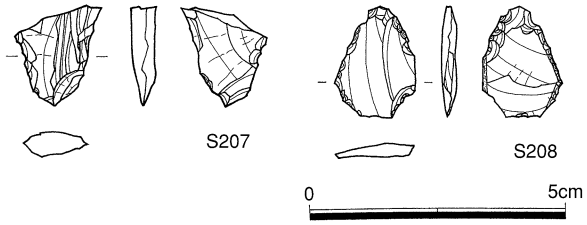


1	オリーブ褐色	2.5Y4/3	砂質土	（炭化物を含み、粘性が強い。）
2	黄褐色	2.5Y5/6	砂質土	（炭化物を少量含み、若干硬くしまる。）
3	オリーブ褐色	2.5Y4/3	砂質土	（１層より炭化物が多い。EK１）
4	黄褐色	2.5Y5/6	砂質土	（炭化物を少量含み、粘性が強い。）
5	黄褐色	2.5Y4/6	砂質土	（炭化物を少量含み、砂質が強い。）
6	オリーブ褐色	2.5Y4/4	砂質土	（硬くしまる。貼り床か。）
7	明黄褐色	5YR5/6	砂質土	（焼土層）
8	明黄褐色	2.5Y6/8	砂質土	（炭化物を少量含み、硬くしまる。）
9	にぶい黄色	2.5Y6/3	砂質土	（炭化物を含む。）

第95図　SB2023平・断面図（S＝1/50）



第96図　SB2023出土土器



第97図　SB2023出土石器

竪穴住居跡（SB2023）

位置　5・6区　Loc.D 2　εⅡ　gh6～7

平面形　長方形

床面積　23.6㎡

土層　1層

主柱穴　EP 1 ～ 9 の 9 基（径27～49㎝、深さ 6 ～24㎝）

炉跡　1 基（径50㎝以上、深さ22㎝以上、炭化物、焼土を多く含む 2 層）

施設　土坑 2 基、ピット10基

遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯の14点である。一方、石器は石鏃と思われるものが 2 点出土している。

時期　弥生時代中期後半

竪穴住居跡（SB2024）

位置　5・6区　Loc.D 2　εⅡ　ijk7～8

平面形　円形

床面積　40.0㎡

土層　2 層

主柱穴　EP 1 ～11の11基（径30～58㎝、深さ15～20㎝）

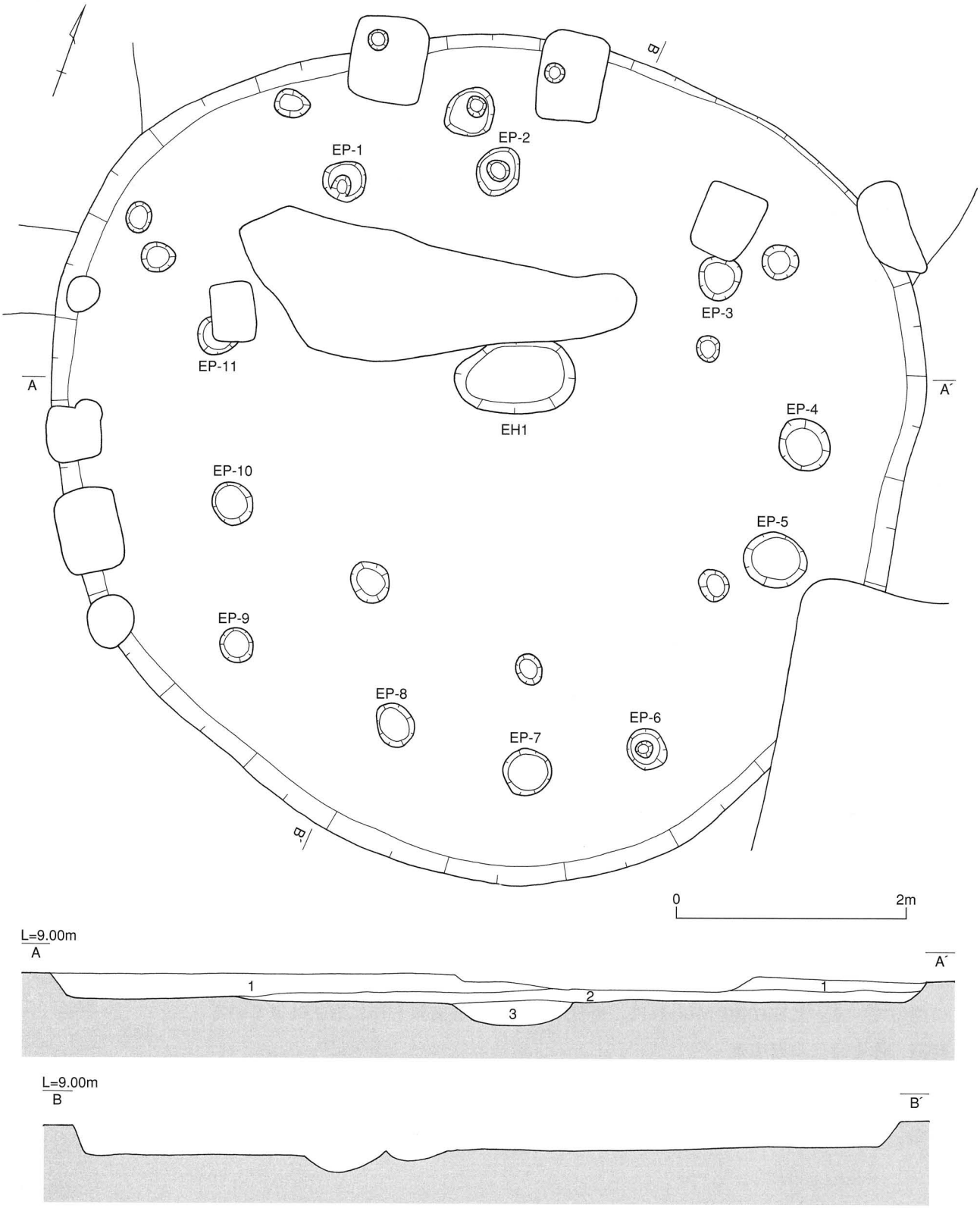
炉跡　1 基（長軸107㎝、短軸61㎝の楕円形、深さ20㎝、炭化物を含む 1 層）

施設　ピット 9 基

遺物出土状況　覆土から土器、石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯、紡錘車の24点である。一方、石器は磨製石斧が 2 点と台石が 1 点出土している。磨製石斧 S210は、刃部が撥状に開いている。基部に突起があれば、東日本で見られる有角石斧に形状は似ている。

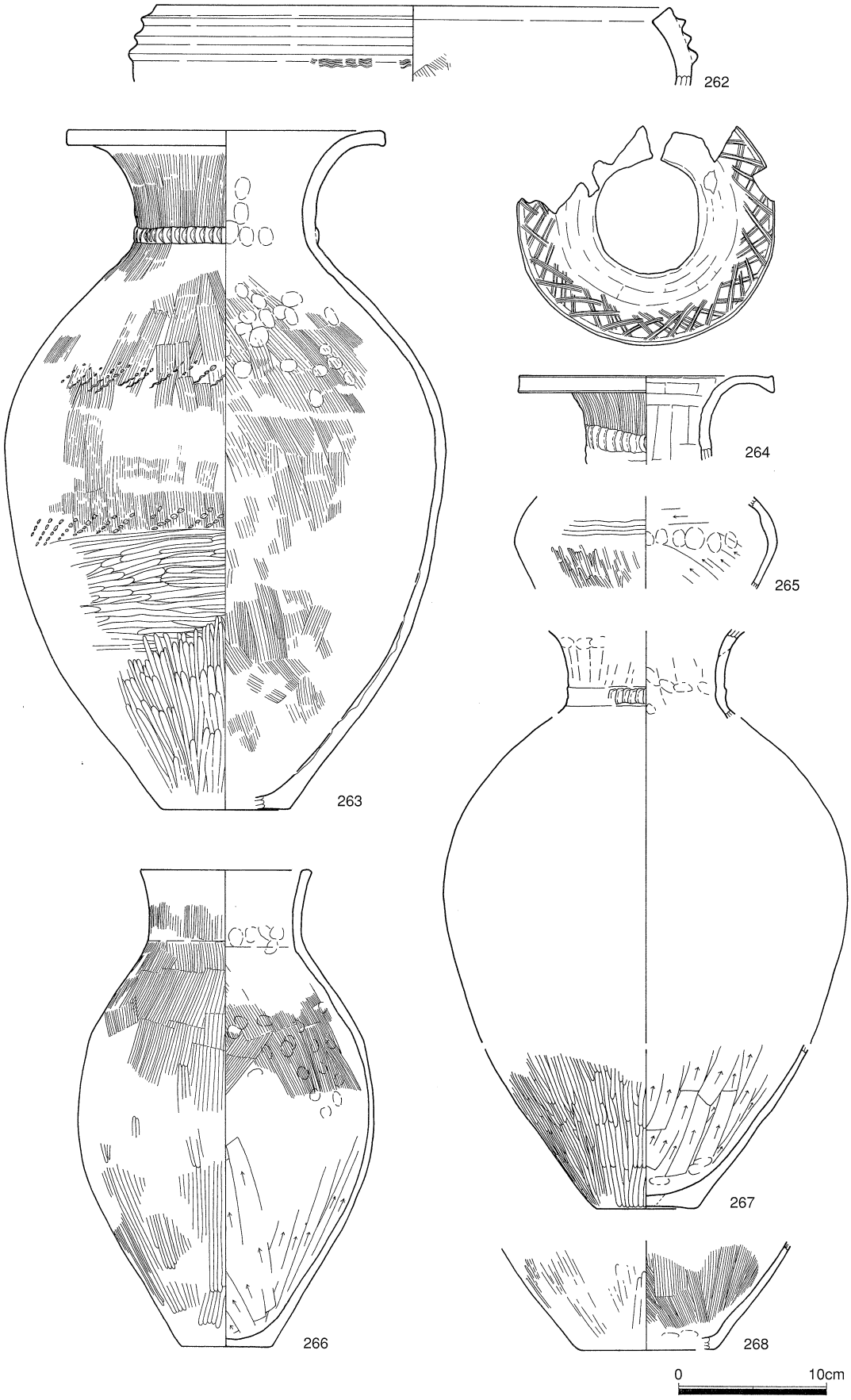
時期　弥生時代中期中葉

備考　後述の SB2025が埋没した後に構築されている。

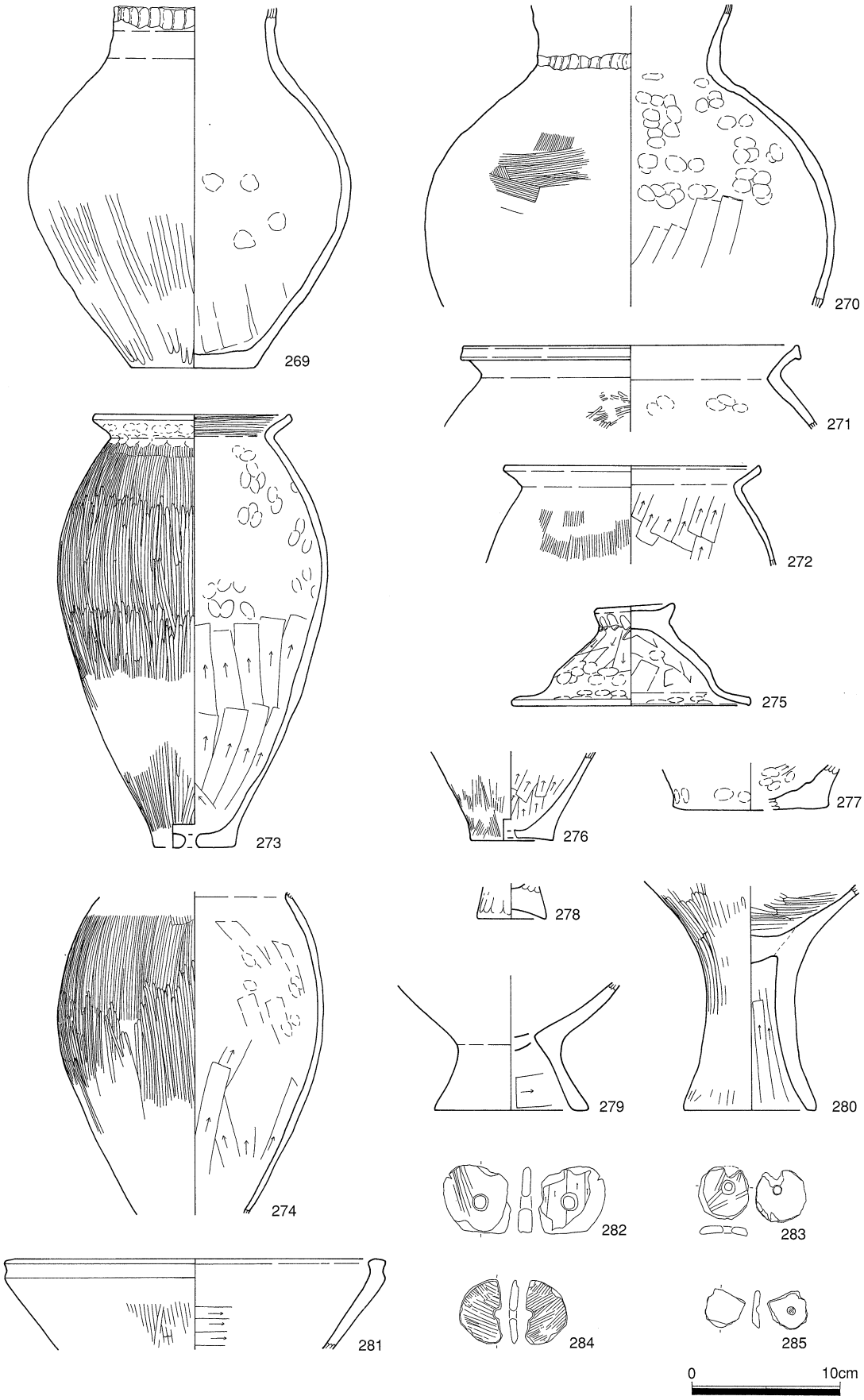


1　暗灰黄色　2.5Y4/2　砂質土（炭化物を含む。）
2　にぶい黄色　2.5Y6/4　砂質土（炭化物を少量含む。）
3　暗オリーブ褐色　2.5Y3/3　砂質土（炭化物を含み、やや硬くしまる。EH１）

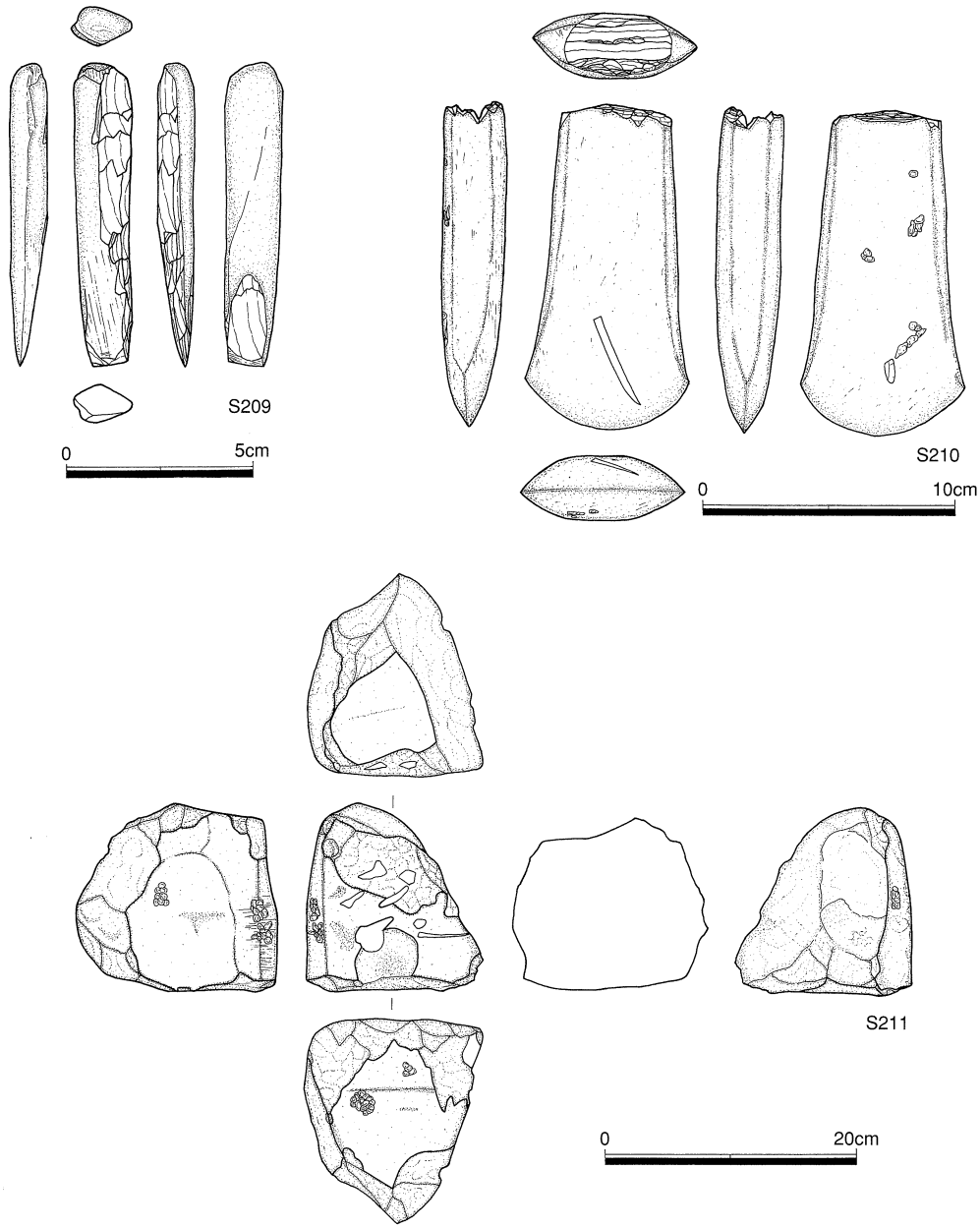
第98図　SB2024平・断面図（S＝1/50）



第99図　SB2024出土土器（1）



第100図　SB2024出土土器（２）



第101図　SB2024出土石器

竪穴住居跡（SB2025）

位置　5・6区　Loc.D 2　εⅡ　k 7 ～ 8

平面形　円形　　床面積　33.2㎡　　土層　5 層

主柱穴　EP 1 ～ 4 の 4 基（径28～54㎝、深さ11～15㎝）

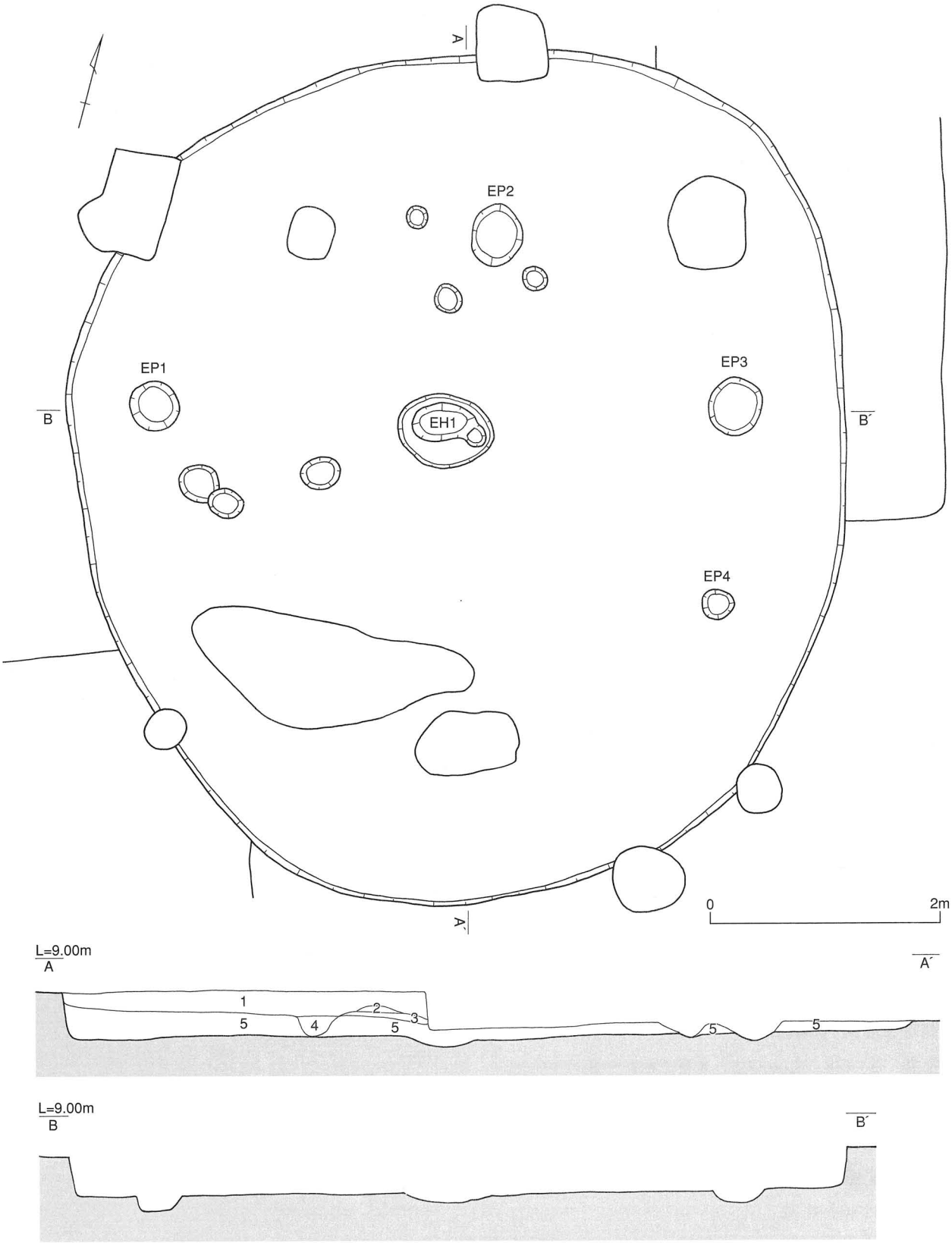
炉跡　1 基（長軸84㎝、短軸65㎝の楕円形、深さ10㎝、炭化物を含む 1 層）

施設　ピット 6 基

遺物出土状況　覆土から遺物が出土しているが、図示できるものはない。

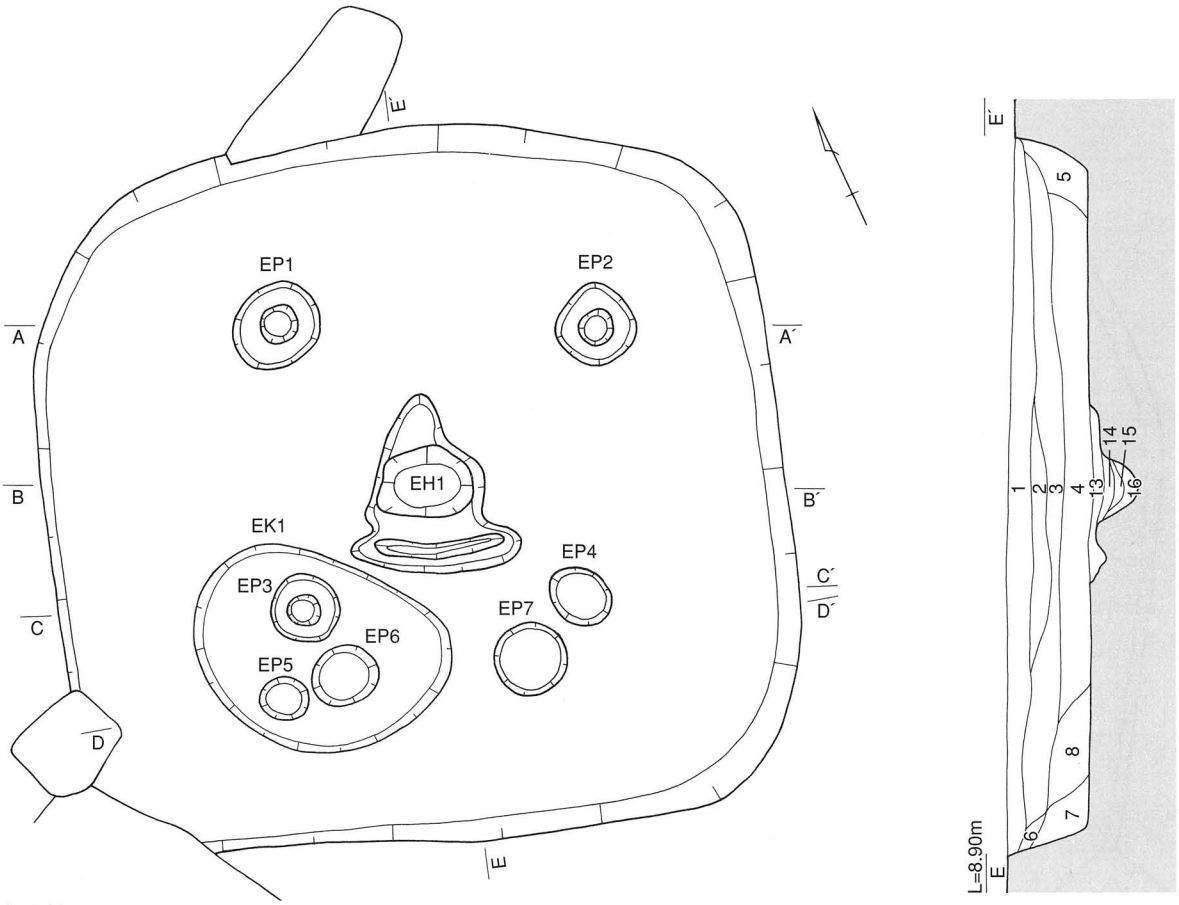
時期　弥生時代中期中葉

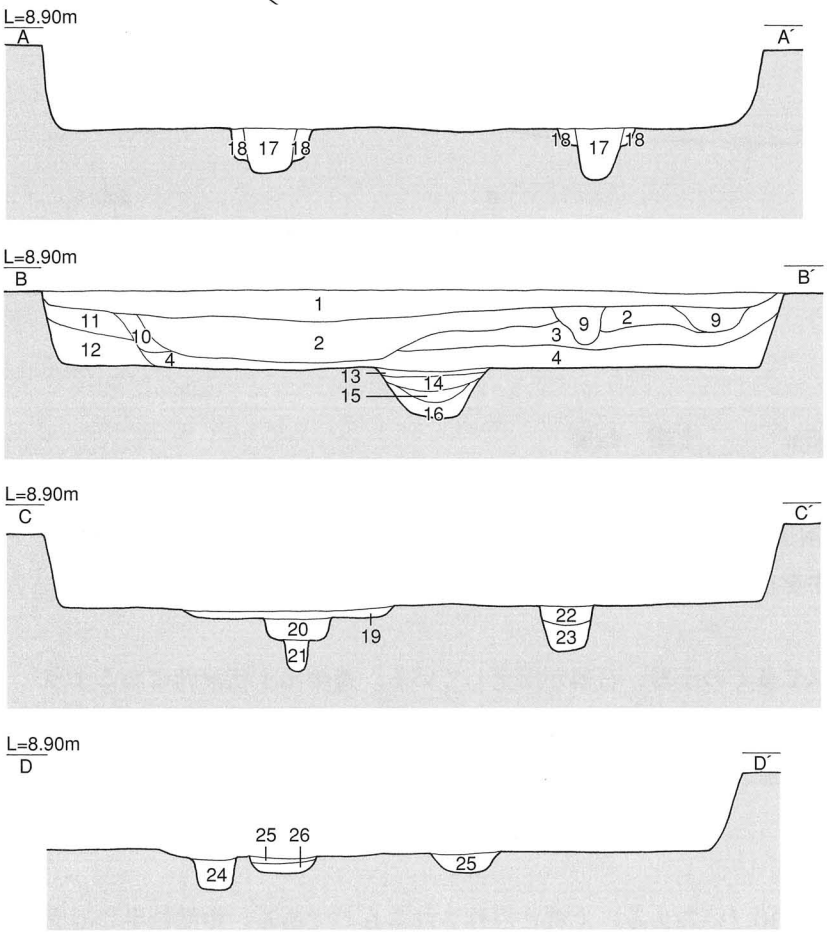
備考　前述の SB2024に遺構の北側半分を破壊されていたが、床面部分はかろうじて残存していた。



1　オリーブ褐色　2.5Y4/3　砂質土（炭化物を含む。）
2　明赤褐色　5YR5/6　砂質土（焼土層。炭化物を含む。）
3　暗褐色　7.5YR3/3　砂質土（炭化物層）
4　黄褐色　2.5Y5/6　砂質土（炭化物を少量含む。）
5　明黄褐色　2.5Y6/6　砂質土（粘性強く、炭化物を少量含む。地山とよく似ている。）

第102図　SB2025平・断面図（S=1/50）

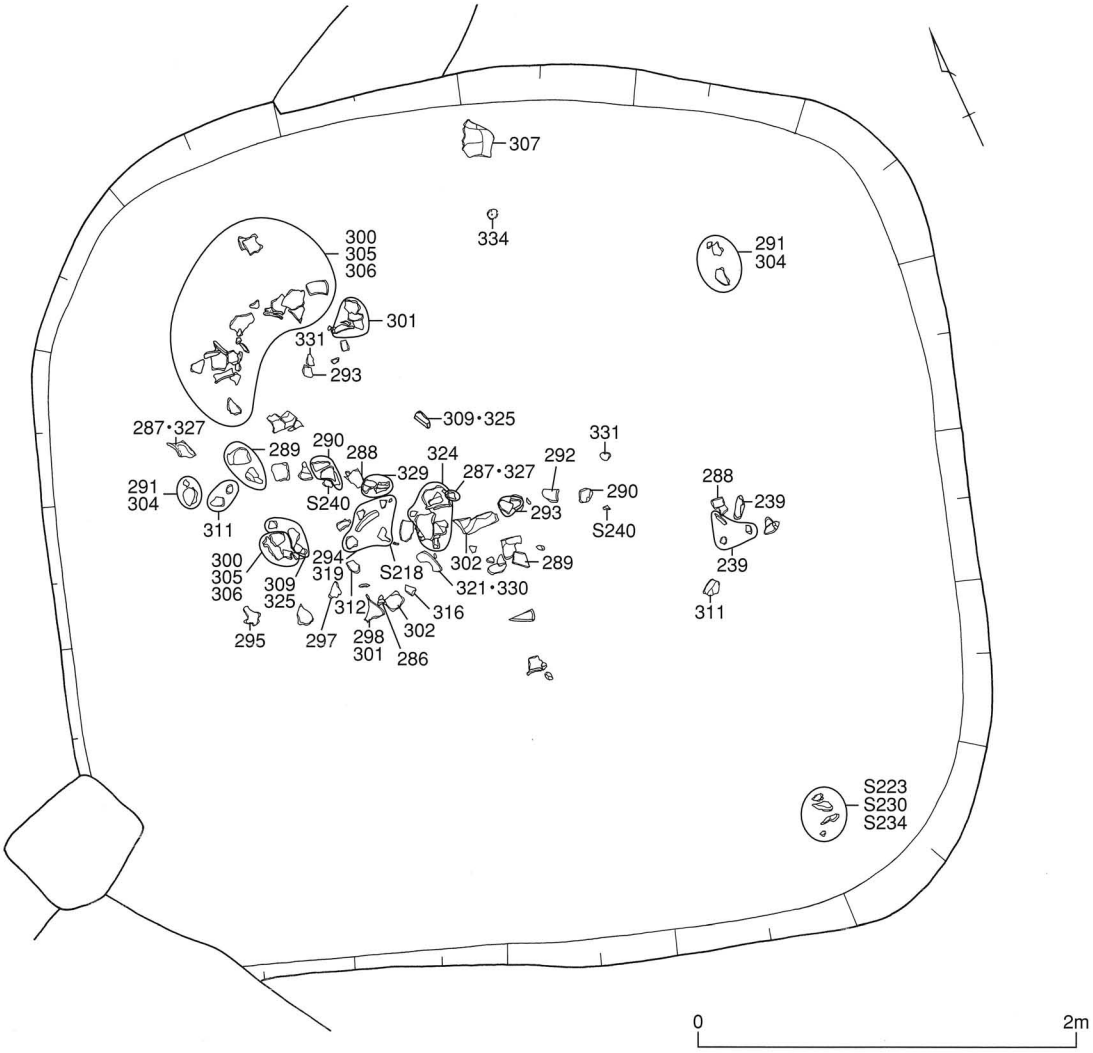




0 2m

1 暗オリーブ褐色 2.5Y3/3 砂質土
(炭化物を多く含み、若干粘性を帯びる。上層)
2 暗オリーブ褐色 2.5Y3/3 砂質土
(1層より炭化物を多く含む。上層)
3 オリーブ褐色 2.5Y4/4 砂質土
(炭化物を少量含み、砂質が強い。以下下層)
4 黄褐色 2.5Y5/6 砂質土(炭化物を少量含む。)
5 黄褐色 2.5Y5/6 砂質土
(4層より黄色が強く、若干固くしまる。)
6 黄褐色 2.5Y5/3 砂質土
(炭化物を少量含み、固くしまる。)
7 黄褐色 2.5Y5/3 砂質土(6層より明るく、固くしまる。)
8 オリーブ褐色 2.5Y4/3 砂質土(炭化物を含み、粘性が強い。)
9 黄灰色 2.5Y4/1 砂質土
(炭化物を多く含み、若干固くしまる。)
10 明黄褐色 2.5Y6/8 砂質土(炭化物を含み、固くしまる。)
11 オリーブ色 5YR5/6 砂質土
(炭化物を少量含み、粒子やや細かい。)
12 オリーブ色 5YR5/6 砂質土(11層よりやや暗い。)
13 暗オリーブ褐色 2.5Y3/3 粘質土(EH1)
14 暗オリーブ褐色 2.5Y3/3 粘質土(13層より灰色が強い。EH1)
15 黒褐色 2.5Y3/2 砂質土
(黄色砂質土ブロックを含む。EH1)
16 黒褐色 2.5Y3/2 砂質土(15層より粘性が強い。EH1)
17 オリーブ褐色 2.5Y4/4 砂質土
(炭化物を含み、粘性が強い。EP1・2)
18 黄褐色 2.5Y5/4 砂質土
(炭化物を含み、粘性が強い。EP1・2)
19 オリーブ褐色 2.5Y4/3 粘質土(EK1)
20 暗灰黄色 2.5Y5/2 砂質土(粘性が強い。EP3)
21 暗灰黄色 2.5Y4/2 粘質土(炭化物を多く含む。EP3)
22 オリーブ褐色 2.5Y4/4 粘質土
(黄色砂質土ブロックを少量含む。EP4)
23 オリーブ褐色 2.5Y4/4 粘質土(22層よりやや暗い。EP4)
24 にぶい黄色 2.5Y6/3 粘質土(炭化物を含む。EP5)
25 にぶい黄色 2.5Y6/4 粘質土(炭化物を少量含む。EP6・7)
26 黄褐色 2.5Y5/6 粘質土(EP6)

第103図 SB2026平・断面図(S=1/50)



第104図　SB2026遺物出土状況図（S＝1/40）

竪穴住居跡（SB2026）

位置　5・6区　Loc.D２　εⅡ　jk９

平面形　隅丸方形　　**床面積**　18.5m²　　**土層**　12層

主柱穴　EP１～４の４基（径50cm、深さ18～41cm）

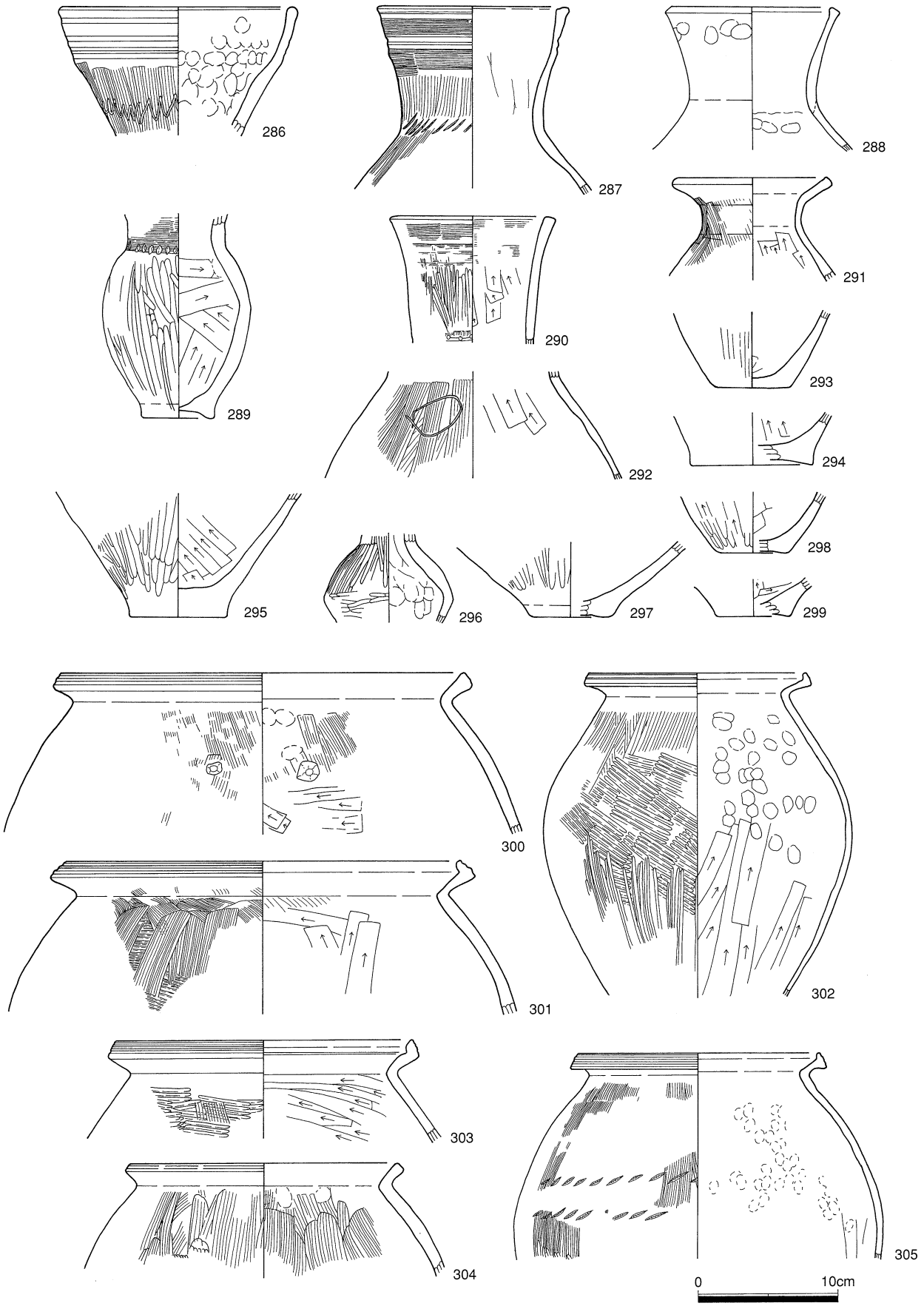
炉跡　１基（長軸72cm、短軸48cmの楕円形、深さ21cmの土坑に、長軸83cm、短軸11cmの長楕円形、深さ12cmの土坑が併設されている。炭化物を多く含み粘性が強い４層）

施設　土坑１基、ピット３基

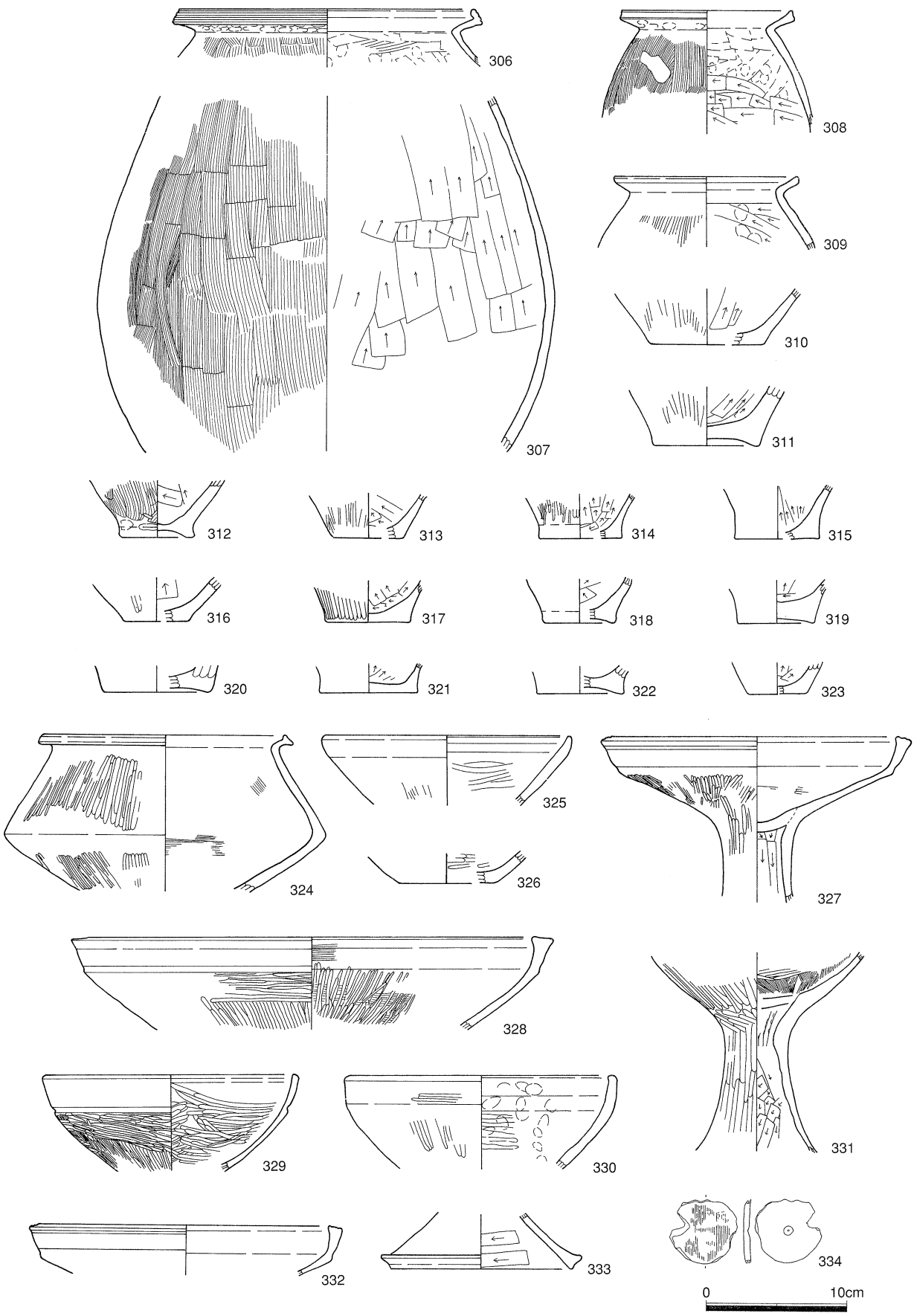
遺物出土状況　他の竪穴住居跡と比べて多くの土器、石器が出土している。遺物出土状況図にあるように住居中央西よりから、層位的には１・２層からの出土が多い。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯、紡錘車の49点である。一方、石器は、石鏃、スクレイパー、石庖丁、楔形石器、敲石、剥片の32点が図示できた。

時期　弥生時代後期初頭

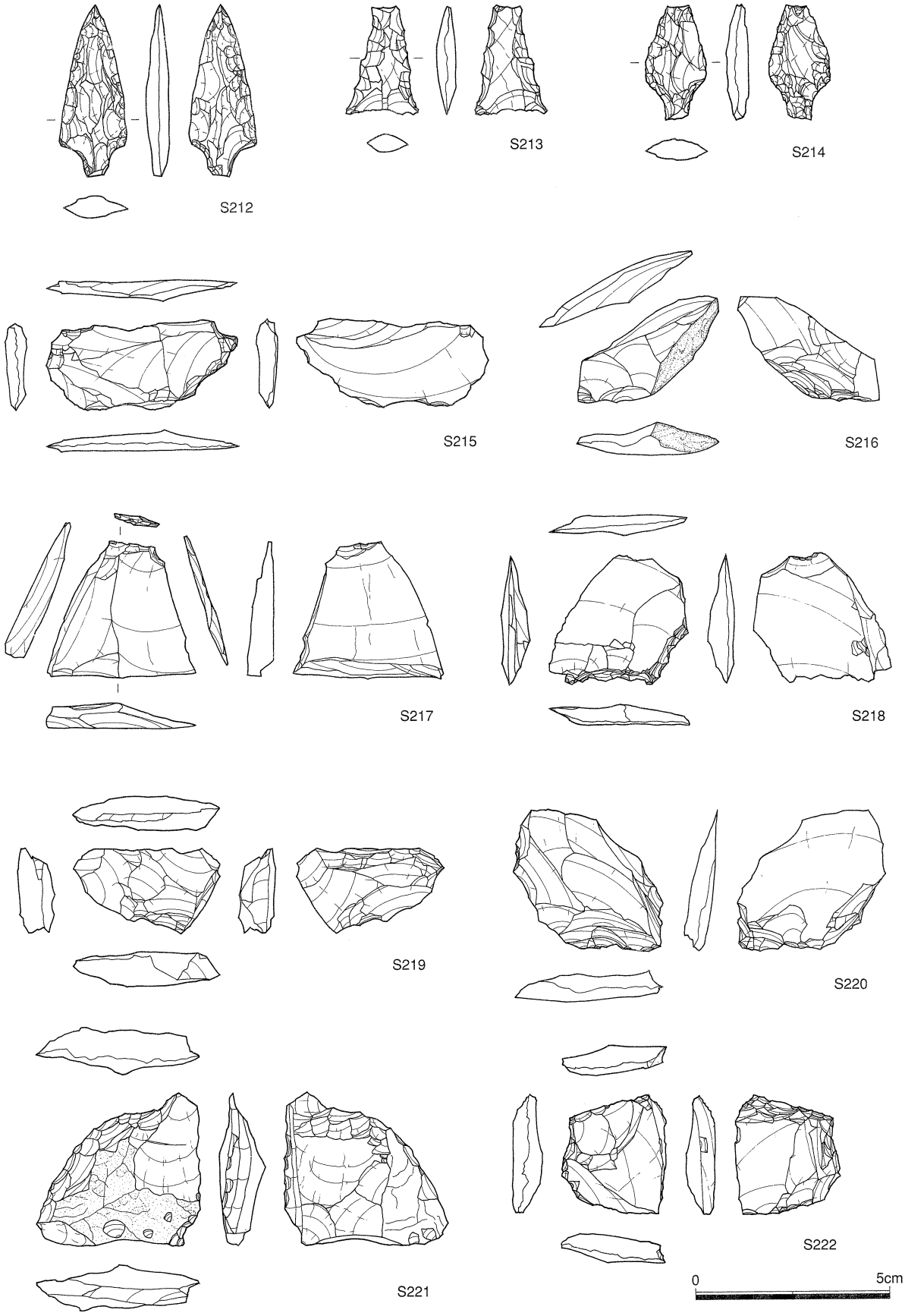
備考　炉跡の構造は、その平面形状から10（いちまる）土坑と俗称されるものである。中期後半に播磨地域で見られる炉形態と考えられる。



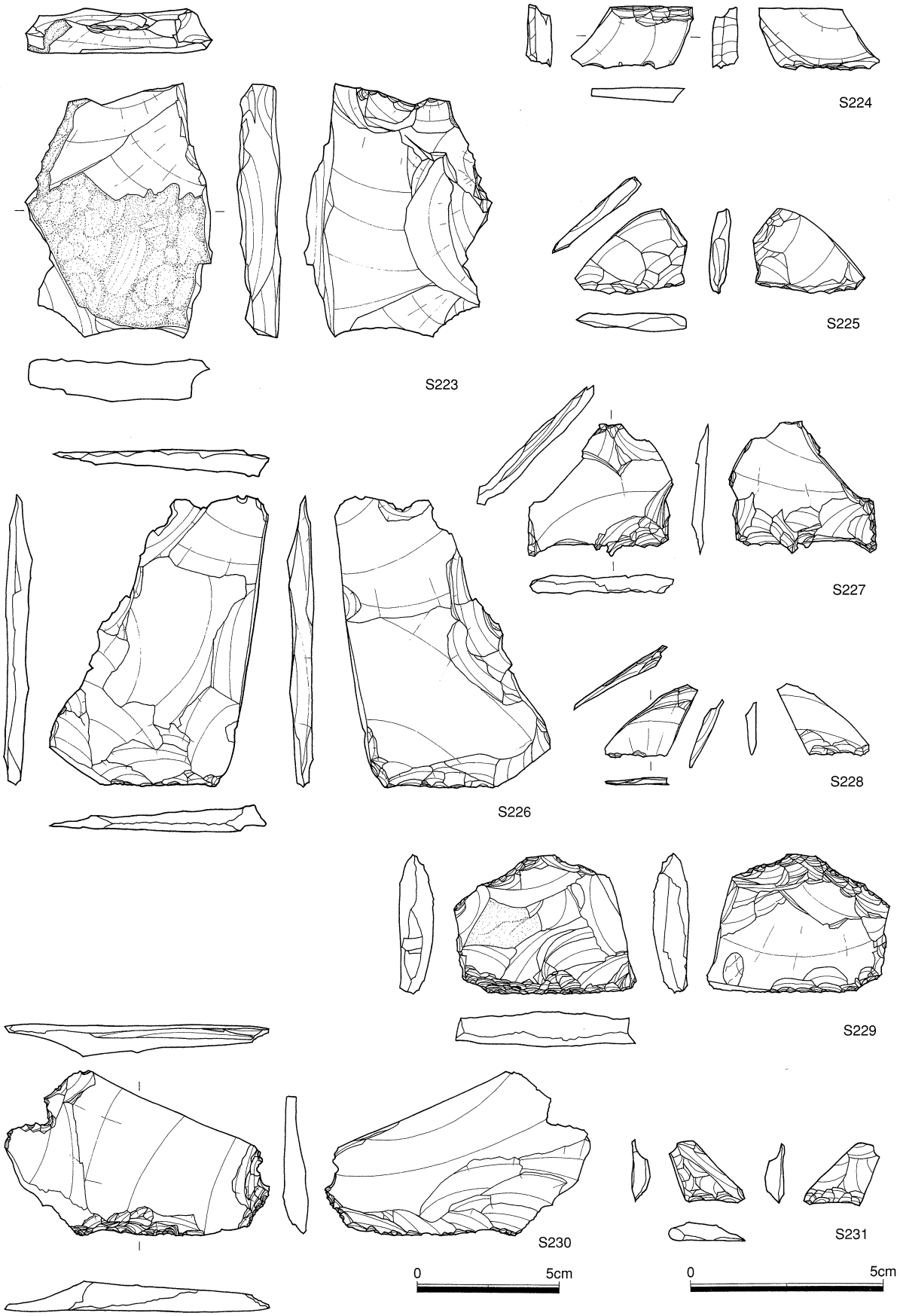
第105図　SB2026出土土器（1）



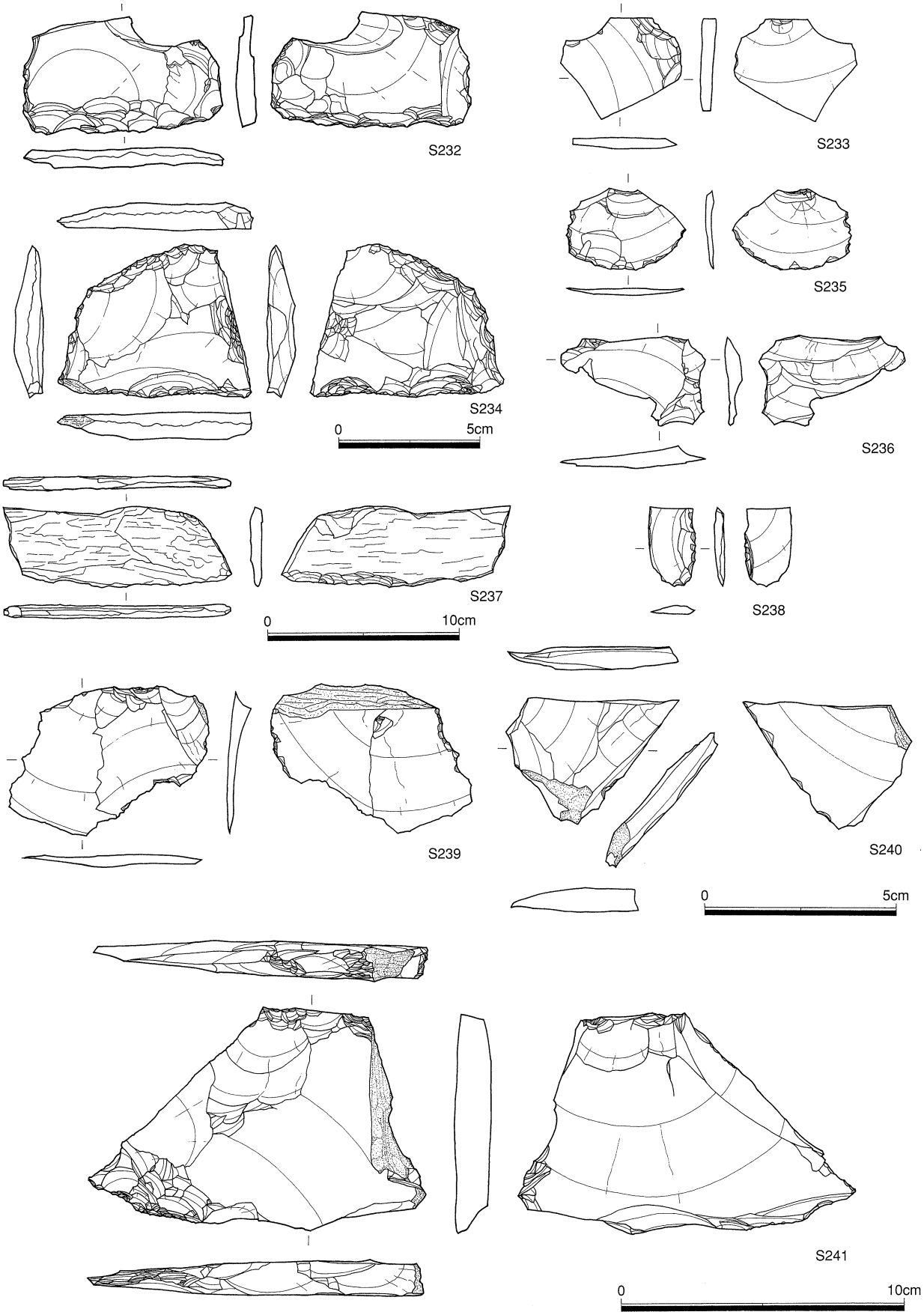
第106図　SB2026出土土器（２）



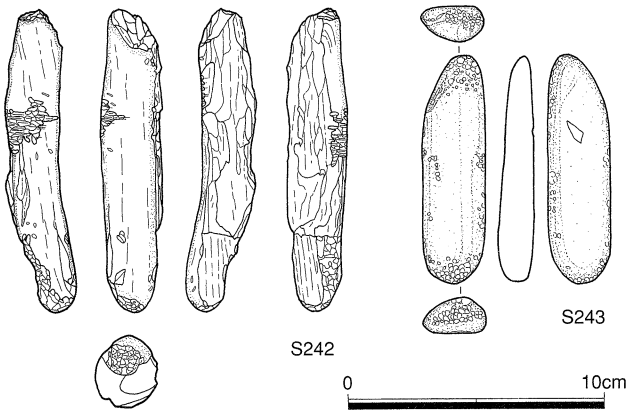
第107図　SB2026出土石器（1）



第108図　SB2026出土石器（２）



第109図　SB2026出土石器（3）



第110図　SB2026出土土器（４）

竪穴住居跡（SB2027）

位置　７区　Loc.D２　εⅡ　r４　　**平面形**　方形　　**床面積**　1.5㎡　　**土層**　３層

主柱穴　確認されていない。　　**炉跡**　確認されていない。

施設　確認されていない。

遺物出土状況　覆土からごくわずかな土器細片が出土しているが、図示できるものはない。

時期　覆土の状況から弥生時代中期後半と考えられる。

備考　住居跡の西側大部分は調査区外であり、残存状態は極めて悪かった。

竪穴住居跡（SB2028）

位置　７区　Loc.E２　αⅡ　b６　　**平面形**　方形　　**床面積**　1.2㎡　　**土層**　１層

主柱穴　確認されていない。　　**炉跡**　確認されていない。

施設　確認されていない。

遺物出土状況　覆土からごくわずかな土器細片が出土しているが、図示できるものはない。

時期　覆土の状況から弥生時代中期後半と考えられる。

備考　居住跡の東側大部分は調査区外であり、残存状態は極めて悪かった。

竪穴住居跡（SB2029）

位置　３区　Loc.E２　αⅡ　d３　　**平面形**　方形　　**床面積**　3.5㎡　　**土層**　６層

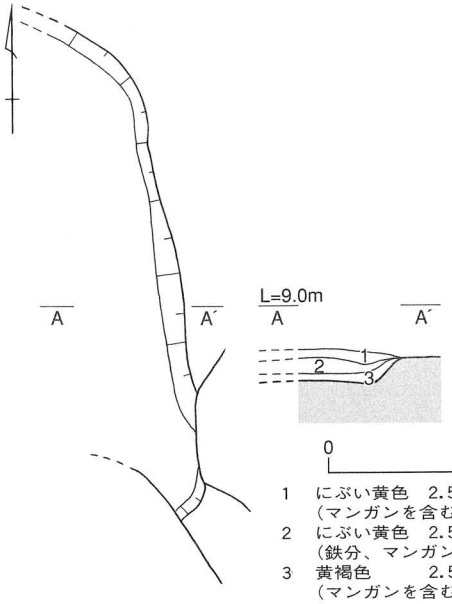
主柱穴　確認されていない。　　**炉跡**　確認されていない。

施設　確認されていない。

遺物出土状況　覆土からわずかな土器片が出土している。図示できたのは、壺、甕、高杯の５点である。壺（335）は、口縁部から底部まで残存している。

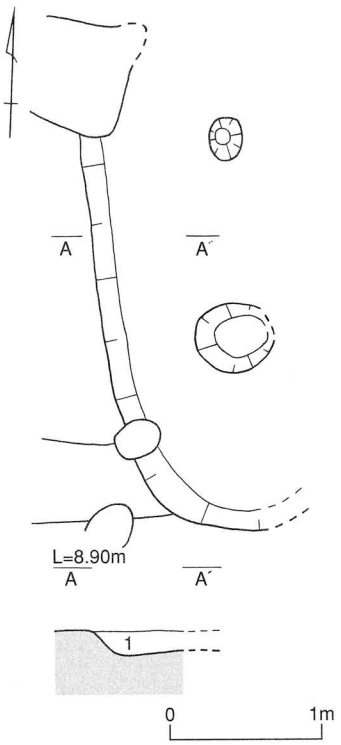
時期　甕（336・337）のようにやや古い様相を示す土器があるものの、これらを混入と考え、また、覆土の状況から弥生時代中期後半と思われる。

備考　住居跡の東側大部分は古代の遺構に破壊されており、残存状態は良くなかった。



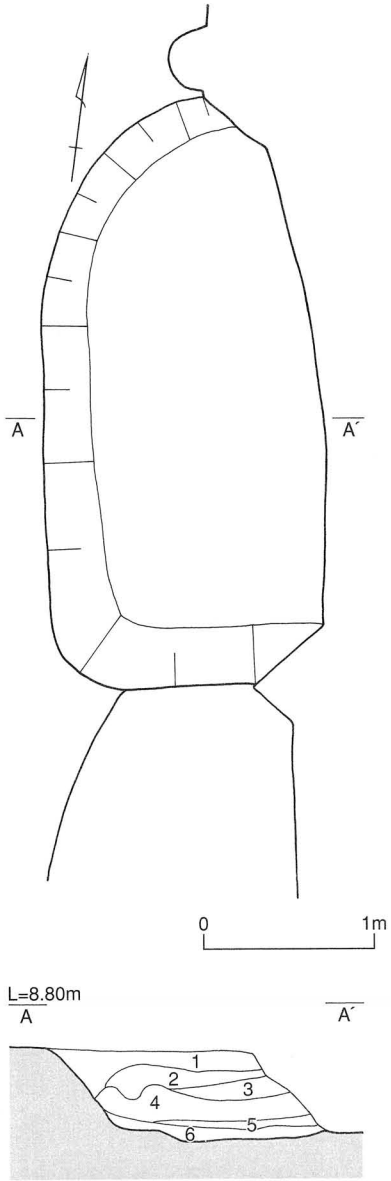
1　にぶい黄色　2.5Y6/3　シルト砂混じり（マンガンを含む。）
2　にぶい黄色　2.5Y6/4　シルト砂混じり（鉄分、マンガンを含む。）
3　黄褐色　2.5Y5/4　シルト砂混じり（マンガンを含む。）

第111図　SB2027平・断面図（S＝1/50）



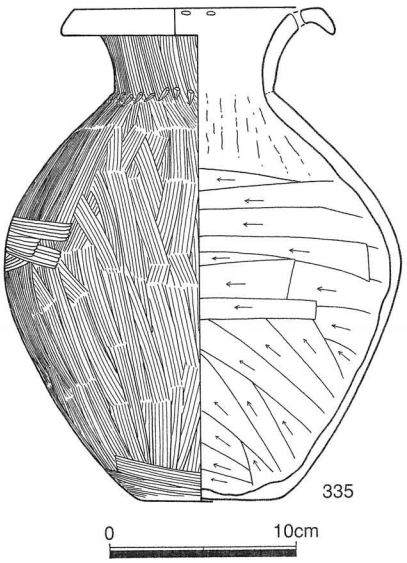
1　黄褐色　2.5Y5/4　シルト砂混じり［マンガン、土器片を含む。（オリーブ褐色2.5Y6/4シルト砂混じり）が一部混ざる。］

第112図　SB2028平・断面図（S＝1/50）

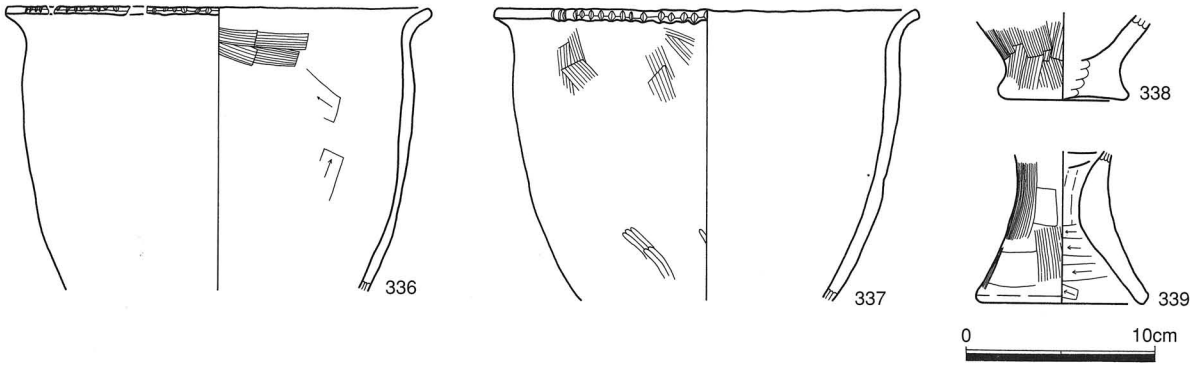


1　浅黄色　2.5Y7/3　砂質土　（粒子細かく、鉄分、マンガン、土器片を含む。）
2　にぶい黄色　2.5Y6/4　粘性砂質土（粒子細かく、マンガンを含む。）
3　浅黄色　5Y7/3　粘性砂質土（粒子細かく、マンガンを含む。）
4　にぶい黄色　2.5Y6/4　粘性砂質土（粒子細かく、鉄分、マンガンを含む。）
5　浅黄色　5Y7/4　粘性砂質土（マンガンを含む。）
6　にぶい黄色　2.5Y6/4　粘性砂質土

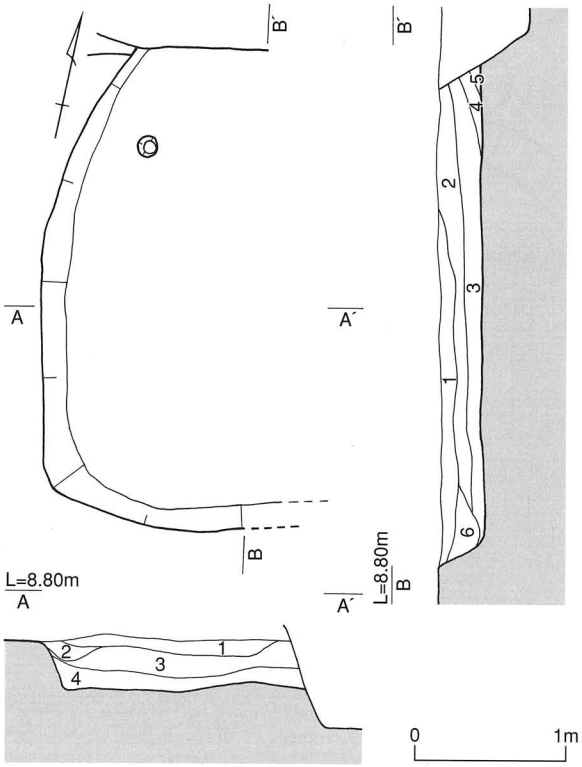
第113図　SB2029平・断面図（S＝1/50）



第114図　SB2029出土土器（1）



第115図　SB2029出土土器（2）



1	黄褐色	2.5Y5/4	シルト（砂粒とマンガンを含む。）
2	にぶい黄色	2.5Y6/3	シルト（砂粒とマンガンを含む。）
3	にぶい黄色	2.5Y6/4	シルト（砂粒とマンガンを含む。）
4	にぶい黄色	2.5Y6/3	砂質土（マンガンを含む。）
5	灰オリーブ色	5Y6/2	シルト（砂粒を含む。）
6	黄褐色	2.5Y5/3	シルト（砂粒を含む。）

第116図　SB2030平・断面図（S＝1/50）

竪穴住居跡（SB2030）

位置　7区　Loc.E2　αⅡ　cd3　　**平面形**　方形　　**床面積**　4.3m²　　**土層**　4層

主柱穴　確認されていない。　　**炉跡**　確認されていない。

施設　ピットが1基確認されている。

遺物出土状況　覆土からごくわずかな土器細片が出土しているが、図示できるものはない。

時期　覆土の状況から弥生時代中期後半と考えられる。

備考　住居跡の大部分は古代の遺構と前述のSB2029に破壊されており、残存状態は極めて悪かった。

竪穴住居跡（SB2031）

位置　3区　Loc.E2　αⅡ　d4

平面形　円形

床面積　2.9㎡

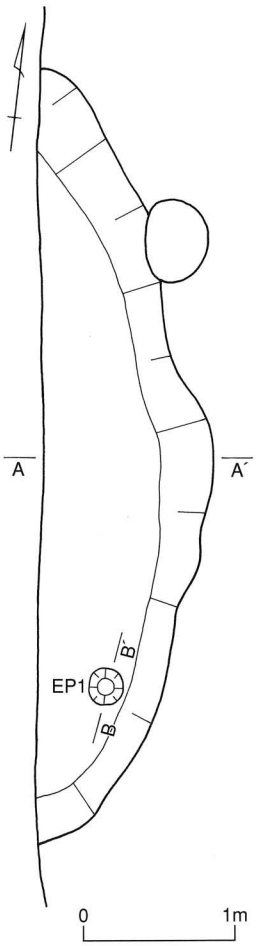
土層　4層

主柱穴　EP1の1基（径25cm、深さ16cm）

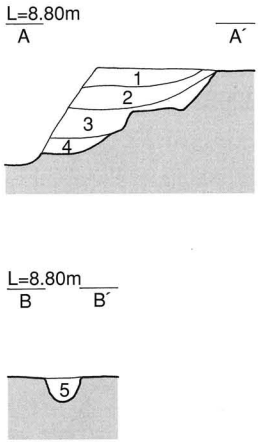
炉跡　確認されていない。　　**施設**　確認されていない。

遺物出土状況　覆土から遺物が出土しているが、図示できたのは、甕1点だけである。

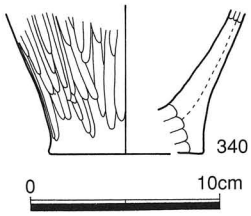
時期　弥生時代中期後半



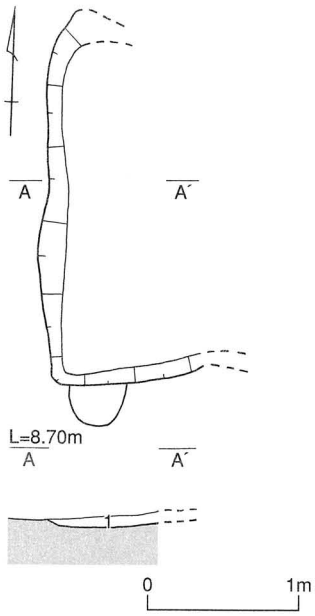
第117図　SB2031平・断面図（S=1/50）



1	浅黄色	2.5Y7/3	粘性砂質土	（粒子が細かい。）
2	浅黄色	5Y7/3	砂質土	（マンガン、炭化物を少量含む。）
3	にぶい黄色	2.5Y6/4	粘性砂質土	（粘性やや強く、マンガンを含む。）
4	オリーブ黄色	5Y6/3	粘性砂質土	（粘性やや強く、マンガンを多量に含む。）
5	オリーブ黄色	5Y6/4	粘性砂質土	（マンガンを含む。EP1）

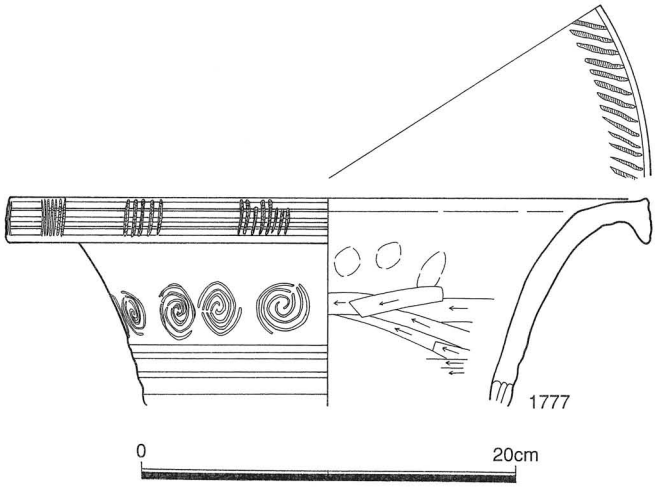


第118図　SB2031出土土器

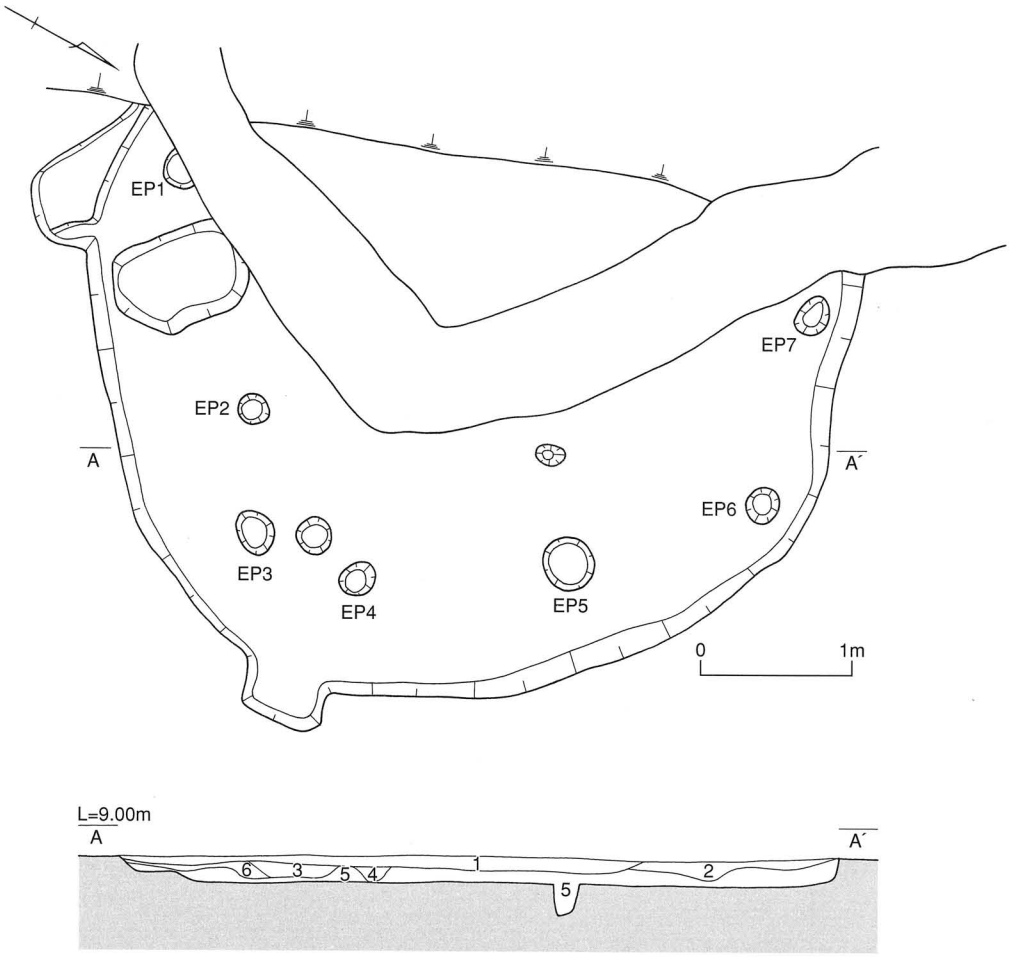


1　オリーブ褐色　2.5Y4/4　シルト砂混じり
（土器片、マンガンを含む。）

第119図　SB2032平・断面図（S＝1/50）

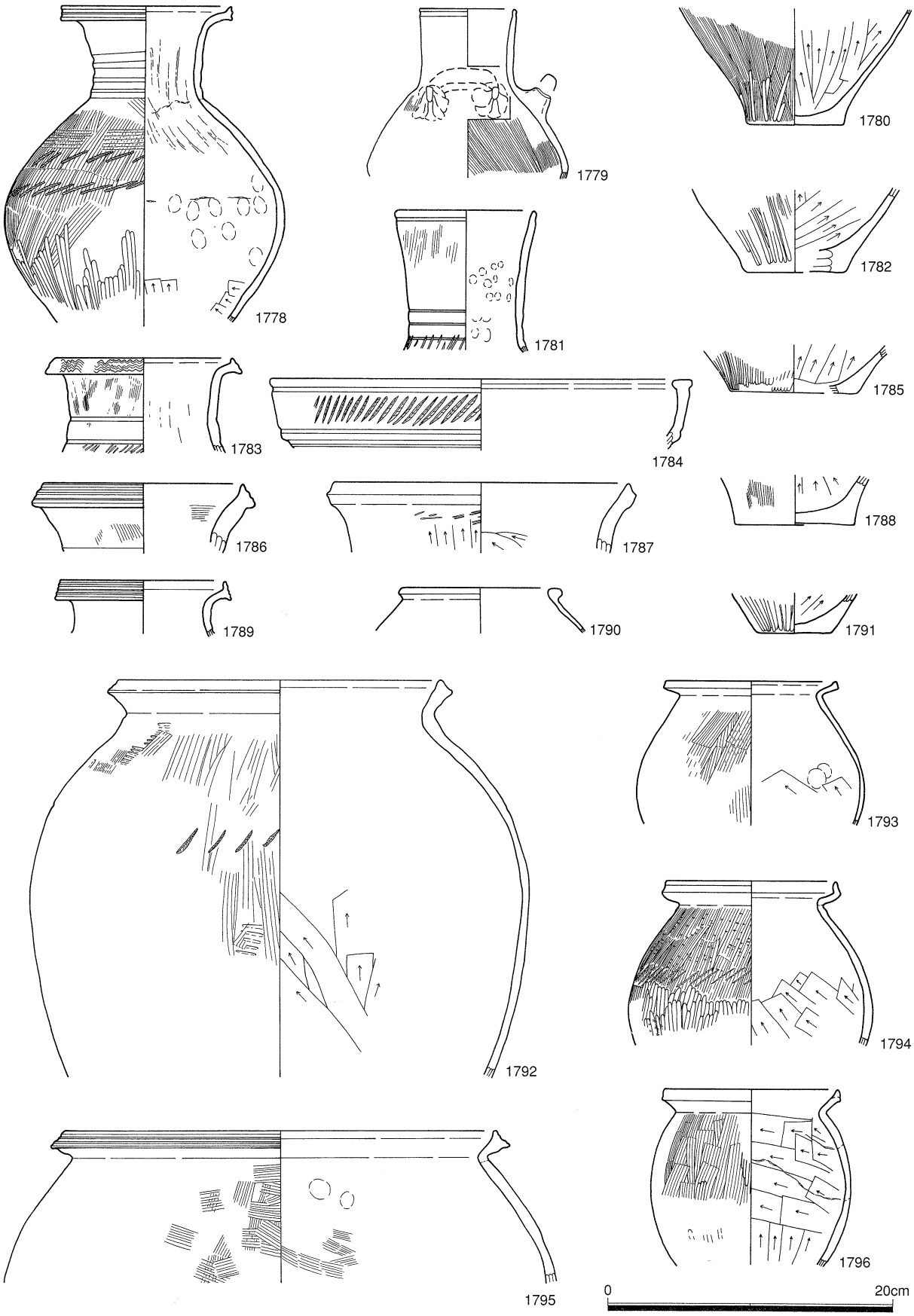


第120図　SB2033出土土器（1）

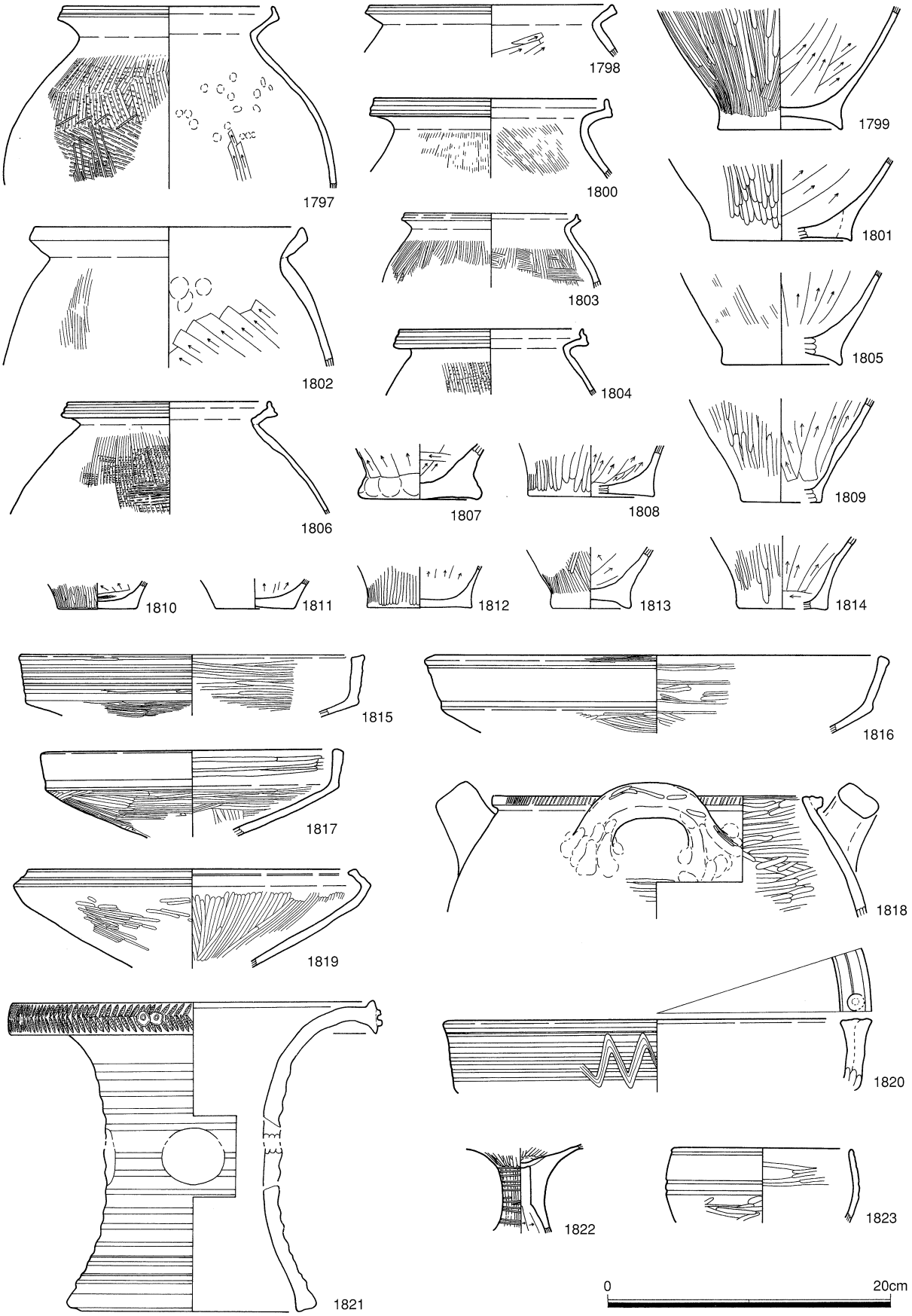


1　褐色　10YR4/4　粘性砂質土　4　にぶい黄褐色　10YR4/3　粘性砂質土
2　にぶい黄褐色　10YR5/4　粘性砂質土　5　にぶい黄褐色　10YR4/3　粘性砂質土（1.5cm程度の礫含む。）
3　オリーブ褐色　2.5Y4/4　粘性砂質土　6　褐色　10YR4/4　粘性砂質土

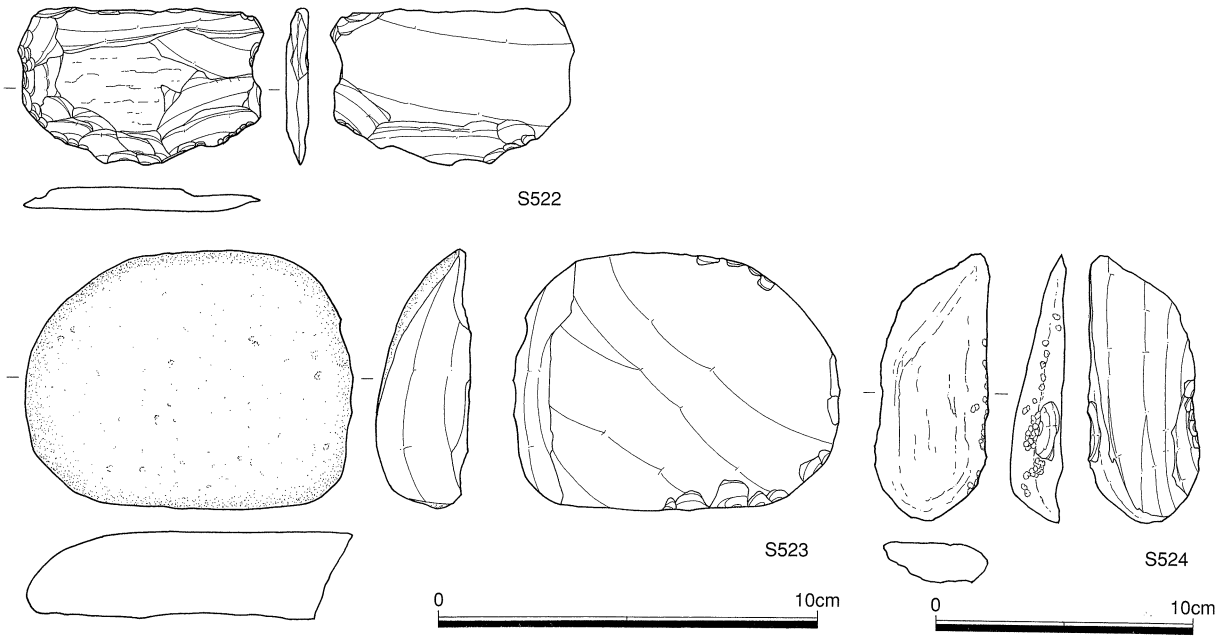
第121図　SB2033平・断面図（S＝1/50）



第122図　SB2033出土土器（2）



第123図　SB2033出土土器（3）



第124図　SB2033出土石器

竪穴住居跡（SB2032）

位置　7区　Loc.E2　αⅡ　k3　　**平面形**　方形　　**床面積**　1.6㎡　　**土層**　1層

主柱穴　確認されていない。　　**炉跡**　確認されていない。

施設　確認されていない。

遺物出土状況　図示できる遺物は出土していない。

時期　土層の堆積状況から弥生時代中期後半と考えられる。

竪穴住居跡（SB2033）

位置　9区　LocD2　εⅡ　gh1～2　　**平面形**　円形　　**床面積**　10.9㎡　　**土層**　6層

主柱穴　EP1～7の7基（径21～38㎝の円形、深さ17～33㎝）

炉跡　確認されていない。

施設　土坑1基、ピット2基、住居跡東と南に張り出し部が存在する。

遺物出土状況　覆土から土器、石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯、器台の47点と比較的まとまって出土している。一方、石器は、石庖丁、敲石、剥片の3点が図示できた。

時期　弥生時代後期初頭

竪穴住居跡（SB2034）

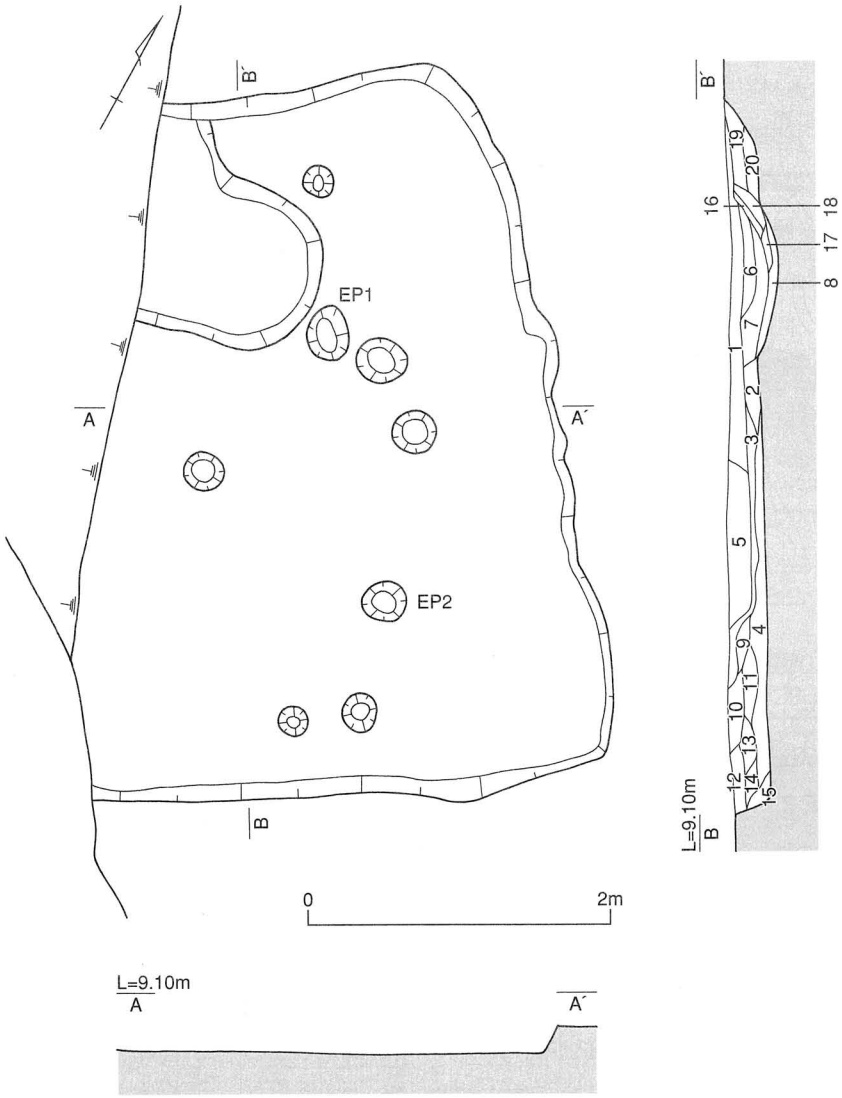
位置　9区　LocD2　εⅡ　hi1～2　　**平面形**　方形　　**床面積**　12.6㎡　　**土層**　20層

主柱穴　EP1・2の2基（径22～34㎝の円形、深さ15～30㎝）

炉跡　確認されていない。　　**施設**　土坑1基、ピット6基

遺物出土状況　覆土から土器、石器が出土している。図示できた土器は、壺、高杯の2点である。一方石器は、石庖丁、敲石の2点が図示できた。

時期　弥生時代中期後半



1	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土	8	オリーブ褐色	2.5Y4/6	粘性砂質土	15	黄褐色	2.5Y5/3	粘性砂質土
2	オリーブ褐色	2.5Y4/6	粘質土	9	オリーブ褐色	2.5Y4/4	粘性砂質土	16	オリーブ褐色	2.5Y4/4	粘性砂質土
3	オリーブ褐色	2.5Y4/6	粘性砂質土	10	黄褐色	2.5Y5/6	粘性砂質土	17	褐色	10YR4/6	粘性砂質土
4	オリーブ褐色	2.5Y4/4	粘性砂質土	11	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土	18	オリーブ褐色	2.5Y4/6	粘性砂質土
5	黄褐色	2.5Y5/3	粘性砂質土	12	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘性砂質土	19	褐色	10YR4/4	粘質土
6	オリーブ褐色	2.5Y4/4	粘性砂質土	13	オリーブ褐色	2.5Y4/3	粘性砂質土	20	オリーブ褐色	2.5Y4/6	粘質土
7	灰黄褐色	10YR4/2	粘性砂質土	14	褐色	10YR4/4	粘性砂質土				

第125図　SB2034平・断面図（S＝1/50）

竪穴住居跡（SB2035）

位置　9区　Loc.D 2　εⅡ　ij1～3　　**平面形**　不整形（五角形に近い）

床面積　29.6㎡　　**土層**　22層

主柱穴　EP1～6の6基（径28～48cm、深さ15～35cm）

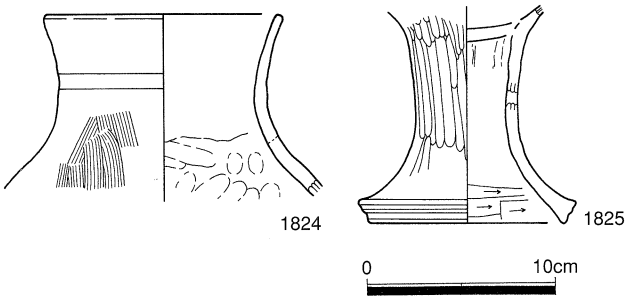
炉跡　1基（長軸123cm、短軸52cmの楕円形、深さ23cm、炭化物を含む3層）

施設　ピット3基

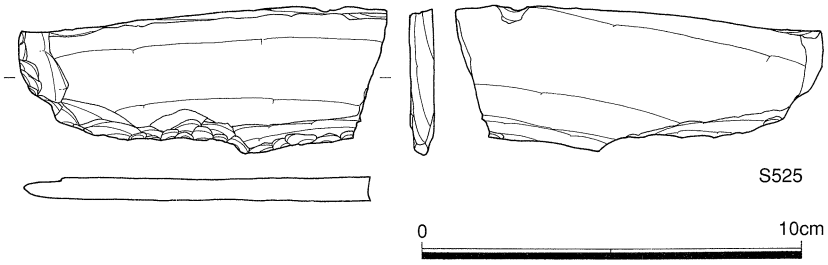
遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、高杯の16点である。一方、石器は、石鏃、石庖丁、剥片、砥石などが10点出土している。

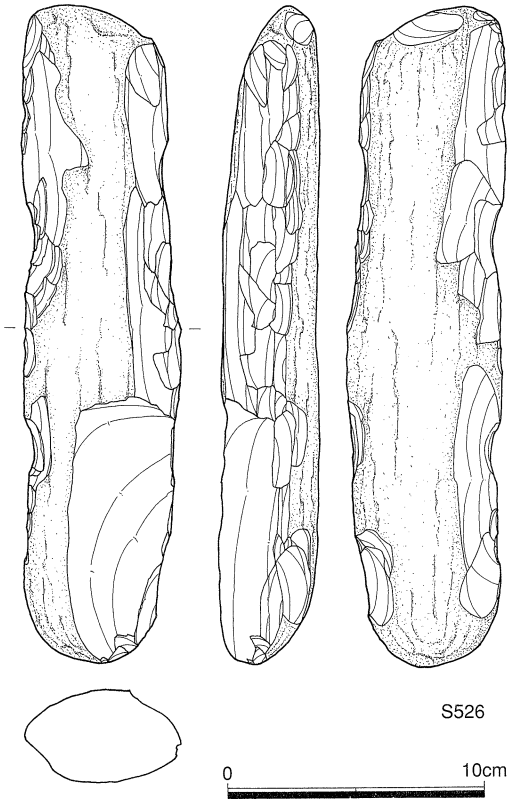
また、炉跡に向かって倒れ込むような形で炭化材が検出されている。炭化材の周辺では焼土も確認されており、これらの出土状況からSB2035は焼失住居と考えられる（焼土・炭化材出土状況図参照）。

時期　弥生時代中期後半～後期初頭

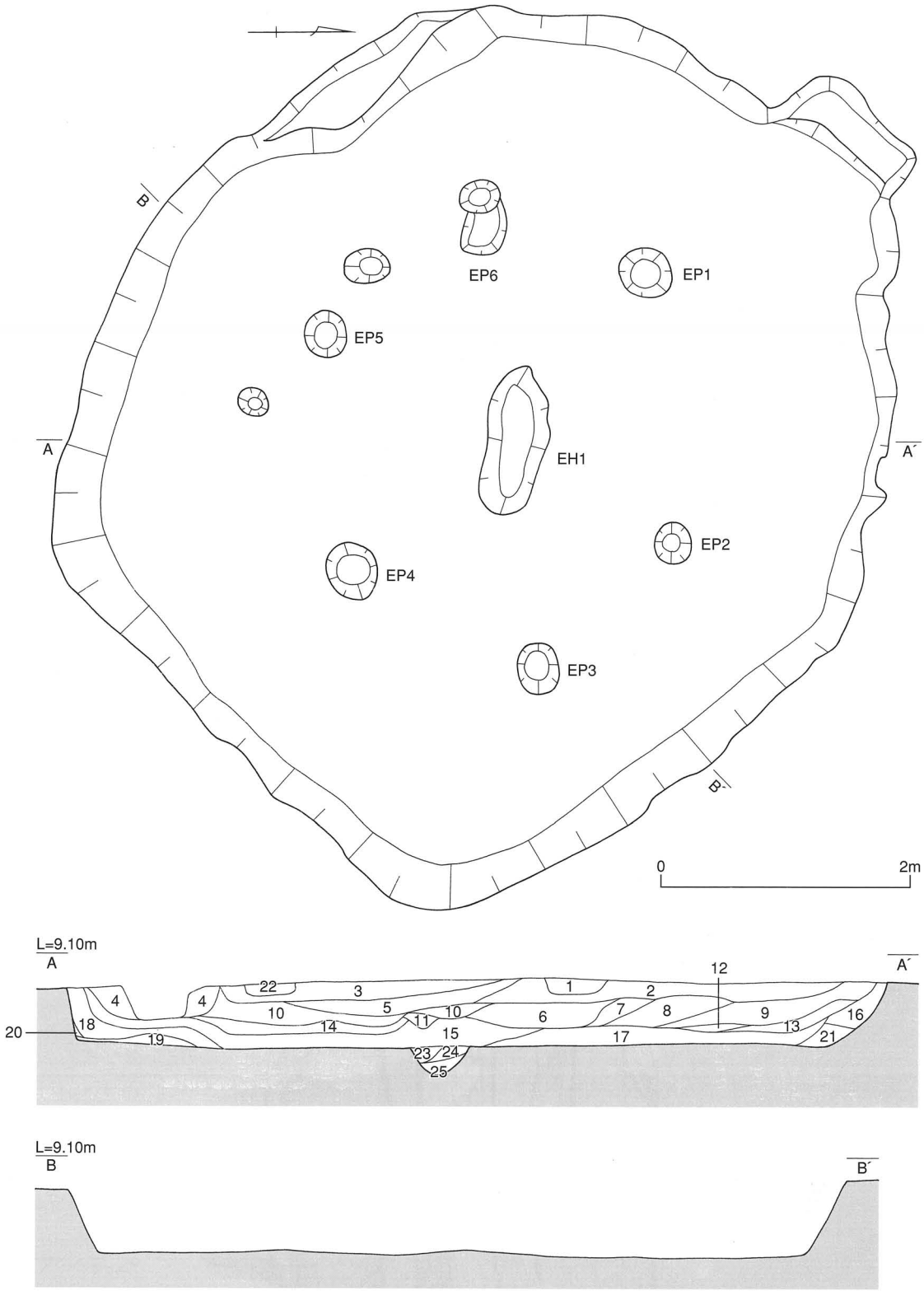


第126図　SB2034出土土器





第127図　SB2034出土石器



1　にぶい黄褐色　10YR5/3　粘質土
2　にぶい黄褐色　10YR4/3　砂質土　(0.5～1.5cmの礫を含む。)
3　にぶい黄橙色　10YR6/4　粘性砂質土　(0.5～1.0cmの礫を含む。)
4　オリーブ褐色　2.5Y4/4　粘性砂質土
5　にぶい黄褐色　10YR5/3　粘性砂質土　(0.5～2.0cmの礫を含む。)
6　褐色　10YR4/4　砂質土　(0.5～2.0cmの礫を含む。)
7　にぶい黄橙色　10YR6/4　砂質土　(0.5cm程度の礫と炭化粒少量を含む。)
8　にぶい黄褐色　10YR5/4　砂質土　(0.5～1.0cmの礫を含む。)
9　にぶい黄橙色　10YR6/4　砂質土　(1.0cmの礫を含む。)
10　褐色　10YR4/4　粘性砂質土　(0.5～1.0cmの礫を含む。)
11　にぶい黄褐色　10YR5/4　粘性砂質土
12　褐色　10YR4/4　砂質土
13　にぶい黄褐色　10YR5/4　砂質土　(1.0～1.5cmの礫を含む。)
14　にぶい黄褐色　10YR5/3　粘性砂質土　(炭化粒、焼土少量を含む。)
15　にぶい黄褐色　10YR4/3　砂質土
(炭化材を多量に含む。赤褐色焼土をブロック状に含む。)
16　褐色　10YR4/4　砂質土　(1.5cmの礫を含む。)
17　にぶい黄褐色　10YR5/3　砂質土
18　褐色　10YR4/4　粘性砂質土
(0.5～1.0cmの礫、炭化材を含む。)
19　にぶい黄褐色　10YR5/4　粘性砂質土
(褐色焼土をブロック状に含む。)
20　にぶい黄褐色　10YR4/3　粘性砂質土　(1.0cmの礫を含む。)
21　にぶい黄褐色　10YR4/3　砂質土
22　にぶい黄褐色　10YR5/4　粘質土
23　にぶい黄褐色　10YR5/4　粘質土　(EH1)
24　黄褐色　10YR5/6　砂質土　(EH1)
25　オリーブ褐色　2.5Y4/4　粘性砂質土　(EH1)

第128図　SB2035平・断面図（S=1/50）